

令和4年度
長久手市市民意識調査
報告書

令和5年3月

長久手市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査の方法.....	1
3	調査の内容.....	1
4	回収状況.....	1
5	調査結果の表示方法.....	2
6	標本誤差.....	2
7	調査結果のポイント.....	3
II	長久手市の住み心地について.....	8
III	あなたの幸せ感について.....	18
IV	あなたの暮らしや地域の環境について.....	22
V	新型コロナウイルス感染症の影響による意識変化について.....	75
VI	市民参加について.....	86
VII	長久手市のまちづくりについて.....	113
VIII	第6次総合計画について.....	124
IX	市政全般について.....	143
X	回答者の属性について.....	150
XI	市政全般について（自由意見）.....	179
XII	資料.....	187

質問項目について

II 長久手市の住み心地について	8
(1) 住み心地の評価.....	8
問1 あなたは、長久手市を住みよいまちだと思いませんか。.....	8
(2) 定住意向とその理由.....	10
問2 あなたは、今後も長久手市に住み続けたいですか。.....	10
「住み続けたい」と思う理由は何ですか。次の中から選んでください。.....	12
「転出したい」と思う理由は何ですか。次の中から選んでください。.....	15
III あなたの幸せ感について	18
問3 あなたは現在幸せですか。.....	18
問4 次の8つの分野の中からあなたにとって「特に大事だと思う分野」を3つまで選んでください。.....	20
IV あなたの暮らしや地域の環境について	22
(1) 地域との関わりについて.....	22
問5 次の(1)から(14)までの各質問の回答を選んで○をつけてください。.....	22
①日ごろから笑顔で心豊かな生活ができていますか。.....	22
②体を動かしたり運動したりと健康的な暮らしができていますか。.....	24
③困ったときに頼りになる(悩みを相談したり助けてと言ったりできる)知人・友人はいますか。.....	26
ア. お住まいの地域.....	27
イ. 市内.....	29
ウ. 市外.....	31
④地域で困った人への助け合いはできていますか。.....	33
⑤日常的にあいさつをしていますか。.....	35
⑥日常的に近所づきあいをしていますか。.....	37
→(6)についてあなたは、隣近所と普段どのようなつきあい方をしていますか。.....	39
⑦あなたは、隣近所とのつきあい方についてどのような思いがありますか。.....	41
⑧あなたは、近所づきあいや地域とのつながりに満足していますか。.....	43
⑨地域であなたに「たつせ」がありますか。.....	46
⑩自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化、行事等)はありますか。.....	48
⑪地域の子どもとあなたとのコミュニケーションは十分とれていますか。.....	50
⑫お住まいの地域には、自宅以外の居場所(集える場所、行きつけのお店など)がありますか。.....	52
⑬お住まいの地域で災害に備えた話し合いや防災訓練に参加していますか。.....	54

⑭あなたは過去3年間でお住まいの地域の地域活動（清掃活動、通学の見守り、地域の祭、防災訓練、防犯パトロール等、地域が主体で行う活動）に参加したことはありますか？...	56
(2) 地域活動への参加について.....	58
問6 あなたやあなたのご家族は、過去3年以内に地域を盛り上げたりしていくための活動スタッフとして参加したことはありますか。.....	58
「参加した（参加している）」理由は何ですか。.....	63
「参加していない」理由は何ですか。.....	64
問7 問6で「参加した（参加している）」と回答した方にお聞きします。あなたやあなたのご家族は、地域でどのような活動に参加していますか。.....	65
問8 問6で「参加した（参加している）」と回答した方にお聞きします。あなたやあなたのご家族は、地域の活動にどの程度参加していますか。.....	71
問9 どのような市民活動があればご自身も関わりたいと思いますか。.....	73

V 新型コロナウイルス感染症の影響による意識変化について..... 75

問10 ご自身の「活動」や「場所への外出」などに対して新型コロナウイルス感染症流行前と新型コロナウイルス感染症収束後を比べてどのような意識の変化があると思いますか。(1)～(5)までの各質問の回答を選んで○をつけてください。.....	75
(1) 友人や知人と交際・会食.....	75
(2) 公園での活動（遊びや散歩）.....	77
(3) 公共施設（文化の家、福祉の家、地域共生ステーション、図書館等）の利用.....	79
(4) ボランティア・社会参加.....	81
(5) 近所づきあい.....	83
→ (5) について、その番号を選んだ理由があれば自由にご記入ください。.....	85

VI 市民参加について..... 86

問11 あなたは、市政にどの程度関心がありますか。.....	86
問12 あなたは、長久手市の情報をどのように得ていますか。.....	88
問13 長久手市からの情報提供について、これから情報配信を充実してほしいものはどれですか。.....	92
問14 あなたが、市の行う事業（講演会、イベント、計画策定のためのワークショップ等）に参加するには、どのようなことが決め手となりますか。.....	95
問15 あなたは、市政運営への市民参画や、市民と行政との協働に関してどのように思いますか。(1)～(7)の項目について、1～4の中から1つずつ選んでください。.....	99
(1) 市政には市民の意向が反映されている.....	100
(2) 市民の意見を聞く機会が市は充実している.....	102
(3) 市政に関する情報提供が十分に行われている.....	104
(4) 市民が市政に参画する機会が市は充実している.....	106
(5) 地域活動やボランティア活動、NPO 活動に参加したい.....	108
(6) これからのまちづくりには市民の参画や協働が必要.....	110
(7) 子どもがまちづくりに参画する機会が市は充実している.....	111

VII	長久手市のまちづくりについて.....	113
	問 16 長久手市の市の将来像（市民主体のまち、つながりのあるまち）に向けた、長久手市独自の“まちづくりルール”を定めた「長久手市みんなで作るまち条例」について伺います。	113
	(1) 「長久手市みんなで作るまち条例」を知っていますか。.....	113
	(2) 何を通じて知りましたか。.....	115
	問 17 市民、市民団体、事業者、行政などが、それぞれの地域で気軽に集い、語り、地域の様々な課題に対する取組みを行うための拠点である「地域共生ステーション」について伺います。	117
	(1) あなたは、「地域共生ステーション」について知っていますか。.....	117
	(2) 問 17 (1) で「知っている」と回答した方にお聞きします。あなたは、「地域共生ステーション」についてどの程度知っていますか。.....	120
	問 18 小学校区単位で地域の課題を解決するため、自治会のほか、地域に根ざしたこども会やシニアクラブ、企業、NPO、各種活動団体などをネットワーク化した組織「まちづくり協議会」について伺います。	121
	(1) あなたは、「まちづくり協議会」について知っていますか。.....	121
	(2) 問 18 (1) で「知っている」と回答した方にお聞きします。あなたは、「まちづくり協議会」についてどの程度知っていますか。.....	123
VIII	第 6 次総合計画について.....	124
	問 19 次の (1) ～ (24) の項目について、あなたはどの程度重要と思いますか。また、どの程度進んでいると感じていますか。.....	124
IX	市政全般について.....	143
	問 20 あなたは、市政全般についてどの程度満足していますか。.....	143
	問 21 長久手市は、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。.....	146
X	回答者の属性について.....	150
	問 23 各質問にあなた自身が該当する項目を選んでください。.....	150
	(1) あなたの性別は、次のうちどれですか。.....	150
	(2) あなたの年齢は、次のうちどれですか。.....	150
	(3) あなたの職業は、次のうちどれですか。.....	151
	(4) あなたの家族全体の年収はどのくらいですか。.....	151
	(5) あなたの通勤先・通学先は、次のうちどれですか。.....	152
	(6) あなたのお住まいは、次のうちどれですか。.....	153
	(7) あなたのお宅には、どのような方が同居していますか。次のうちあてはまるものをすべて 選んでください。.....	154
	(8) あなたのご家族の形態は、次のうちどれですか。.....	155

(9) あなたの小学校区はどこですか。.....	156
(10) あなたは、長久手市に居住して何年になりますか。.....	157
(11) あなたは、長久手市に住む以前はどこにお住まいでしたか。.....	159
(12) あなたが長久手市に住んでいる理由は何ですか。.....	161
(13) あなたは、次のア～クの生活行動について、主にどこで行動していますか。1～9の中から1つずつ選んでください。.....	162
ア 食料品や日用品の買い物.....	163
イ 実用衣料品の買い物.....	165
ウ 電化製品や家具などの大型商品の買い物.....	167
エ 通院.....	169
オ 金融機関の利用.....	171
カ スポーツ施設の利用.....	173
キ 映画、コンサート、演劇などの文化活動.....	175
ク 散歩や公園へのお出かけ.....	177

市政全般について（自由意見）..... 179

問 22 長久手市のまちづくりについてご意見がありましたら、自由にご記入ください。....	179
---	-----

I 調査の概要

1 調査の目的

長久手市では、「みんなでつくるまち条例」（平成30年7月施行）「ながくて未来図」（第6次長久手市総合計画）（平成31年3月策定）にもとづき、まちの将来像「幸せが実感できる共生のまち長久手～そして物語が生まれる～」の実現に向けて、まちづくりを進めている。

本調査は、これまでの市政全般の成果を検証するとともに、市民のこれからのまちづくりに対する意向を把握し、今後の市政運営等に反映することを目的とする。

2 調査の方法

- ①調査地域 長久手市
- ②調査対象 長久手市に在住する満18歳以上の市民
(令和4年6月時点人口：60,773人、18歳以上人口：47,952人)
- ③標本数 3,000人
- ④抽出方法 住民基本台帳による無作為抽出
- ⑤調査方法 郵送配布・郵送またはWEBによる回答
- ⑥調査期間 令和4年7月～8月

3 調査の内容

- ①長久手市の住み心地について
- ②あなたの幸せ感について
- ③あなたの暮らしや地域の環境について
- ④新型コロナウイルス感染症の影響による意識変化について
- ⑤市民参加について
- ⑥長久手市のまちづくりについて
- ⑦第6次総合計画について
- ⑧市政全般について
- ⑨あなた自身について

4 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
3,000通	1,122通	37.4%

5 調査結果の表示方法

- ・比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計は必ずしも100%にはならない。
- ・基数となるべき実数はサンプル数（回答者数＝〇〇）として掲載した。したがって比率はサンプル数を100%として算出している。また、性別・年齢別・居住小学校区別などで件数が全体数と一致しないが、これはそれぞれの回答が不明なものがあったためである。
- ・複数回答が可能な設問は、その項目を選択した回答者が全体の何%を占めるかを表している。そのため、各項目の比率を合計しても100%にはならない。
- ・本報告書中の図表の見出し及び文章中において、設問及び回答選択肢などの表現は、一部省略してある場合がある。

6 標本誤差

- ・本調査では、1,122票の有効回答が得られたが、この結果がどの程度の精度を持った回答結果であるのかを検討することを標本誤差の算出という。
- ・下表の見方は、例えば、ある設問で「A」という回答が50%、「B」という回答が20%であった場合、仮に、同じ質問を全市民にたずねた時の回答との誤差の範囲は、「A」が $50 \pm 2.89\%$ 、「B」は $20 \pm 2.31\%$ となる。
- ・したがって、本調査において回答が最も分散した場合でも、全体の結果は2.89%の誤差しか生じないと考えられ、統計学上有効な調査であるといえる。

	母集団 M	回答者数 N	50%	40%	30%	20%	10%
				60%	70%	80%	90%
全体	47,952	1,122	2.89%	2.83%	2.65%	2.31%	1.73%

7 調査結果のポイント

■長久手市の住み心地について

- 長久手市の住み心地については、「住みよい」と「まあ住みよい」を合わせると約9割。〔p. 8〕
 - ・20歳未満で「住みよい」が高い。〔p. 8〕
 - ・東小学校では、「住みよい」がやや少ない。〔p. 9〕
- 今後の定住意向については、「住み続けたい」が約8割で、前回調査と同水準。住み続けたい理由としては、買い物の利便性の高さや愛着、緑や田園など自然環境の良さを評価。〔p. 10〕
 - ・年齢が上がるほど定住意向が高い。〔p. 10〕
 - ・東小学校区では、「住み続けたい」人がやや少ない。〔p. 11〕
 - ・住み続けたい理由としては、西小学校区では交通の利便性、長久手小学校区では長久手市への愛着、東小学校区では自然環境、北小学校区、南小学校区、市が洞小学校区では買い物の利便性が評価されている。〔p. 11〕
 - ・買い物の利便性の評価が前回調査と比べ高まっている。〔p. 11〕

■市民の幸福感について

- 市民の幸福感については、0点～10点中、「8点」が約2割と最も多く、約5割が7点以上を回答している。〔p. 18〕
 - ・年齢が上がるほど7点以上が多い。〔p. 18〕
- 特に大事だと思う分野については、健康が8割と突出。その他、環境が約5割。〔p. 20〕
 - ・年齢が高くなるほど福祉が多く、20歳未満を除いて年齢が低くなるほど生活インフラが多くなる。〔p. 20〕

■暮らしや地域の環境について

- 日頃から笑顔で心豊かな生活ができているかについては、できている人（「できている」と「まあできている」の合計）が8割弱となっている。〔p. 22〕
- 健康的な暮らしについては、できている人（「できている」と「まあできている」の合計）が約5割となっている。〔p. 24〕
 - ・60歳代、70歳代でできている人が約5割となっている。〔p. 24〕
- 困ったときに頼りになる知人・友人については、市外でいる人（「いる」と「まあいる」の合計）が7割半ばと、地域や市内より市外でいる人が多くなっている。〔p. 26〕
 - ・西小学校区では、地域や市内でいる人が最も少ない。〔p. 28〕
- 地域で困った人への助け合いについては、できている人（「できている」と「まあできている」の合計）が2割半ばとなっている。〔p. 33〕
 - ・東小学校区で、できている人が多い。〔p. 34〕
- 日常的なあいさつについては、している人（「している」と「まあしている」の合計）が8割強となっている。〔p. 35〕
- 日常的な近所づきあいについては、している人（「している」と「まあしている」の合計）が5割となっている。隣近所とのつきあい方については、「会えば世間話や立ち話をする」が半数以上となっている。〔p. 39〕
 - ・西小学校区で、している人が少ない。〔p. 40〕

- 隣近所とのつきあい方に対する思いについては、「顔見知りではありたいが、ほどほどがよい」が6割強と最も多い。近所づきあいや地域とのつながりに対する満足度については、満足している人（「満足している」と「まあ満足している」の合計）が5割半ばとなっている。〔p. 41〕
- 地域での“たつせ”については、ある人（「ある」と「まあある」の合計）が2割半ばとなっている。〔p. 46〕
- 自慢したい地域の「宝」については、ある人（「ある」と「まあある」の合計）が3割半ばとなっている。〔p. 48〕
- 地域の子どものコミュニケーションについては、取れている人（「とれている」と「まあとれている」の合計）が約2割となっている。〔p. 50〕
- 自宅以外の居場所の有無については、ある人（「ある」と「まあある」の合計）が約4割となっている。〔p. 52〕
- 地域での災害に備えた話し合いや防災訓練への参加については、参加している人（「参加している」と「まあ参加している」の合計）が2割以下となっている。〔p. 54〕
- 過去3年以内の地域活動への参加率（「参加している」と「まあ参加している」の割合の合計）は27.7%で、前回調査より約25ポイントと大きく減少。新型コロナウイルス感染症の影響による活動の自粛が背景にあることがうかがえる。〔p. 56〕
 - ・40歳代の地域活動への参加率が4割と多い。〔p. 56〕
 - ・東小学校の地域活動への参加率は45%と他の学区より高い。〔p. 57〕
- 過去3年以内の地域活動スタッフへの参加率は2割半ば。参加した理由としては、「当番で回ってくるから」が多く、次いで「当然の義務だから」「できる限り地域が役割を担うべきと考えるから」が多い。参加しない理由としては、「仕事が忙しい」が38.2%と最も多く、次いで「新型コロナウイルス感染症の影響のため」が多い。〔p. 58〕
 - ・70歳代の参加率が高い一方、20歳代の参加率は1割未満。〔p. 58〕
 - ・東小学校の地域活動への参加率は36%と他の学区より高い。〔p. 59〕
 - ・市政への関心が高いほど、地域活動への参加率が高い。〔p. 59〕
 - ・ケーブルテレビや回覧板で情報を入手している人で、地域活動への参加率が高い。〔p. 60〕
- 参加している地域活動の種類は、区や自治会の活動、祭りなど伝統的な行事、各種ボランティア活動が多い。〔p. 65〕
 - ・20歳代未満では祭りなど伝統的な行事が多く、その他の年齢では区や自治会の活動が多い。〔p. 65〕
 - ・30歳代と40歳代では、PTAや子ども会など子どもに関する活動が多い。〔p. 65〕
 - ・70歳以上ではシニアクラブの活動が多い。〔p. 65〕
 - ・東小学校区では祭りなど伝統的な行事が他の小学校区と比べて多い。〔p. 66〕
- 地域活動への参加頻度については、月に1回程度が2割半ばと最も多い。週に1日以上活動している人は、全体の約2割程度。〔p. 71〕
 - ・40歳代を境に年齢が高いほど参加頻度が多い。〔p. 71〕

■新型コロナウイルス感染症の影響による意識変化について

- 友人や知人と交際・会食については、減ると思う人（「やや減ると思う」と「減ると思う」の合計）が約4割となっている。〔p. 75〕

- 公園での活動については、減ると思う人（「減ると思う」と「やや減ると思う」の合計）が約2割となっている。[p. 77]
- 公共施設の利用については、減ると思う人（「減ると思う」と「やや減ると思う」の合計）が2割半ばとなっている。[p. 79]
- ボランティア・社会参加については、変わらないと思う人が4割半ばとなっている。[p. 81]
- 近所づきあいについては、必要性を感じるようになった人（「必要性を感じるようになった」と「やや必要性を感じるようになった」の合計）が15%となっている。[p. 83]

■市民参加について

- 市政への関心度については、関心がある人（「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計）が6割半ば。「ある程度関心がある」人は、前回調査から減少。[p. 86]
 - ・60歳代、70歳以上では7割、20歳未満では3割以下。[p. 86]
- 情報の入手手段については、広報紙が8割と突出。その他、回覧板が3割半ば、市ホームページが3割強。ぎかいたいむ（議会だより）は前回調査より少なくなっている。[p. 88]
 - ・ぎかいたいむ、新聞、回覧板は年齢が高いほど多く、市ホームページは年齢が低いほど多い。[p. 88]
 - ・市政への関心が高いほど、情報媒体の利用率が高い。広報誌を除いて市ホームページが顕著。[p. 88]
- 事業参加の決め手としては、広報紙やHPでの情報掲載と事業自体の魅力が求められている。[p. 95]
 - ・ツイッターやフェイスブックなどのSNSは、20歳代で3割半ば。[p. 95]
- 市民と行政との協働のあり方について、「市民の意見を聞く機会の充実」は3割半ば、「市政への意見の反映」「市政に関する情報提供」は約5割が評価。また「地域活動やボランティア活動、NPO活動に参加したい」と思っている人は約3割。さらに「今後のまちづくりにおいて市民の参画や協働が必要」と考える人については、約8割いる。[p. 99]
 - ・市民と行政との協働の現状について、市政に関する情報提供の評価や地域活動やボランティア活動、NPO活動に参加したいと思っている人は、前回調査より少なくなっている。[p. 109]

■長久手市のまちづくりについて

- 長久手市みんなで作るまち条例の認知度は、知っている人（「内容を知っている」と「内容がある程度知っている」の合計）は1割未満。[p. 113]
- 地域共生ステーションの認知度は、「知っている」が4割弱と、前回調査と比較すると15.2ポイント多くなっている。[p. 117]
- まちづくり協議会の認知度は、「知っている」が約1割と前回調査より5.3ポイント多くなっている。「名前をはじめて聞いた」は4割強。[p. 120]

■第6次総合計画について

- 施策の重要度については、防災、子育て支援、防犯、道路や上下水道、子どもがのびのびと育っているの項目が上位を占めている。[p. 124]
- 施策の推進度については、商業施設の立地、公園の整備、道路や上下水道、緑地や河川などの自然環境、医療機関や保健サービスの充実に対する評価が高い。[p. 126]
- 最優先で改善が求められる（施策の重要度が高く、推進度が低い）項目は、防犯、防災、交通安全、公共交通の利便性、障がい者の福祉、健康づくりの5項目である。[p. 134]

■市政全般について

- 市政全般の満足度は、満足している人（「満足している」と「まあ満足している」の合計）は5割強。前回調査より16.9ポイント多くなっている。[p. 143]
 - ・東小学校では満足している人（「満足している」と「まあ満足している」の合計）は約45%と満足度がやや低い。[p. 144]
 - ・住み心地がよいと感じているほど、市政への満足度が高い。[p. 145]
- 今後、力を入れていくべき施策は、高齢者福祉の充実、学校教育の充実、乳幼児・児童福祉の充実などが多い。前回調査と比較すると、ごみ処理対策が多くなっている一方、防犯対策が少なくなっている。[p. 146]
 - ・高齢者福祉の充実が南小学校区で、乳幼児・児童福祉の充実が西小学校区で、日常の買い物施設の充実が東小学校区でそれぞれ多い。[p. 147]

■回答者の属性

- 【性別】女性の割合が男性より2割弱多い。[p. 150]
- 【年齢】40歳代が約2割、30歳代と50歳代がそれぞれ2割弱を占めている。[p. 150]
- 【職業】会社員が約3割で、次いで、「無職」、「アルバイト、パートタイマー」が約2割となっている。[p. 151]
- 【家庭全体の年収】半数以上が500万以上となっている一方、300万円以下は2割強である。[p. 151]
- 【通勤・通学先】「名古屋市」が3割弱、次いで市内、近隣市以外の愛知県内が1割程度。[p. 152]
- 【住まいの形態】全体の8割弱が持ち家（一戸建て、分譲マンション）となっている。東小学校区と長久手小学校区で、一戸建て持ち家が非常に多い。[p. 153]
- 【同居人の状況】「小学生未満の乳幼児」が15%、「小・中学生」が2割程度、「65歳以上の高齢者」が3割弱となっている。[p. 154]
- 【家族の形態】「親子（2世代）」が5割、「夫婦のみ」が25%程度となっている。[p. 155]
- 【居住小学校区】「北小学校区」が2割、「南小学校区」、「西小学校区」、「長久手小学校区」が15%前後で続いている。「東小学校区」は1割弱となっている。[p. 156]
- 【居住年数】10年未満は3割弱、30年以上が3割弱となっている。[p. 157]
- 【前住所】「名古屋市」が約38%、「名古屋市以外の愛知県内」が約28%で、あわせて愛知県からの転入が6割半ばを占めている。「生まれた時から長久手市」は9%である。愛知県外が前回調査と比較するとよりが5.2ポイント多くなっている。[p. 158]
- 【居住理由】「住環境がよいため」が2割で最も多くなっている。通学、就職、転職、転勤のためが15%ほどと前回調査より3.4ポイント少なくなっている。[p. 159]

- 【生活行動】すべての生活行動で「長久手市」が最も多くなっており、食料品や日用品の買い物や散歩や公園へのお出かけでは8割以上となっている。〔p. 162〕

Ⅱ 長久手市の住み心地について

(1) 住み心地の評価

問1 あなたは、長久手市を住みよいまちだと思いますか。【〇は1つ】

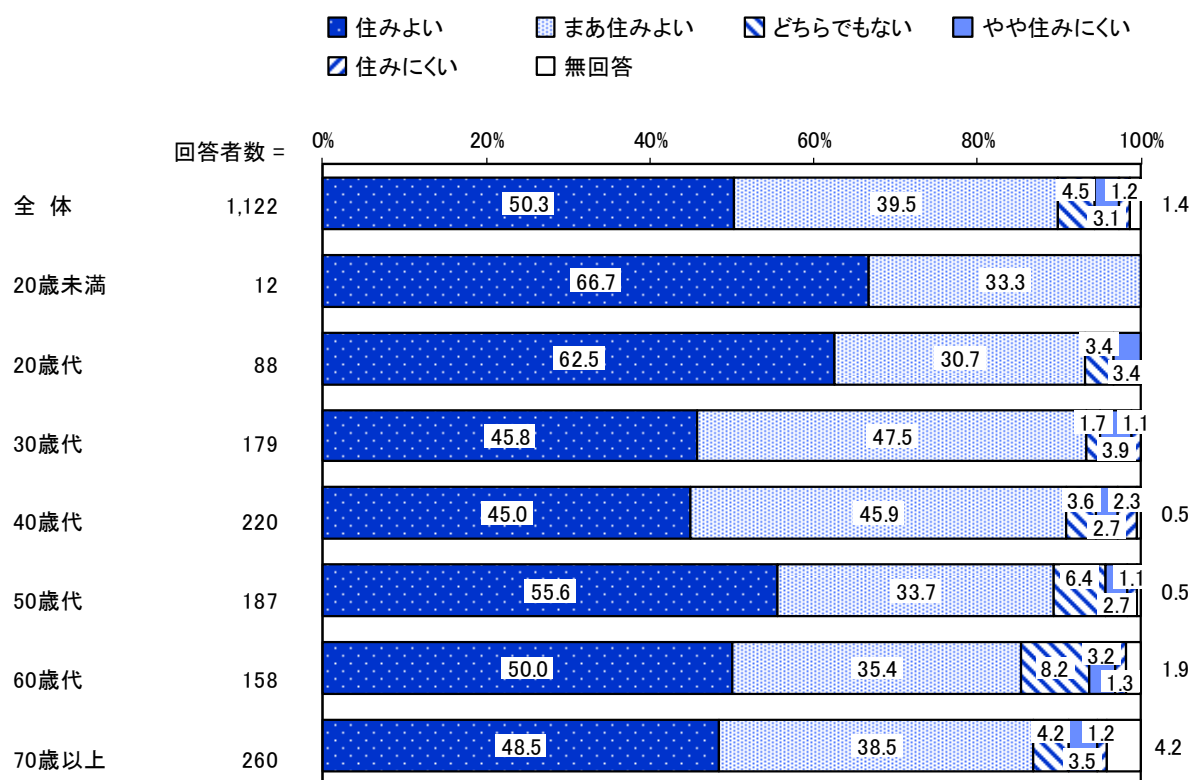
長久手市の住み心地については、「住みよい」が50.3%、「まあ住みよい」が39.5%となっており、合わせると89.8%となっている。

【年齢別】

○年齢別でみると、20歳未満で「住みよい」が66.7%と全体より16.4ポイント多く、40歳代で45.0%と全体より5.3ポイント少ない。

○一方で、30歳代では、「やや住みにくい」が他の年代より多く、3.9%となっている。

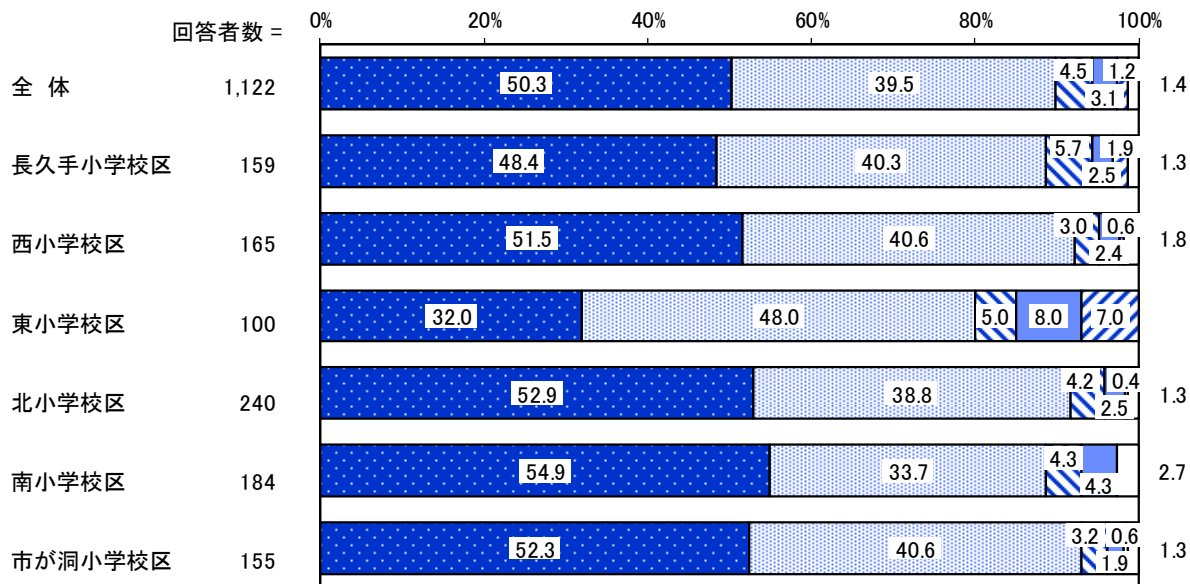
図2-1-1 住み心地（年齢別）



【小学校区別】

○小学校区別で見ると、東小学校区で「住みよい」が32.0%と全体より18.3ポイント少なく、「住みよい」、「まあ住みよい」の合計も80.0%と最も少ない。

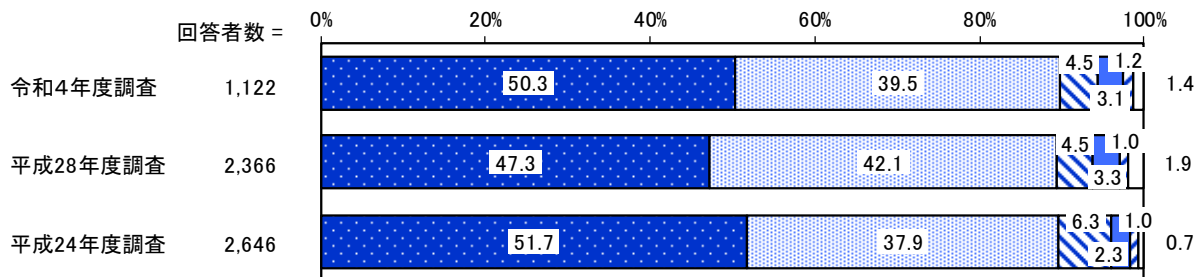
図2-1-2 住み心地（小学校区別）



【経年比較】

○平成28年度調査と比較すると、「住みよい」は前回調査（47.3%）より3.0ポイント多い。一方で、「住みよい」、「まあ住みよい」の合計は前回調査（89.4%）とほぼ同様となっている。

図2-1-3 住み心地（経年変化）



(2) 定住意向とその理由

問2 あなたは、今後も長久手市に住み続けたいですか。【〇は1つ】

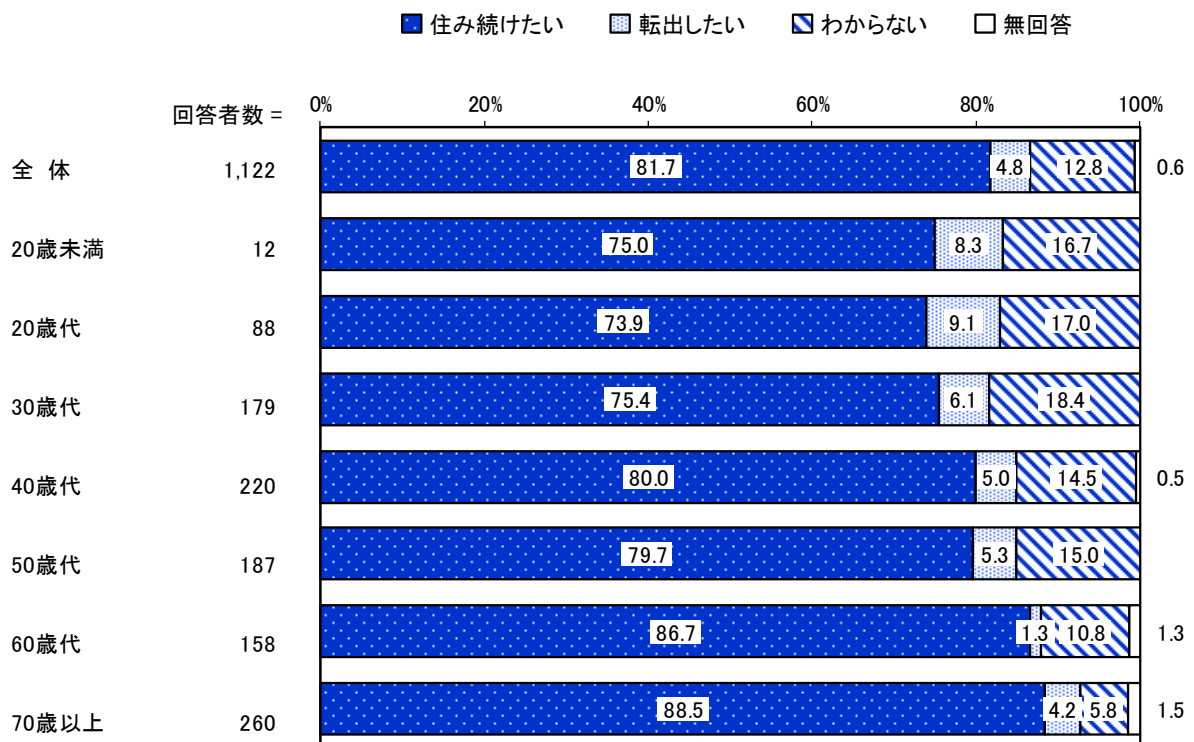
今後の定住意向については、「住み続けたい」が81.7%であり、「転出したい」は4.8%となっている。

【年齢別】

○年齢別でみると、年齢が高くなるほど「住み続けたい」が多くなっている。

○一方、概ね年齢が低くなるほど「転出したい」「わからない」が多くなっている。

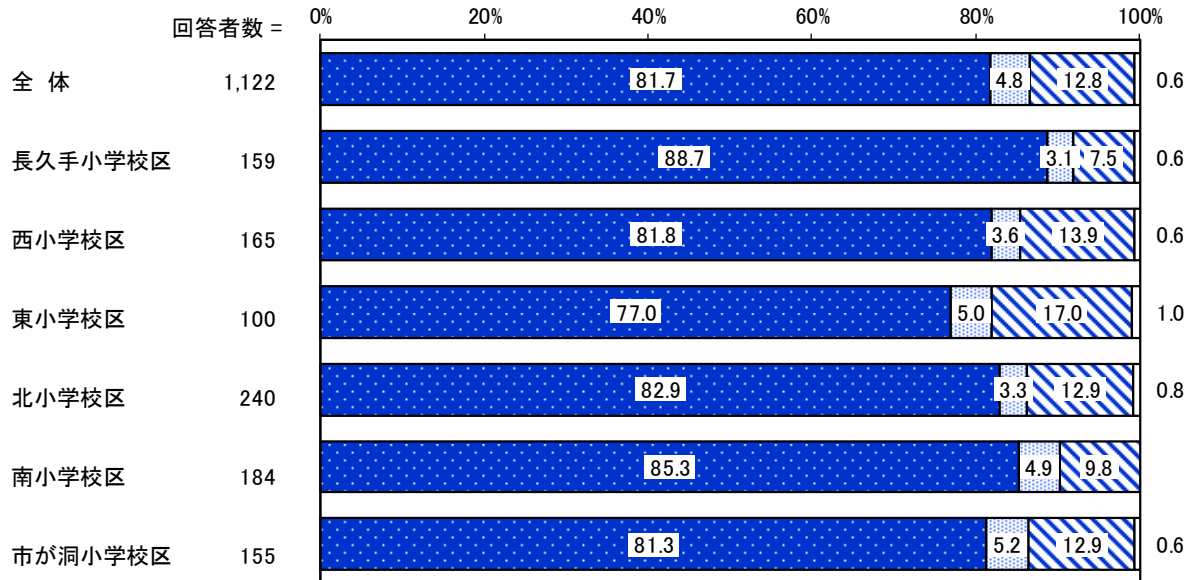
図2-2-1 定住意向（年齢別）



【小学校区別】

○小学校区別では、長久手小学校区（88.7%）で全体より 7.0 ポイント、南小学校区（85.3%）で全体より 3.6 ポイント多く、東小学校区（77.0%）で全体より 4.7 ポイント少なくなっている。

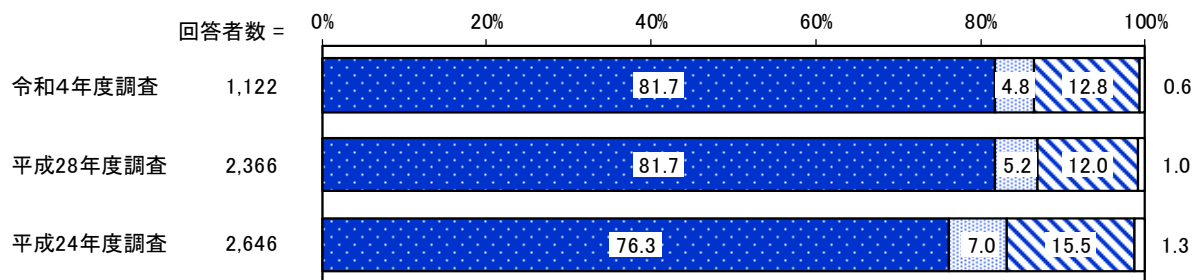
図 2 - 2 - 2 定住意向（小学校区別）



【経年比較】

○平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図 2 - 2 - 3 定住意向（経年変化）



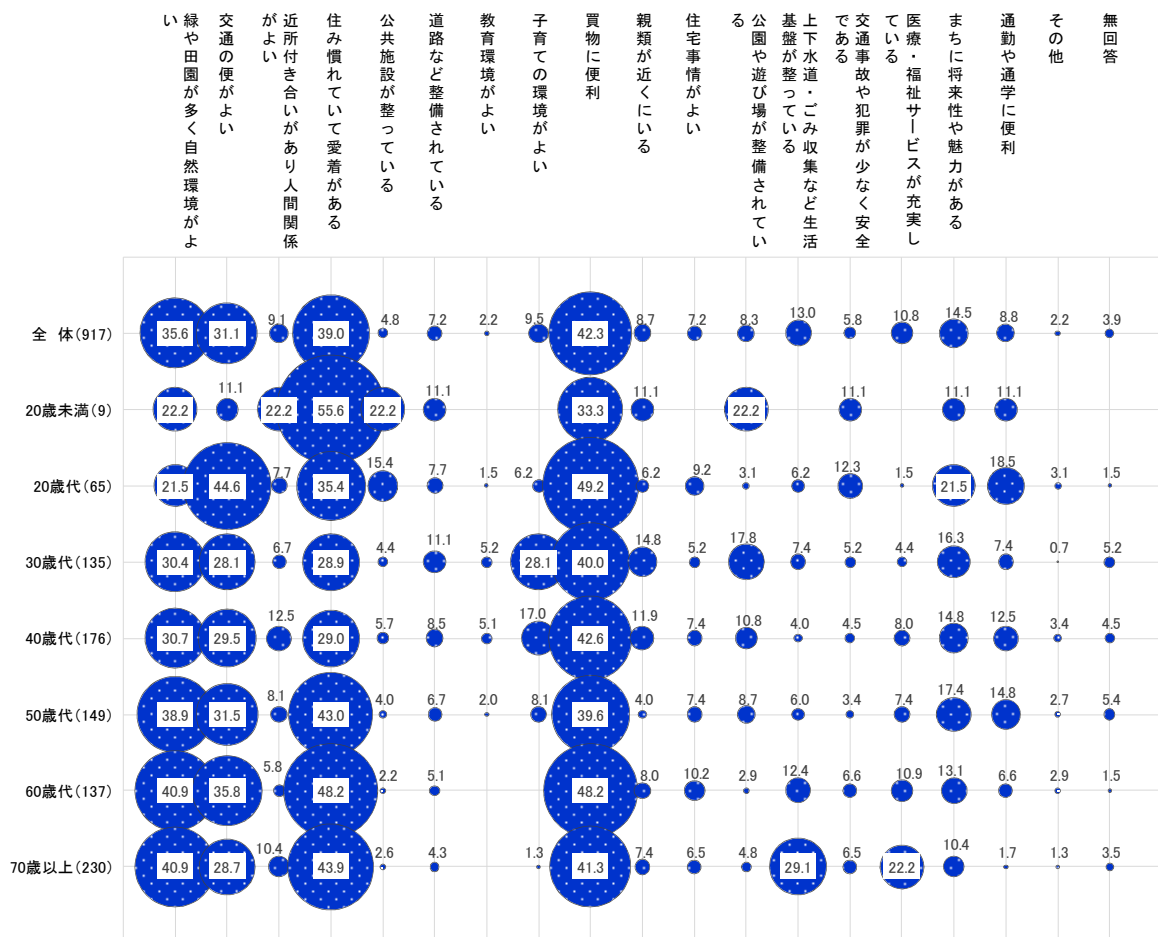
「住み続けたい」と思う理由は何ですか。次の中から選んでください。【〇は3つまで】

「住み続けたい」と回答した方の理由としては、「買物に便利」が42.3%と最も多く、次いで「住み慣れていて愛着がある」(39.0%)、「緑や田園が多く自然環境がよい」(35.6%)などが続いている。

【年齢別】

- 年齢別でみると、20歳未満、50歳代から70歳以上では「住み慣れていて愛着がある」、20歳代から40歳代、60歳代では「買物に便利」が最も多い。
- 20歳未満では、「住み慣れていて愛着がある」(55.6%)が全体より16.6ポイント多い。
- 20歳代では、「買い物に便利」(49.2%)が全体より6.9ポイント多い。
- 60歳代と70歳以上では「緑や田園が多く自然環境がよい」(それぞれ40.9%)が全体より5.3ポイント多い。

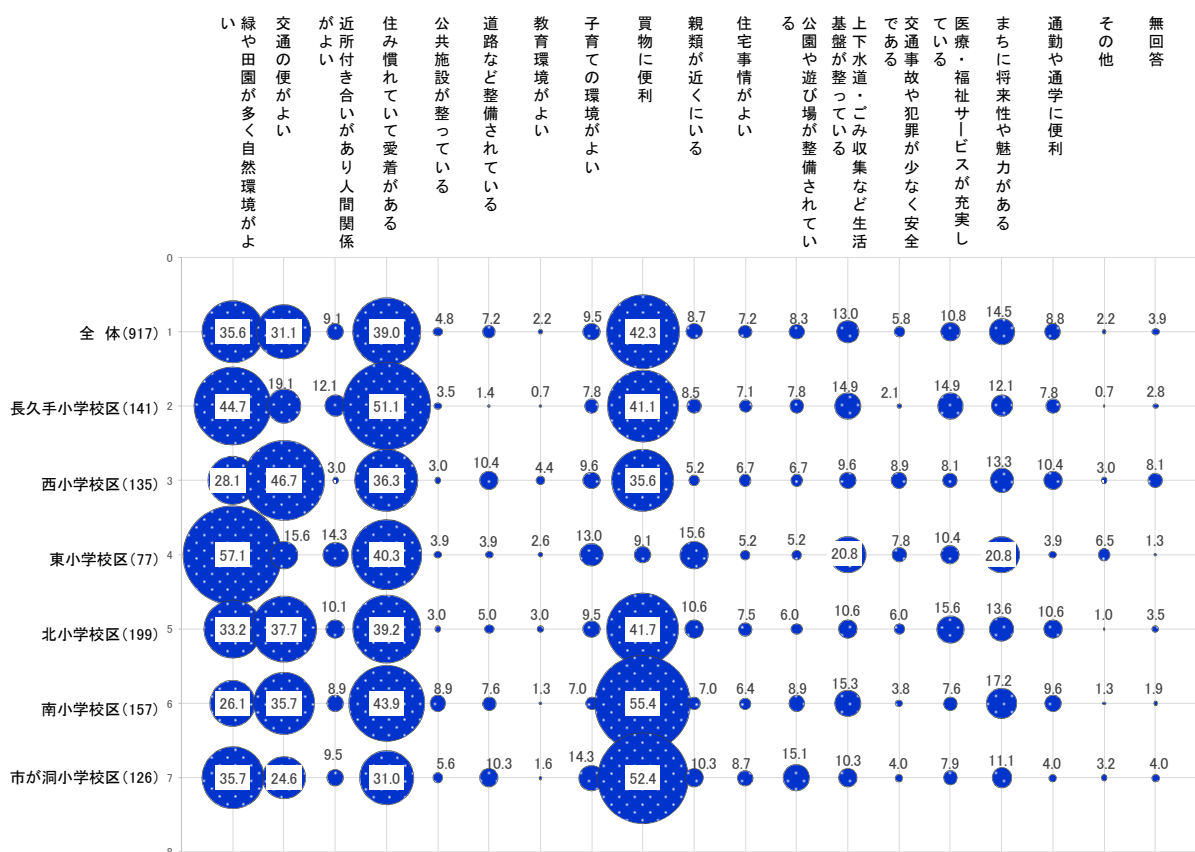
図2-3-1 住み続けたい理由（年齢別）



【小学校区別】

- 小学校区別でみると、長久手小学校区では「住み慣れていて愛着がある」が最も多く、西小学校区では「交通の便がよい」が最も多く、東小学校区では「緑や田園が多く自然環境がよい」が最も多く、北小学校区、南小学校区、市が洞小学校区では「買い物に便利」が最も多い。
- 東小学校区では、「緑や田園が多く自然環境がよい」(57.1%) が全体より 21.5 ポイント多く、「交通の便がよい」(15.6%) と「買い物に便利」(9.1%) が全体より 15.0 ポイント以上少ない。

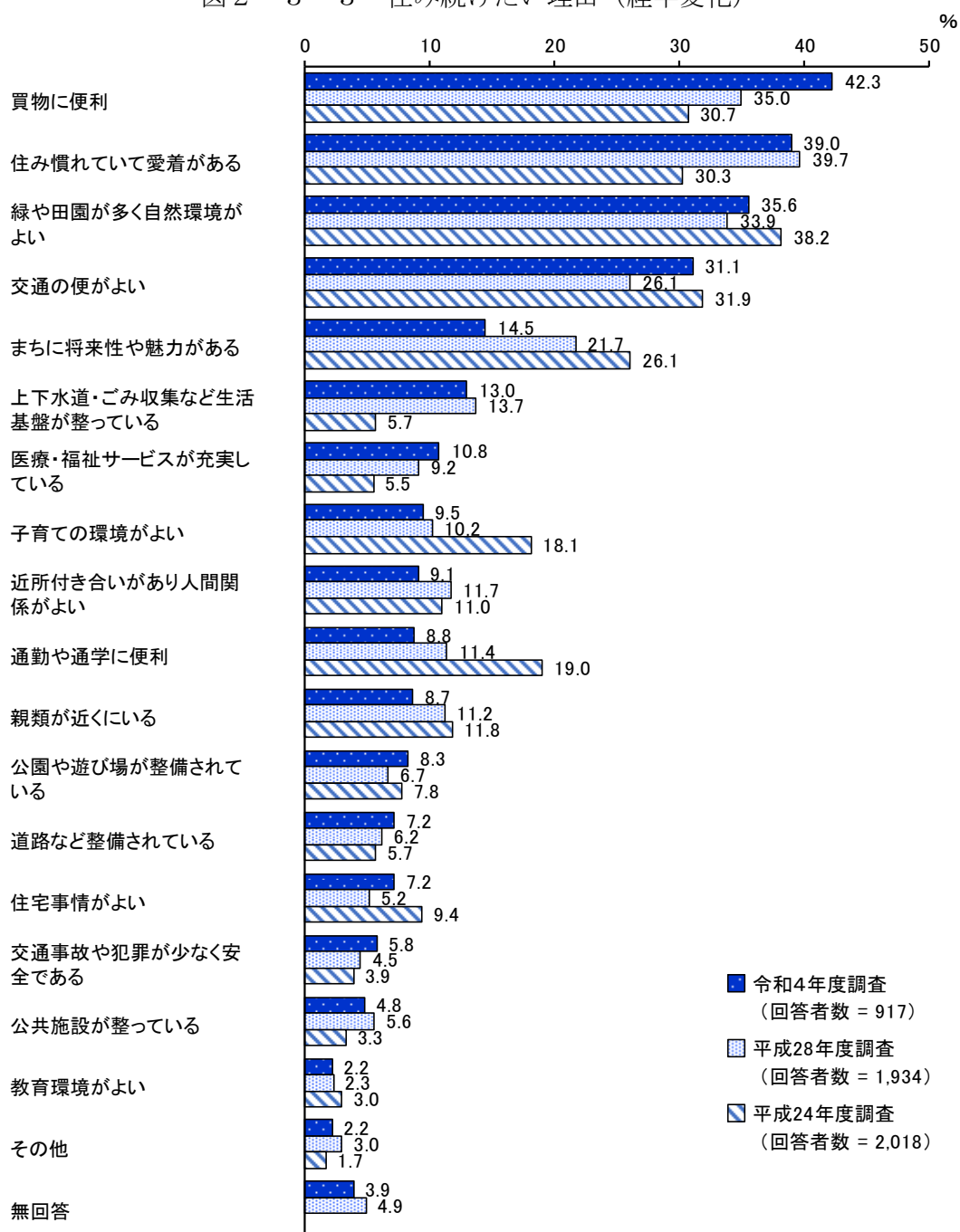
図 2-3-2 住み続けたい理由 (小学校区別)



【経年比較】

- 平成28年度調査と比較すると、「買物に便利」(42.3%)は前回調査より7.3ポイント、「緑や田園が多く自然環境がよい」(35.6%)は1.7ポイント、「交通の便がよい」(31.1%)は5.0ポイント多くなっている。
- 一方で、「まちに将来性や魅力がある」(14.5%)は前回調査より7.2ポイント、「近所付き合いがあり人間関係がよい」(9.1%)は2.6ポイント、「通勤や通学に便利」(8.8%)が2.6ポイント、「親類が近くにいる」(8.7%)は2.5ポイント少なくなっている。

図2-3-3 住み続けたい理由（経年変化）



「転出したい」と思う理由は何ですか。次の中から選んでください。【〇は3つまで】

「転出したい」と回答した方の理由としては、「交通の便がよくない」(42.6%)が最も多く、次いで「まちに愛着が持てない」(22.2%)、「親類が近くにいない」(20.4%)などが続いている。

【年齢別】

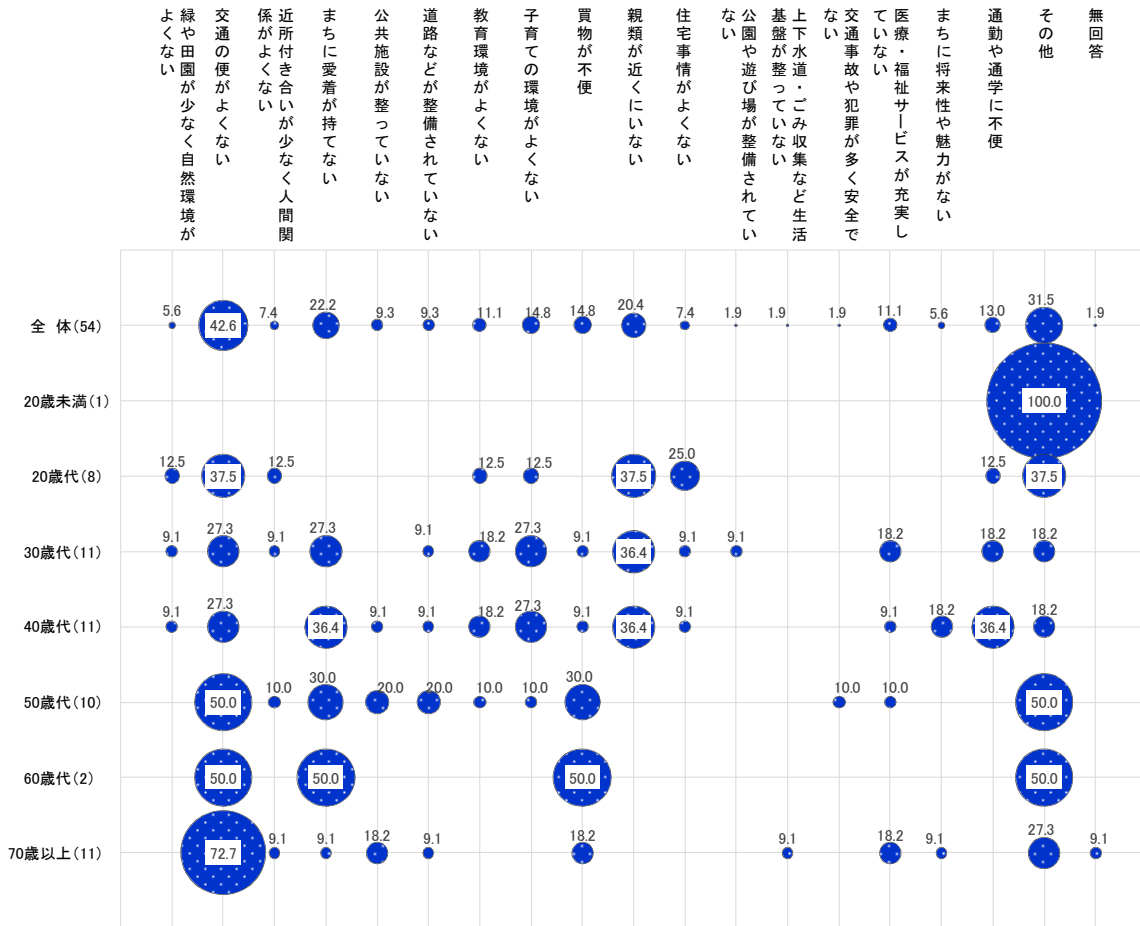
○年齢別にみると、20歳代から40歳代では「親類が近くにいない」が最も多く、20歳代及び50歳代以上では「交通の便がよくない」も最も多い。

○60歳代では「近所付き合いが少なく人間関係がよくない」(50.0%)、「買物が不便」(50.0%)が全体より多い。

○70歳以上では「交通の便がよくない」(72.7%)が全体より30.1ポイント多い。

○一方、20歳代から40歳代では「交通の便がよくない」が全体より少ない。

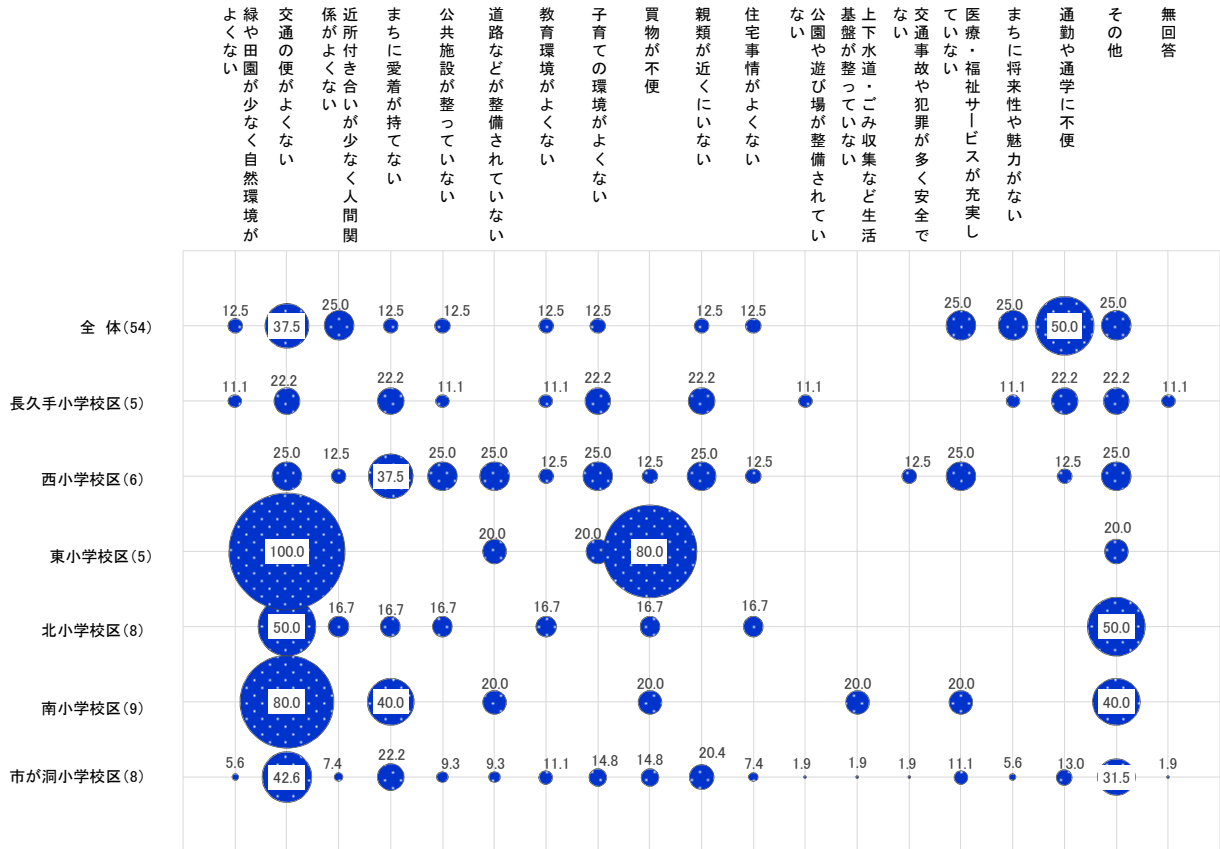
図2-4-1 転出したい理由（年齢別）



【小学校区別】

- 小学校区別でみると、東小学校区では「交通の便がよくない」(100.0%)、「買物が不便」(80.0%) が最も多い。
- 西小学校区と南小学校区では「まちに愛着が持てない」(それぞれ 37.5%、40.0%) が全体より多い。

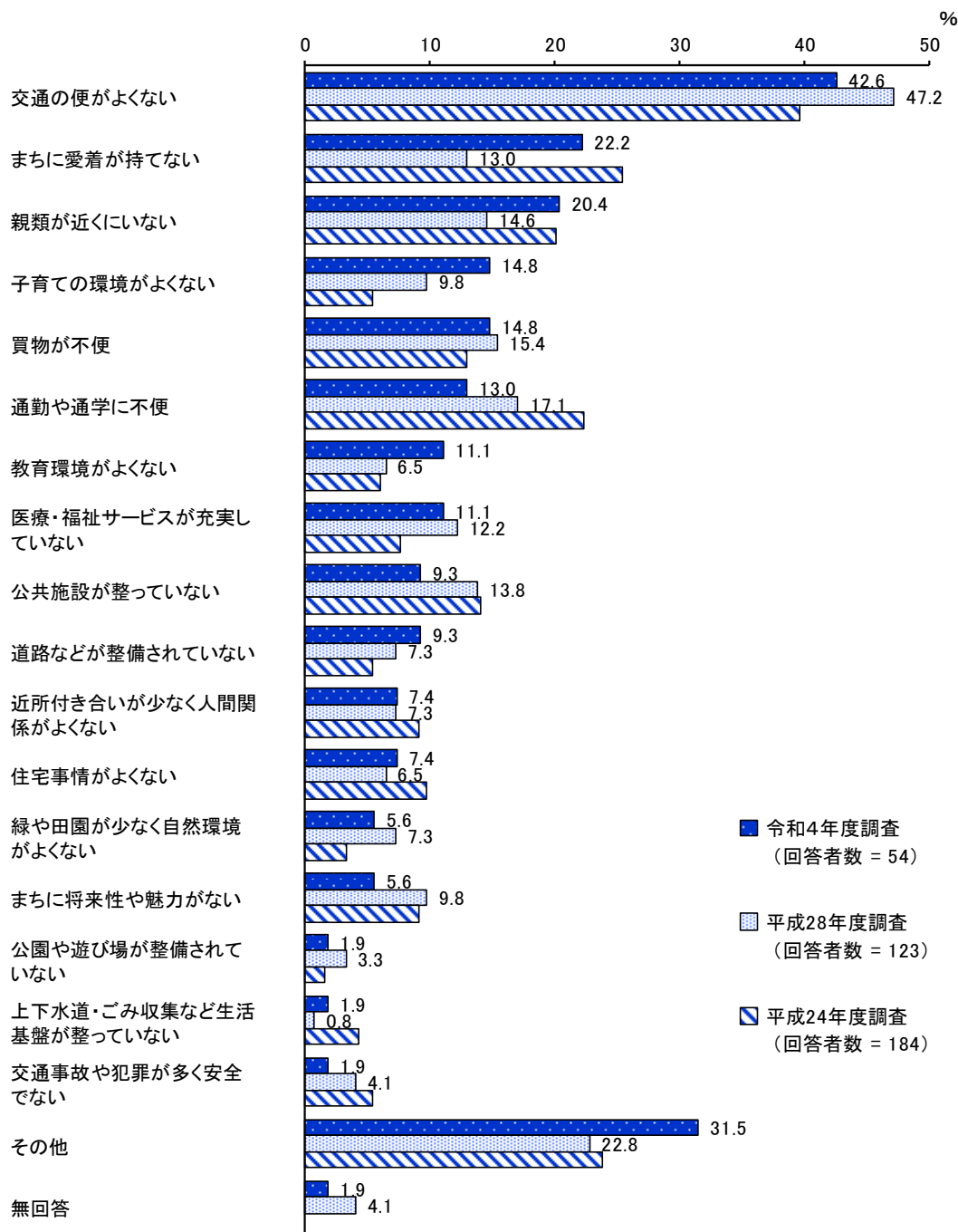
図 2-4-2 転出したい理由 (小学校区別)



【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、「まちに愛着が持てない」(22.2%)は前回調査より9.2ポイント、「親類が近くにいない」(20.4%)は5.8ポイント、「子育ての環境がよくない」(14.8%)は5.0ポイント、「教育環境がよくない」(11.1%)は4.6ポイント多くなっている。
- 一方、「交通の便がよくない」(42.6%)は4.6ポイント、「通勤や通学に不便」(13.0%)は4.1ポイント、「公共施設が整っていない」(9.3%)は4.5ポイント少なくなっている。

図2-4-3 転出したい理由（経年変化）



Ⅲ あなたの幸せ感について

問3 あなたは現在幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。あてはまる数字（点数）を選んでください。

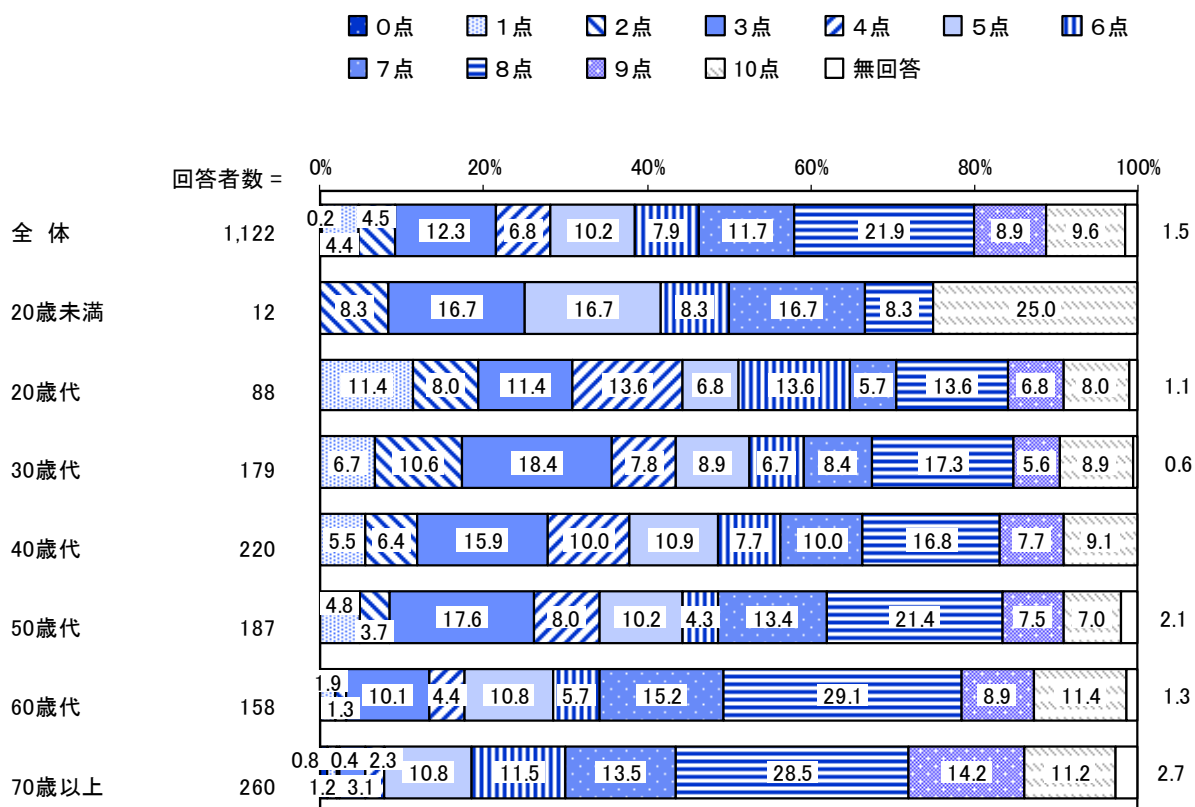
現在の幸福度については、「8点」（21.9%）が最も多く、次いで「3点」（12.3%）、「7点」（11.7%）などが続いている。

【年齢別】

○年齢別でみると、年齢が高くなるほど「8点」が多い傾向にある。

○一方、年齢が低くなるほど「1点」、「2点」が多くなっている。

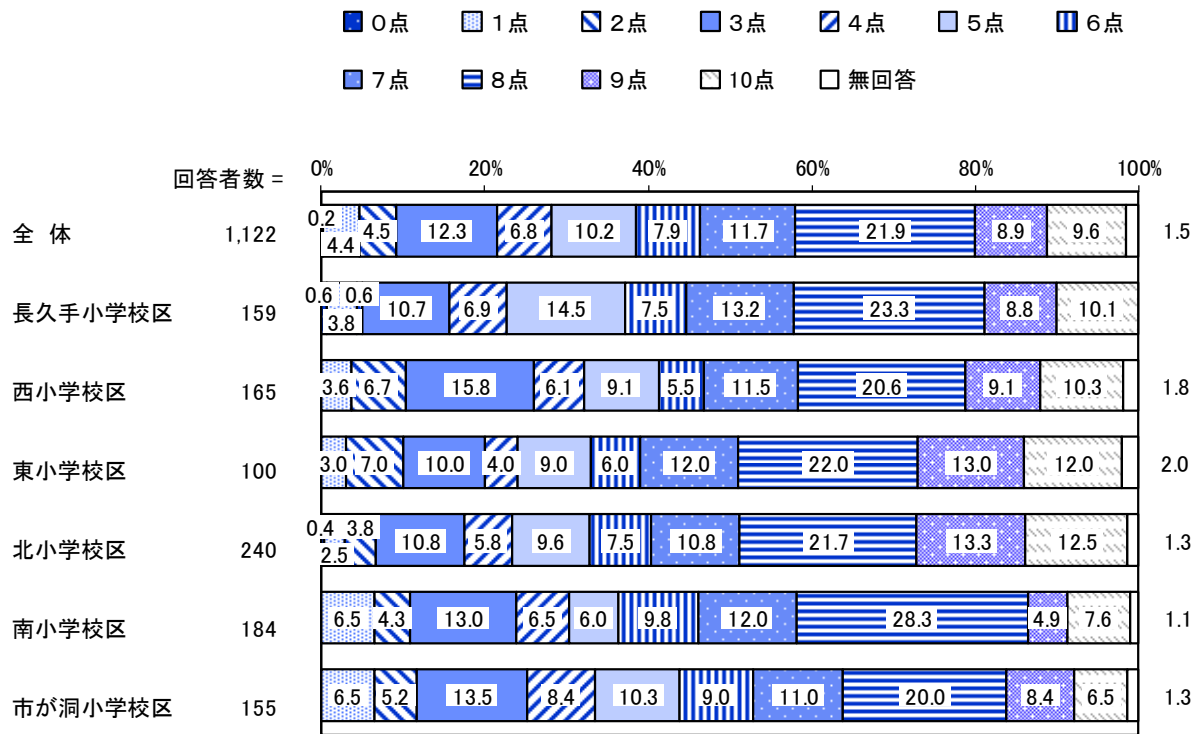
図3-1-1 幸福度（年齢別）



【小学校区別】

- 小学校区別でみると、他に比べ、南小学校区で「8点」(28.3%)が最も多くなっている。
- 西小学校区では「3点」(15.8%)が全体より3.5ポイント多くなっている。
- 東小学校区、北小学校区では「9点」(それぞれ13.0%、13.3%)が全体より多く、「10点」(それぞれ12.0%、12.5%)も全体より多い。
- 一方、南小学校区と市が洞小学校区では「1点」(それぞれ6.5%)が全体より6.3ポイント多くなっている。

図3-1-2 幸福度(小学校区別)



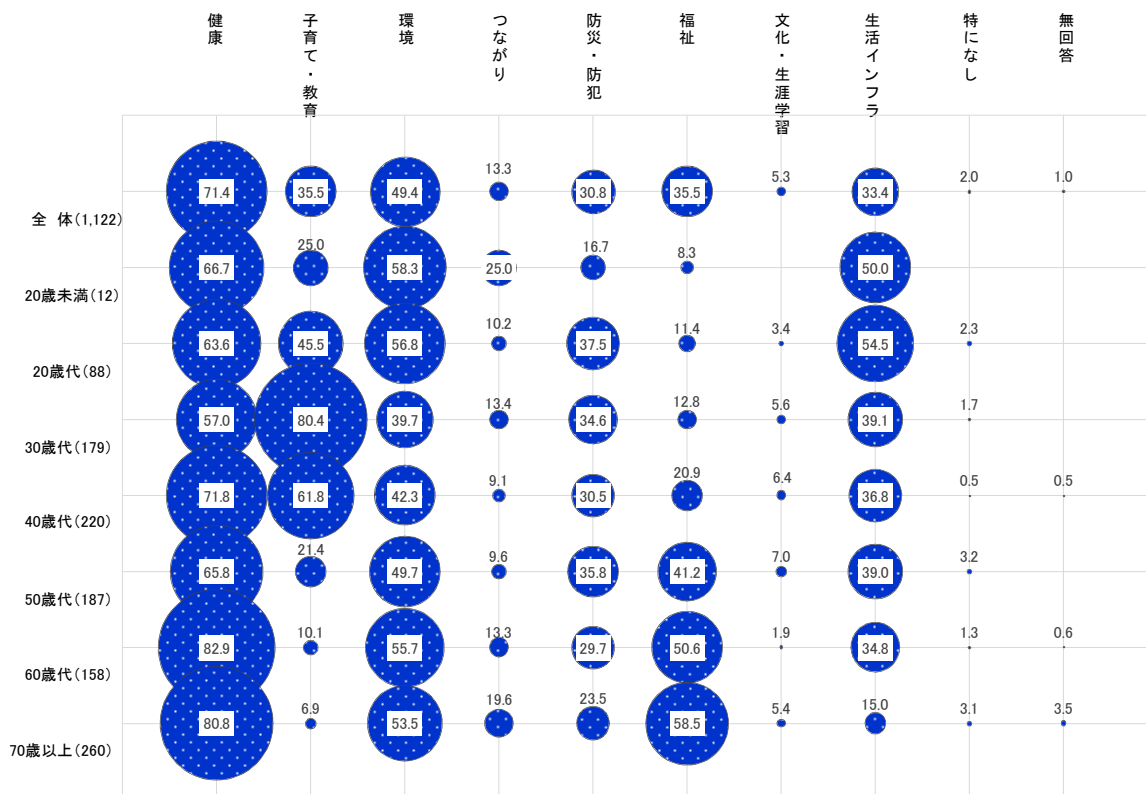
問4 次の8つの分野の中からあなたにとって「特に大事だと思う分野」を3つまで選んでください。
 なお、「特に大事だと思う分野はない」という場合には、「9」をお選びください。【〇は3つまで】

“特に大事” だと思う分野について、「健康」(71.4%) が最も多く、次いで「環境」(49.4%)、「子育て・教育」(35.5%)、「福祉」(35.5%)などが続いている。

【年齢別】

- 年齢別にみると、30歳代を除くすべての年齢で「健康」が最も多い。
- 30歳代で「子育て・教育」(80.4%) が最も多く、全体より44.9ポイント、40歳代では全体より26.3ポイント多くなっている。
- 20歳未満と20歳代及び50歳代以上で「環境」が全体より多い。
- 年齢が高くなるほど「福祉」が多くなっている。
- 一方、概ね年齢が低くなるほど「生活インフラ」が多くなっている。

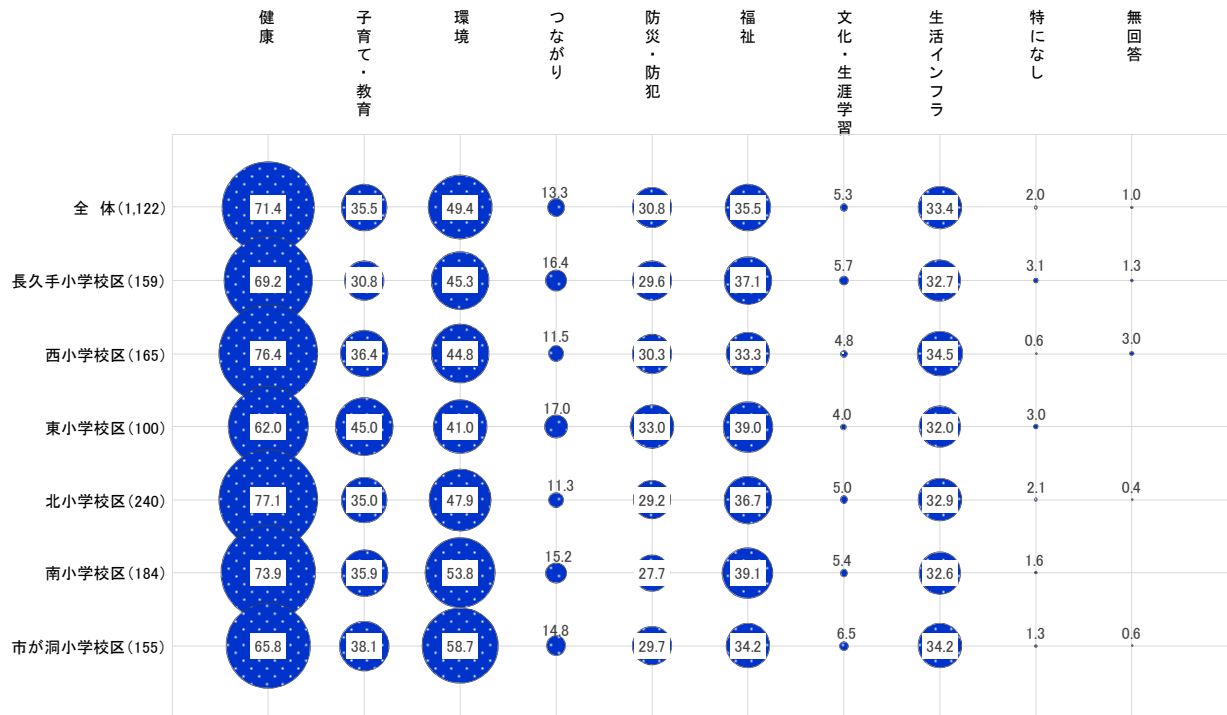
図3-2-1 大事な分野（年齢別）



【小学校区別】

- 小学校区別でみると、いずれの小学校区でも「健康」が最も多く、次いで「環境」が多くなっている。
- 北小学校区では「健康」が全体より 5.7 ポイント多い。
- 東小学校区では「子育て・教育」が全体より 9.5 ポイント多い。

図 3-2-2 大事な分野（小学校区別）



IV あなたの暮らしや地域の環境について

(1) 地域との関わりについて

問5 次の(1)から(14)までの各質問の回答を選んで○をつけてください。
【○はそれぞれ1つ】

①日ごろから笑顔で心豊かな生活ができていますか。

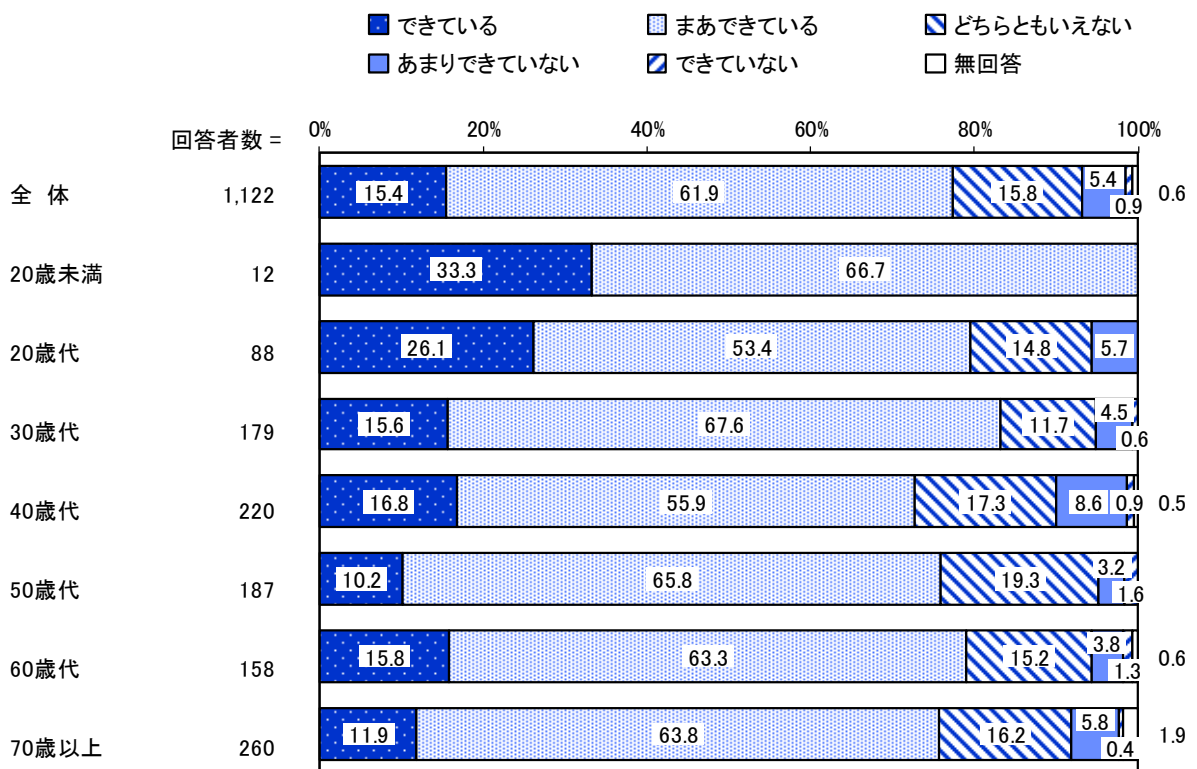
日頃から笑顔で心豊かな生活ができているかについては、「できている」が15.4%、「まあできている」が61.9%となっており、合わせると77.3%となっている。

【年齢別】

○年齢別でみると、20歳未満で「できている」が33.3%と全体より17.9ポイント多く、50歳代で10.2%と全体より5.2ポイント少ない。

○一方で、40歳代で「あまりできていない」が他の年代より多く、8.6%となっている。

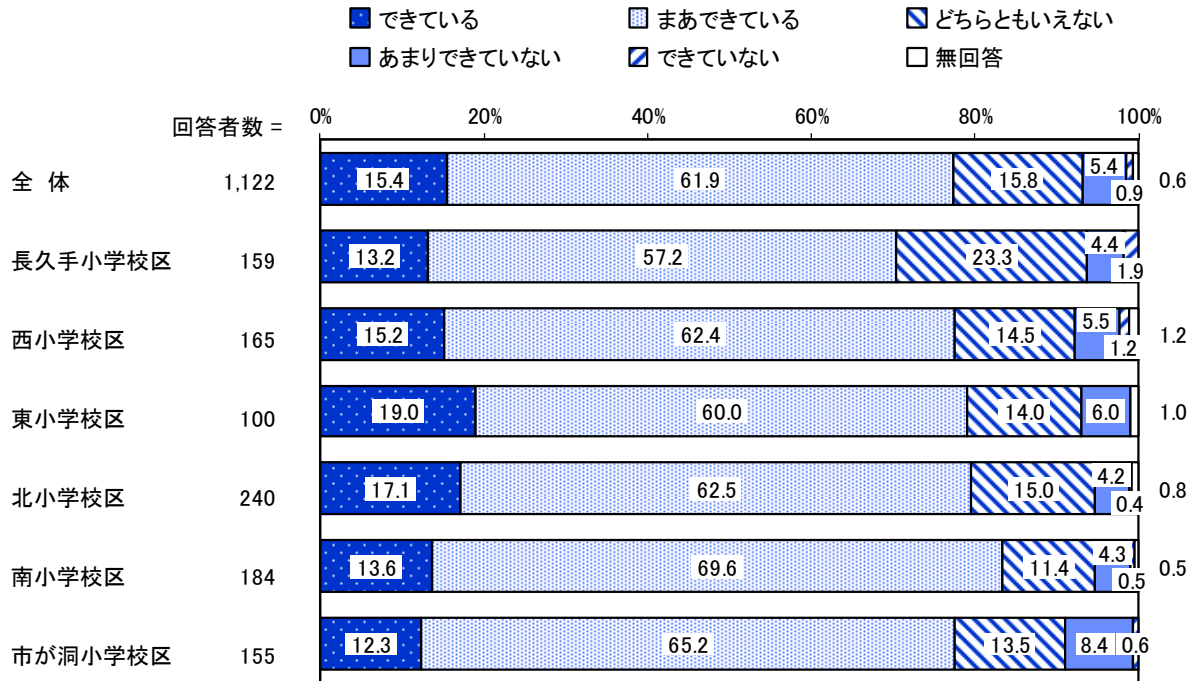
図4-1-1 笑顔で心豊かな生活（年齢別）



【小学校区別】

○小学校区別で見ると、長久手小学校区で「できている」が13.2%と全体より2.2ポイント少なく、「できている」、「まあできている」の合計も70.4%と最も少ない。

図4-1-2 笑顔で心豊かな生活（小学校区別）



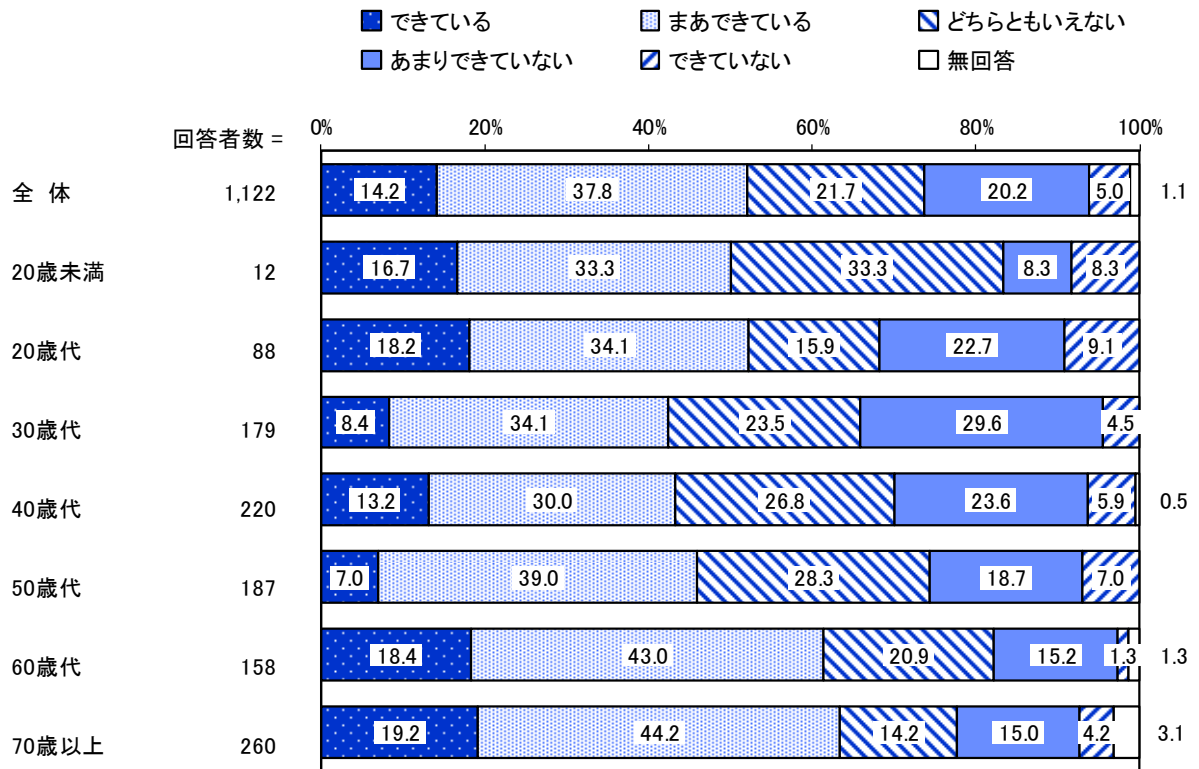
②体を動かしたり運動したりと健康的な暮らしができていますか。

体を動かしたり運動したりと健康的な暮らしができているかについては、「できている」が14.2%、「まあできている」が37.8%となっており、合わせると52.0%となっている。

【年齢別】

○年齢別で見ると、70歳以上で「できている」が19.2%と全体より5.0ポイント多く、50歳代で7.0%と全体より7.2ポイント少ない。

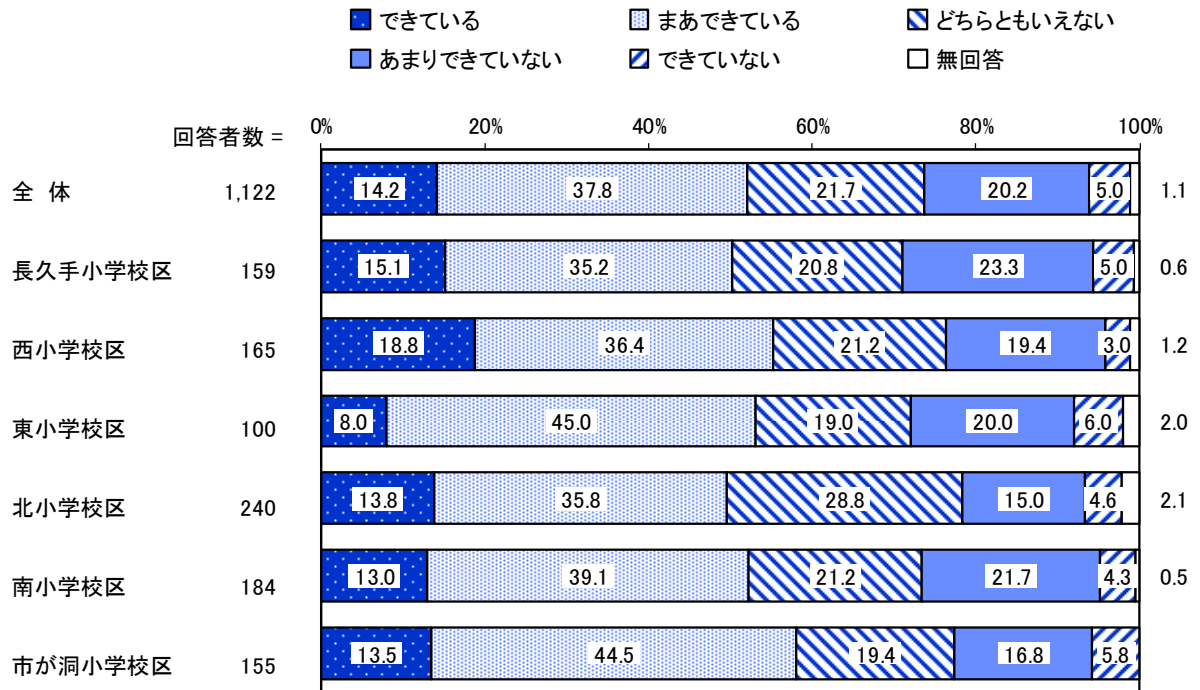
図4-1-3 健康的な暮らし（年齢別）



【小学校区別】

- 小学校区別で見ると、北小学校区で「できている」が13.8%と全体より0.4ポイント少なく、「できている」、「まあできている」の合計も49.6%と最も少ない。
- 長久手小学校区では「あまりできていない」が23.3%と全体より3.1ポイント多く、「あまりできていない」、「できていない」の合計も28.3%と最も多い。

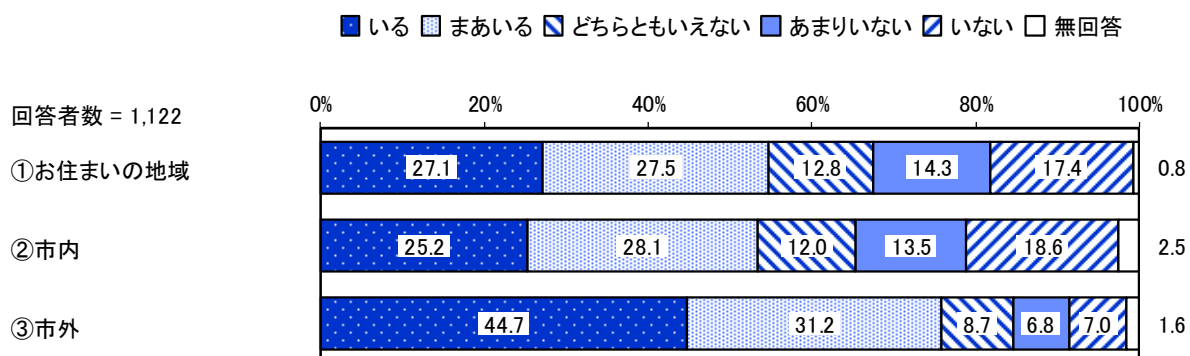
図4-1-4 健康的な暮らし（小学校区別）



③困ったときに頼りになる（悩みを相談したり助けてと言ったりできる）知人・友人はいますか。お住まいの地域、市内、市外それぞれについてお答えください。

困ったときに頼りになる人については、『③市外』の人で「いる」が44.7%、「まあいる」が31.2%となっており、合わせると75.9%となっている。また、『②市内』の人で「あまりいない」、「いない」の合計が32.1%となっている。

図4-1-5 頼りになる知人・友人



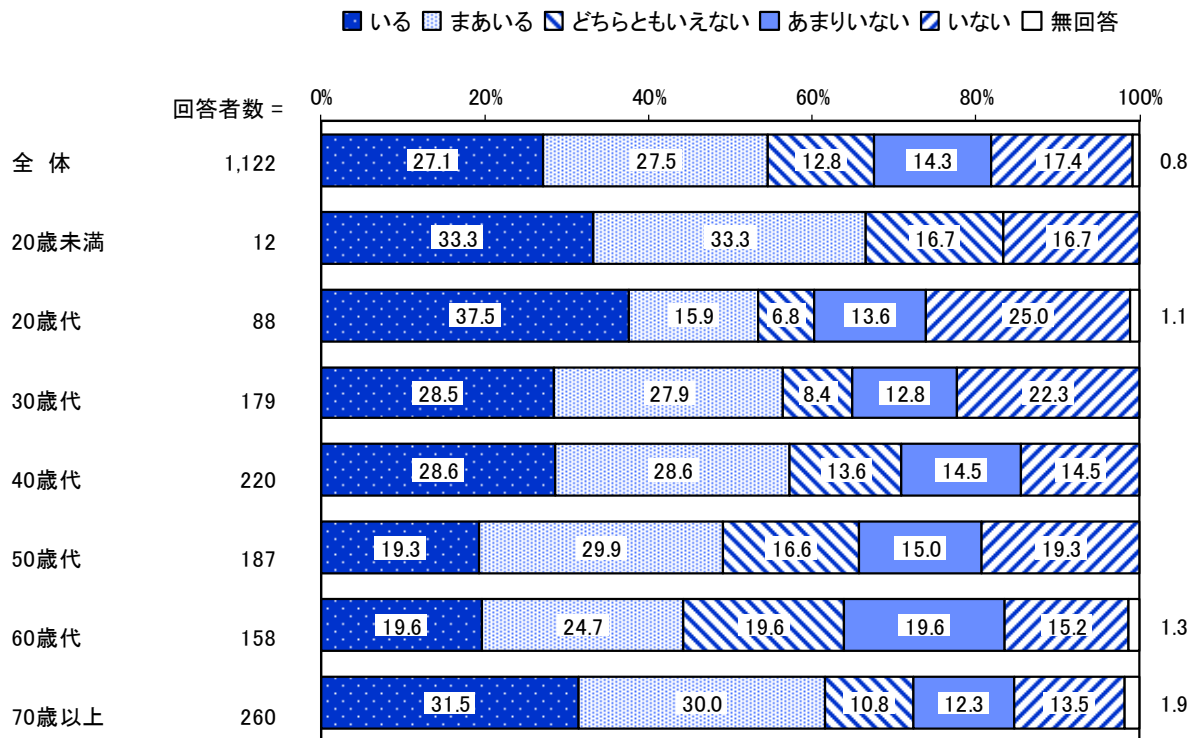
ア. お住まいの地域

【年齢別】

○年齢別で見ると、20歳代で「いる」が37.5%と全体より10.4ポイント多く、50歳代、60歳代ではそれぞれ19.3%、19.6%と全体より7.5ポイント以上少ない。

○一方で、20歳代では、「あまりいない」、「いない」の合計が他の年代より多く、38.6%となっており、全体より6.9ポイント多くなっている。

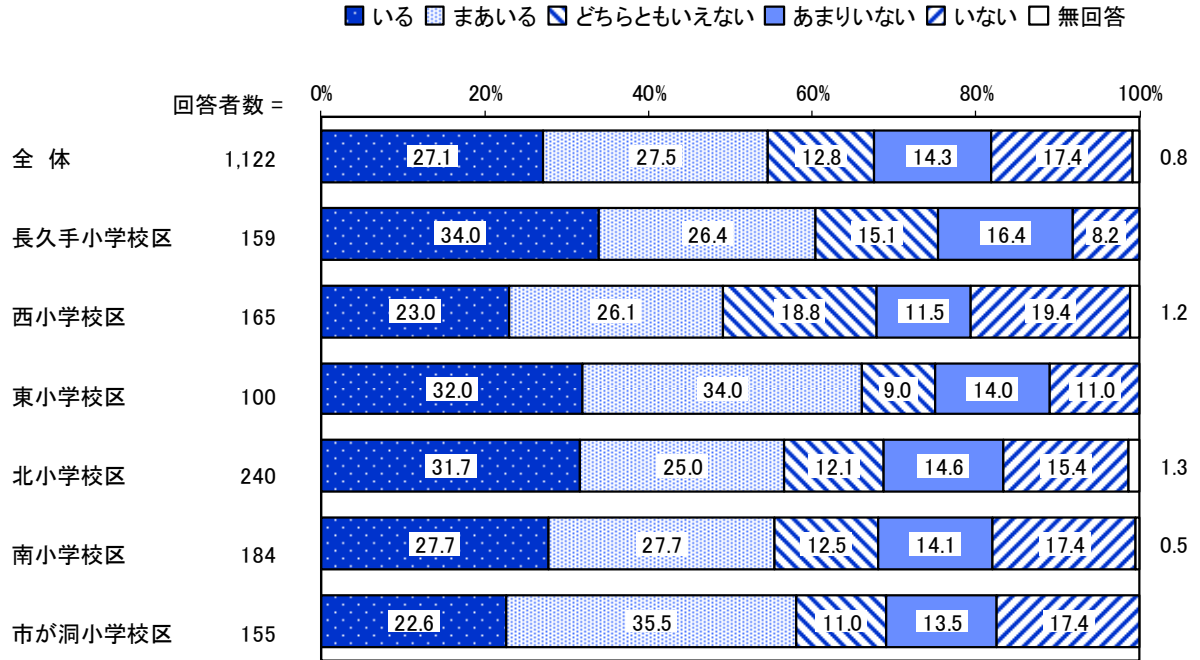
図4-1-6 居住地での頼りになる知人・友人（年齢別）



【小学校区別】

○小学校区別で見ると、西小学校区で「いる」が23.0%と全体より4.1ポイント少なく、「いる」、「まあいる」の合計も49.1%と最も少ない。

図4-1-7 居住地域での頼りになる知人・友人（小学校区別）



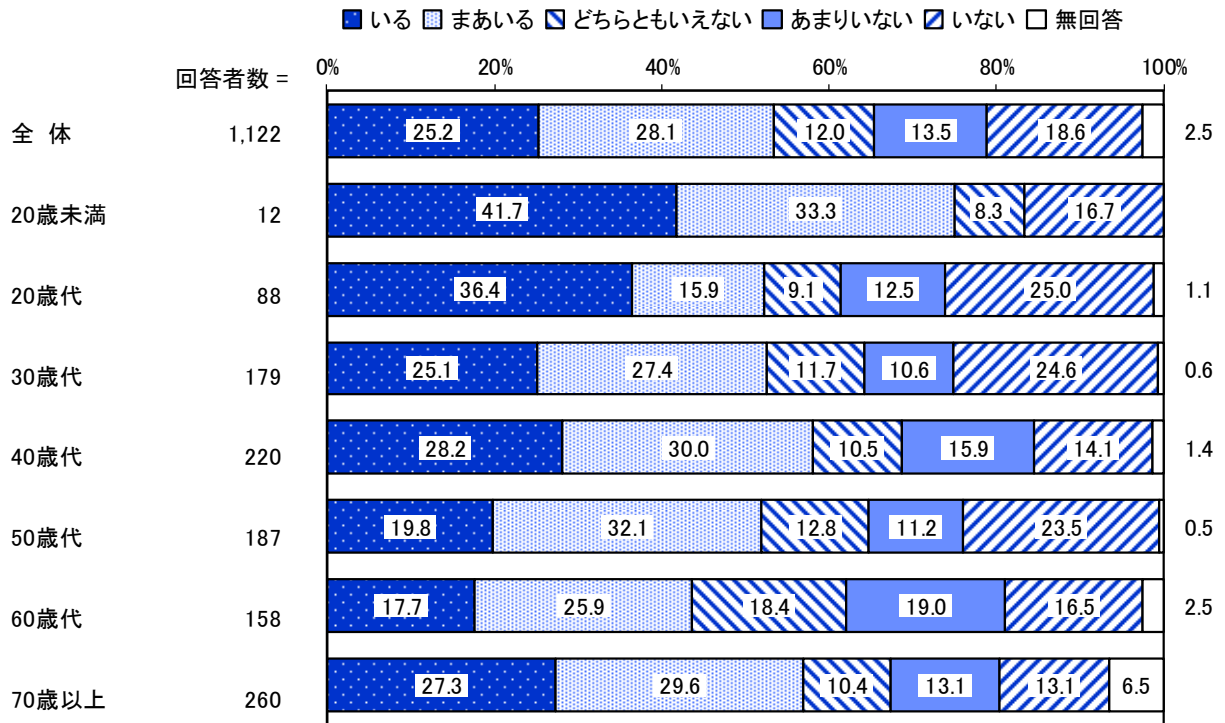
イ. 市内

【年齢別】

○年齢別で見ると、20歳未満で「いる」が41.7%と全体より16.5ポイント多く、60歳代では17.7%と全体より7.5ポイント少ない。

○一方で、20歳代では、「あまりいない」、「いない」の合計が他の年代より多く、37.5%となっており、全体より5.4ポイント多くなっている。

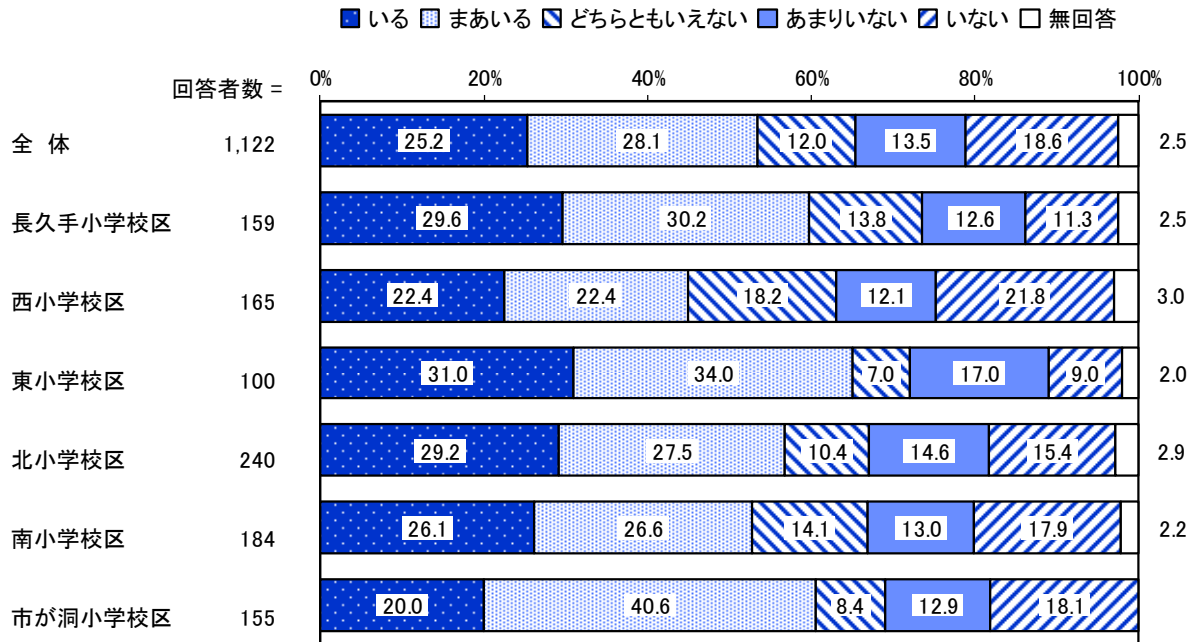
図4-1-8 市内での頼りになる知人・友人（年齢別）



【小学校区別】

○小学校区別で見ると、西小学校区で「いる」が22.4%と全体より2.8ポイント少なく、「いる」、「まあいる」の合計も44.8%と最も少ない。

図4-1-9 市内での頼りになる知人・友人（小学校区別）



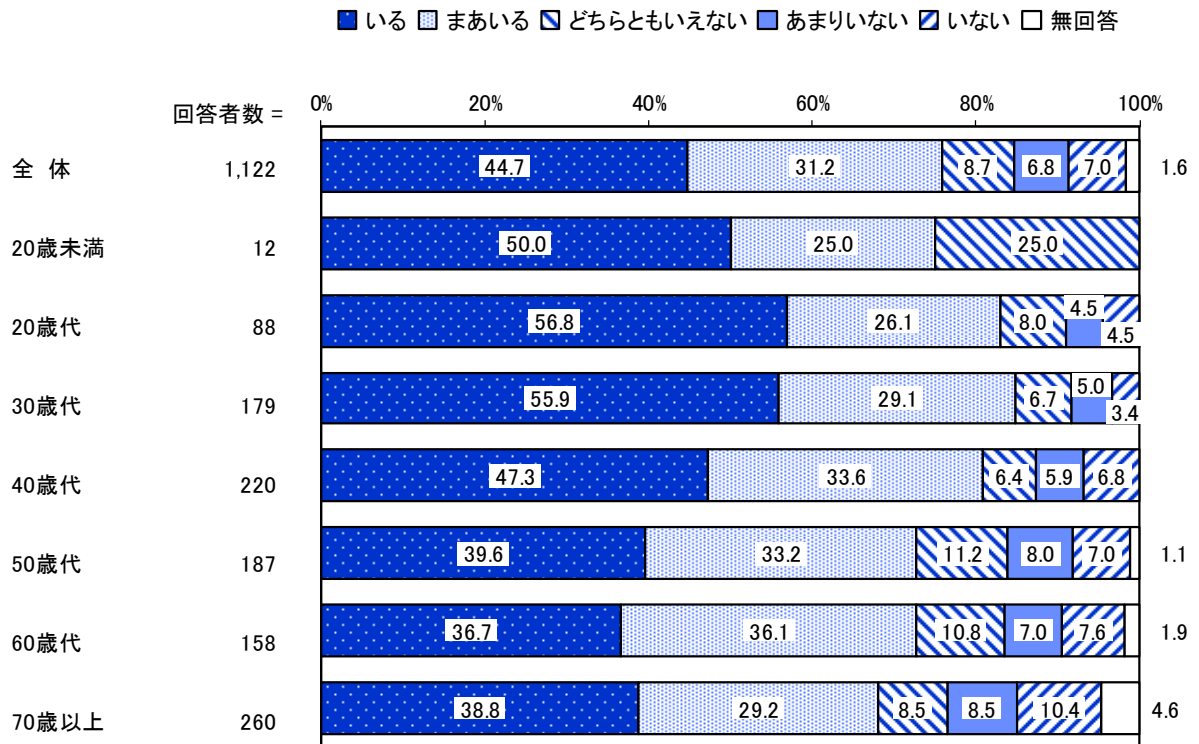
ウ. 市外

【年齢別】

○年齢別でみると、20歳代で「いる」が56.8%と全体より12.1ポイント多く、60歳代では36.7%と全体より8.0ポイント少ない。

○一方で、70歳以上では、「あまりいない」、「いない」の合計が他の年代より多く、18.9%となっており、全体より5.1ポイント多くなっている。

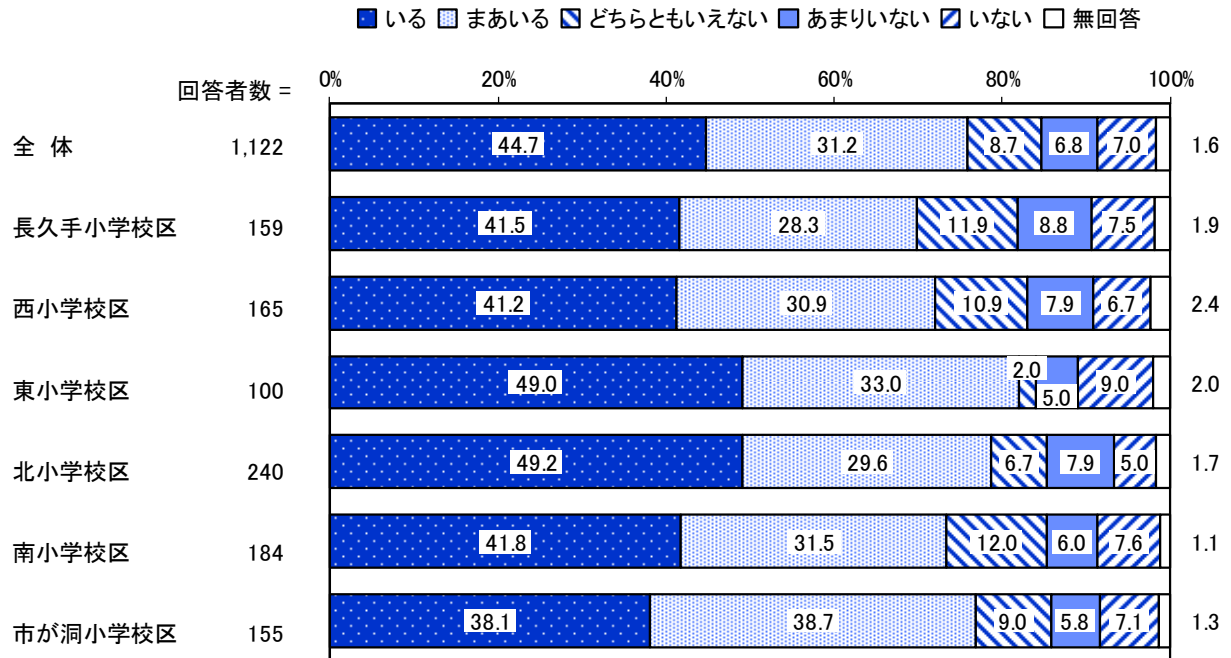
図4-1-10 市外での頼りになる知人・友人（年齢別）



【小学校区別】

○小学校区別で見ると、北小学校区で「いる」が49.2%と全体より4.5ポイント多く、市が洞小学校区では38.1%と全体より6.6ポイント少ない。

図4-1-11 市外での頼りになる知人・友人（小学校区別）



④地域で困った人への助け合いはできていますか。

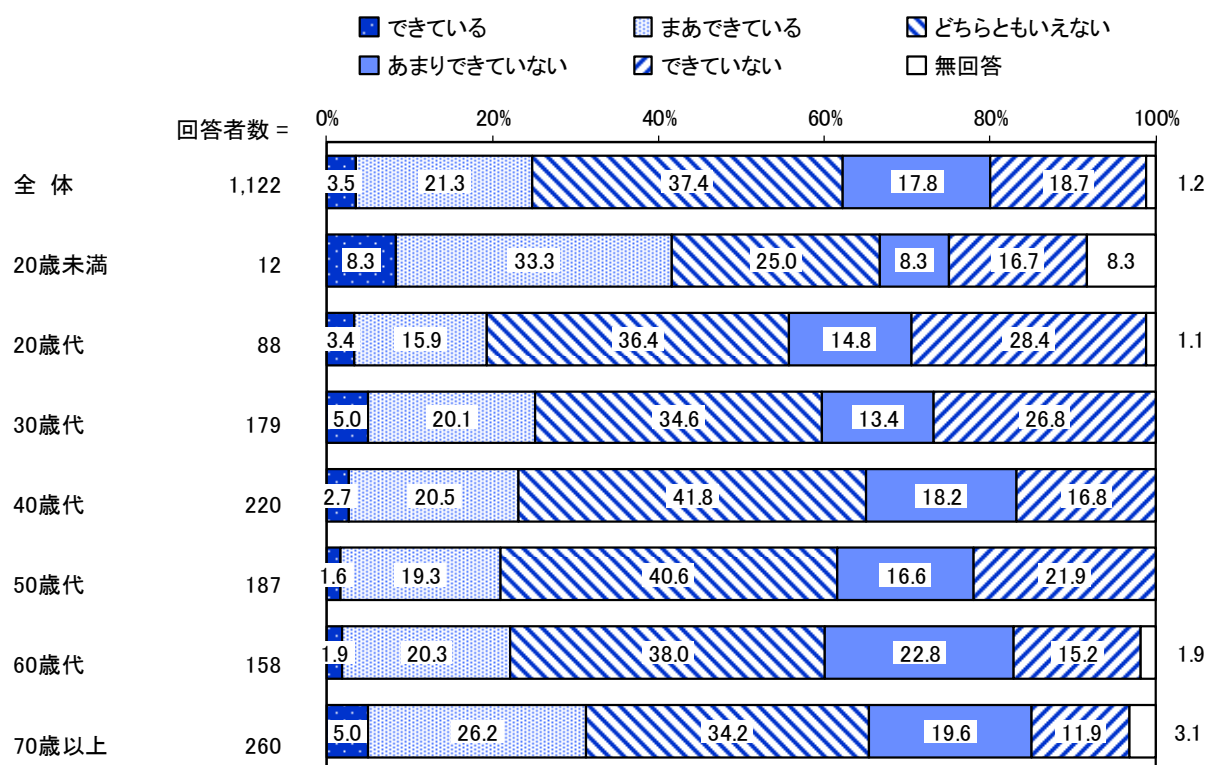
地域で困った人への助け合いはできているかについて、「あまりできていない」が17.8%、「できていない」が18.7%となっており、合わせると36.5%となっている。

【年齢別】

○年齢別で見ると、20歳未満で「できている」が8.3%と全体より4.8ポイント多く、50歳代では1.6%と全体より1.9ポイント少ない。

○一方で、20歳代で「できていない」が28.4%と全体より9.7ポイント多く、70歳以上では11.9%と全体より6.8ポイント少ない。

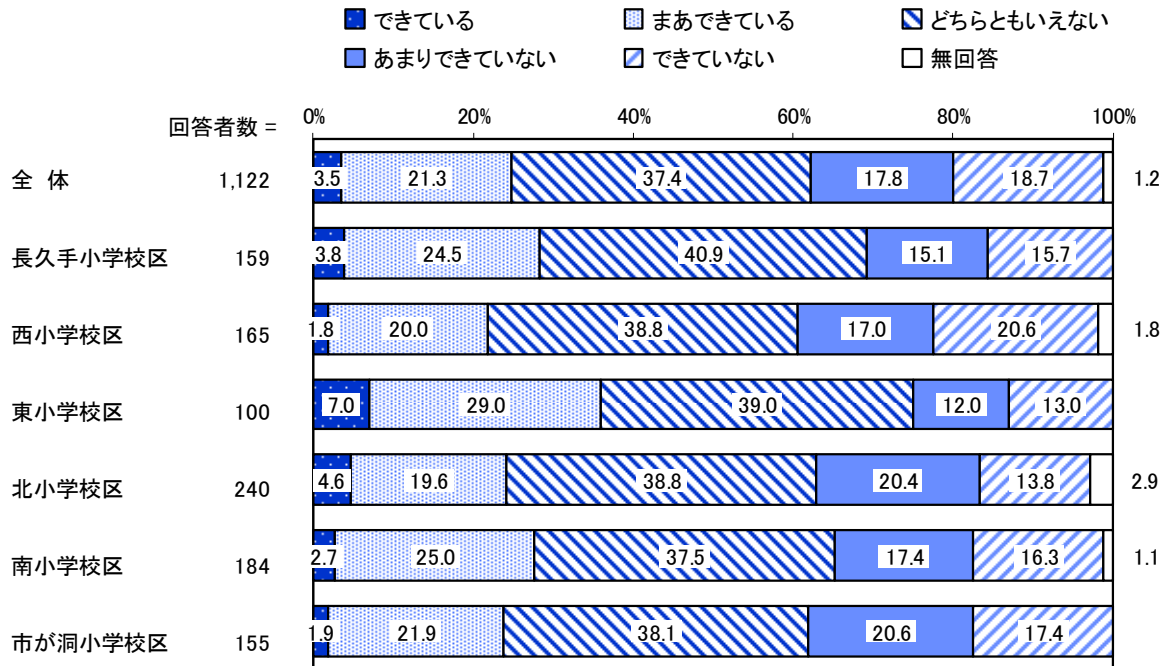
図4-1-12 地域での助け合い（年齢別）



【小学校区別】

- 小学校区別で見ると、東小学校区で「できている」が7.0%と全体より3.5ポイント多く、「できている」、「まあできている」の合計も36.0%と最も多い。
- 市が洞小学校区では「あまりできていない」が20.6%と全体より2.8ポイント多く、「あまりできていない」、「できていない」の合計も38.0%と最も多い。

図4-1-13 地域での助け合い（小学校区別）



⑤日常的にあいさつをしていますか。

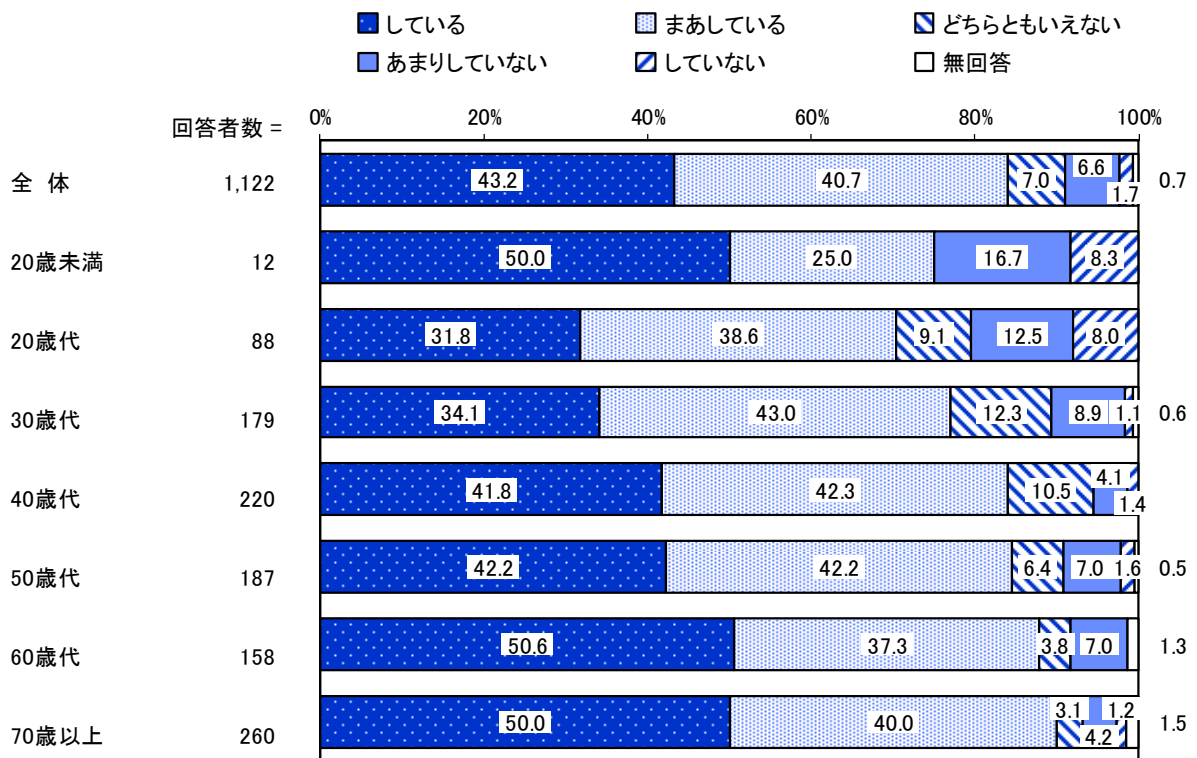
日常的なあいさつの有無については、「している」が43.2%、「まあしている」が40.7%となっており、合わせると83.9%となっている。

【年齢別】

○年齢別で見ると、20歳未満と70歳以上で「している」が50.0%と全体より6.8ポイント多く、20歳代で31.8%と全体より11.4ポイント少ない。

○年齢が低くなるほど「あまりしていない」、「していない」が多い傾向にある。

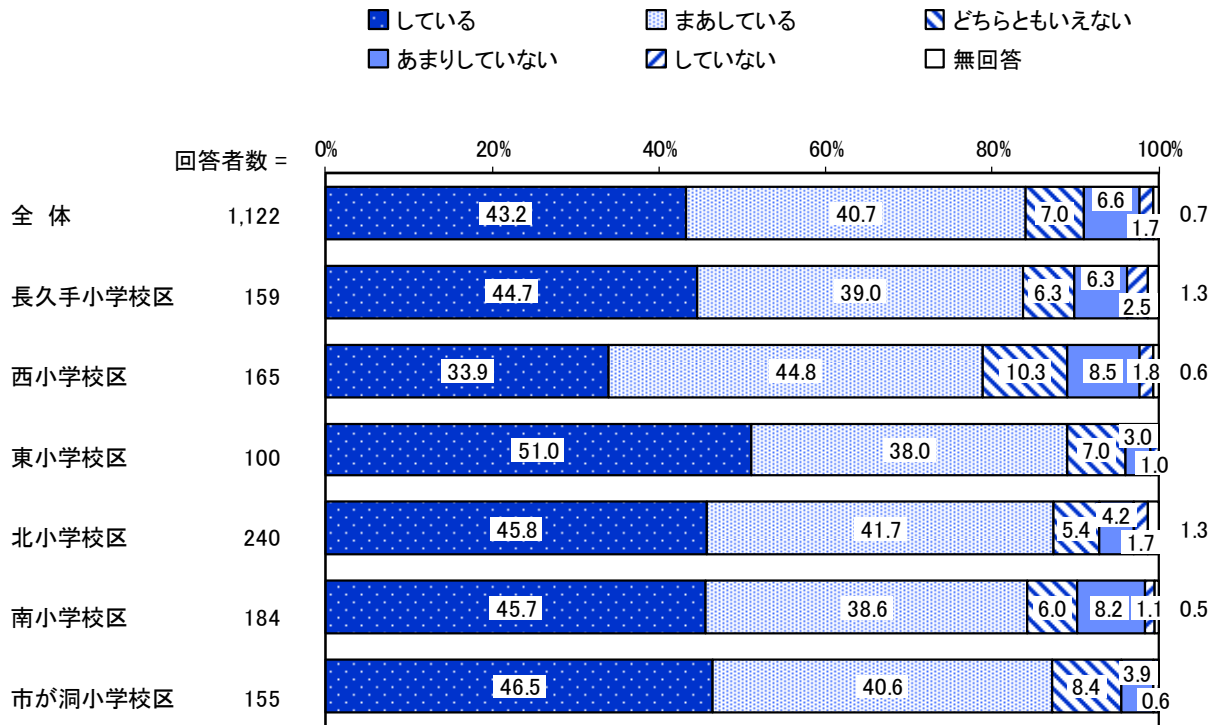
図4-1-14 日常的なあいさつ（年齢別）



【小学校区別】

○小学校区別で見ると、西小学校区で「している」が33.9%と全体より9.3ポイント少なく、「している」、「まあしている」の合計も78.7%と最も少ない。

図4-1-15 日常的なあいさつ（小学校区別）



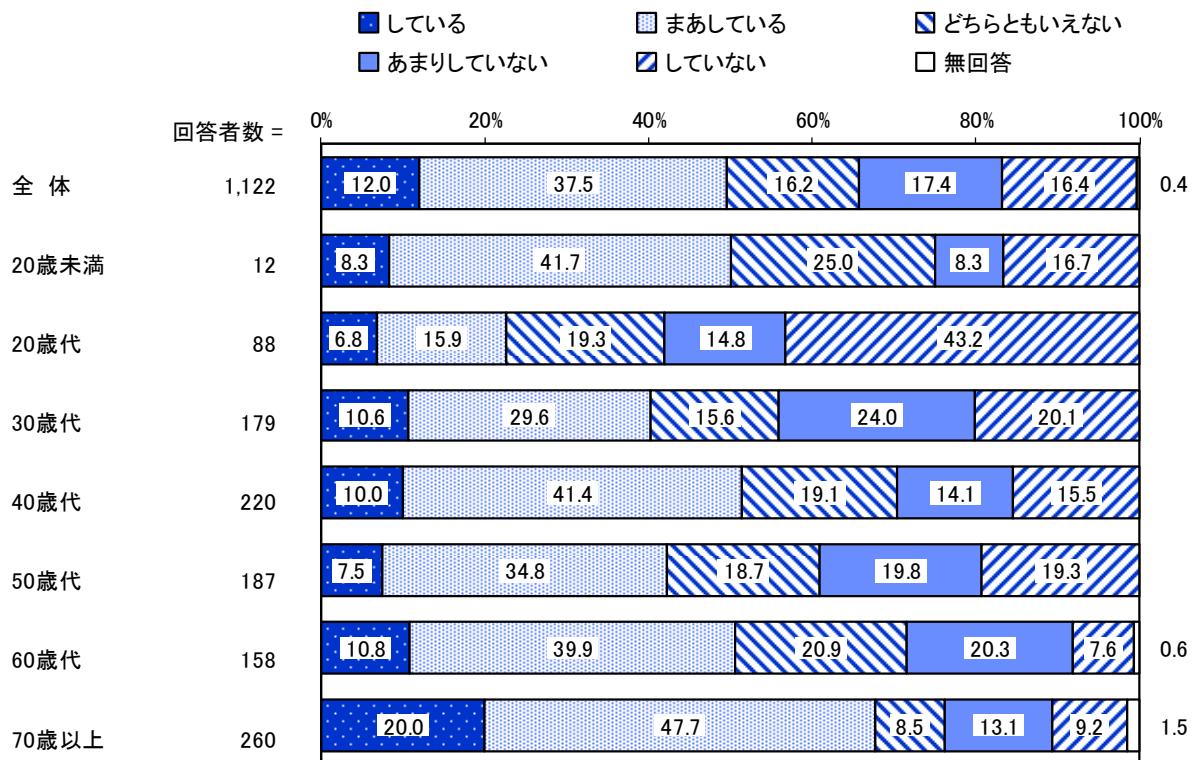
⑥日常的に近所づきあいをしていますか。

日常的な近所づきあいの有無については、「している」が12.0%、「まあしている」が37.5%となっており、合わせると49.5%となっています。

【年齢別】

○年齢別で見ると、年齢が高くなるほど「している」、「まあしている」の合計が多い傾向にある。

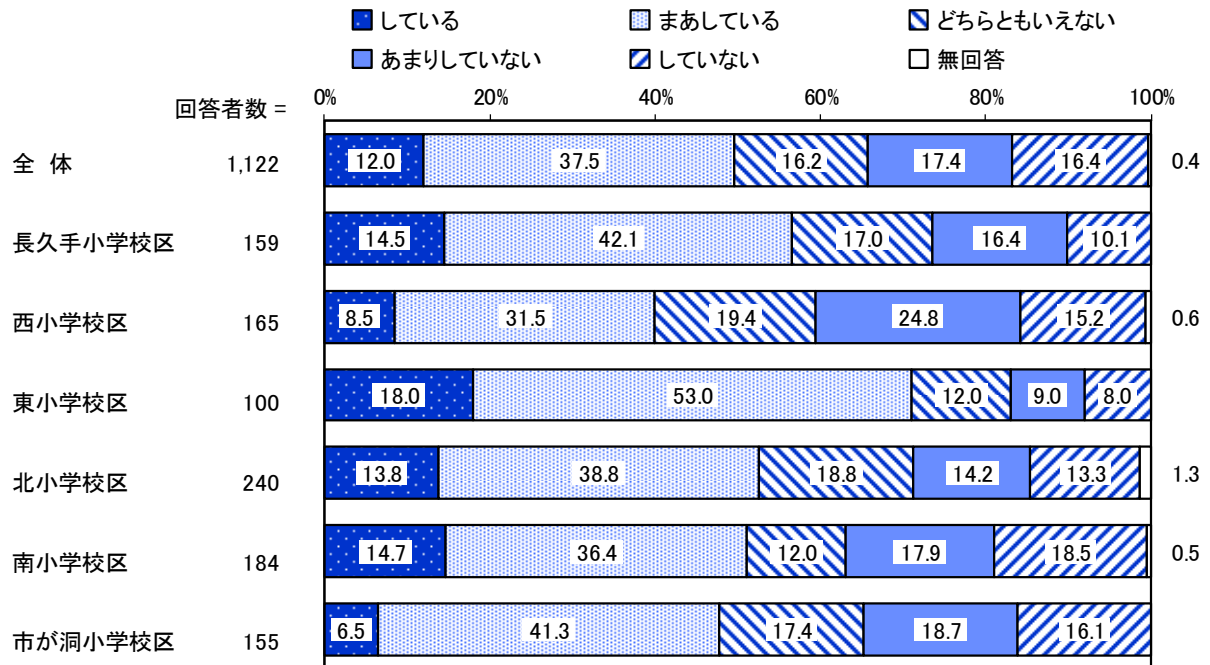
図4-1-16 日常的な近所づきあい（年齢別）



【小学校区別】

○小学校区別で見ると、西小学校区で「している」が8.5%と全体より3.5ポイント少なく、「している」、「まあできている」の合計も40.0%と最も少ない。

図4-1-17 日常的な近所づきあい（小学校区別）



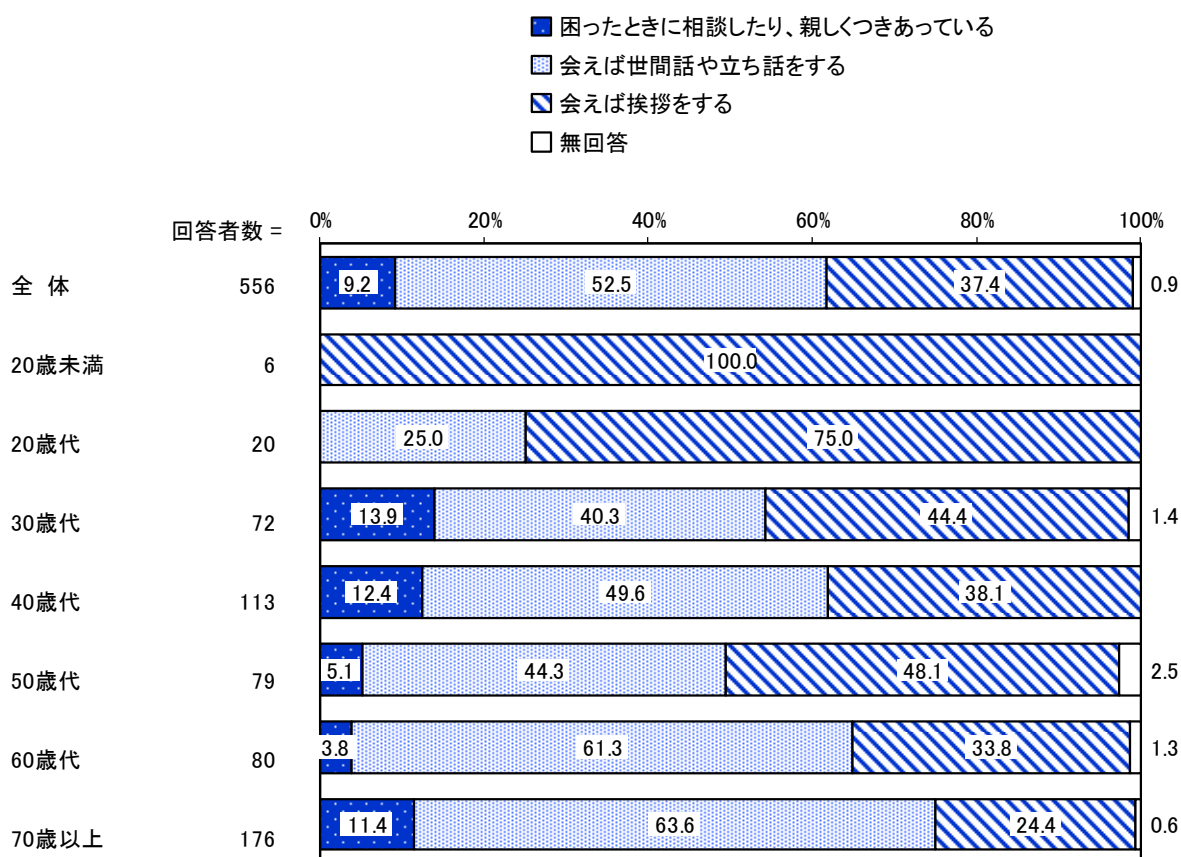
(6) についてあなたは、隣近所と普段どのようなつきあい方をしていますか。

日常的に近所づきあいを「している」「まあしている」と回答した方については、「会えば世間話や立ち話をする」が52.5%と最も多く、次いで「会えば挨拶をする」(37.4%)と続いている。

【年齢別】

- 年齢別でみると、年齢が高くなるほど「会えば世間話や立ち話をする」が多い傾向にある。
- 年齢が低くなるほど「会えば挨拶をする」が多い傾向にある。

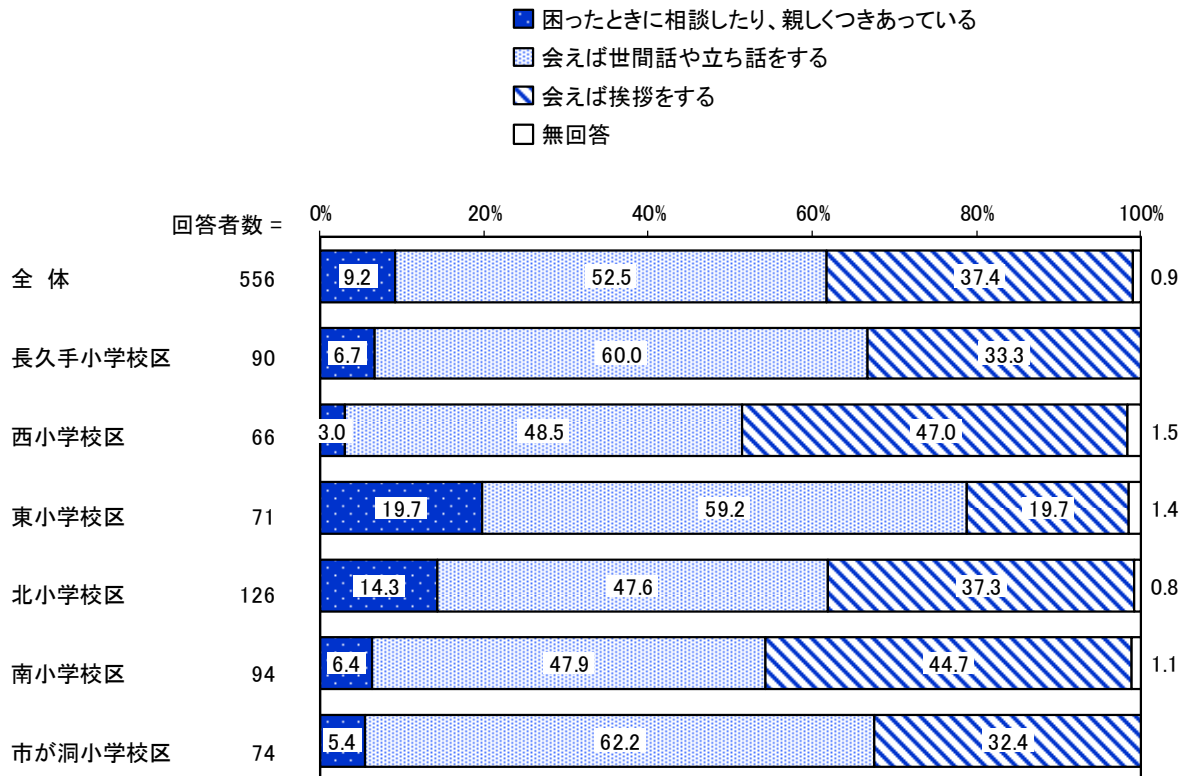
図4-1-18 隣近所とのつきあい（年齢別）



【小学校区別】

- 小学校区別で見ると、他に比べ、東小学校区で「困ったときに相談したり、親しくつきあっている」(19.7%)が全体より10.5ポイント多い。
- 市が洞小学校区では、「会えば世間話や立ち話をする」が最も多い。
- 西小学校区では「会えば挨拶をする」(47.0%)が全体より9.6ポイント多い。

図4-1-19 隣近所とのつきあい(小学校区別)



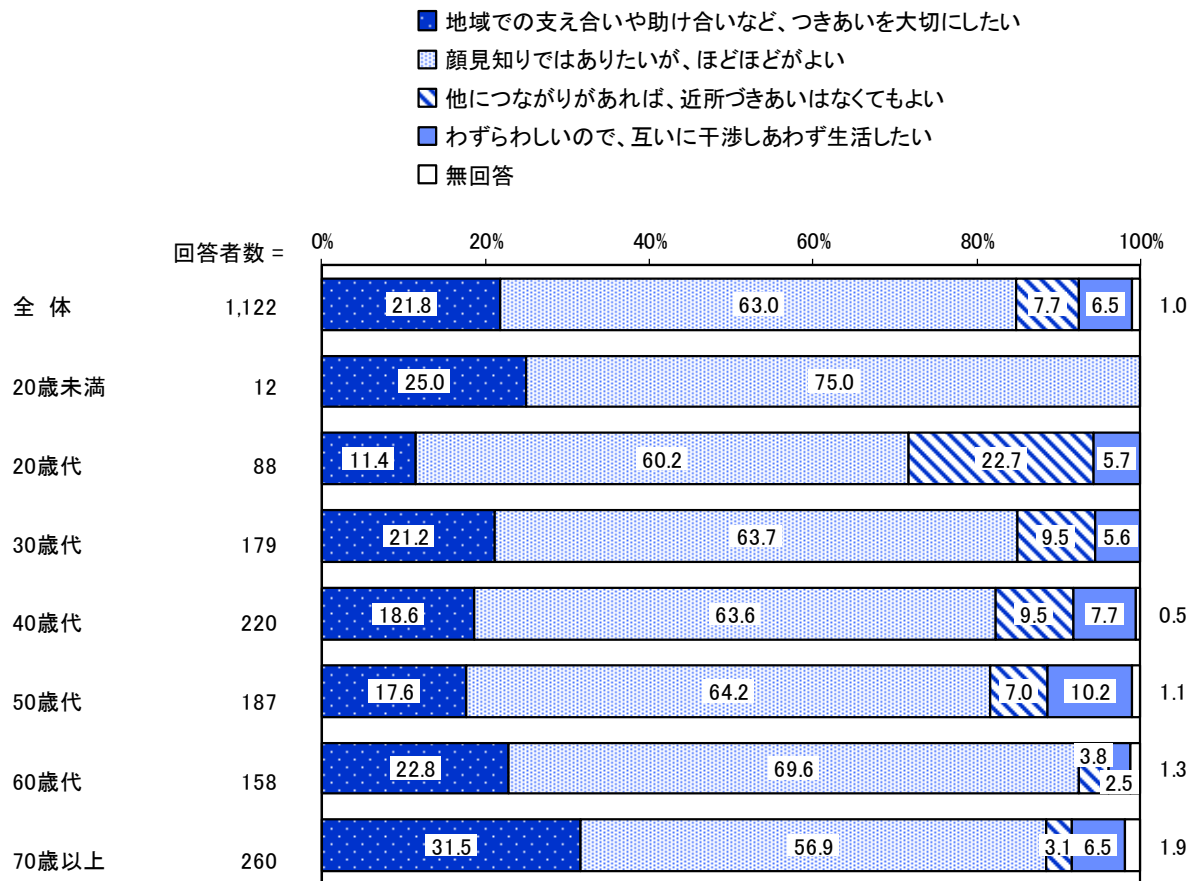
⑦あなたは、隣近所とのつきあい方についてどのような思いがありますか。

隣近所とのつきあい方に対する思いについては、「顔見知りではありたいが、ほどほどがよい」が63.0%と最も多く、次いで「地域での支え合いや助け合いなど、つきあいを大切にしたい」(21.8%)と続いている。

【年齢別】

- 年齢別でみると、70歳以上で「地域での支え合いや助け合いなど、つきあいを大切にしたい」が多くなっている。
- 20歳未満で「顔見知りではありたいが、ほどほどがよい」が最も多く、75.0%と全体より12.0ポイント多くなっている。
- 20歳代では「他につながりがあれば、近所づきあいはなくてもよい」が最も多く、22.7%と全体より15.0ポイント多くなっている。

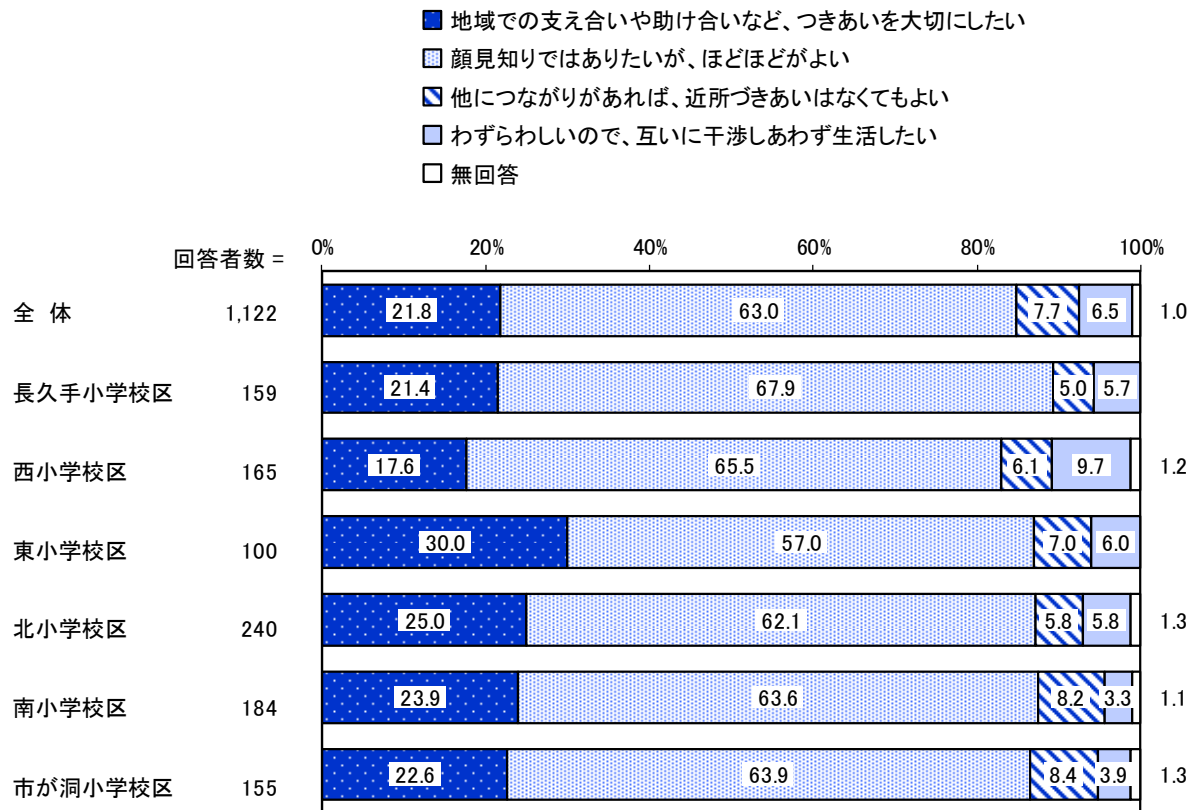
図4-1-20 隣近所とのつきあい（年齢別）



【小学校区別】

- 小学校区別でみると、いずれの小学校区でも「顔見知りではありたいが、ほどほどがよい」が最も多い。
- 東小学校区では「地域での支え合いや助け合いなど、つきあいを大切にしたい」(30.0%)が全体より多い。

図4-1-21 隣近所とのつきあい（小学校区別）



⑧あなたは、近所づきあいや地域とのつながりに満足していますか。

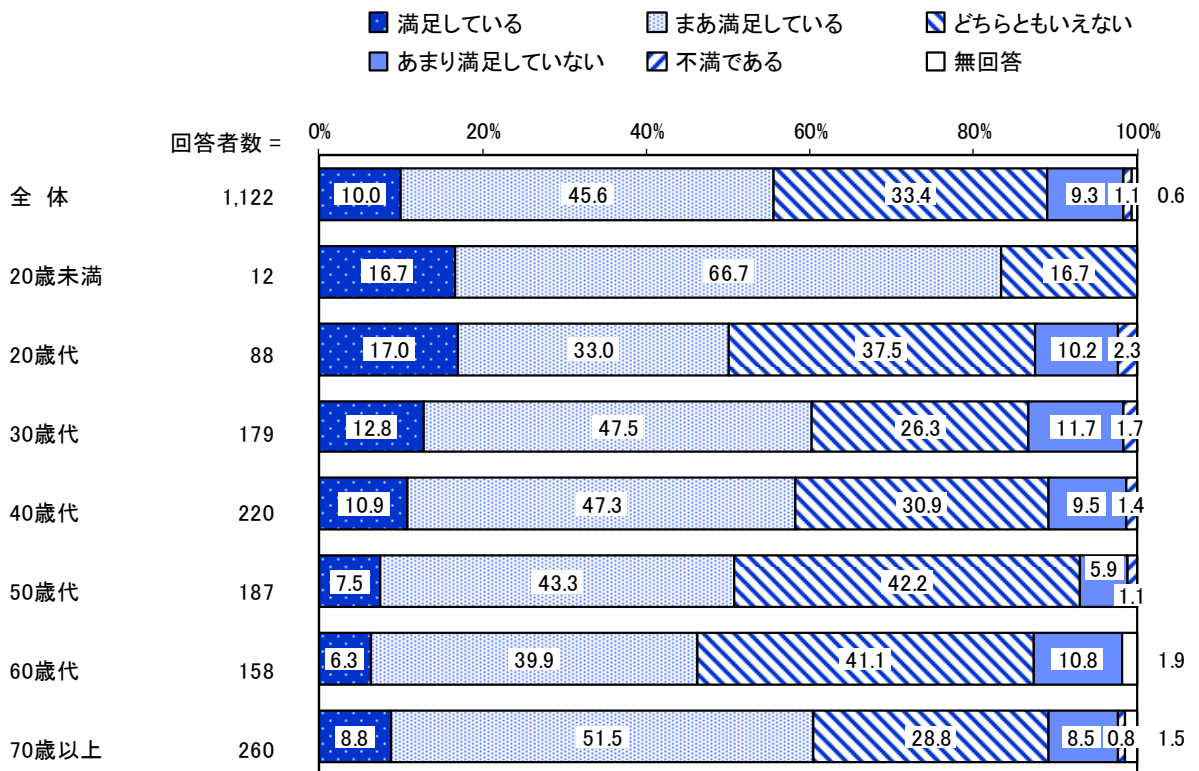
近所づきあいや地域とのつながりに対する満足度については、「満足している」が10.0%、「まあ満足している」が45.6%になっており、合わせると55.6%となっている。

【年齢別】

○年齢別で見ると、20歳未満で「満足している」が16.7%と全体より6.7ポイント多く、60歳代で6.3%と全体より3.7ポイント少ない。

○一方で、30歳代では、「あまり満足していない」が他の年代より多く、11.7%となっている。

図4-1-22 隣近所とのつきあい（年齢別）

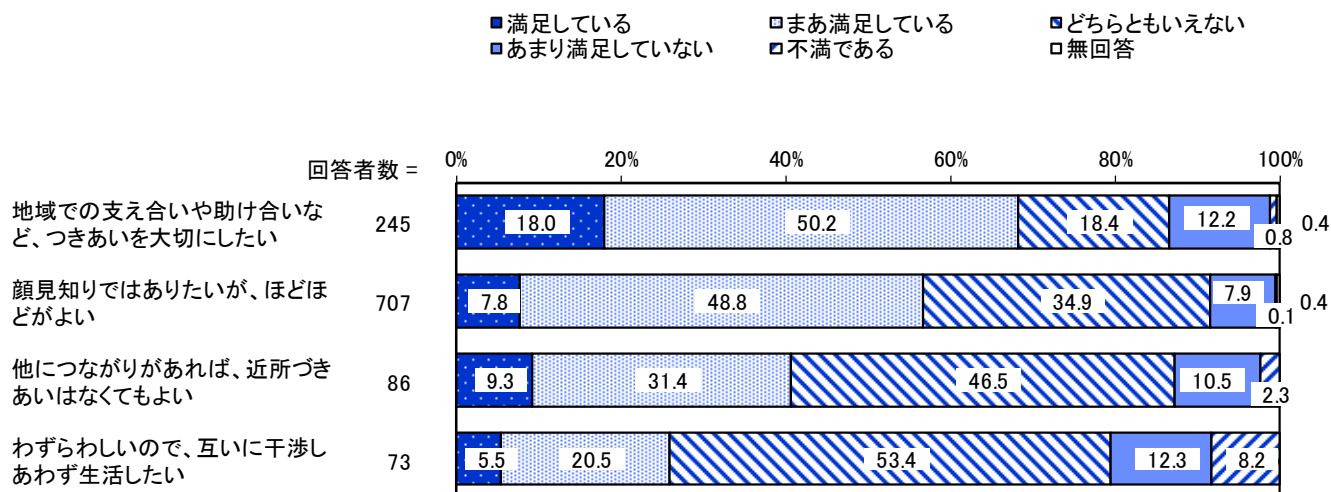


【近所づきあいについて思うこと別】

○「地域での支え合いや助け合いなど、つきあいを大切にしたい」と回答した人は、他に比べて、満足している（「満足している」と「まあ満足している」の合計）の割合が高い。

○「わずらわしいので、互いに干渉しあわず生活したい」と回答した人は、他に比べて、不満である（「あまり満足していない」と「不満である」の合計）の割合が高い。

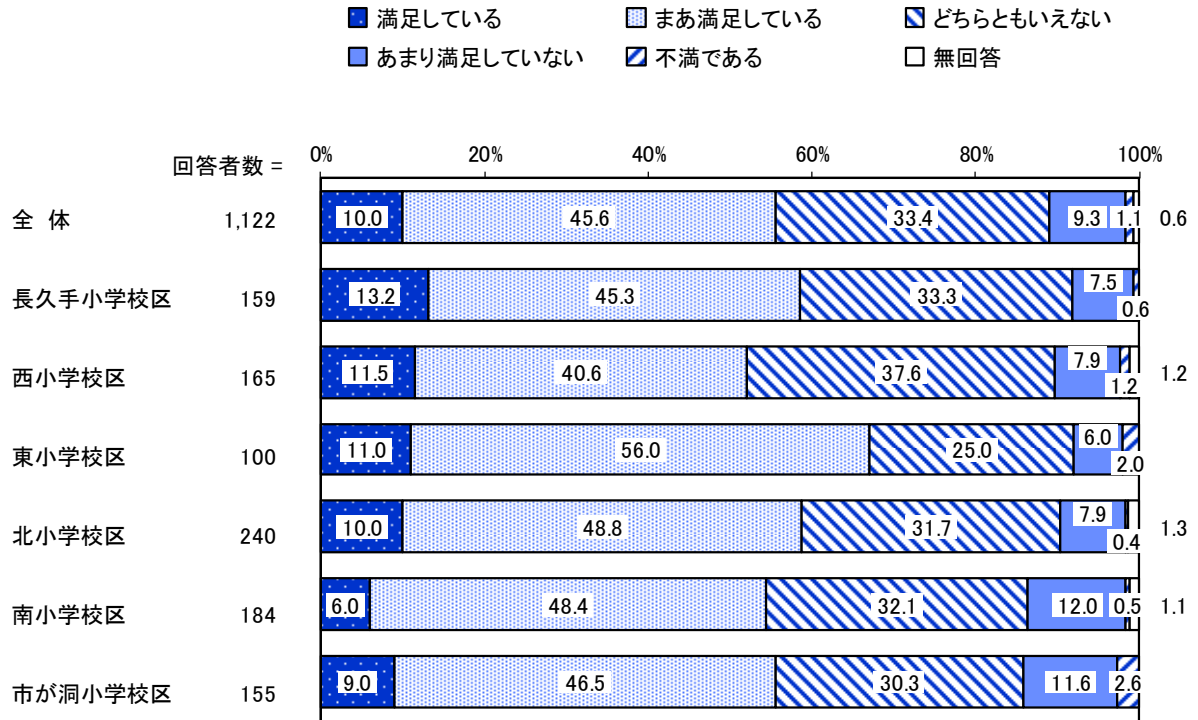
○近所づきあいに重点を置かない人ほど、「どちらともいえない」が多くなっている。



【小学校区別】

○小学校区別で見ると、南小学校区で「満足している」が6.0%と全体より4.0ポイント少なく、西小学校区では「満足している」、「まあ満足している」の合計が52.1%と最も少ない。

図4-1-23 隣近所とのつきあい（小学校区別）



⑨地域であなたに「たつせ」がありますか。

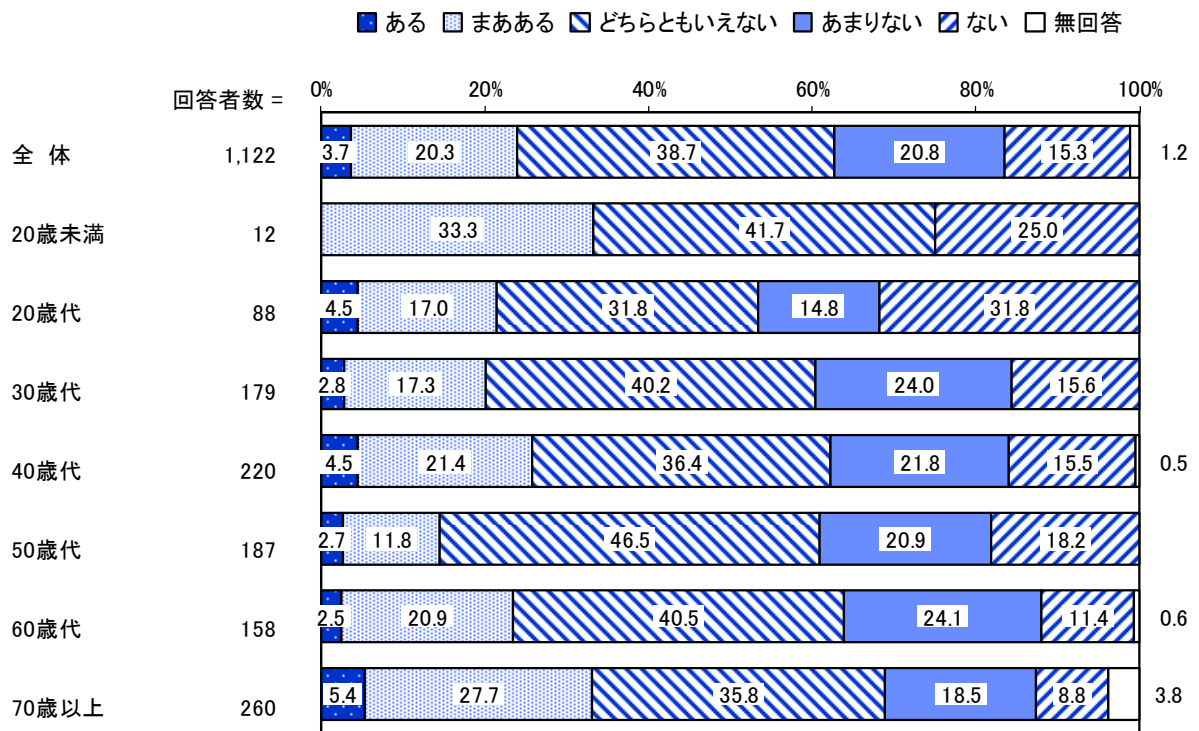
地域での“たつせ”については、「あまりない」が20.8%、「ない」15.3%となっており、合わせると36.1%となっている。

【年齢別】

○年齢別で見ると、20歳未満で「まあある」が33.3%と全体より13.0ポイント多く、50歳代で11.8%と全体より8.5ポイント少ない。

○一方で、20歳代では、「あまりない」、「ない」の合計が他の年代より多く、46.6%となっている。

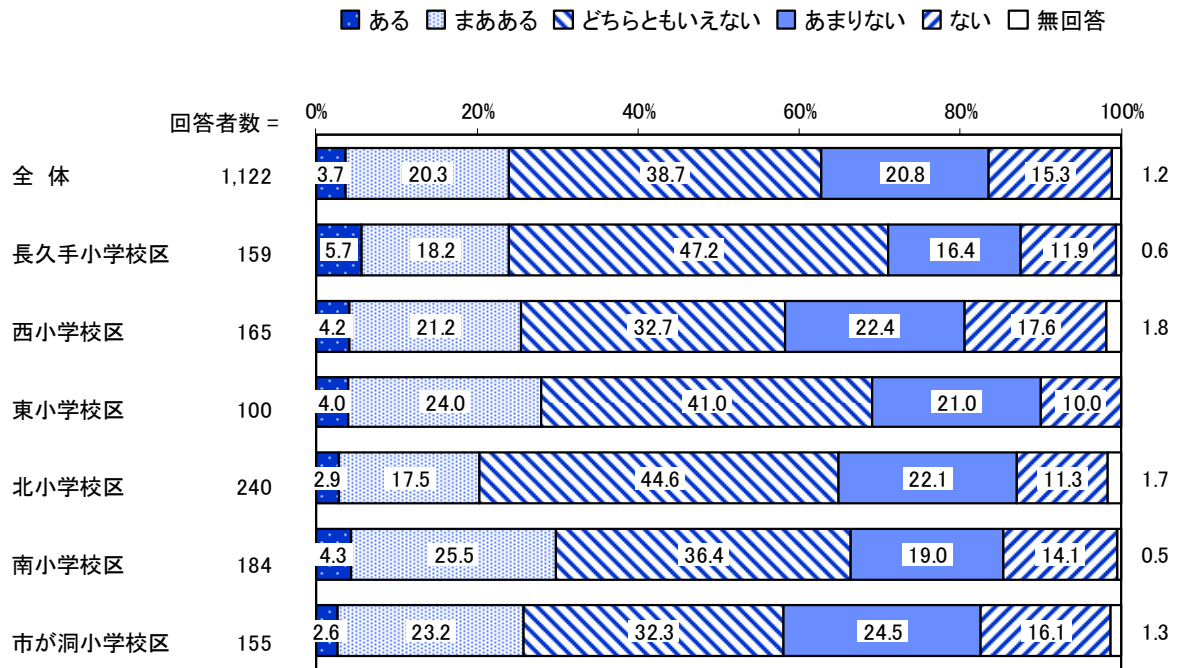
図4-1-24 地域での“たつせ”（年齢別）



【小学校区別】

- 小学校区別で見ると、北小学校区で「まあある」が17.5%と全体より2.8ポイント少なく、「ある」、「まあある」の合計も20.4%と最も少ない。
- 西小学校区と市が洞小学校区では「あまりない」、「ない」の合計（それぞれ、40.0%、40.6%）が全体よりも4.5ポイント以上多い。

図4-1-25 地域での“たつせ”（小学校区別）



⑩自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化、行事等）はありますか。

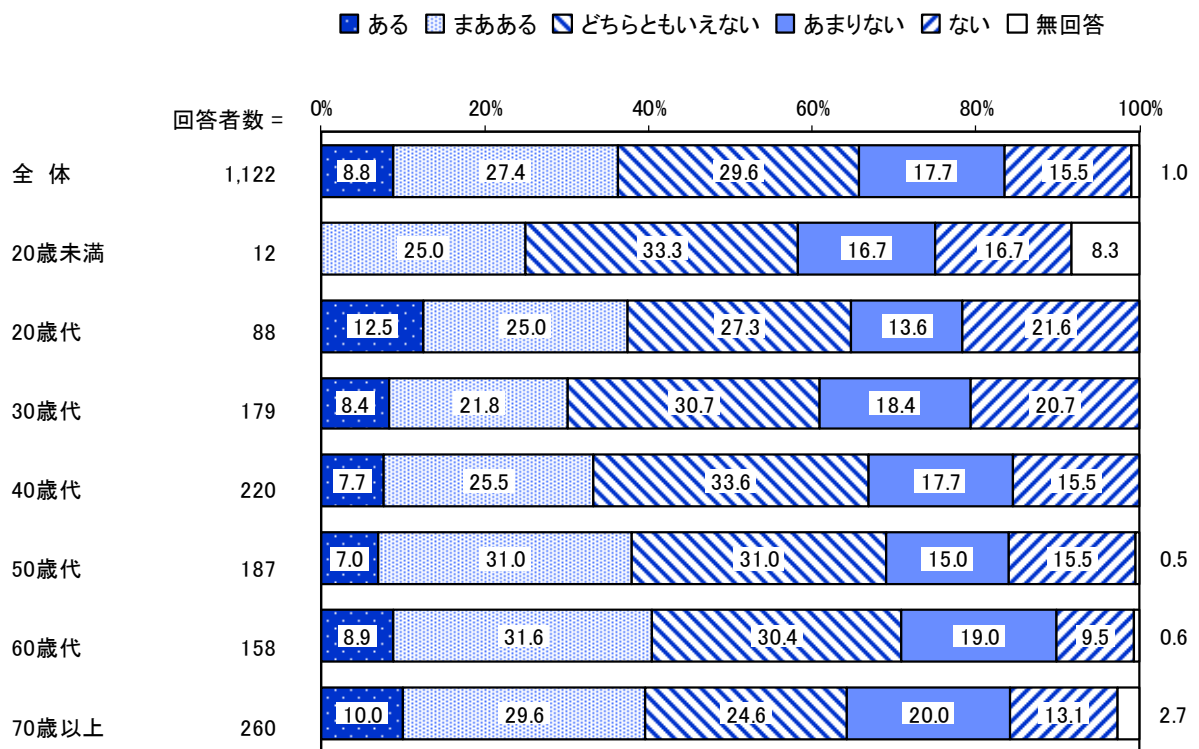
自慢したい地域の“宝”については、「ある」が8.8%、「まあある」が27.4%となっており、合わせると、36.2%となっている。

【年齢別】

○年齢別で見ると、20歳代で「ある」が12.5%と全体より3.7ポイント多く、50歳代で7.0%と全体より1.8ポイント少ない。

○一方で、70歳以上では、「あまりない」が20.0%と全体より2.3ポイント多く、20歳代で「ない」が21.6%と全体より6.1ポイント多い。

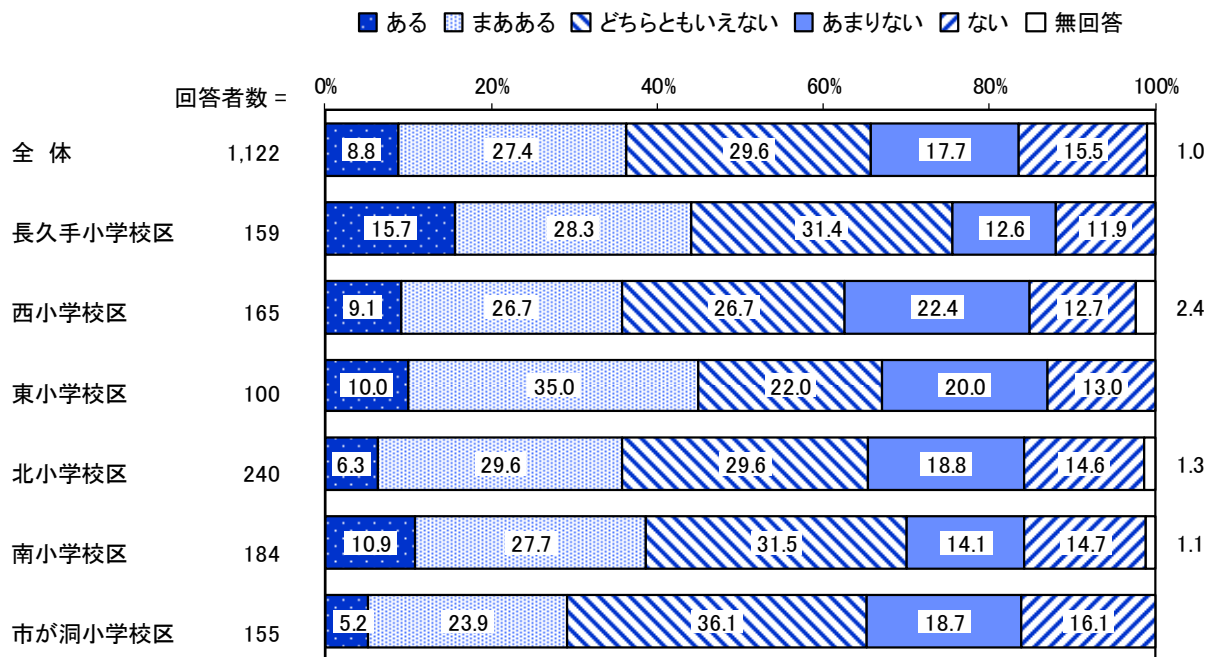
図4-1-26 地域の宝（年齢別）



【小学校区別】

- 小学校区別で見ると、市が洞小学校区で「ある」が5.2%と全体より3.6ポイント少なく、「ある」、「まあある」の合計も29.1%と最も少ない。
- 西小学校区では「あまりない」が22.4%と全体より4.7ポイント多く、「あまりない」、「ない」の合計も35.1ポイントと最も多い。

図4-1-27 地域の宝（小学校区別）



⑪地域の子どもとあなたとのコミュニケーションは十分とれていますか。

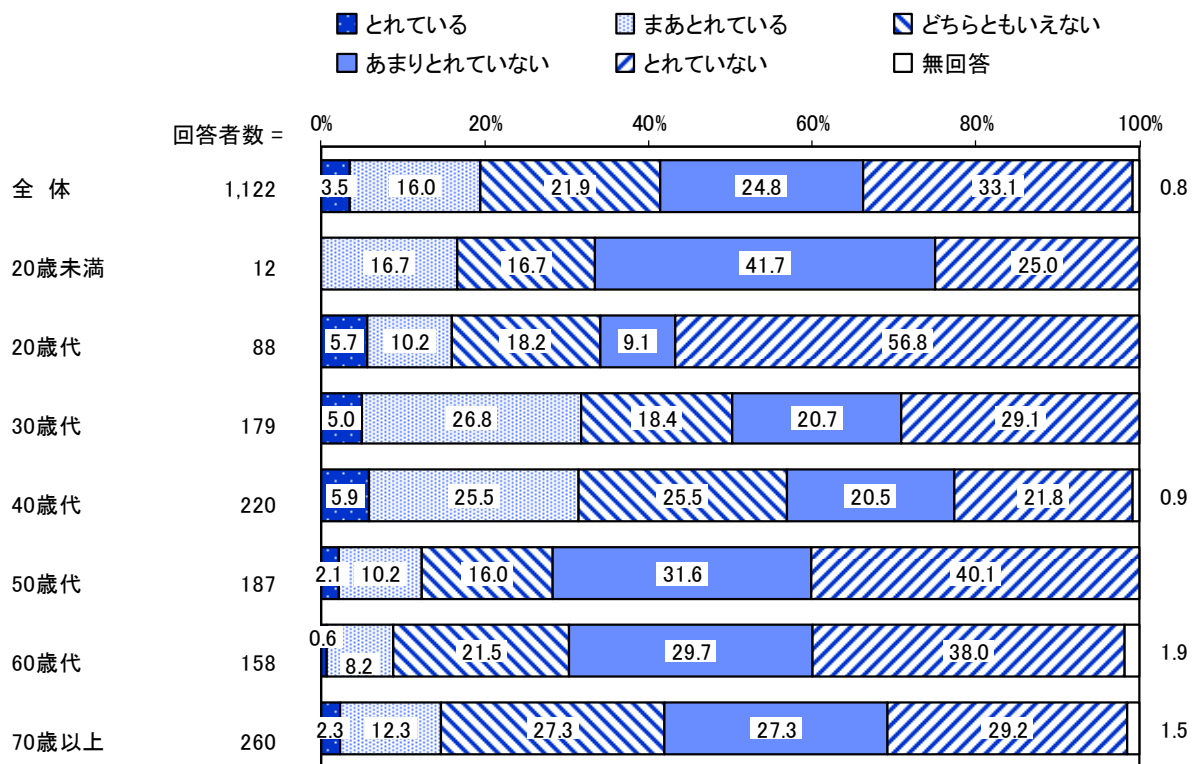
地域の子どもとのコミュニケーションについては、「あまりとれていない」が24.8%、「とれていない」33.1%となっており、合わせると57.9%となっている。

【年齢別】

○年齢別で見ると、30歳代と40歳代で「とれている」、「まあとれている」の合計が全体より11.9ポイント以上多く、60歳代では合計が8.8%と全体より10.7ポイント少ない。

○一方で、50歳代では、「あまりとれていない」、「とれていない」の合計が他の年代より多く、71.7%となっており、全体より13.8ポイント多くなっている。

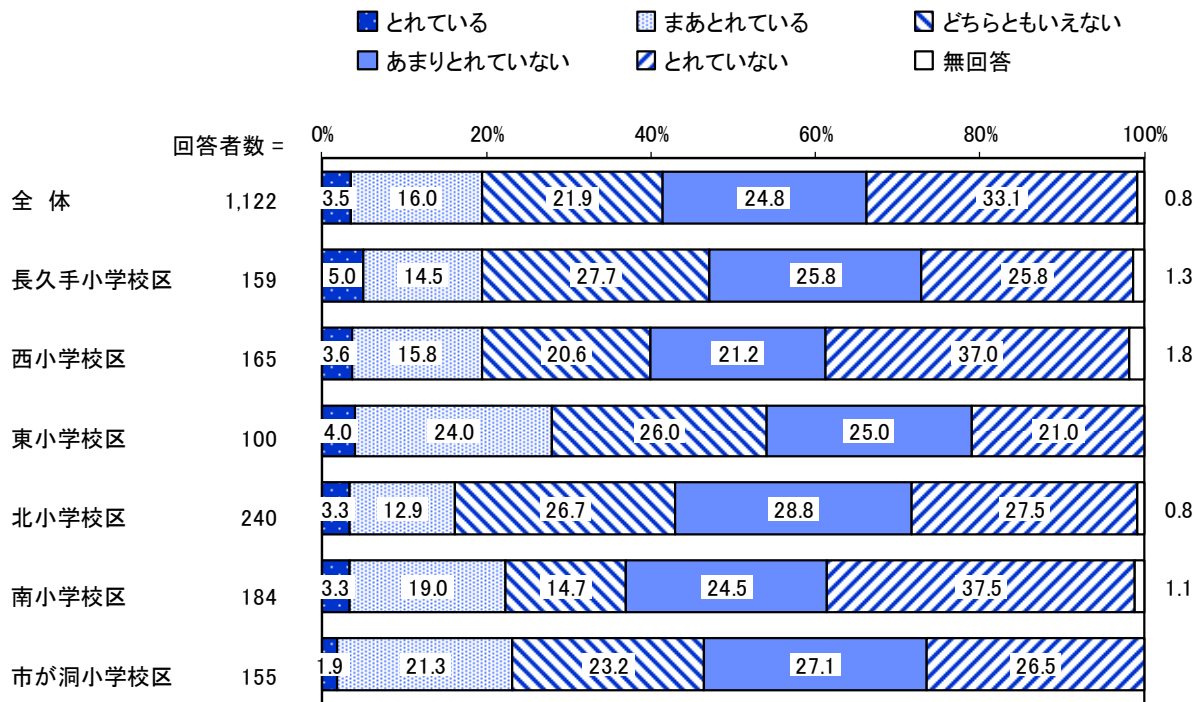
図4-1-28 地域の子どもとのコミュニケーション（年齢別）



【小学校区別】

- 小学校区別で見ると、北小学校区で「とれている」、「まあとれている」の合計が16.2%と最も少なく、全体より3.3ポイント少ない。
- 南小学校区では「あまりとれていない」、「とれていない」の合計が62.0%と最も多く、全体より4.1ポイント多い。

図4-1-29 地域の子どものコミュニケーション（小学校区別）



⑫お住まいの地域には、自宅以外の居場所（集える場所、行きつけのお店など）がありますか。

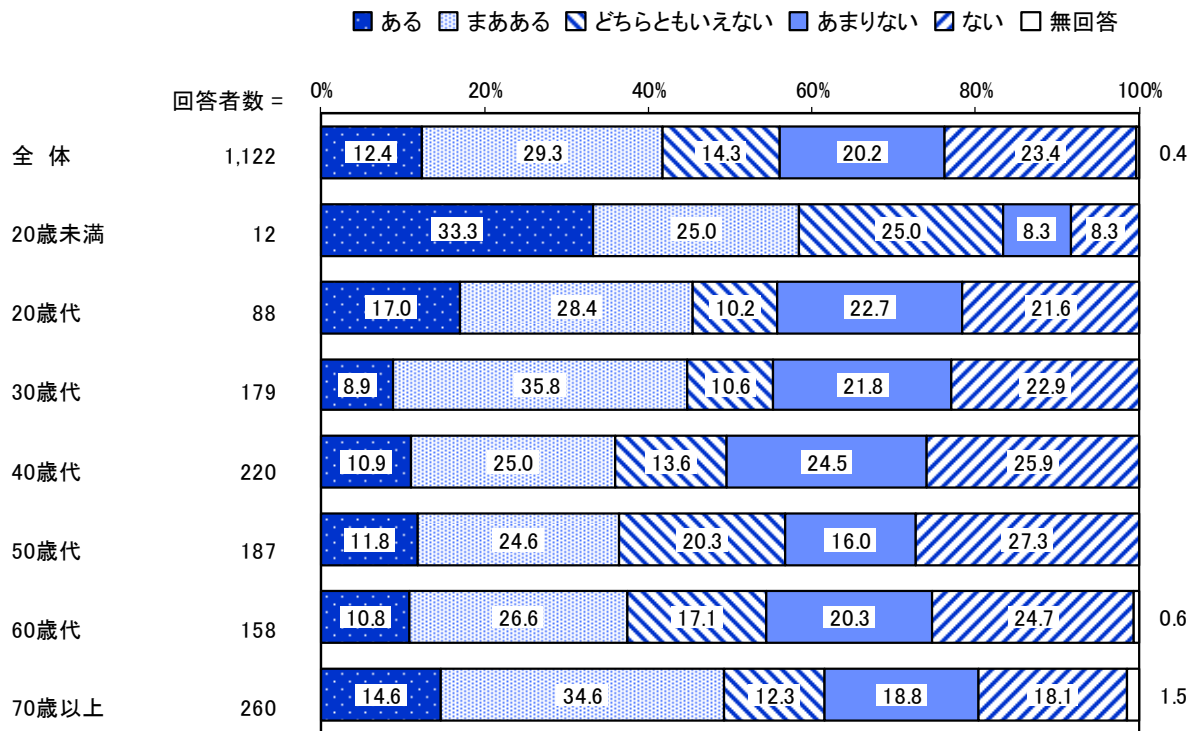
自宅以外の居場所の有無については、「ある」が12.4%、「まあある」が29.3%となっており、合わせると41.7%となっている。

【年齢別】

○年齢別でみると、20歳未満で「ある」、「まあある」の合計が58.3%と、全体より16.6ポイント多く、60歳代では合計が37.4%と全体より4.3ポイント少ない。

○一方で、40歳代では、「あまりない」、「ない」の合計が他の年代より多く、50.4%となっており、全体より6.8ポイント多くなっている。

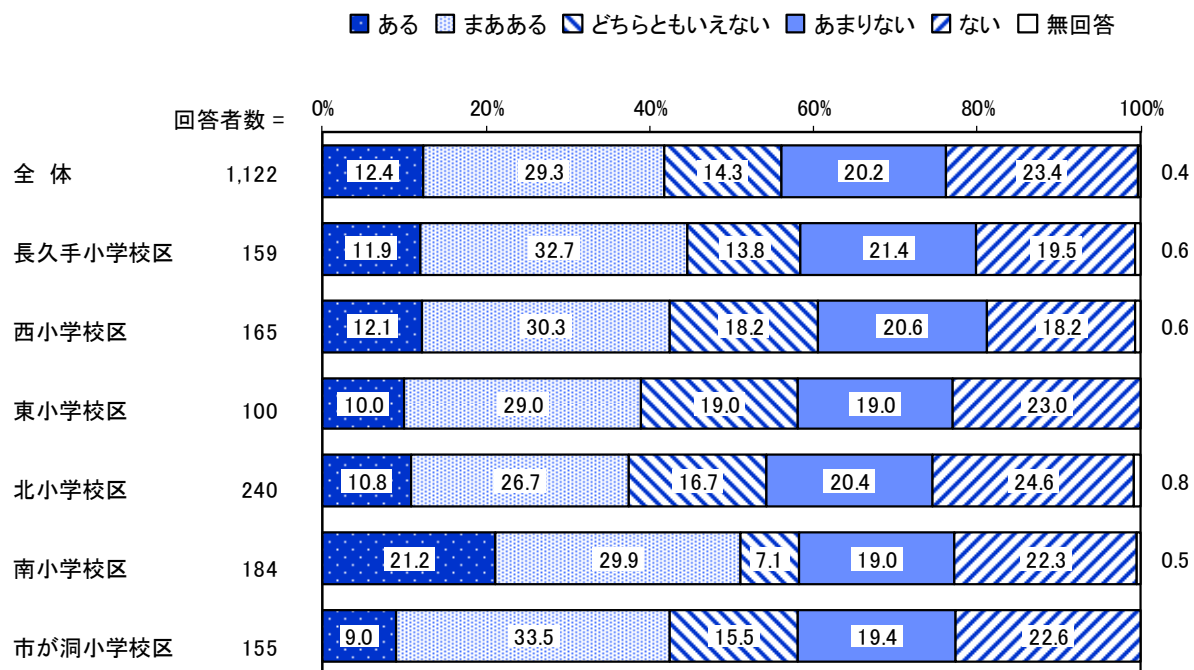
図4-1-30 自宅以外の居場所の有無（年齢別）



【小学校区別】

○小学校区別で見ると、北小学校区で「ある」、「まあある」の合計が 37.5%と最も少なく、全体より 4.2 ポイント少ない。

図 4-1-3 1 自宅以外の居場所の有無（小学校区別）

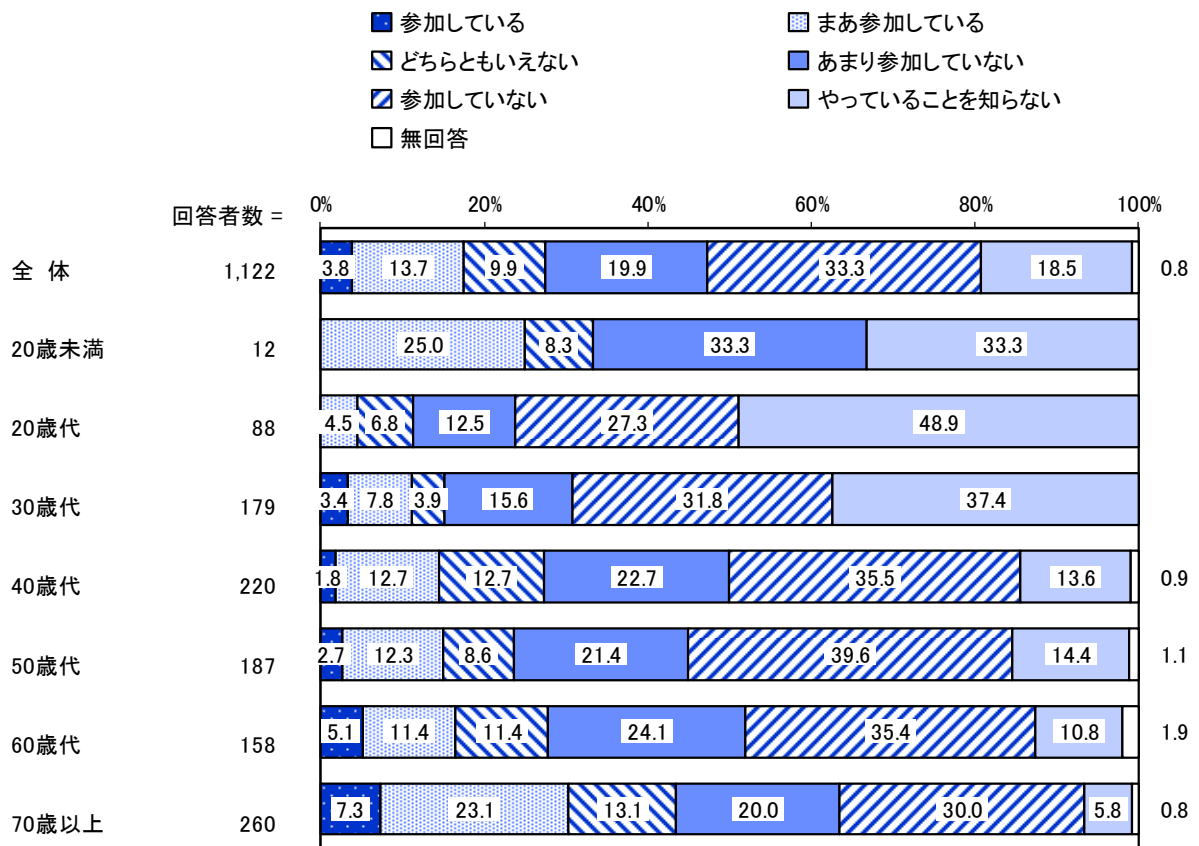


⑬お住まいの地域で災害に備えた話し合いや防災訓練に参加していますか。
 災害に備えた話し合いや防災訓練への参加有無については、「あまり参加していない」が19.9%、「参加していない」が33.3%となっており、合わせると53.2%となっている。

【年齢別】

- 年齢別で見ると、70歳以上で「参加している」、「まあ参加している」の合計が30.4%と、全体より12.9ポイント多く、20歳代では合計が4.5%と全体より13.0ポイント少ない。
- 一方で、50歳代では、「あまり参加していない」、「参加していない」の合計が他の年代より多く、61.0%となっており、全体より7.8ポイント多くなっている。
- 年齢が低くなるほど「やっていることを知らない」が多い傾向にある。

図4-1-32 災害に備えた話し合いや防災訓練への参加（年齢別）

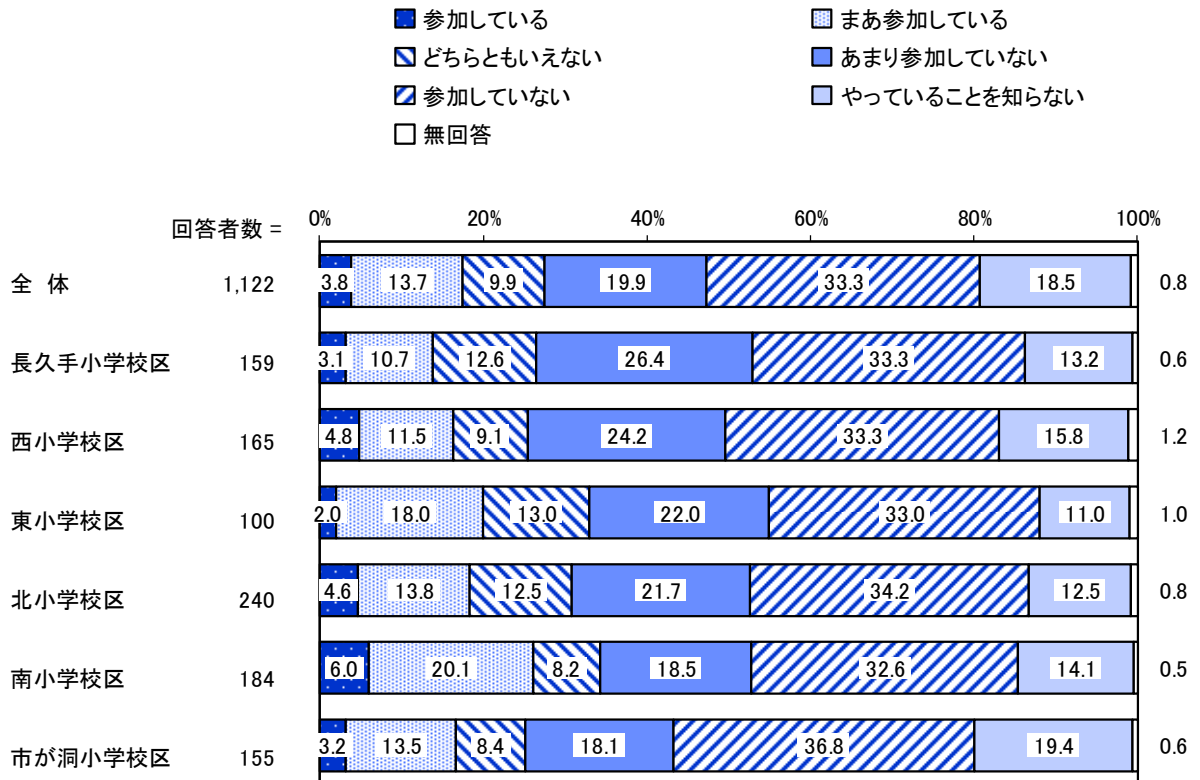


【小学校区別】

○小学校区別で見ると、長久手小学校区で「参加している」、「まあ参加している」の合計が13.8%と最も少なく、全体より3.7ポイント少ない。

○市が洞小学校区では「やっていることを知らない」が全体より0.9ポイント多い。

図4-1-33 災害に備えた話し合いや防災訓練への参加（小学校区別）



⑭あなたは過去3年間で住まいの地域の地域活動（清掃活動、通学の見守り、地域の祭、防災訓練、防犯パトロール等、地域が主体で行う活動）に参加したことはありますか？

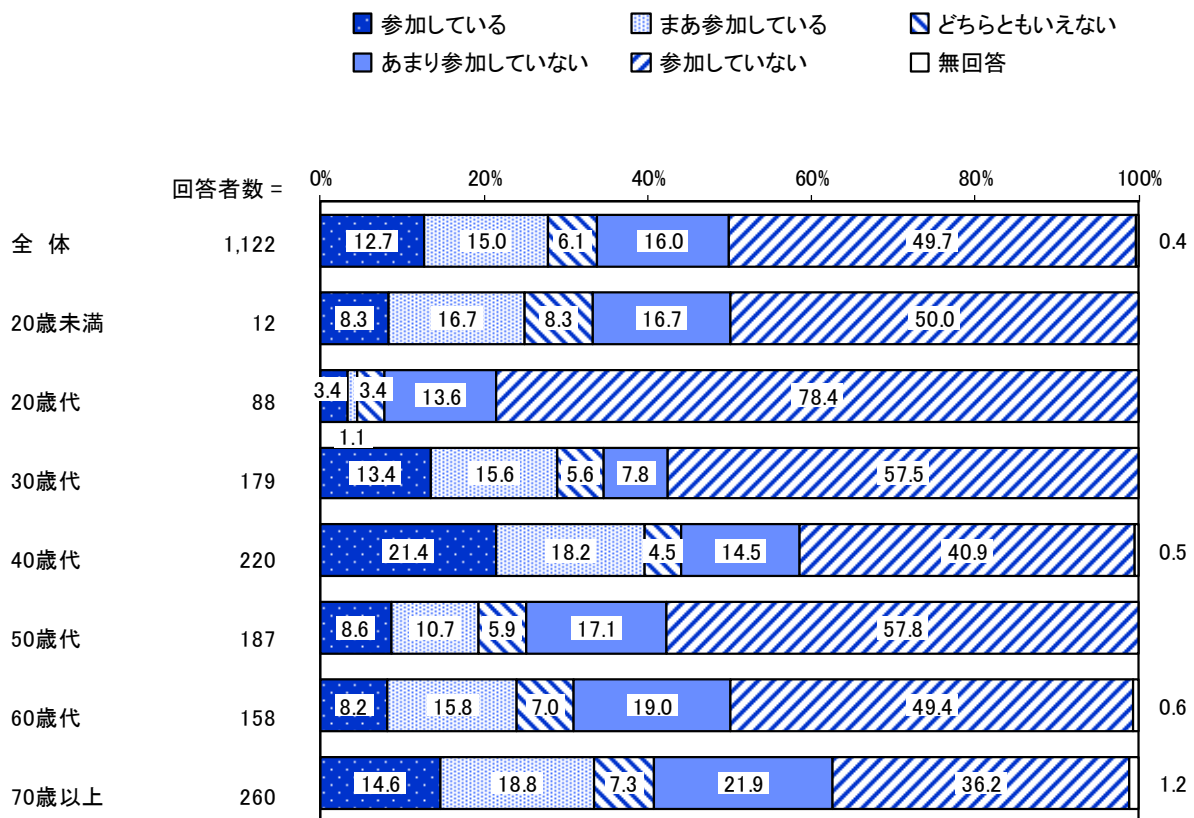
地域活動への参加有無別については、「あまり参加していない」が16.0%、「参加していない」が49.7%となっており、合わせると65.7%となっています。

【年齢別】

○年齢別で見ると、40歳代で「参加している」、「まあ参加している」の合計が39.6%と、全体より11.9ポイント多く、20歳代では合計が4.5%と全体より23.2ポイント少ない。

○年代が低くなるほど「参加していない」が多い傾向にある。

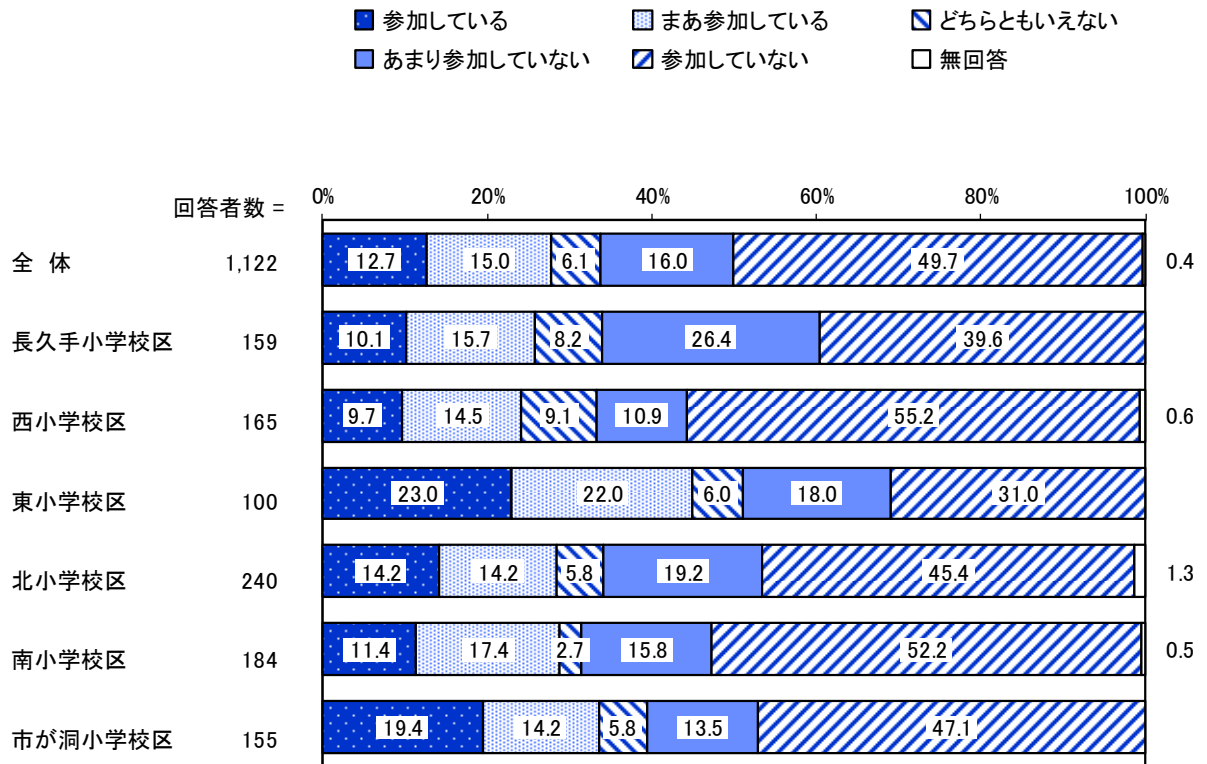
図4-1-34 地域活動への参加状況（年齢別）



【小学校区別】

- 小学校区別で見ると、西小学校区で「参加している」、「まあ参加している」の合計が24.2%と最も少なく、全体より3.5ポイント少ない。
- 南小学校区では「あまり参加していない」、「参加していない」の合計が68.0%と最も多く、全体より2.3ポイント多い。

図4-1-35 地域活動への参加状況（小学校区別）



(2) 地域活動への参加について

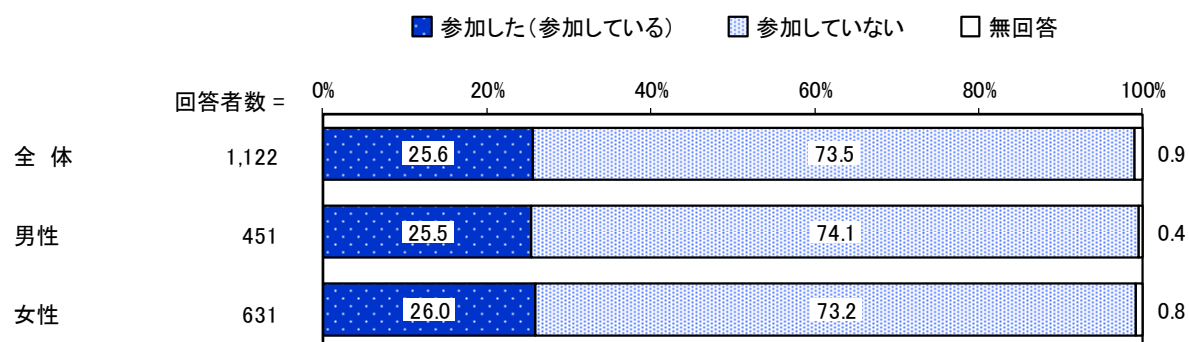
問6 あなたやあなたのご家族は、過去3年以内に地域を盛り上げたりしていくための活動スタッフとして参加したことはありますか。【〇は1つ】

過去3年以内の地域活動スタッフとしての参加有無について、「参加した(参加している)」は25.6%、「参加していない」は73.5%となっている。

【性別】

○性別でみると、女性の方がやや参加率が高いが、大きな違いはみられない。

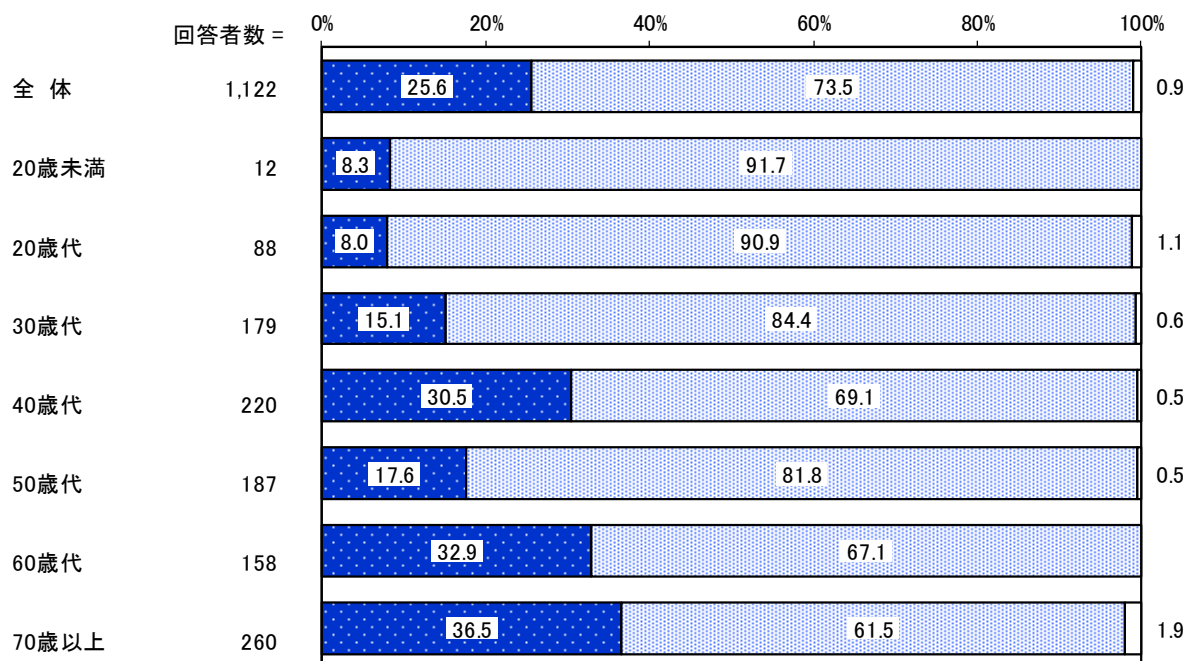
図4-2-1 活動スタッフとしての参加(性別)



【年齢別】

○年齢別でみると、「参加した」は70歳以上(36.5%)、60歳代(32.9%)、40歳代(30.5%)で全体より多い一方、20歳代では8.0%と全体より17.6ポイント少ない。

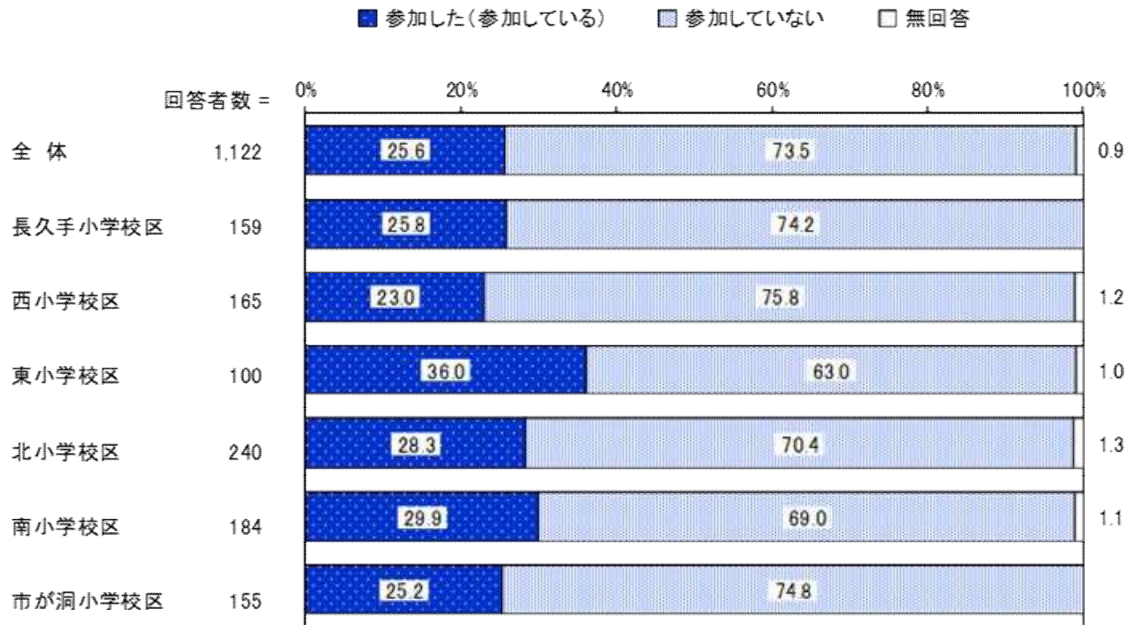
図4-2-2 活動スタッフとしての参加(年齢別)



【小学校区別】

- 小学校区別でみると、「参加した」は東小学校区で36.0%と全体より10.4ポイント多い。
- 西小学校区では「参加していない」が75.8%と全体より2.3ポイント多い。

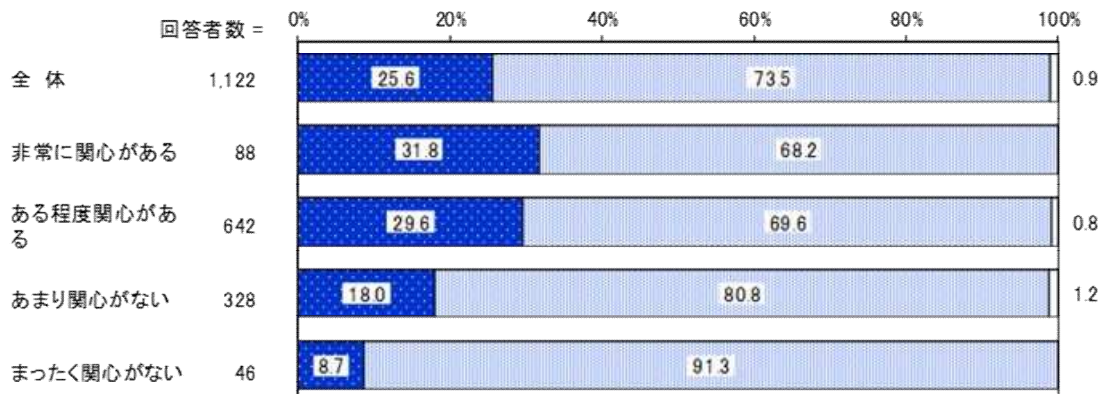
図4-2-3 活動スタッフとしての参加（小学校区別）



【市政への関心度別】

- 市政への関心度別でみると、「参加した」は市政への関心が高いほど多く、非常に関心がある人では31.8%、まったく関心がない人では8.7%とその差が23.1ポイントと大きくなっている。

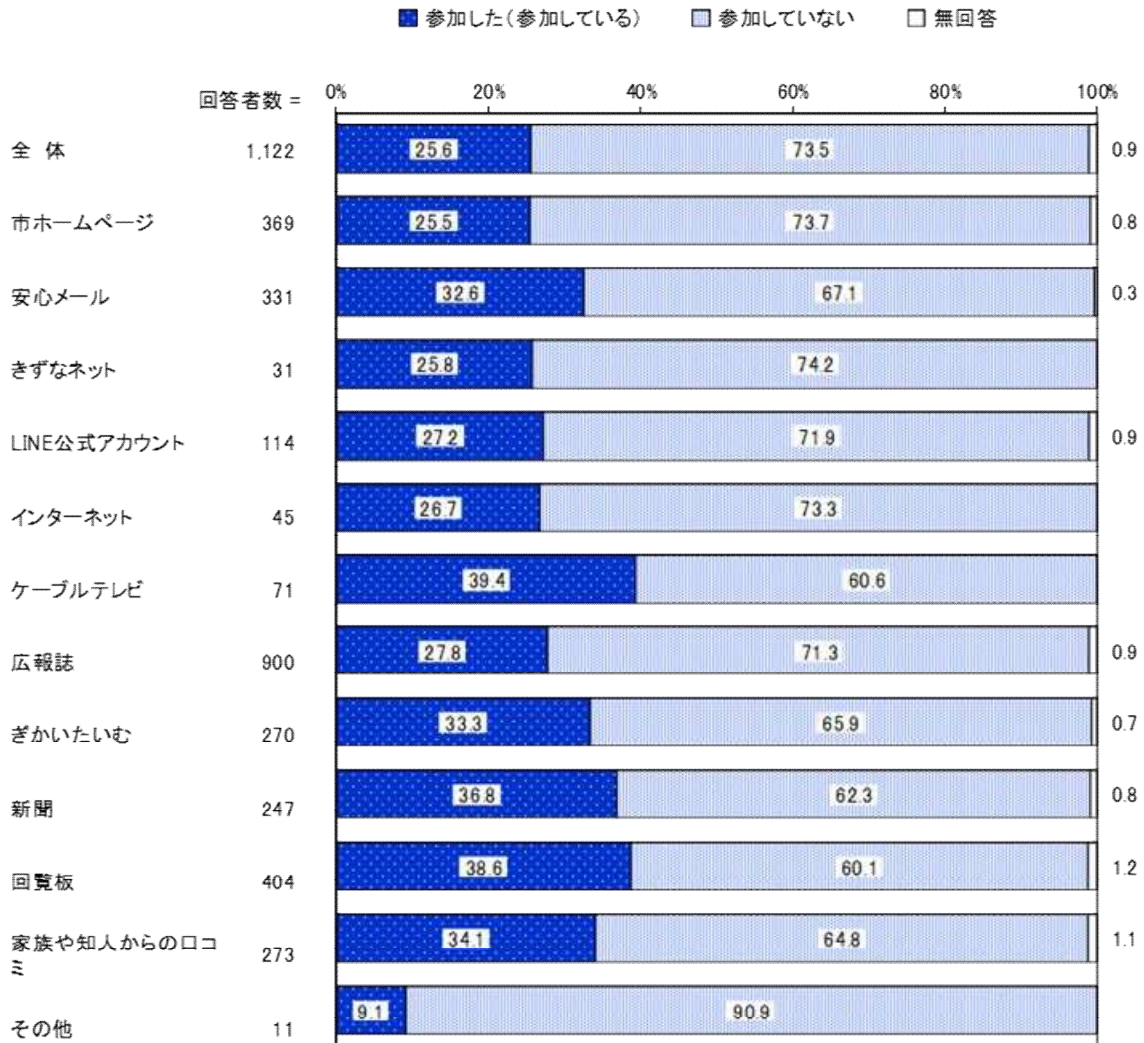
図4-2-4 活動スタッフとしての参加（市政への関心度別）



【情報の入手手段別】

○情報の入手手段別で見ると、ケーブルテレビで情報を入手している人では「参加した」が39.4%と全体より13.8ポイント多い。

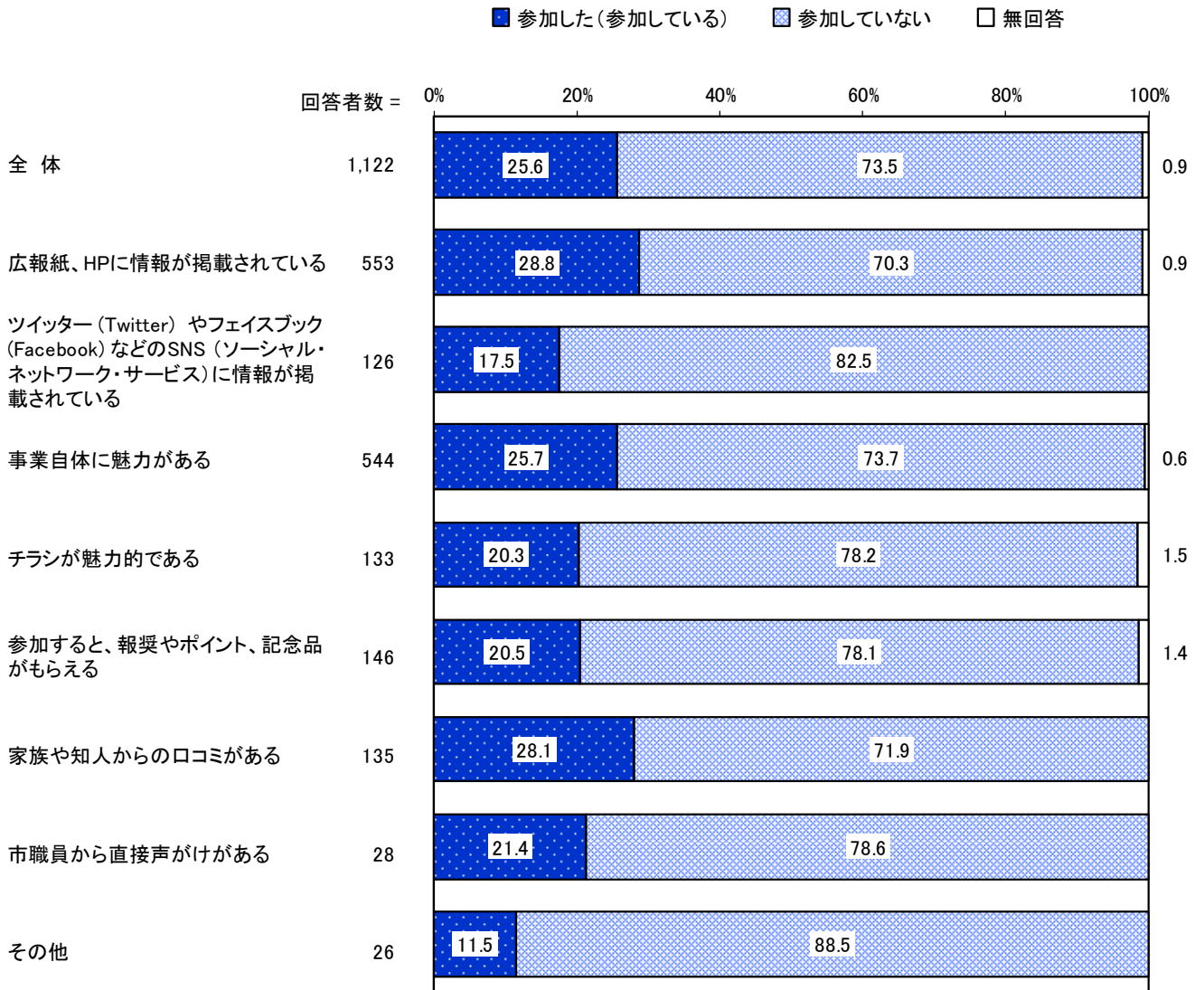
図4-2-5 活動スタッフとしての参加（情報の入手手段別）



【事業参加の決め手別】

○事業参加の決め手別でみると、“広報紙、HPに情報が掲載されている”（28.8%）や“家族や知人からの口コミがある”（28.1%）では「参加した」が約3割となっており全体より多い。一方、“ツイッター(Twitter)やフェイスブック(Facebook)などのSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）に情報が掲載されている”では「参加した」が17.5%と全体より8.1ポイント少ない。

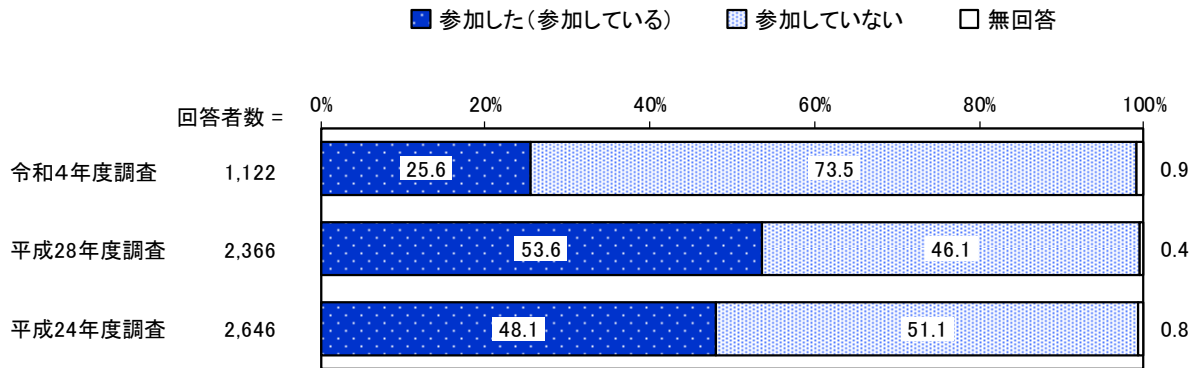
図4-2-6 活動スタッフとしての参加（事業参加の決め手別）



【経年比較】

○平成28年度調査と比較すると、「参加した（参加している）」が前回より28.0ポイント減少しており、「参加していない」が27.4ポイント増加している。

図4-2-7 活動スタッフとしての参加（経年変化）



※前回調査では「あなたやあなたのご家族は、過去3年以内に地域の活動に参加しましたか」という設問だったが、参考として掲載した。

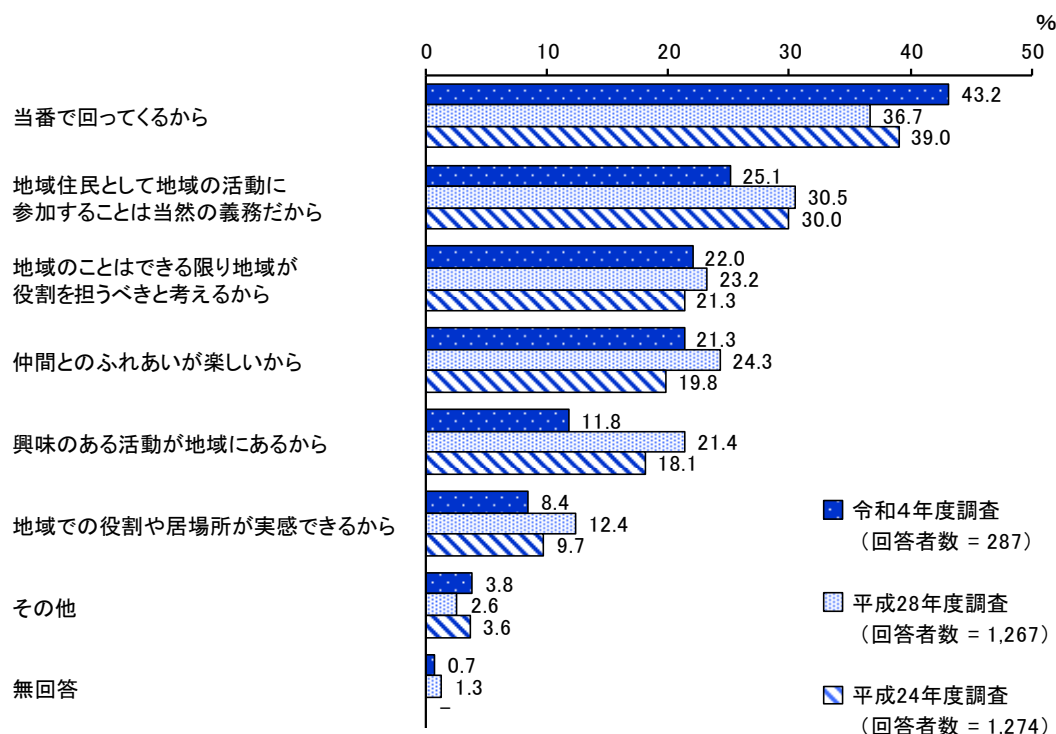
「参加した（参加している）」理由は何ですか。【〇は2つまで】

参加した方の理由としては、「当番で回ってくるから」が43.2%と最も多く、次いで「地域住民として地域の活動に参加することは当然の義務だから」(25.1%)、「地域のことはできる限り地域が役割を担うべきと考えるから」(22.0%)となっている。

【経年比較】

○平成28年度調査と比較すると、「当番で回ってくるから」(43.2%)が前回調査より6.5ポイント増加している。一方、「地域住民として地域の活動に参加することは当然の義務だから」(25.1%)が5.4ポイント、「興味のある活動が地域にあるから」(11.8%)が9.6ポイント減少している。

図4-3-1 参加した（参加している）理由（経年変化）



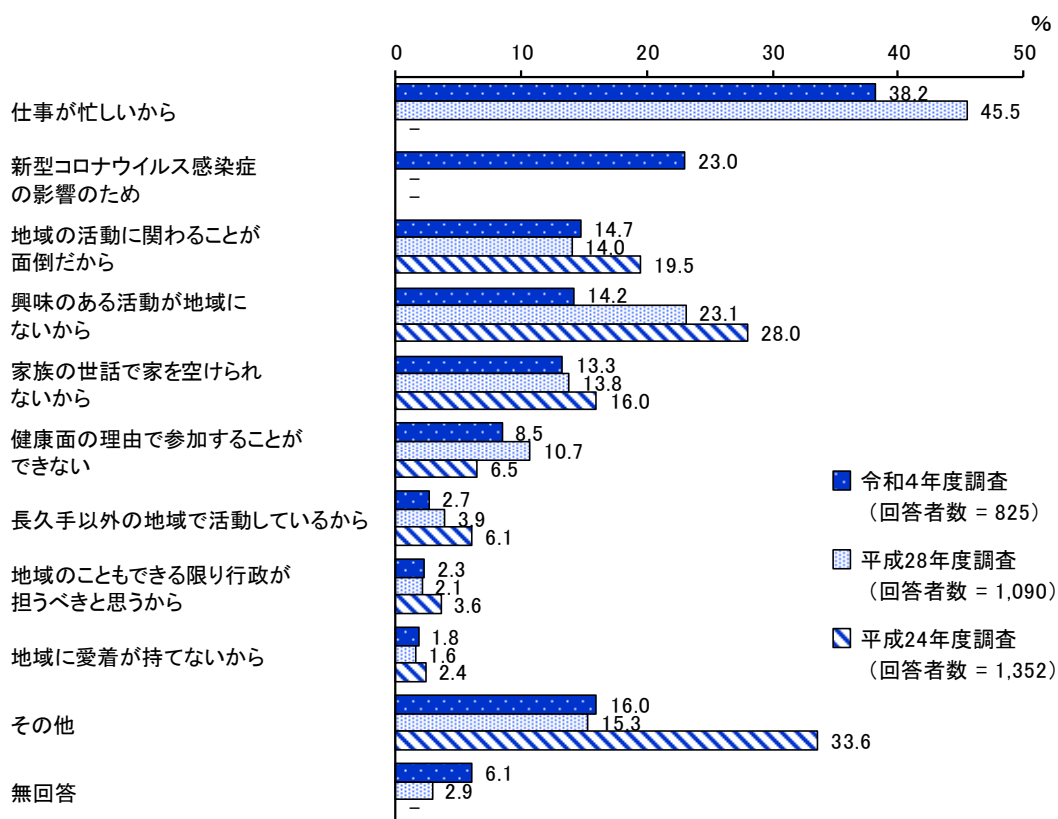
「参加していない」理由は何ですか。【〇は2つまで】

参加していない方の理由としては、「仕事が忙しいから」が38.2%と最も多く、次いで「新型コロナウイルス感染症の影響のため」(23.0%)、「地域の活動に関わることが面倒だから」(14.7%)となっている。

【経年比較】

○平成28年度調査と比較すると、「仕事が忙しいから」(38.2%)が7.3ポイント、「興味のある活動が地域にないから」(14.2%)が8.9ポイント減少している。

図4-4-1 参加していない理由（経年変化）



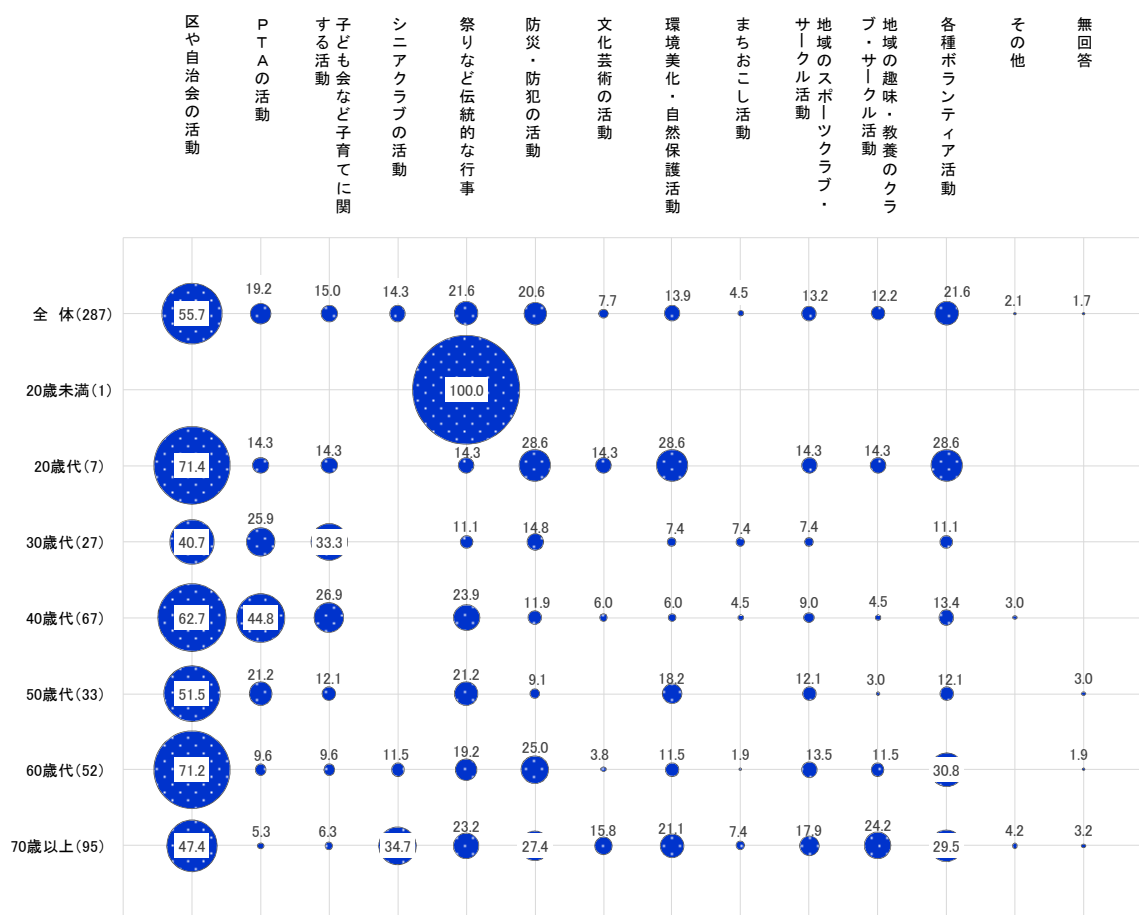
問7 問6で「参加した（参加している）」と回答した方にお聞きします。
 あなたやあなたのご家族は、地域でどのような活動に参加していますか。次の中
 からあてはまるものすべてを選んでください。【〇はあてはまるものすべて】

参加した地域活動の種類としては、「区や自治会の活動」が55.7%と最も多く、次いで「祭り
 など伝統的な行事」、「各種ボランティア活動」（それぞれ21.6%）となっている。

【年齢別】

- 年齢別にみると、いずれの年齢でも「区や自治会の活動」が最も多く、特に20歳代、60歳代（それぞれ71.4%、71.2%）では全体より15.5ポイント以上多い。
- 20歳代では「防災・防犯の活動」（28.6%）、「環境美化・自然保護活動」（28.6%）「各種ボランティア活動」（28.6%）が全体より多い。
- 30歳代と40歳代では、「PTAの活動」や「子ども会など子育てに関する活動」など子どもに関する活動が全体より多い。
- 30歳代と40歳代では、「環境美化・自然保護活動」、「まちおこし活動」が全体より少ない。
- 20歳代と60歳以上では、「各種ボランティア活動」が全体より多い。
- 70歳以上では、「シニアクラブの活動」（34.7%）が他の年代に比べ多い。

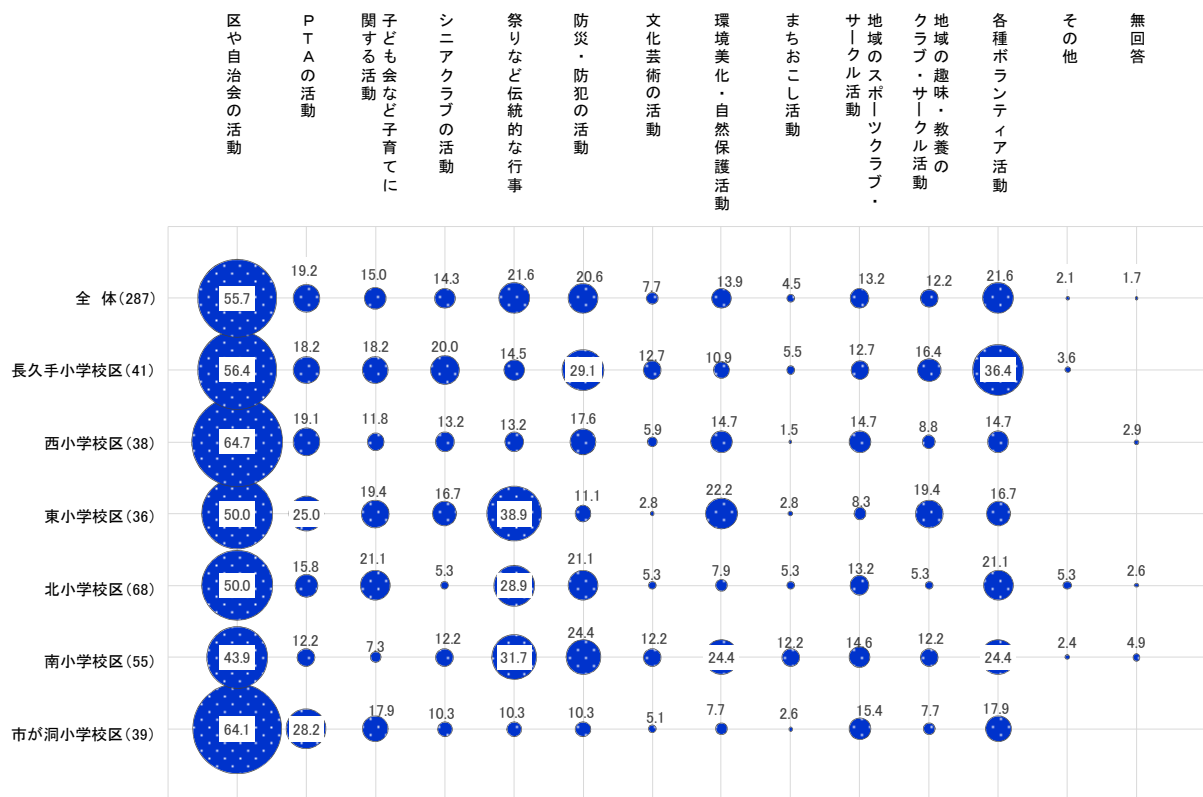
図4-5-1 参加している地域活動の種類（年齢別）



【小学校区別】

- 小学校区別でみると、いずれの小学校区でも「区や自治会の活動」が最も多い。
- 長久手小学校区では「防災・防犯の活動」(29.1%)や「各種ボランティア活動」(36.4%)は全体より多い。
- 東小学校区、北小学校区、南小学校区では「祭りなど伝統的な行事」が全体より7.3ポイント以上多い。
- 北小学校区では「シニアクラブの活動」(5.3%)が全体より9.0ポイント少ない。
- 南小学校区では「子ども会など子育てに関する活動」(7.3%)が全体より7.7ポイント少ない。

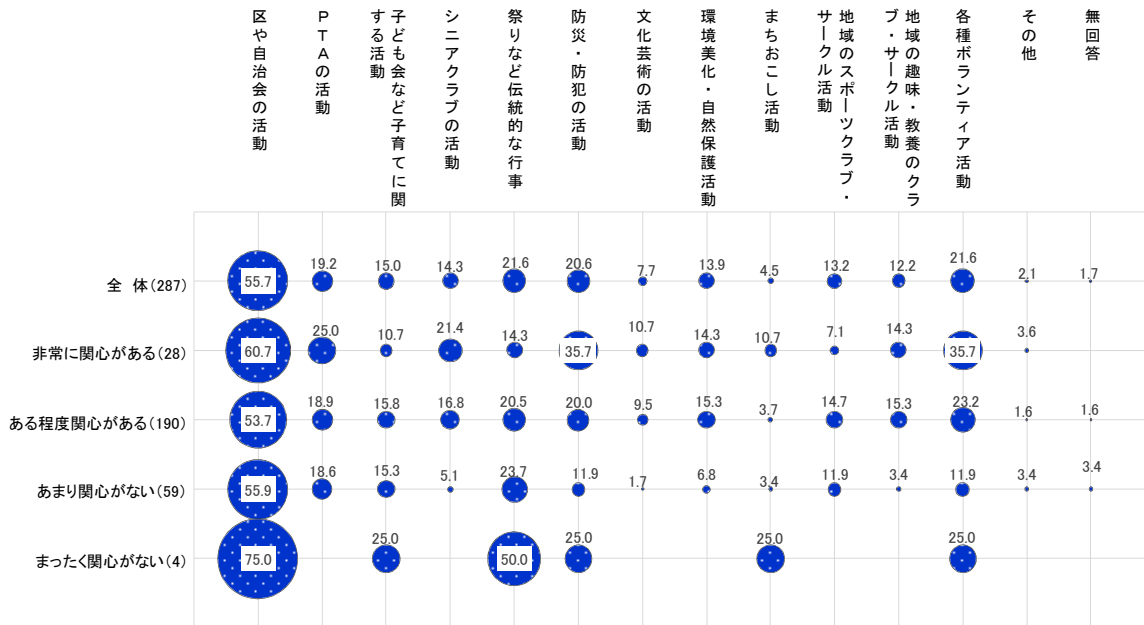
図4-5-2 参加している地域活動の種類（小学校区別）



【市政への関心度別】

○市政への関心度別でみると、市政へ非常に関心がある人で「各種ボランティア活動」(35.7%)が全体より14.1ポイント多くなっている。一方、市政にまったく関心がない人では「区や自治会の活動」(75.0%)や「祭りなど伝統的な行事」(50.0%)がそれぞれ19ポイント以上全体より多くなっている。

図4-5-3 参加している地域活動の種類（市政への関心度別）

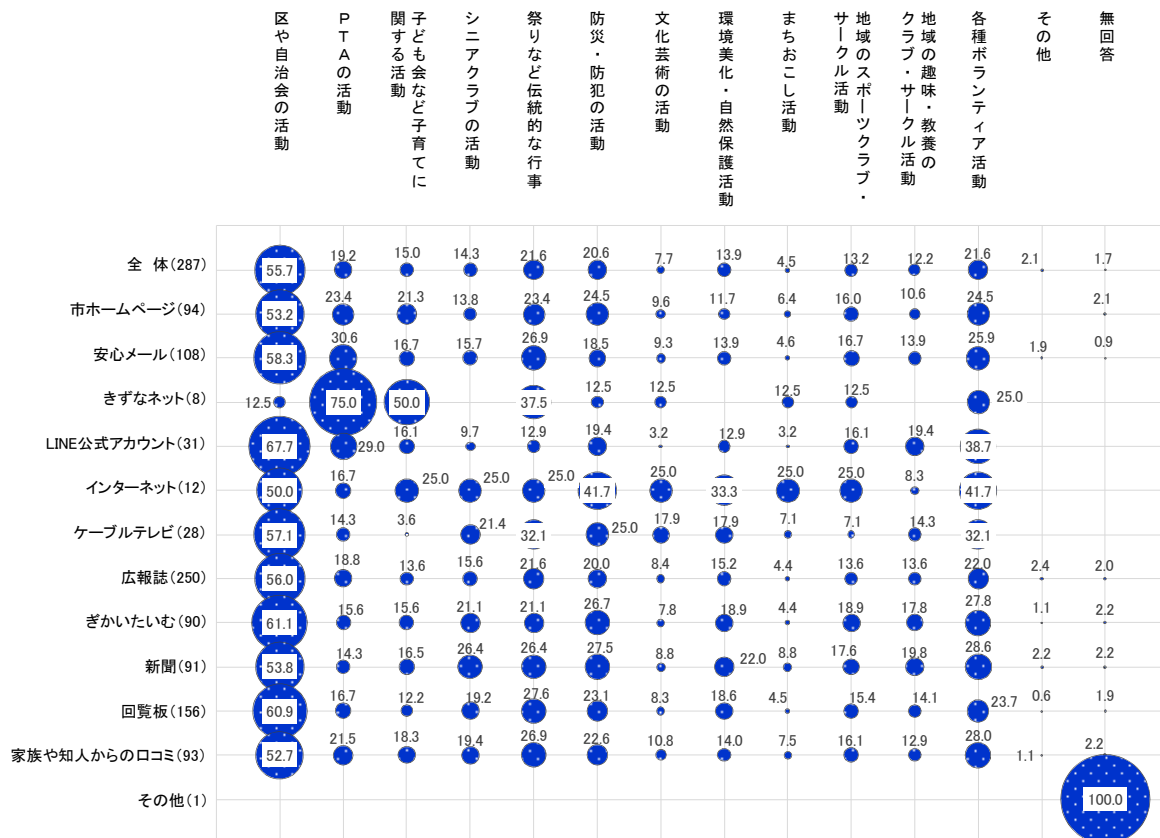


【情報の入手手段別】

○情報の入手手段別でみると、“きずなネット”を除くいずれの入手手段で「区や自治会の活動」が最も多くなっている一方、“きずなネット”で情報を入手している人では「PTAの活動」(75.0%)が最も多く、全体より55.8ポイント多く、「子ども会など子育てに関する活動」(50.0%)は全体より35.0ポイント多くなっている。

○“インターネット”で情報を入手している人では「防災・防犯の活動」(41.7%)が21.1ポイント、「文化芸術の活動」(25.0%)で17.3ポイント、「環境美化・自然保護活動」(33.3%)で19.4ポイント、「まちおこし活動」(25.0%)で20.5ポイント、「地域のスポーツクラブ・サークル活動」(25.0%)で11.8ポイント、「各種ボランティア活動」(41.7%)では20.1ポイント、それぞれ全体より多くなっている。

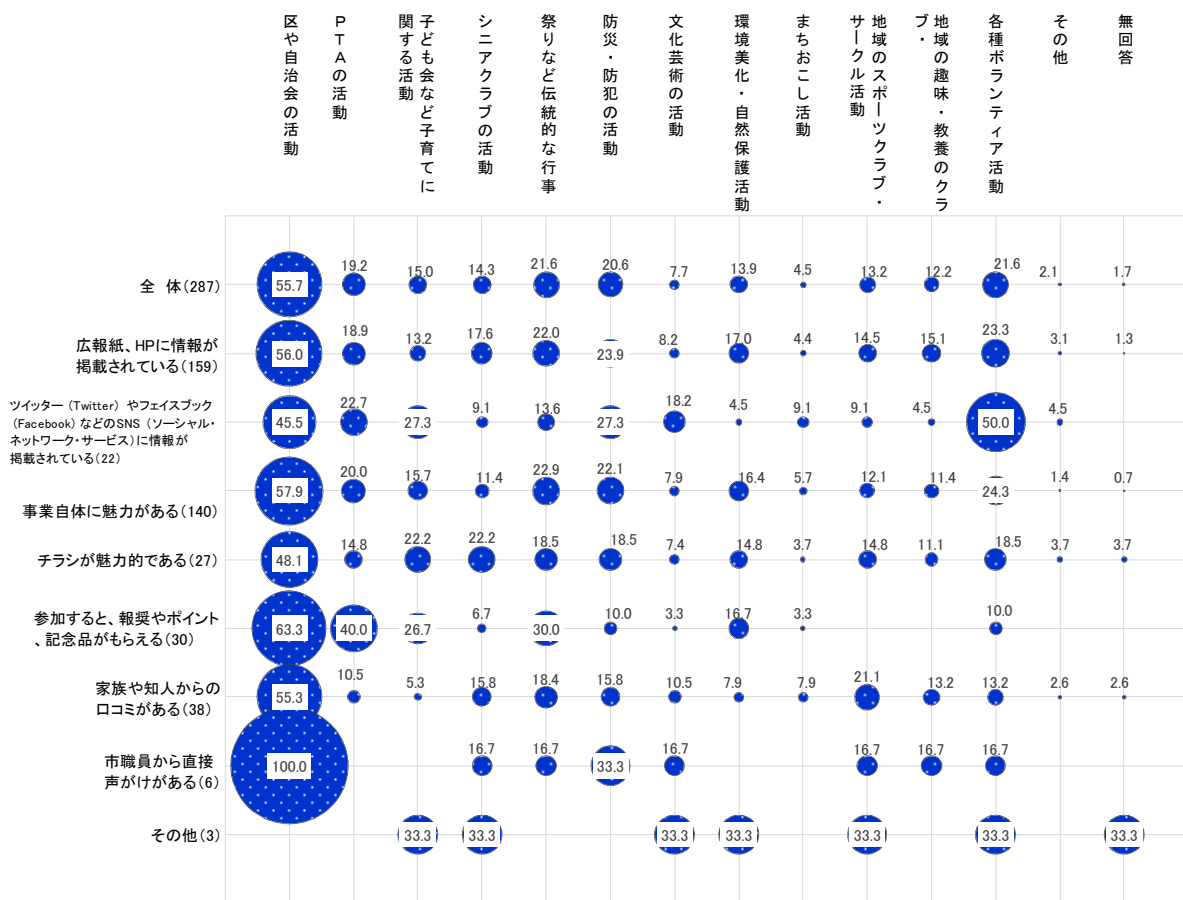
図4-5-4 参加している地域活動の種類（情報の入手手段別）



【事業参加の決め手別】

- 事業参加の決め手別でみると、“ツイッター(Twitter)やフェイスブック(Facebook)などのSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)に情報が掲載されている”で「各種ボランティア活動」(50.0%)が最も多く、全体より28.4ポイント多くなっている一方、SNSを除くいずれの決め手では「区や自治会の活動」が最も多くなっている。
- “参加すると、報奨やポイント、記念品がもらえる”が決め手の人では「PTAの活動」(40.0%)が全体より20.8ポイント多くなっている。

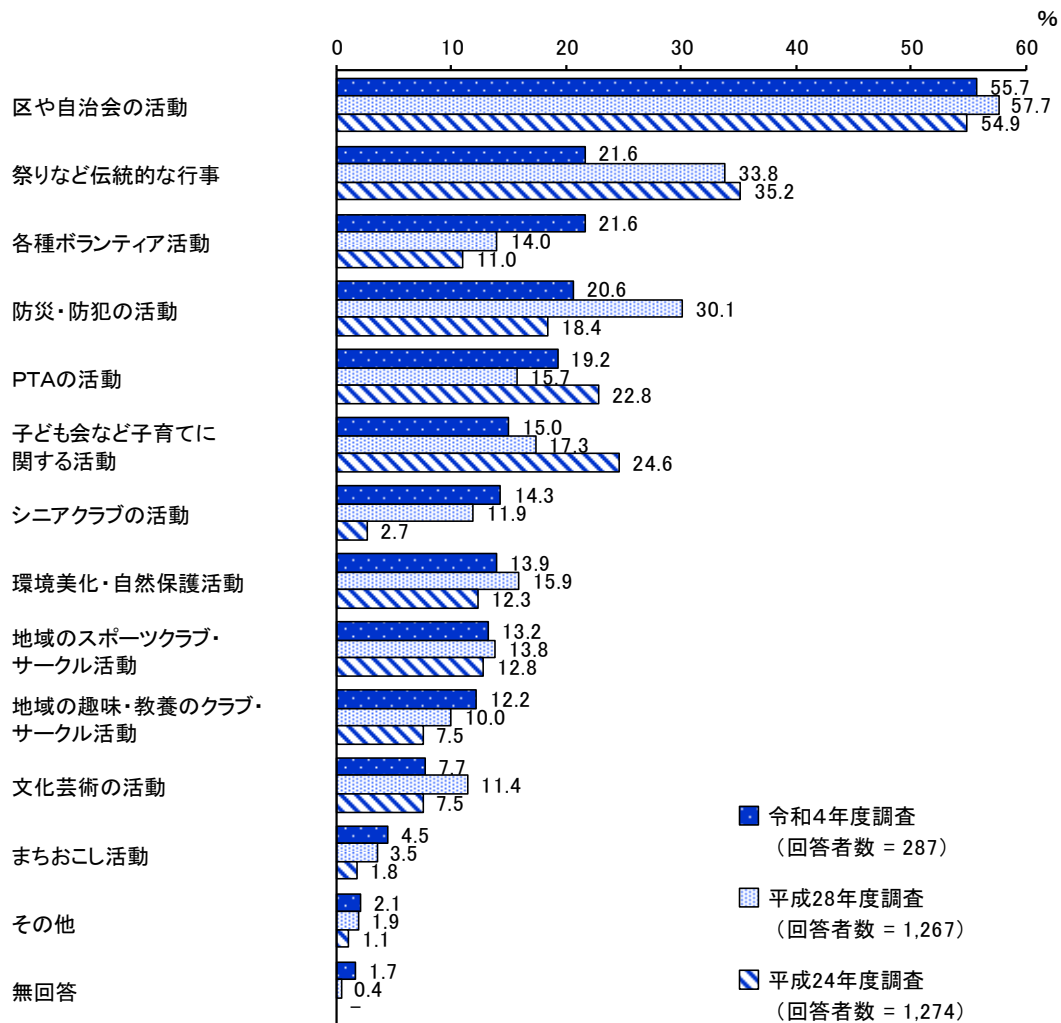
図4-5-5 参加している地域活動の種類(事業参加の決め手別)



【経年比較】

- 平成28年度調査と比較すると、「各種ボランティア活動」(21.6%)は前回調査より7.6ポイント増加している。
- 一方、「祭りなど伝統的な行事」(21.6%)は12.2ポイント、「防災・防犯の活動」(20.6%)は9.5ポイント減少している。

図4-5-6 参加している地域活動の種類(経年変化)



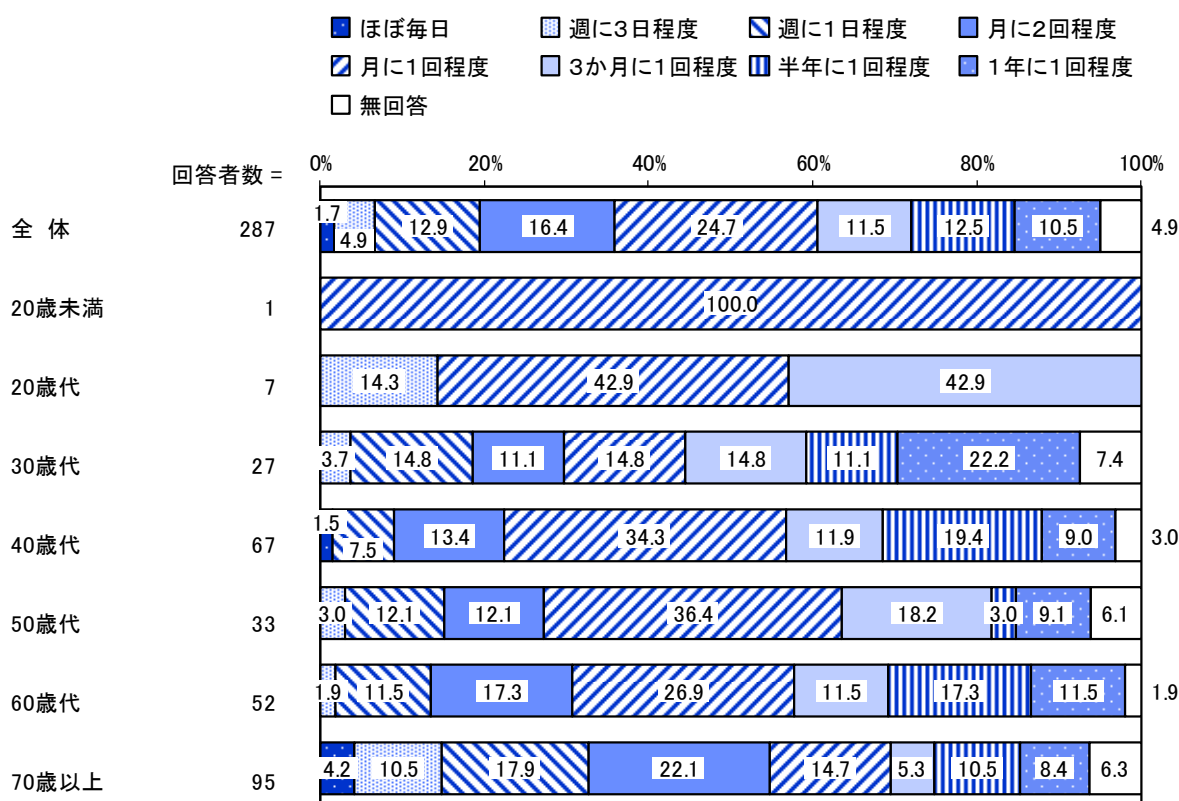
問8 問6で「参加した（参加している）」と回答した方にお聞きします。
 あなたやあなたのご家族は、地域の活動にどの程度参加していますか。（ご家族のうち複数の方が地域の活動に参加している場合、最も多く参加している方について回答してください。）【〇は1つ】

参加した方の地域活動への参加頻度としては、「月に1回程度」が24.7%と最も多く、次いで「月に2回程度」(16.4%)、「週に1日程度」(12.9%)となっている。また、「月に1回以上」（「ほぼ毎日」「週に3日程度」「週に1回程度」「月に2回程度」「月に1回程度」の合計）は60.6%と約6割となっている。

【年齢別】

- 年齢別でみると、「月に2回以上」（「ほぼ毎日」「週に3日程度」「週に1回程度」「月に2回程度」の合計）は40歳代（22.4%）が最も少なく、40歳代を境に年齢が高くなるほど多くなっている。
- 20歳未満、40歳代、50歳代、60歳代では「月に1回程度」（それぞれ34.3%、36.4%、26.9%）が最も多い。
- 30歳代では、「1年に1回程度」（22.2%）が最も多い。
- 70歳以上では「月に2回程度」（22.1%）が最も多く、全体より5.7ポイント多い。

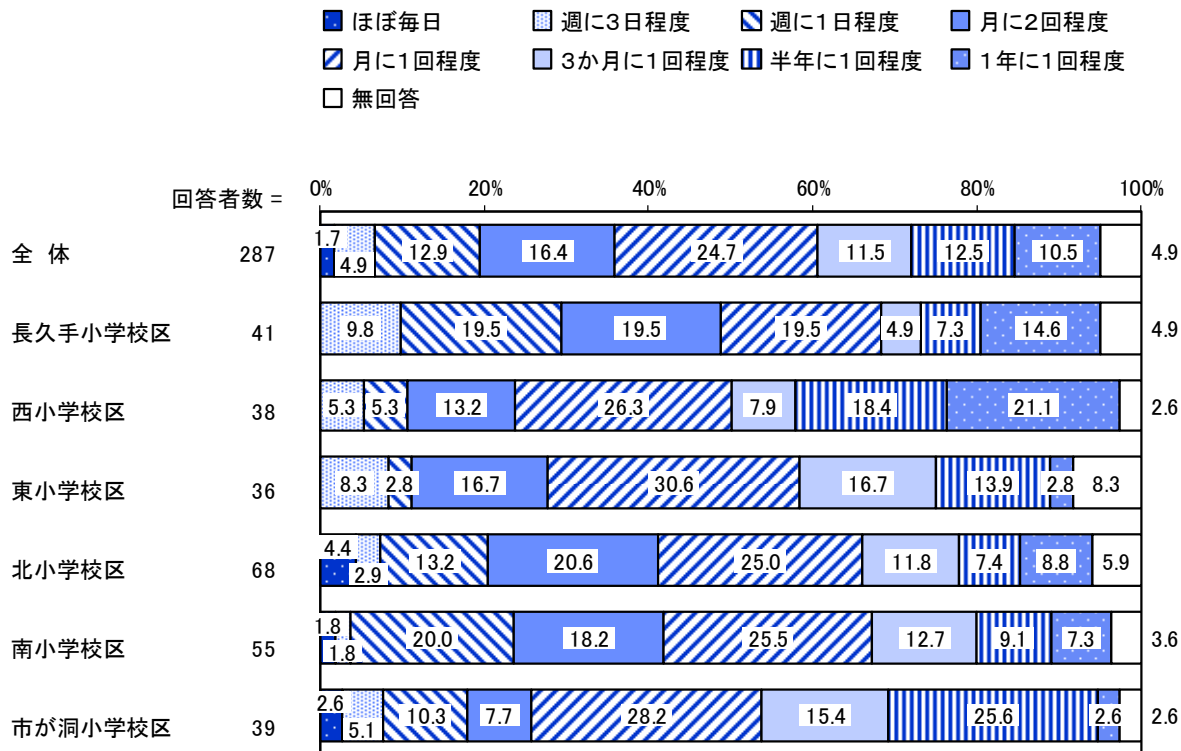
図4-6-1 地域活動への参加頻度（年齢別）



【小学校区別】

○小学校区別でみると、西小学校区で「1年に1回程度」(21.1%)が、市が洞小学校区で「半年に1回程度」(25.6%)が全体より多い。

図4-6-2 地域活動への参加頻度(小学校区別)

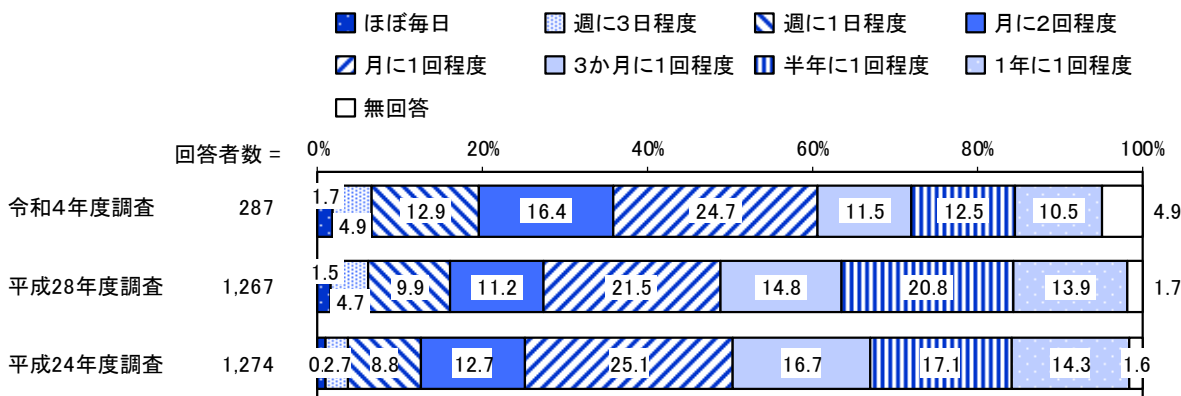


【経年比較】

○平成28年度調査と比較すると、「月に1回以上」が11.8ポイント前回調査より多くなっている。

※「月に1回以上」・・・「ほぼ毎日」「週に3日以上」「週に1日程度」「月に2回程度」「月に1回程度」の合計

図4-6-3 地域活動への参加頻度(経年変化)



問9 どのような市民活動があればご自身も関わりたいと思いますか。

分野	主なご意見（抜粋）
1：イベント関連	<ul style="list-style-type: none"> ・お祭り。 ・長久手市内での夏祭り。 ・音楽フェス。 ・季節行事。 ・バザー。 ・ボードゲーム大会。
2：自然活動	<ul style="list-style-type: none"> ・花を植えるボランティア。 ・道ばたにはえている野草めぐり。 ・地域猫（野良猫）の保護活動。 ・バードウォッチ。 ・自分で出来ることは自然保護活動か、環境美化活動ぐらいだと思う。
3：清掃活動	<ul style="list-style-type: none"> ・街の清掃活動。 ・公園、道路の清掃。 ・川の清掃。 ・清掃活動や防災訓練は、参加したいと思いつつも、できずにいます。 ・マラソンやウォーキングしながらゴミ拾い。 ・清掃活動など参加したいが、きっかけがない。
4：家族関連	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で参加できるもの。 ・子ども連れでも参加できるもの。 ・地域の子どものためになるイベント。 ・子供と一緒に参加できるような活動には参加していきたい。 ・子供の見守り。 ・コロナが落ちついたら、家族で参加しやすいものがあれば。
5：参加が難しい	<ul style="list-style-type: none"> ・今は余裕がないので考えられない。親の介護で仕事もやめたので。 ・名古屋市内で環境活動をしているので長久手市で活動する時間が少ない。 ・時間が合えば単発でも参加できるサークルやボランティア活動。 ・活動内容というより、時間の余裕がない。 ・土日もやっていることが前提。平日は参加できない。 ・持病があり、活動に制限あり。

分野	主なご意見（抜粋）
6：気楽に参加できる行事	<ul style="list-style-type: none"> ・年に関係なく参加出来る事。 ・仕事の休みの日（平日）にあれば。 ・気軽に時間を気にせず参加できる活動であれば、関わりたいと思います。 ・市民が自由に参加できる行事等。 ・自分の趣味や体力にあったもの等。
7：スポーツ、健康関連	<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツ推進。 ・趣味、スポーツのサークル。 （日中ではなく、仕事の後でも通える夜の時間帯のもの） ・スポーツ。 ・ラジオ体操。 ・高齢者向けの体操教室。 ・健康や福祉についての情報案内に出席。
8：教育関連	<ul style="list-style-type: none"> ・英会話教室、国際交流 ・大学の公開講座のような学びの場があると良いです。そこで学んだことを仲間と地域に還元できると、尚良いと思います。 ・STEAM教育ができるもの。 ・認知症の勉強会。
9：防犯活動	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯。 ・防犯、防災、子どもの安全など。 ・安全活動、防犯活動（子どもとともにできるとうれしい）。
10：特にない	<ul style="list-style-type: none"> ・出不精なだけだと思う。 ・よく分からない。 ・今までどおりで良い。 ・コロナ前は自治体の活動に参加していたが今はなくなっているのでこの質問は無意味ではないか。
11：その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ジブリパークに関わる活動。 ・農業、フードロスに関する活動。 ・地震、水災に自分の住んでいる家が気をつけなければならない点の指導。 ・商工会のお店体験の活動。 ・同世代の人との関わり。

V 新型コロナウイルス感染症の影響による意識変化について

問10 ご自身の「活動」や「場所への外出」などに対して新型コロナウイルス感染症流行前と新型コロナウイルス感染症収束後を比べてどのような意識の変化があると思いますか。(1)～(5)までの各質問の回答を選んで○をつけてください。
【○はそれぞれ1つ】

(1) 友人や知人と交際・会食

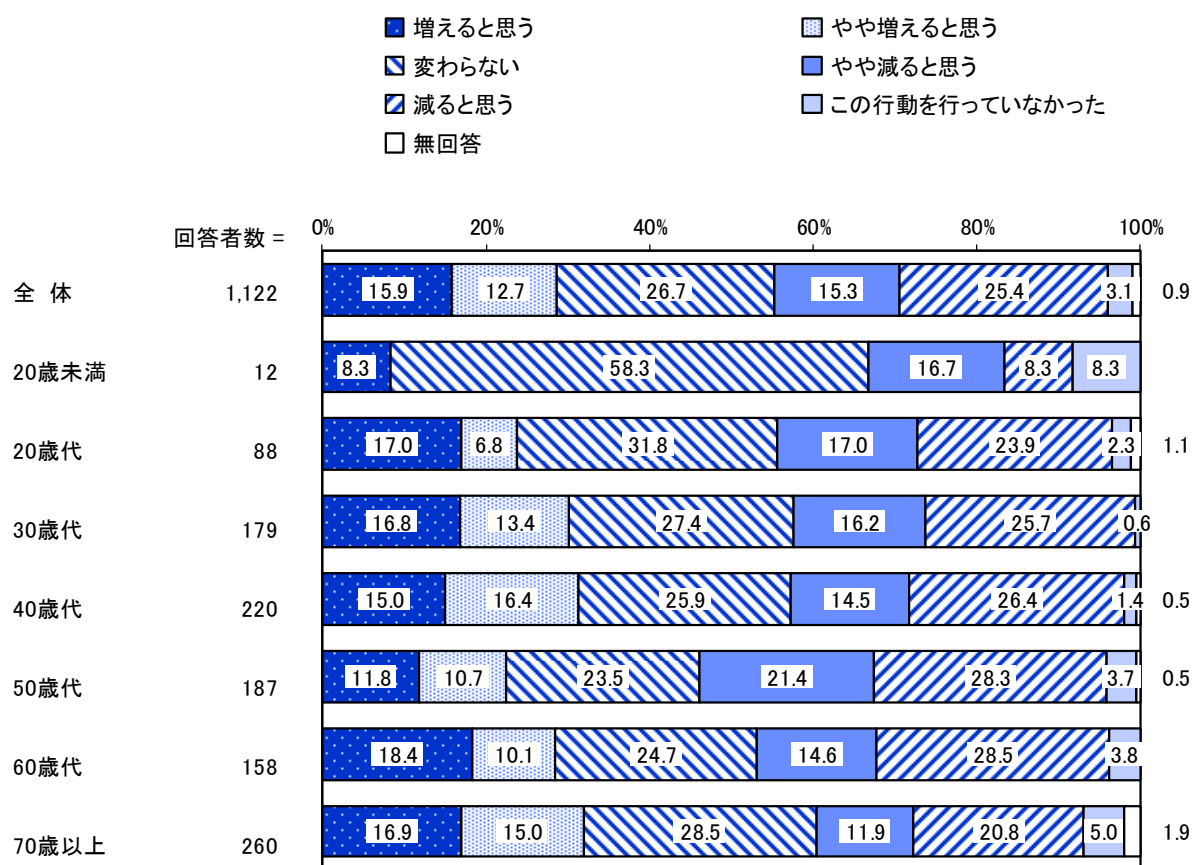
友人や知人と交際・会食については、「やや減ると思う」(15.3%)と「減ると思う」(25.4%)を合わせると全体の4割を占めている。一方、「変わらない」(26.7%)、「増えると思う」と「やや増えると思う」の合計は2割台半ばとなっている。

【年齢別】

○20歳未満では「変わらない」(58.3%)が全体より31.6ポイント多く、20歳代でも全体より多い。

○「やや減ると思う」と「減ると思う」の合計では、50歳代で49.7%と全体より9.0ポイント多い。

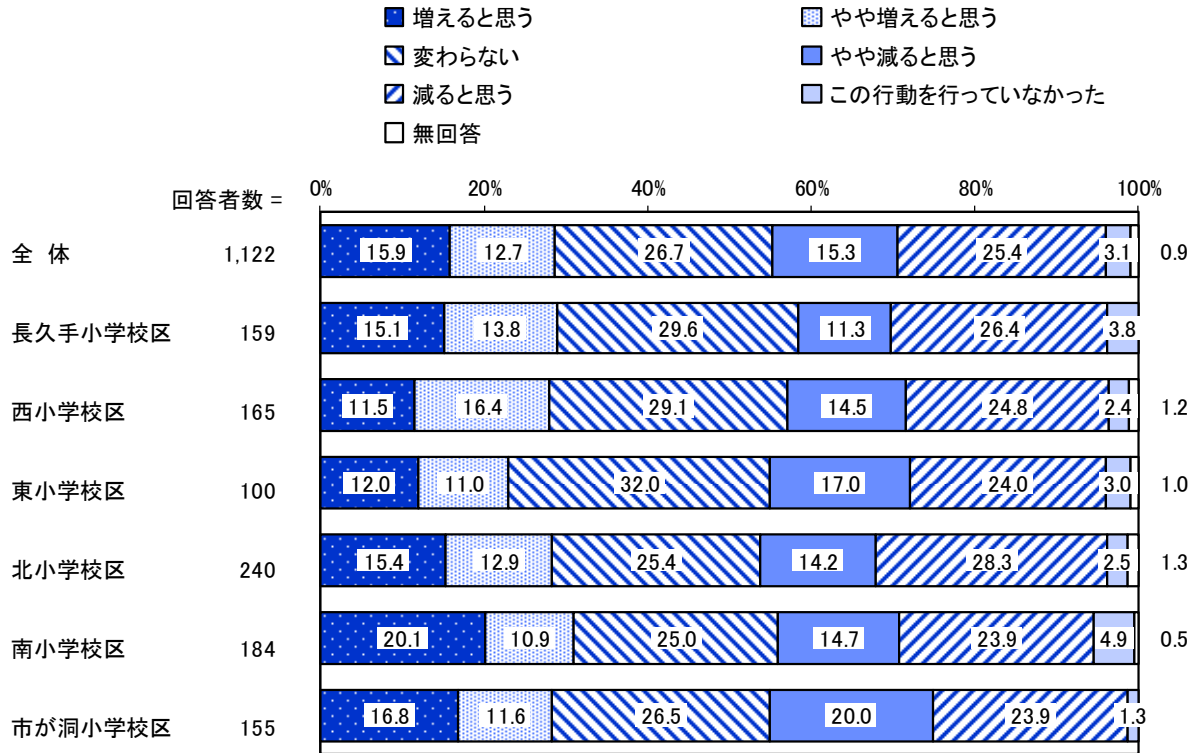
図5-1-1 友人や知人と交際・会食（年齢別）



【小学校区別】

○小学校区別で見ると、東小学校区では「変わらない」(32.0%)が全体より5.3ポイント高い。

図5-1-2 友人や知人と交際・会食（小学校区別）



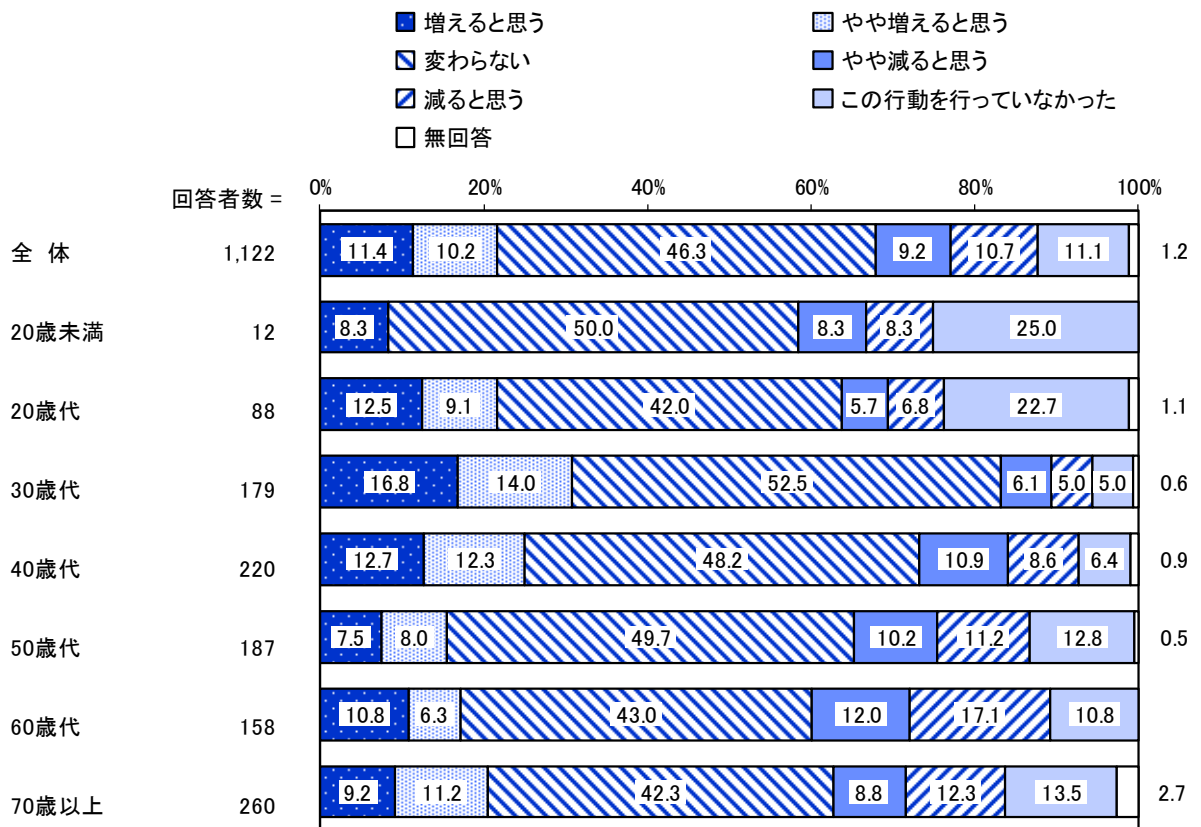
(2) 公園での活動（遊びや散歩）

「変わらない」（46.3%）が全体の4割半ばとなっている。「増えると思う」と「やや増えると思う」の合計（21.6%）、「やや減ると思う」と「減ると思う」の合計（19.9%）の合計は、ともに全体の約2割となっている。

【年齢別】

- 「増えると思う」と「やや増えると思う」の合計では、30歳代（30.8%）が最も多く、全体より9.2ポイント多い。
- 「やや減ると思う」と「減ると思う」の合計では、60歳代（29.1%）で全体より9.2ポイント多い。

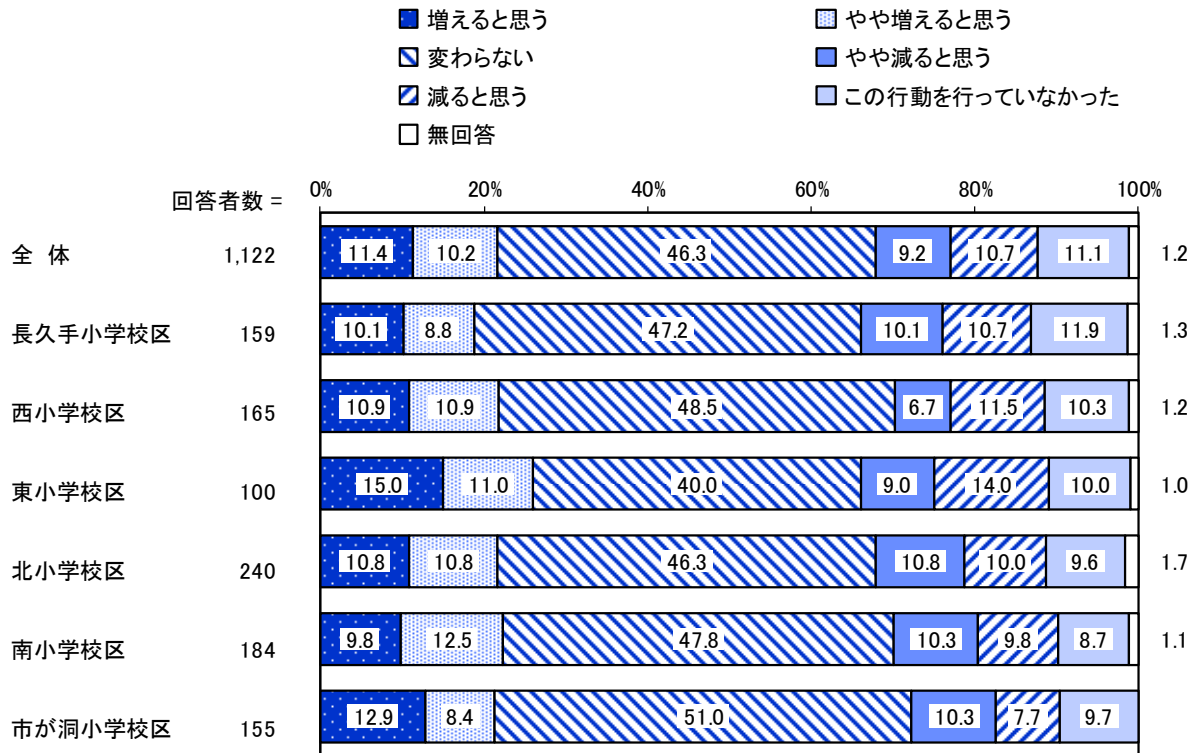
図5-1-3 公園での活動（年齢別）



【小学校区別】

○小学校区別で見ると、東小学校区で「変わらない」(40.0%) が全体より 6.3 ポイント少ない。

図 5-1-4 公園での活動 (小学校区別)



(3) 公共施設（文化の家、福祉の家、地域共生ステーション、図書館等）の利用

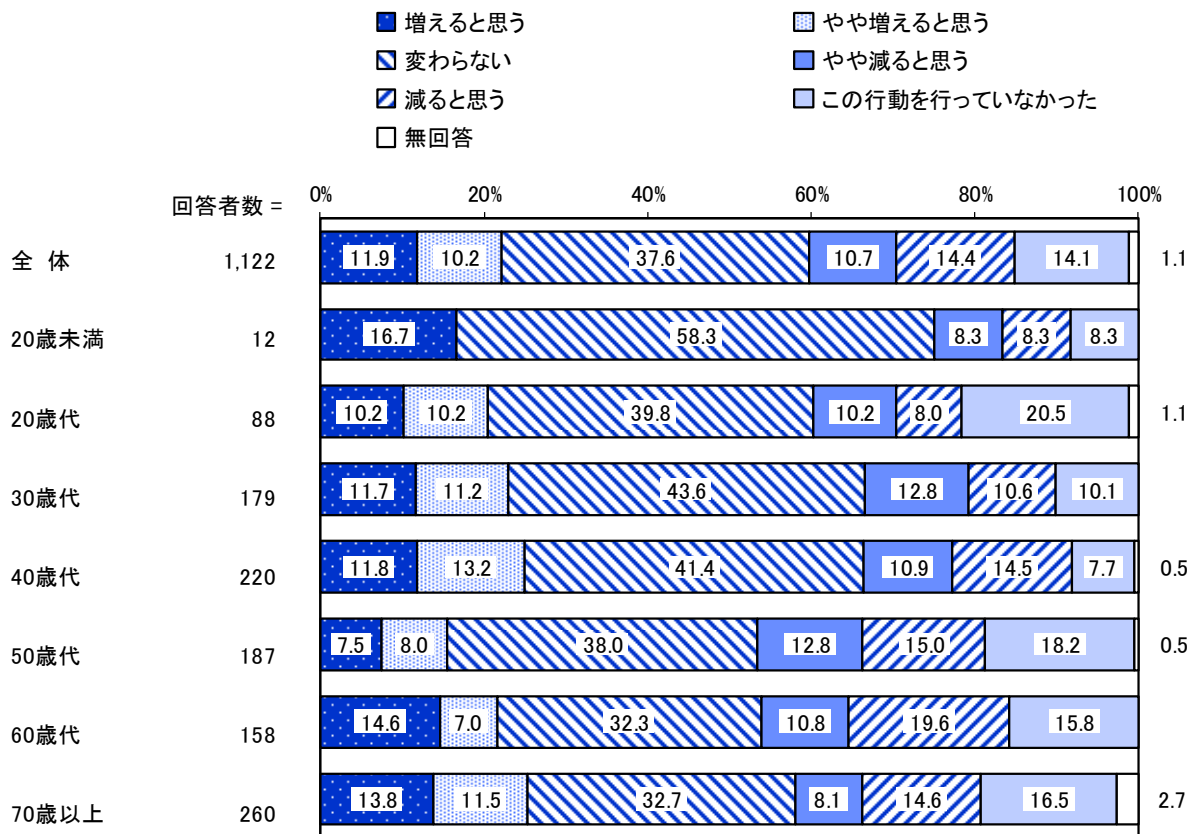
「変わらない」(37.6%) が全体の4割弱となっている。「増えると思う」と「やや増えると思う」の合計(22.1%)、「やや減ると思う」と「減ると思う」の合計(25.1%)の合計は、ともに全体の2割台となっている。

【年齢別】

○年齢別で見ると、20歳未満で「変わらない」(58.3%) が全体より20.7ポイント多く、30歳代でも全体より多くなっている。

○「やや減ると思う」と「減ると思う」の合計では、60歳代では30.4%と全体より5.3ポイント多い。

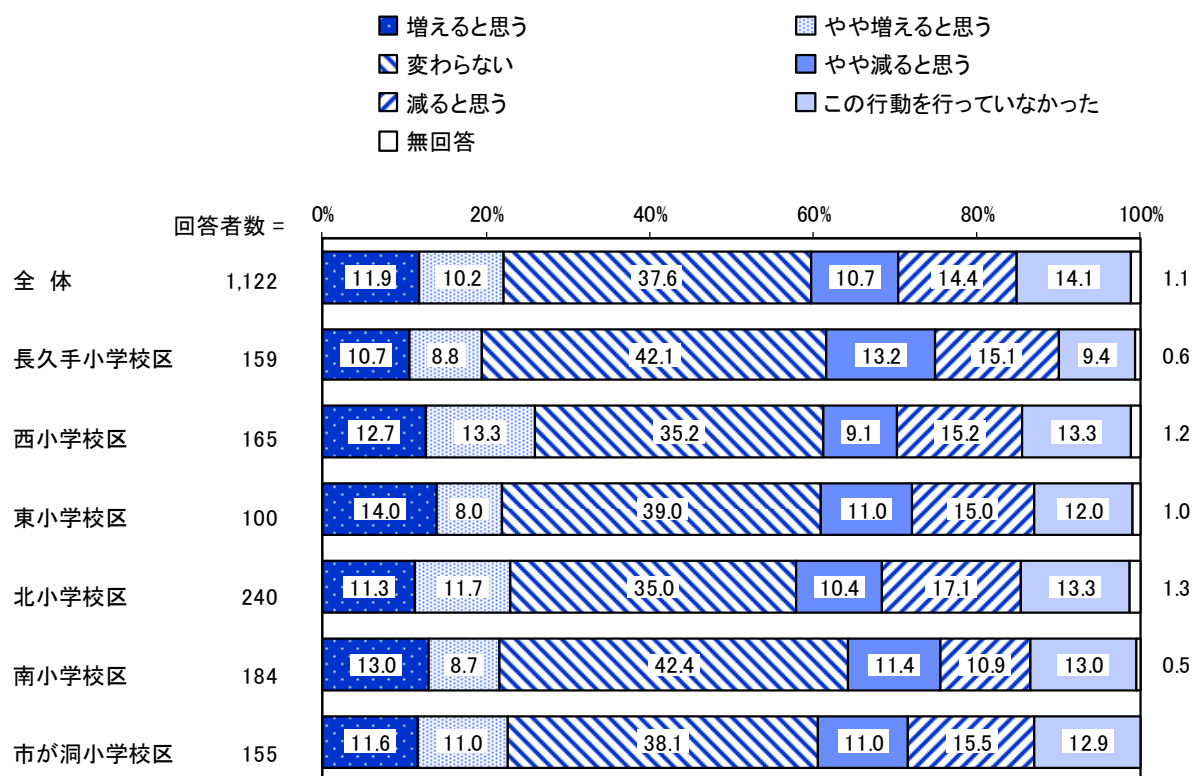
図5-1-5 公共施設の利用（年齢別）



【小学校区別】

○小学校区別では、大きな違いはみられない。

図 5 - 1 - 6 公共施設の利用（小学校区別）



(4) ボランティア・社会参加

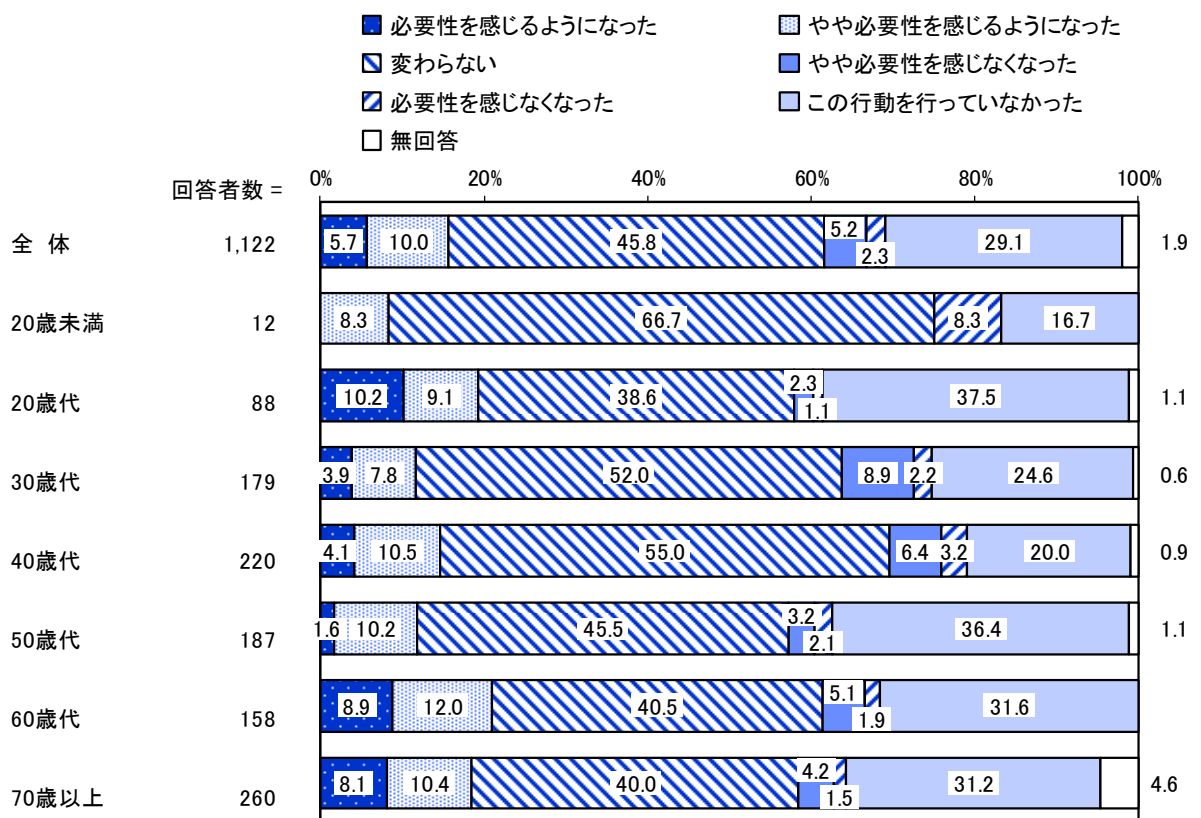
「変わらない」(45.8%)が全体の4割を超えている。

【年齢別】

○年齢別で見ると、20歳未満で「変わらない」(66.7%)が全体より20.9ポイント多く、また30歳代、40歳代(それぞれ52.0%、55.0%)も全体より多い。

○60歳代で「必要性を感じるようになった」と「やや必要性を感じるようになった」の合計が20.9%と、全体より5.2ポイント多い。

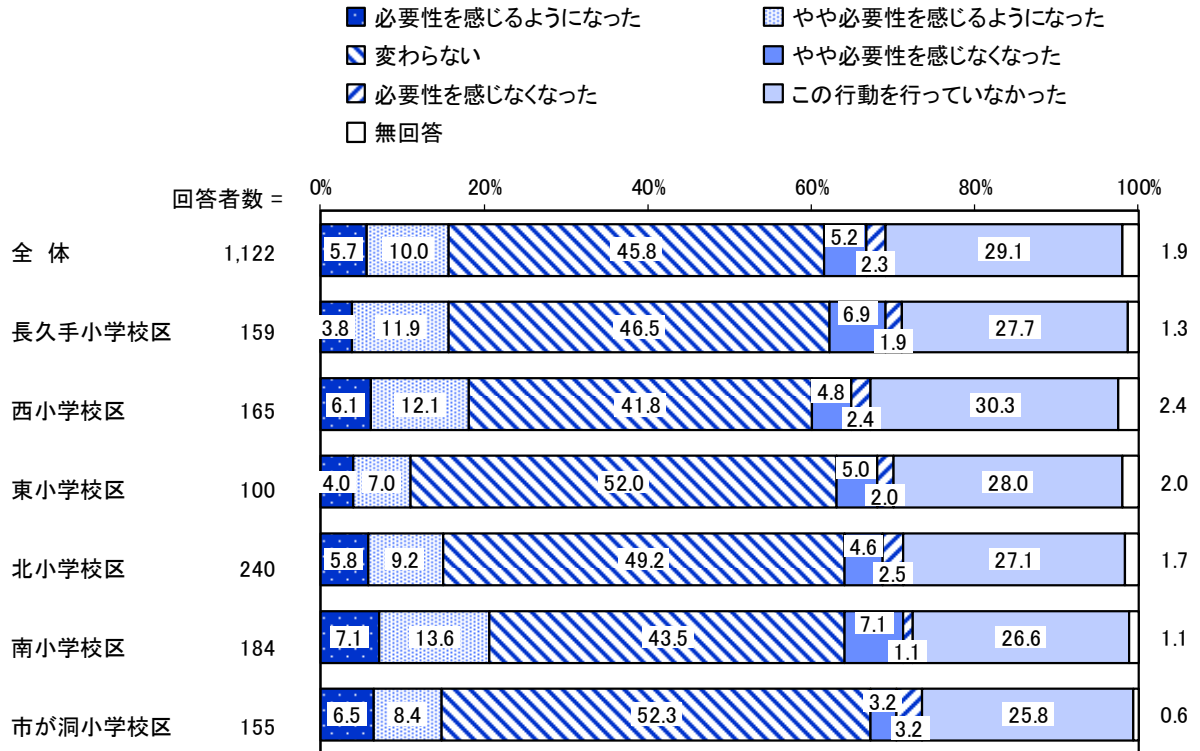
図5-1-7 ボランティア・社会参加(年齢別)



【小学校区別】

○小学校区別でみると、「変わらない」は東小学校区、市が洞小学校区(それぞれ 52.0%、52.3%)
で全体より多く、また半数を超えている。

図5-1-8 ボランティア・社会参加（小学校区別）



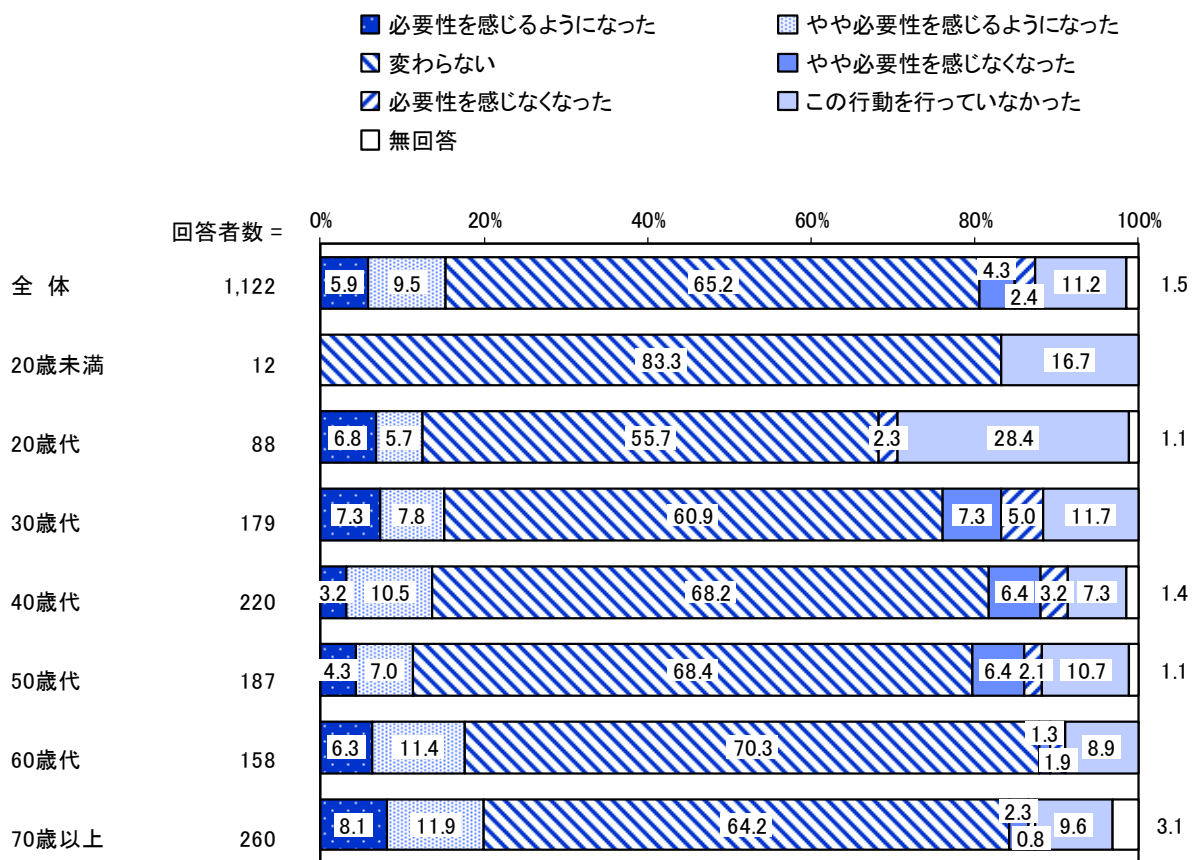
(5) 近所づきあい

「変わらない」(65.2%) が全体の6割半ばとなっている。「必要性を感じるようになった」と「やや必要性を感じるようになった」の合計は15.4%と少なくなっている。

【年齢別】

○年齢別でみると、20歳未満では「必要性を感じるようになった」または「やや必要性を感じるようになった」の回答がなく、「変わらない」(83.3%) が全体より18.1ポイント多い。
○30歳代では「やや必要性を感じなくなった」と「必要性を感じなくなった」の合計が12.3%と、全体より多い。

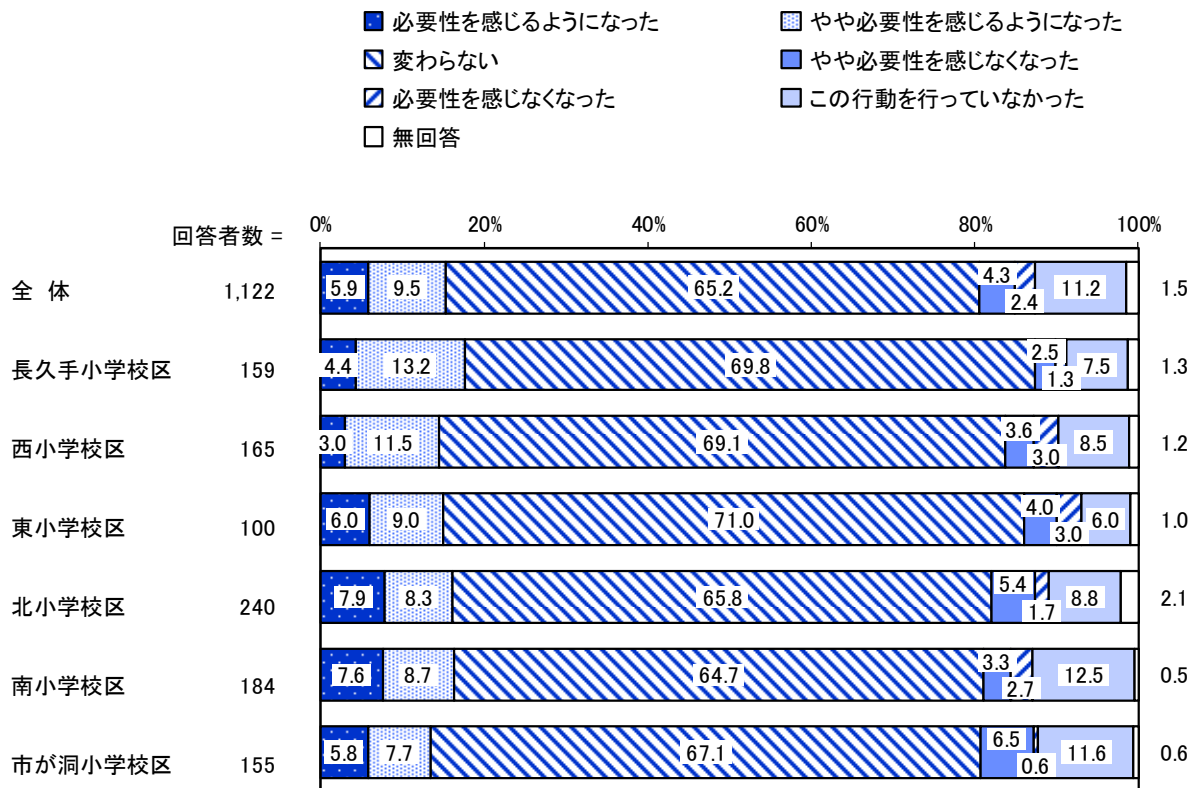
図5-1-9 近所づきあい（年齢別）



【小学校区別】

○小学校区別で見ると、東小学校区で「変わらない」(71.0%)が全体より5.8ポイント多い。

図5-1-10 近所づきあい(小学校区別)



(5) について、その番号を選んだ理由があれば自由にご記入ください。なお、特に理由がない方は、問 11 にお進みください。

分類	主なご意見（抜粋）
1：必要性を感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・何かあった時に助けになる。 ・家族も外出できなかつた時、近所の方に買い物や手作り野菜をいただき助かった。 ・空き巣未遂にあったため必要性や防犯活動が必要と感じた。 ・人とのつながりは大切であると感じる。 ・コロナ感染した時、とても助けられた。 ・安心して生活できる街にするには、コミュニケーションが重要である。
2：必要性を感じない	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の方は、こちらから挨拶をしないとしてくれない。見てみぬふりをするので、今後、何かあっても助け合いができないと思っている。 ・コロナ禍が長期に及ぶ中で、立ち話などをしなくなり、それが当たり前となってしまったため。 ・ちょっとめんどくさい。あいさつ程度しかしていない。仕事でいないので、そもそも出会わない。 ・市外に頼れる人がいるから。 ・何が相手にとって必要な助けになるのか、コロナのこともあり分からなくなったから。 ・近所付き合いをするメリットが浮かばない為。

VI 市民参加について

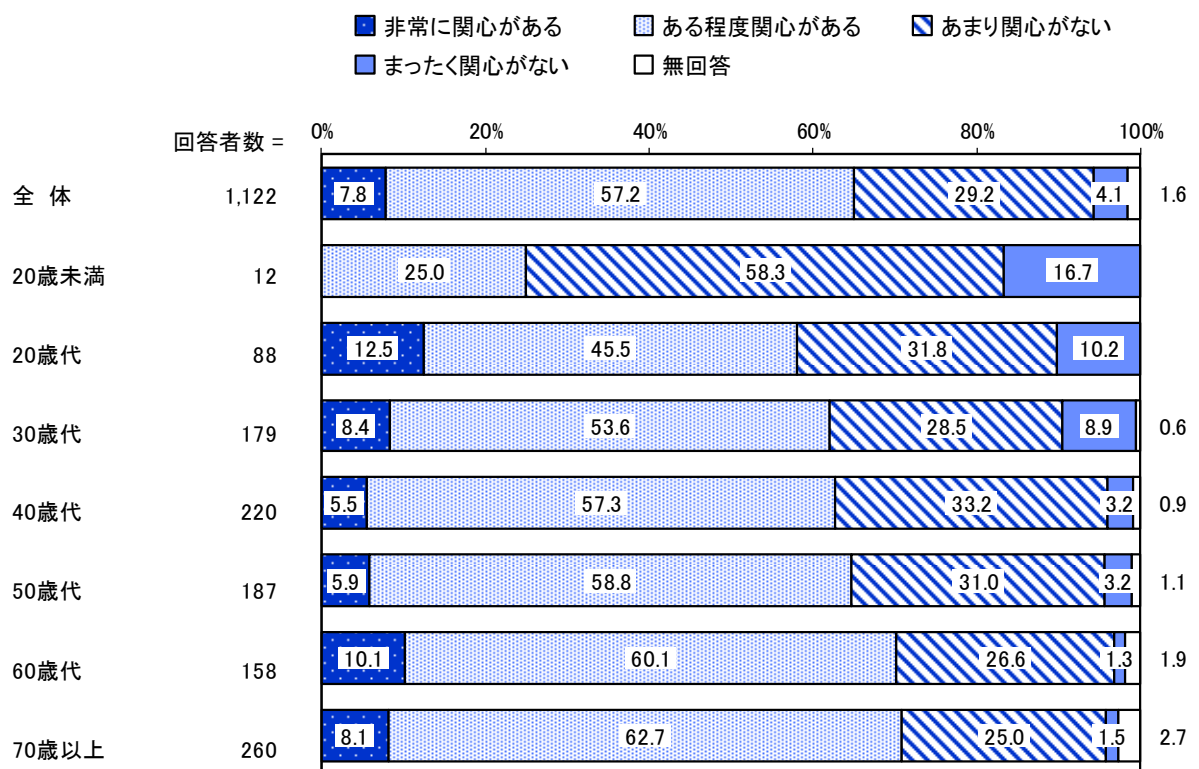
問 11 あなたは、市政にどの程度関心がありますか。【〇は1つ】

市政への関心度については、「ある程度関心がある」(57.2%)が最も多く、「非常に関心がある」(7.8%)を合わせると全体の6割半ばとなっている。一方、「あまり関心がない」(29.2%)と「まったく関心がない」(4.1%)を合わせると全体の約3割となっている。

【年齢別】

- 年齢別でみると、20歳代で「非常に関心がある」(12.5%)が全体より4.7ポイント多く、30歳代、60歳代、70歳以上でも全体より多い。一方、20歳未満では「非常に関心がある」との回答はみられない。
- 「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせると、60歳代、70歳以上ではそれぞれ70.2%、70.8%と7割を超えている。

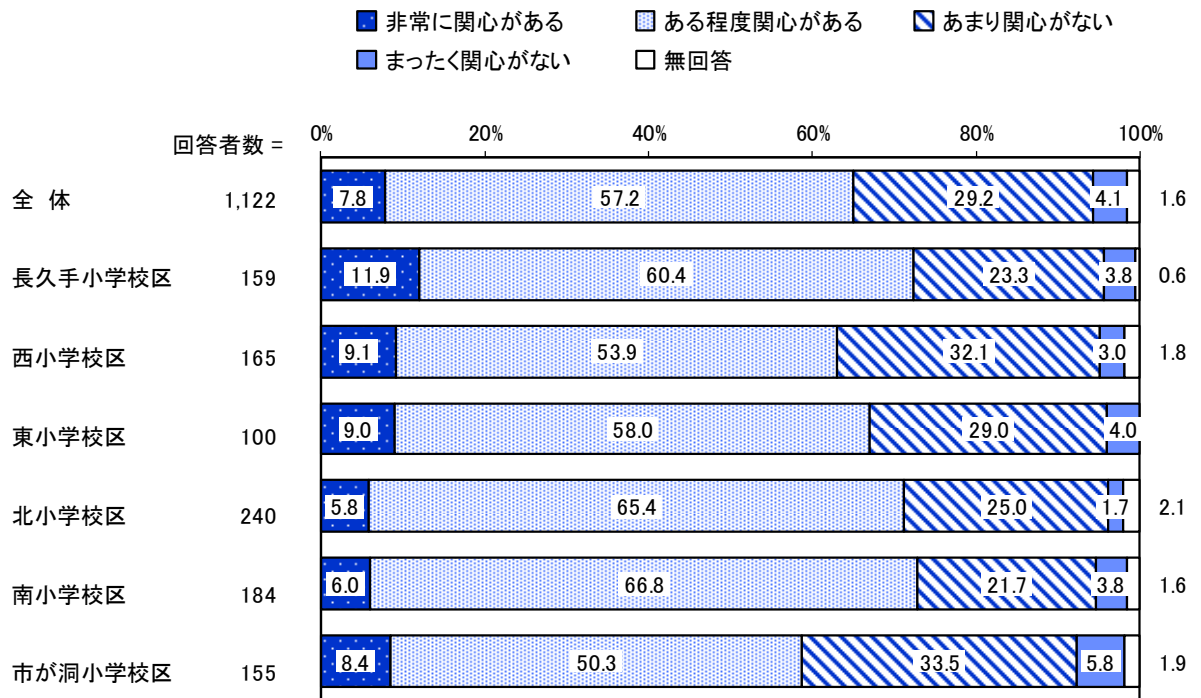
図6-1-1 市政への関心度（年齢別）



【小学校区別】

- 小学校区別でみると、「非常に関心がある」は長久手小学校区（11.9%）で全体より4.1ポイント多い。
- 「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計では、長久手小学校区、北小学校区、南小学校区（それぞれ72.3%、71.2%、72.8%）で全体より多く、7割を超えている。

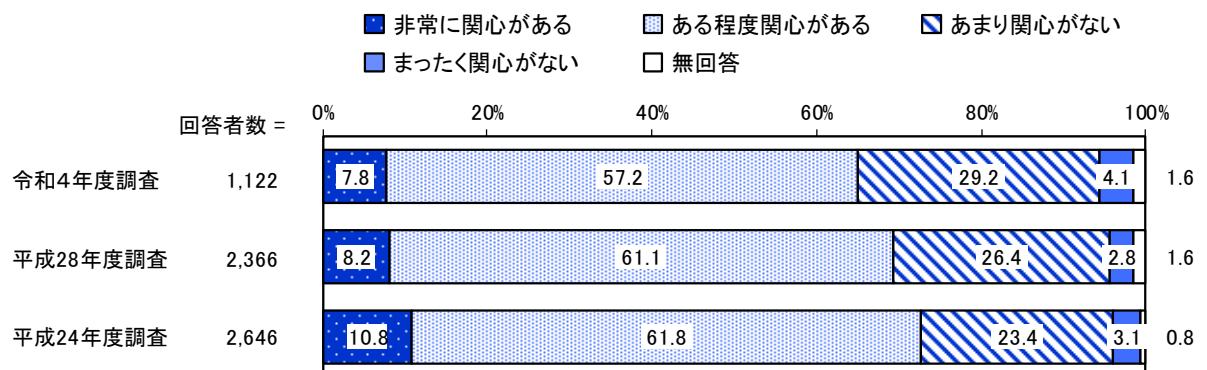
図6-1-2 市政への関心度（小学校区別）



【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、「非常に関心がある」は徐々に少なくなる傾向が続いている。
- 「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計（65.0%）でも、前回（69.3%）よりも少なくなっている。

図6-1-3 市政への関心度（経年変化）



問 12 あなたは、長久手市の情報をどのように得ていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。【○はあてはまるものすべて】

行政情報の入手手段については、「広報紙」が80.2%と最も多く、次いで「回覧板」(36.0%)、「市ホームページ」(32.9%) などとなっている。

【年齢別】

- 年齢別でみると、20歳代以上では「広報紙」が最も多いが、20歳未満では「家族や知人からのクチコミ」が58.3%と最も多い。
- 「ぎかいたいむ」、「新聞」、「回覧板」は、おおよそ年齢が高くなるほど多くなっている。
- 「市ホームページ」は20歳代以上では年齢が低くなるほど多くなっている。
- 20歳未満では「安心メール」「きずなネット」「LINE公式アカウント」「ケーブルテレビ」「ぎかいたいむ」「回覧板」の回答がみられない。
- 70歳以上では、「市ホームページ」(21.5%)、が全体より11.4ポイント少ないほか、「安心メール」(21.2%)、「LINE公式アカウント」(3.8%)も全体より少ない。

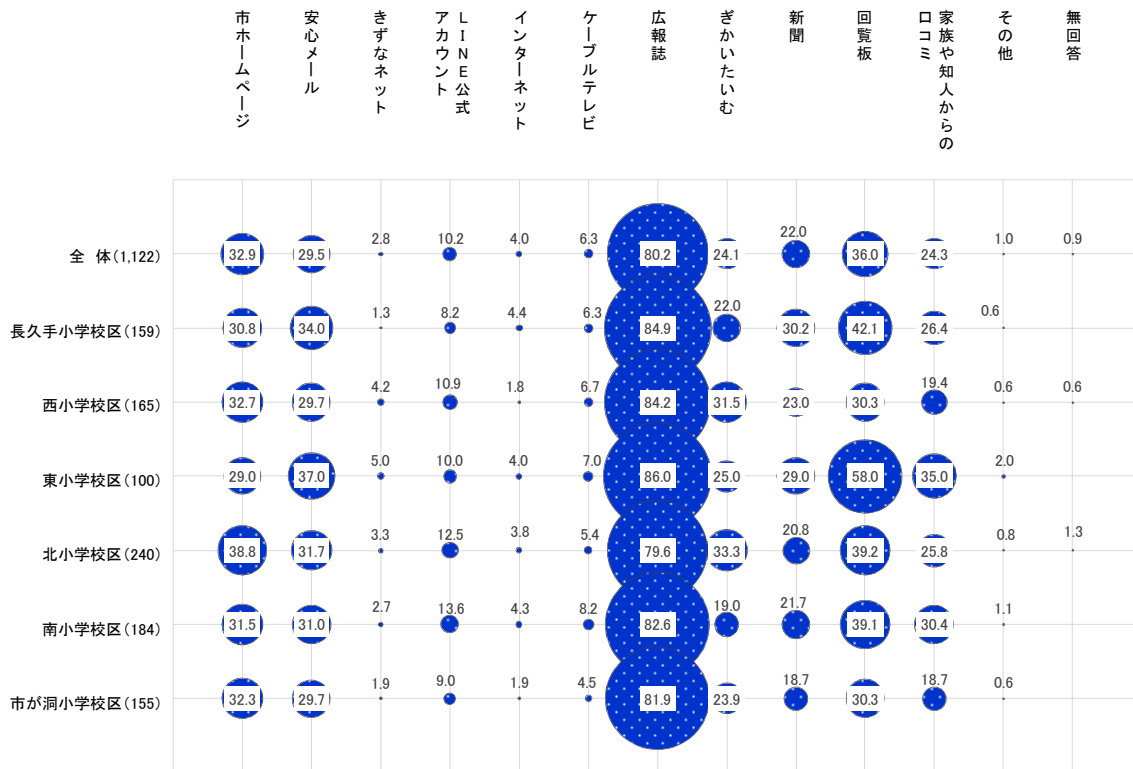
図6-2-1 情報の入手手段（年齢別）



【小学校区別】

- 小学校区別でみると、東小学校区で「回覧板」(58.0%)が全体より22.0ポイント多いほか、「家族や知人からの口コミ」(35.0%)が全体より10.7%多い。
- 西小学校区、市が洞小学校区では「回覧板」(それぞれ30.3%)が全体より少ない。

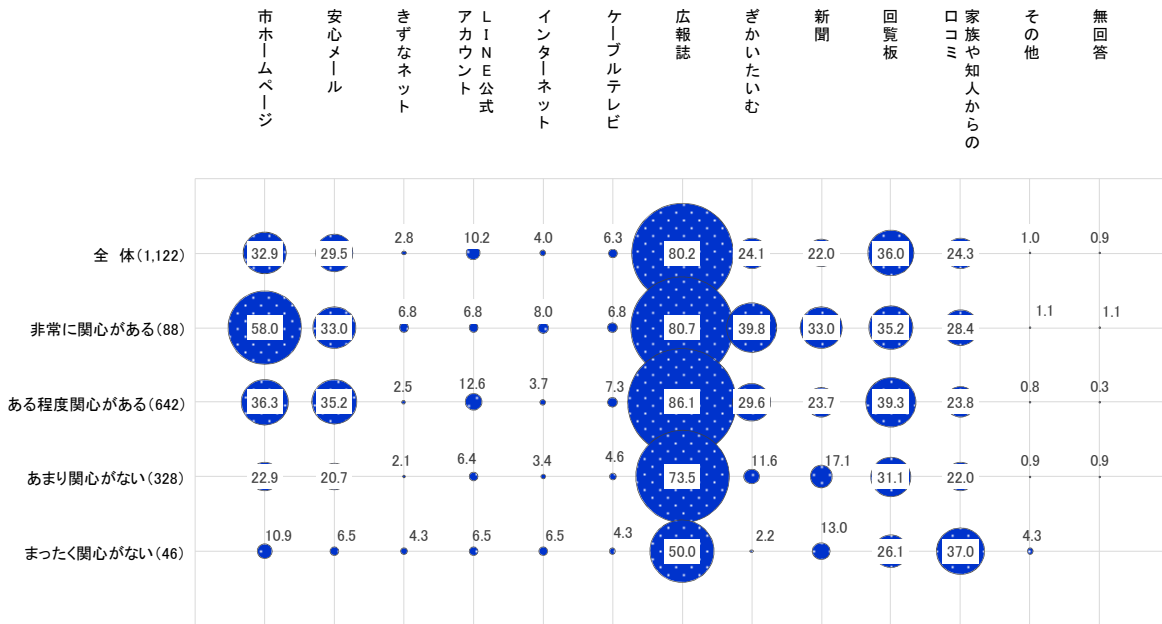
図6-2-2 情報の入手手段(小学校区別)



【市政への関心度別】

○市政への関心度別でみると、いずれの層でも「広報紙」が最も多い。また、全体的に関心が高いほど、「家族や知人からの口コミ」を除く情報媒体の利用が多い傾向があり、特に「市ホームページ」は非常に関心がある人では58.0%に対し、まったく関心がない人では10.9%と差が大きい。

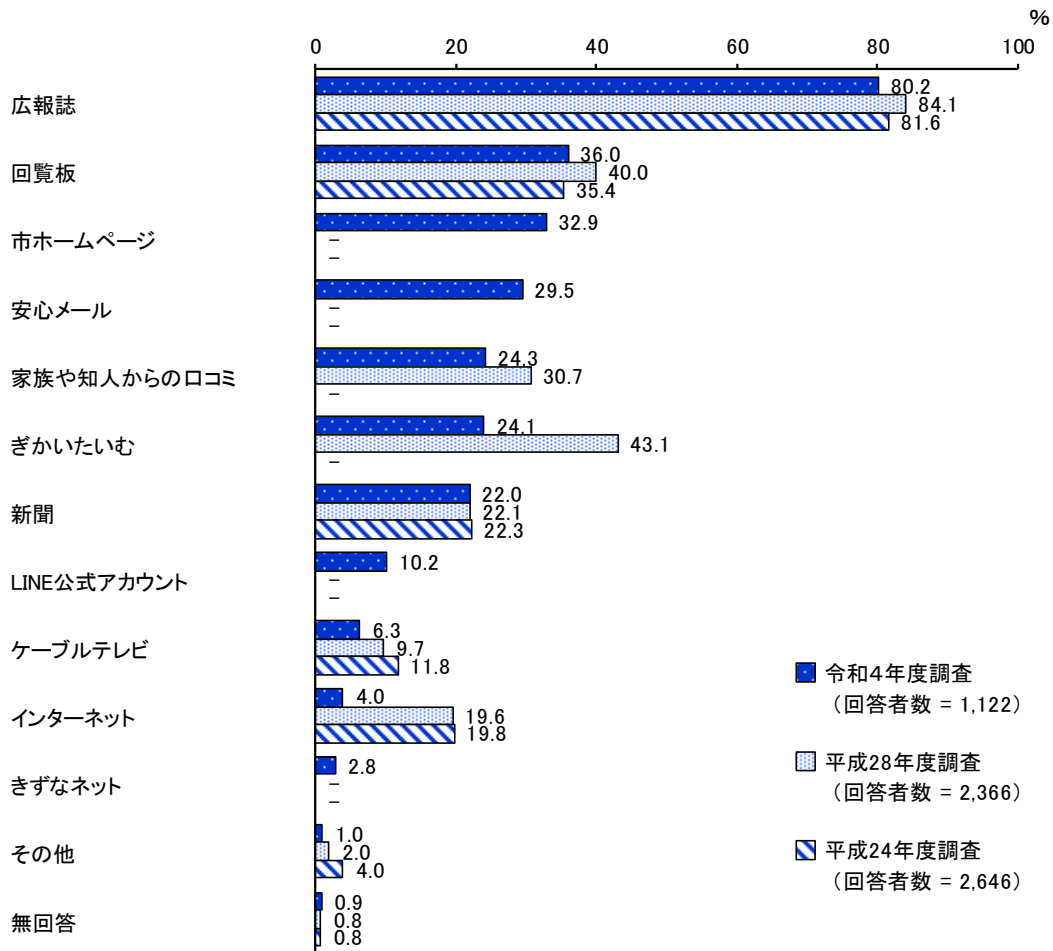
図6-2-3 情報の入手手段（市政への関心度別）



【経年比較】

○過去の調査と比較すると、「家族や知人からの口コミ」「ぎかいたいむ」「インターネット」はそれぞれ6.4ポイント、19.0ポイント、15.6ポイント少なくなっている。

図6-2-4 情報の入手手段（経年変化）



問 13 長久手市からの情報提供について、これから情報配信を充実してほしいものはどれですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。
【〇はあてはまるものすべて】

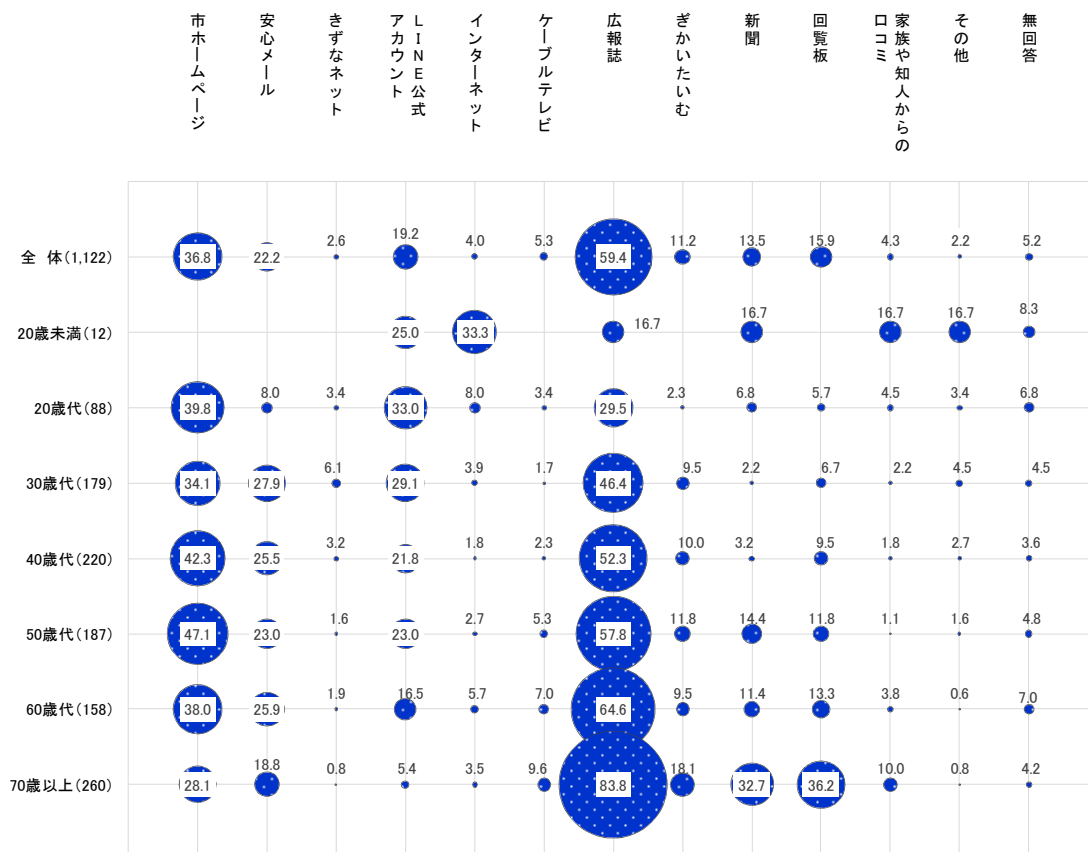
充実してほしい情報配信については、「広報誌」が 59.4%と最も多く、次いで「市ホームページ」が 36.8%、「安心メール」が 22.2%などとなっている。

【年齢別】

○年齢別でみると、概ね年齢が高くなるほど「広報誌」が多くなる一方、年齢が低くなるほど「LINE 公式アカウント」が多くなる。

○20 歳未満で「インターネット」(33.3%) が全体より 29.3 ポイント多い。

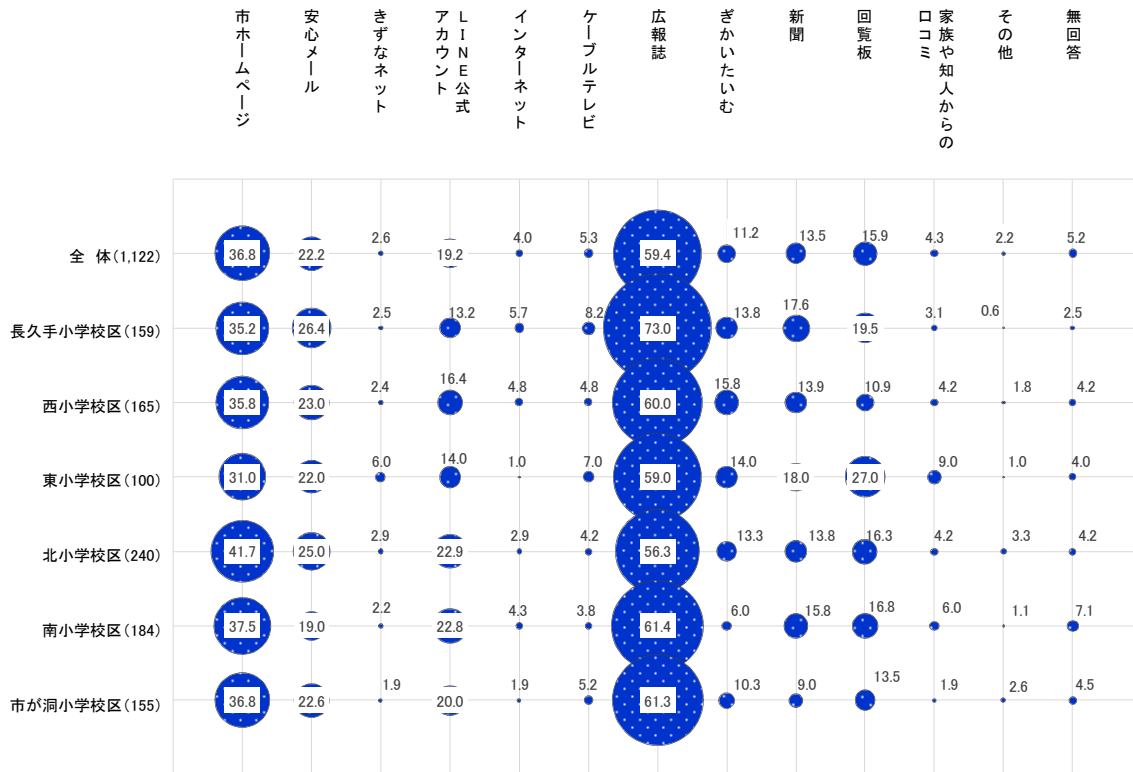
図 6-3-1 充実してほしい情報配信 (年齢別)



【小学校区別】

- 小学校区別でみると、全ての校区で「広報誌」が最も多い。特に、長久手小学校区（73.0%）では全体より13.6ポイント多い。
- 東小学校区で「回覧板」（27.0%）が全体より11.1ポイント多い。

図6-3-2 充実してほしい情報配信（小学校区別）



【市政への関心度別】

○市政への関心度別で見ると、いずれの層でも「広報紙」が最も多い。また、全体的に関心が高いほど、「家族や知人からの口コミ」を除く情報媒体の充実の希望が多い傾向にある。

図6-3-3 充実してほしい情報配信（市政への関心度別）



問 14 あなたが、市の行う事業（講演会、イベント、計画策定のためのワークショップ等）に参加するには、どのようなことが決め手となりますか。特に重要だと思うものを次の中から選んでください。【〇は2つまで】

市の行う事業への参加の決め手としては、「広報紙、HPに情報が掲載されている」が49.3%と最も多く、次いで「事業自体に魅力がある」(48.5%)、「参加すると、報奨やポイント、記念品がもらえる」(13.0%)などとなっている。

【年齢別】

- 年齢別でみると、50歳代以下では「事業自体に魅力がある」が最も多く、60歳代以上では「広報紙、HPに情報が掲載されている」が最も多くなっている。
- 年齢が高くなるほど「広報紙、HPに情報が掲載されている」が多くなっている。
- 20歳代では、「ツイッター(Twitter)やフェイスブック(Facebook)などのSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)に情報が掲載されている」(34.1%)が全体より22.9ポイント多いほか、「参加すると、報奨やポイント、記念品がもらえる」(33.0%)が全体より20.0ポイント多い。
- 70歳以上では、「事業自体に魅力がある」(28.5%)が全体より20.0ポイント少ない。

図 6-4-1 事業参加の決め手（年齢別）



【小学校区別】

- 小学校区別でみると、東小学校区では「事業自体に魅力がある」(53.0%)が最も多いが、他の地区では「広報紙、HPに情報が掲載されている」が最も多い。
- 南小学校区では、「広報紙、HPに情報が掲載されている」(55.4%)が全体より6.1ポイント多い。

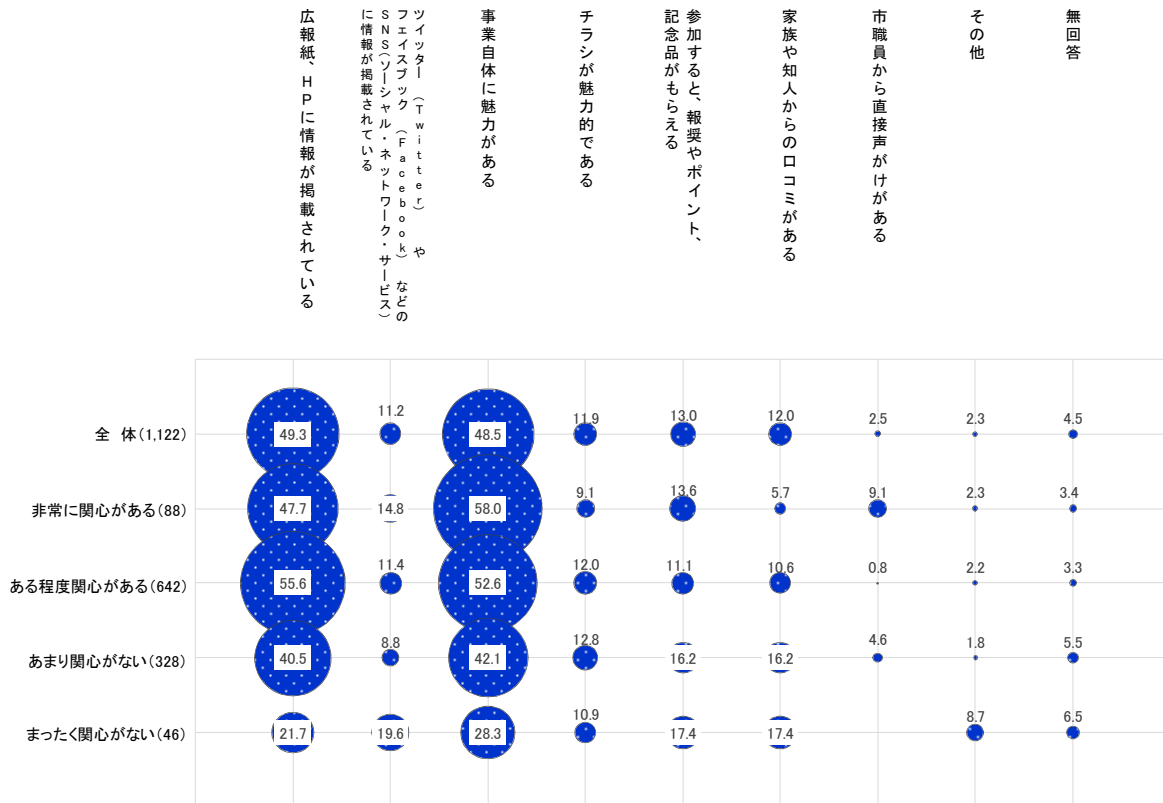
図6-4-2 事業参加の決め手（小学校区別）



【市政への関心度別】

○市政への関心度別でみると、まったく関心がない人では、「広報紙、HP に情報が掲載されている」、「事業自体に魅力がある」は全体より 20 ポイント以上少ないが、「ツイッター(Twitter) やフェイスブック(Facebook) などの SNS (ソーシャル・ネットワーク・サービス) に情報が掲載されている」は全体より 8.4 ポイント、「家族や知人からの口コミがある」は 5.4 ポイント多い。

図 6-4-3 事業参加の決め手 (市政への関心度別)

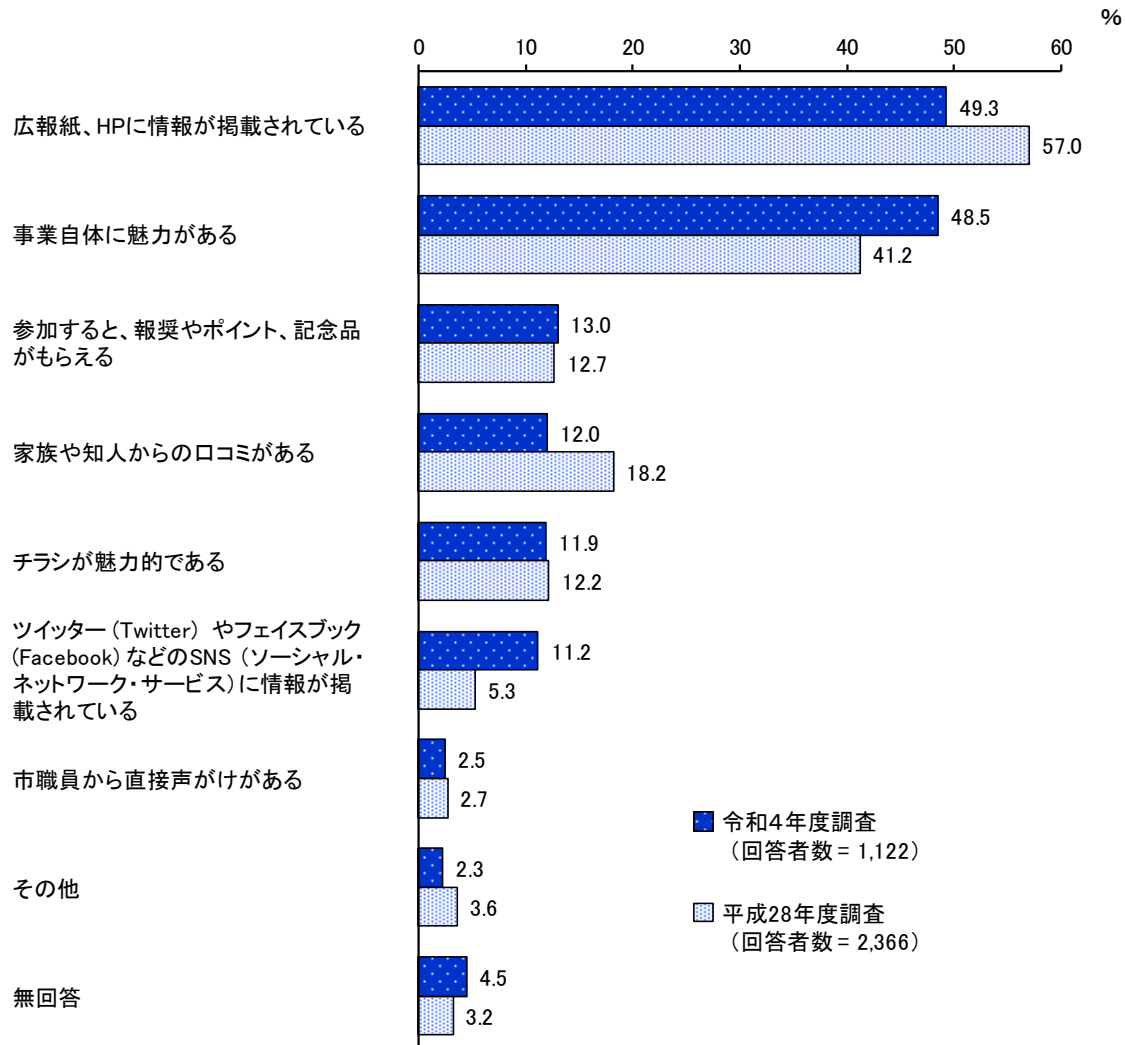


【経年比較】

○過去の調査と比較すると、「事業自体に魅力がある」が7.3ポイント、「ツイッター(Twitter)やフェイスブック(Facebook)などのSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)に情報が掲載されている」が5.9ポイント、前回調査より多くなっている。

○一方、「広報紙、HPに情報が掲載されている」が7.7ポイント、「家族や知人からの口コミがある」が6.2ポイント前回調査より少なくなっている。

図6-4-4 事業参加の決め手(経年変化)



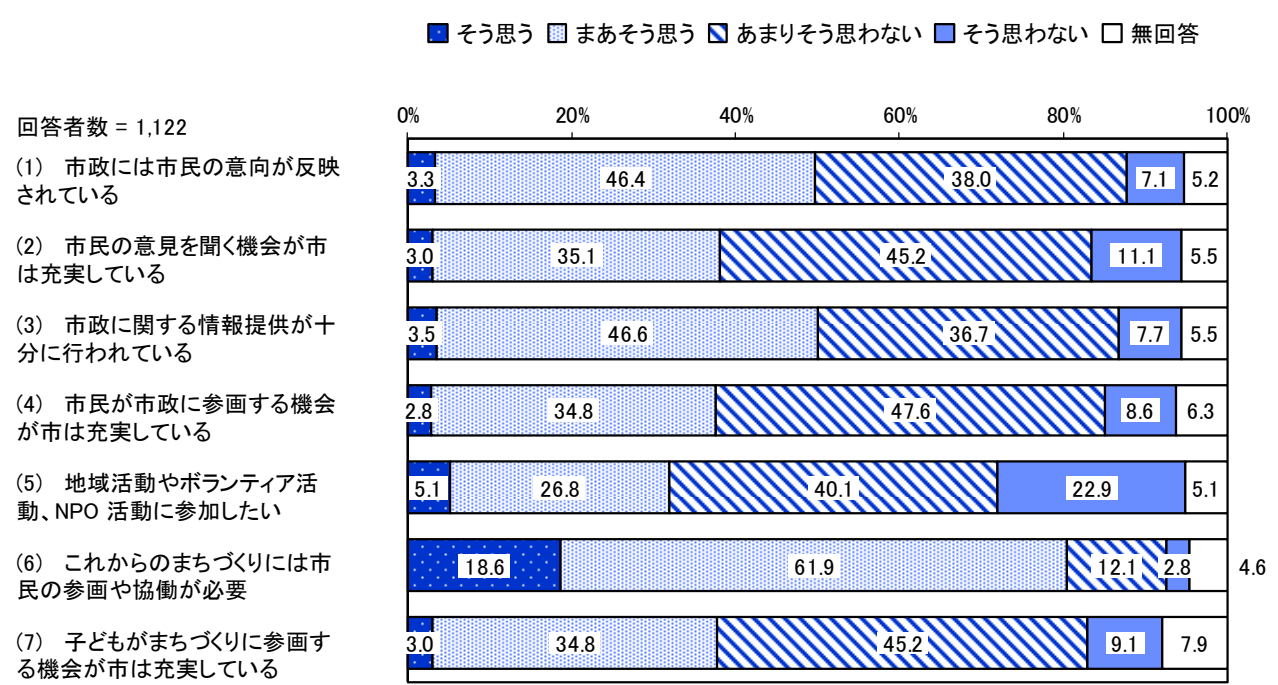
問 15 あなたは、市政運営への市民参画や、市民と行政との協働に関してどのように思いますか。(1)～(7)の項目について、1～4の中から1つずつ選んでください。

“これからのまちづくりには市民の参画や協働が必要”という考え方について、「そう思う」(18.6%)と「まあそう思う」(61.9%)を合わせると80.5%となっている。

一方、現状に対する評価について「そう思う」及び「まあそう思う」の合計は、“市政には市民の意向が反映されている”(計49.7%)、“市政に関する情報提供が十分に行われている”(計50.1%)が約5割となっている。

また、“地域活動やボランティア活動、NPO活動に参加したい”は「そう思う」(5.1%)と「まあそう思う」(26.8%)は合わせて31.9%となっている。

図 6-5-1 市民と行政との協働のあり方

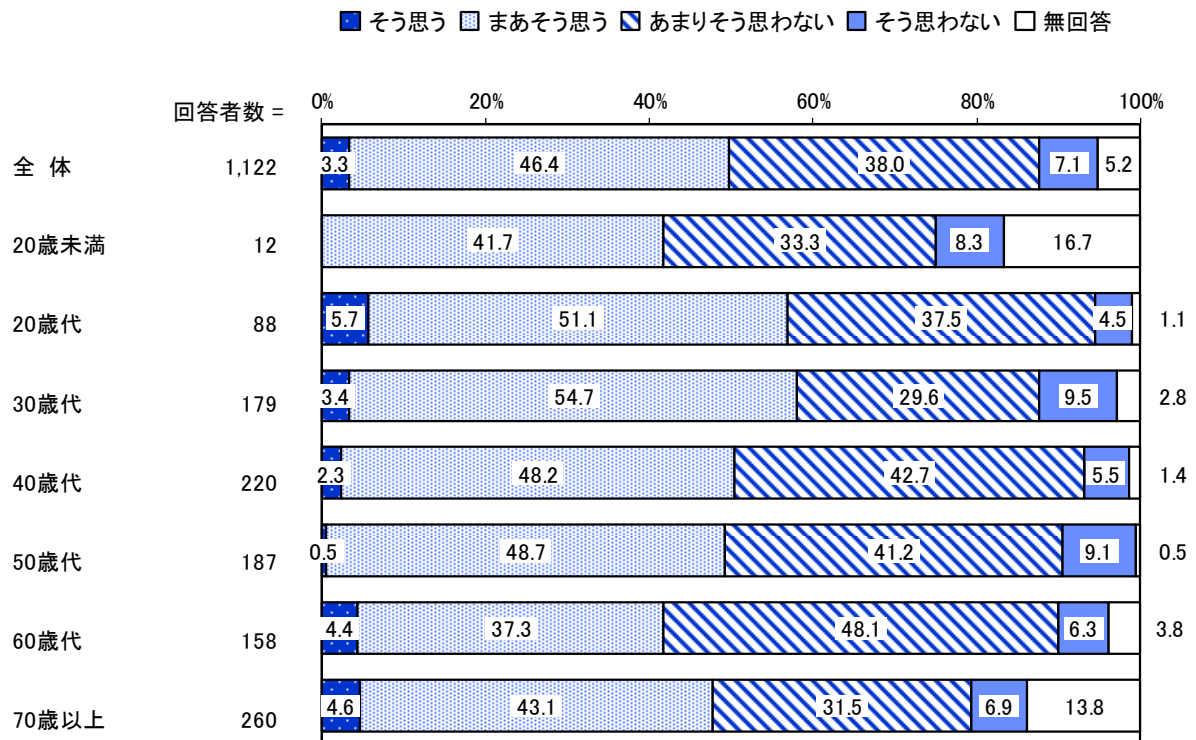


(1) 市政には市民の意向が反映されている

【年齢別】

○市政への市民の意向の反映について、年齢別でみると、30歳代で「そう思う」と「まあそう思う」の合計が58.1%と全体より8.4ポイント多い。一方、60歳代では41.7%と全体より8.0ポイント少なく半数以下となっている。

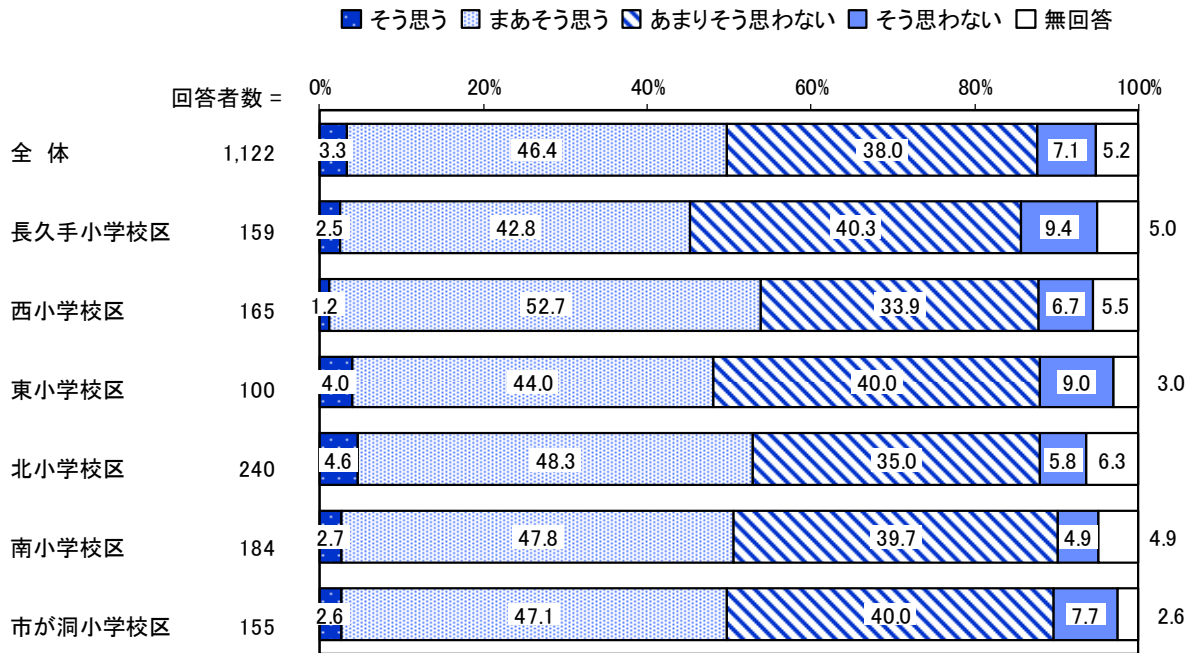
図6-5-2 市政への市民の意向の反映（年齢別）



【小学校区別】

○市政への市民の意向の反映について、小学校区別でみると、「そう思う」と「まあそう思う」の合計が西小学校区で53.9%、北小学校区で52.9%、南小学校区で50.5%と半数以上となっている。

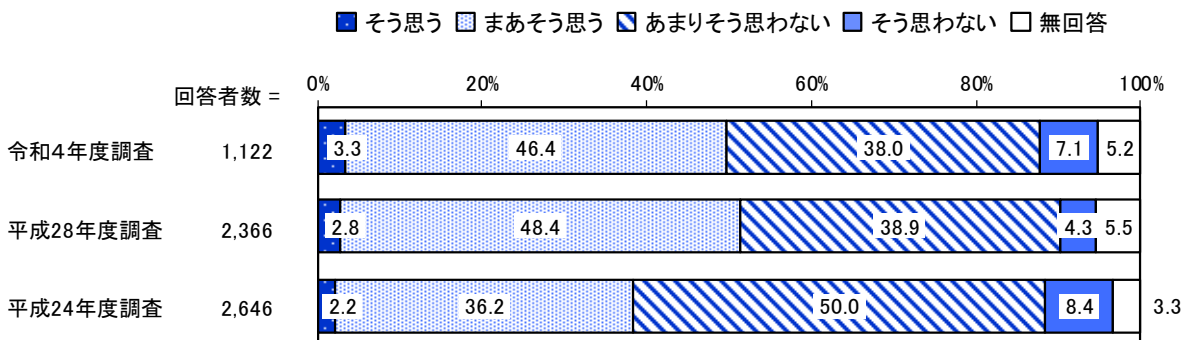
図6-5-3 市政への市民の意向の反映（小学校区別）



【経年比較】

○市政への市民の意向の反映について、過去の調査と比較すると、「そう思う」と「まあそう思う」の合計（49.7%）が前回調査（51.2%）より1.5ポイント少なくなっている。

図6-5-4 市政への市民の意向の反映（経年比較）



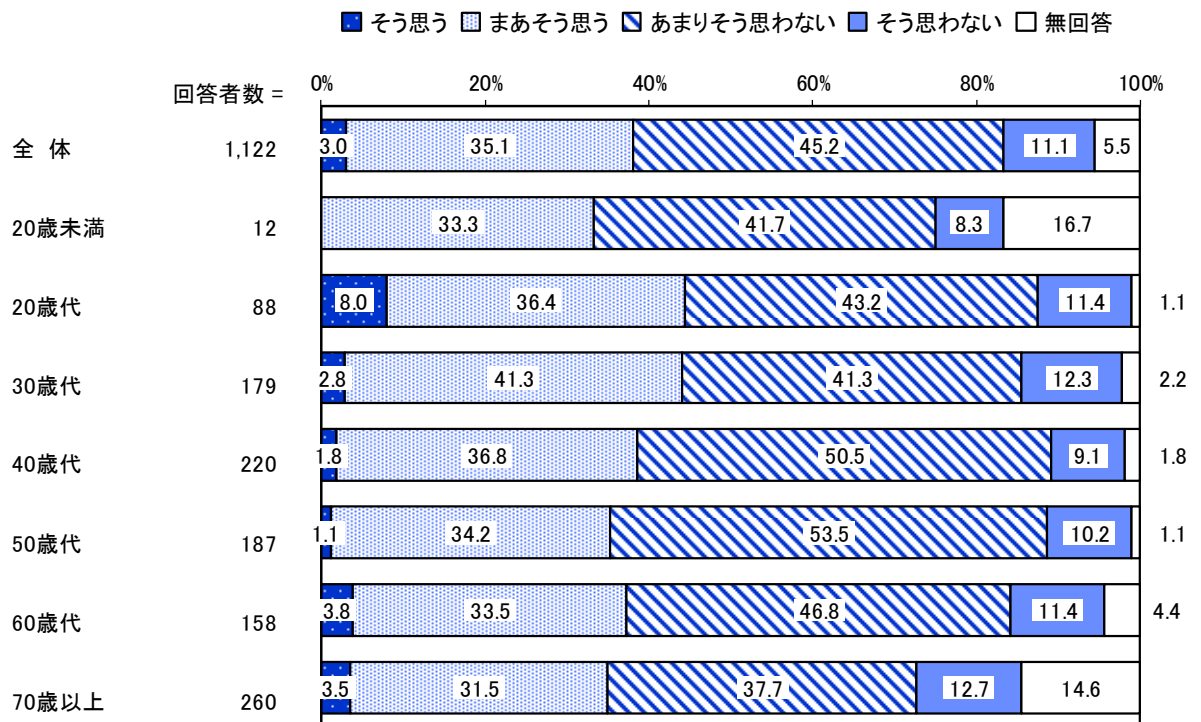
(2) 市民の意見を聞く機会が市は充実している

【年齢別】

○市民の意見を聞く機会の充実について、年齢別でみると、20歳代で「そう思う」と「まあそう思う」の合計が44.4%、30歳代で44.1%と全体よりそれぞれ6ポイント以上多い。

○一方、40歳代で「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計が59.6%、50歳代で63.7%と、全体より3ポイント以上多い。

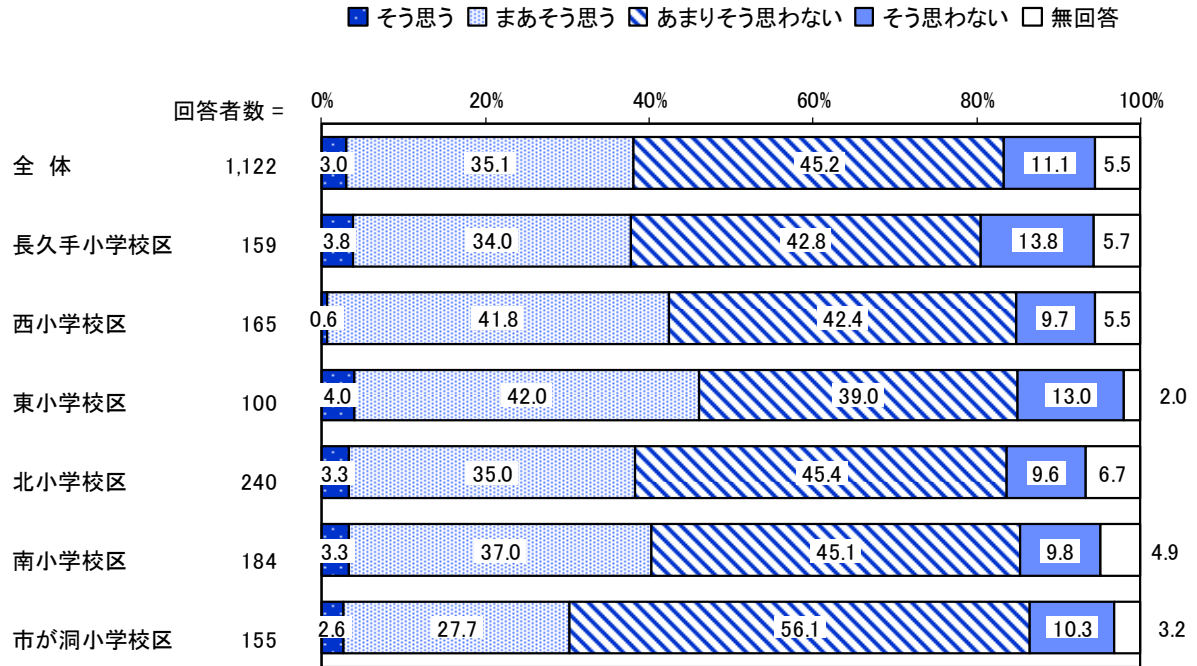
図6-5-5 市民の意見を聞く機会の充実（年齢別）



【小学校区別】

○市民の意見を聞く機会の充実について、小学校区別でみると、東小学校区で「そう思う」と「まあそう思う」の合計が46.0%と全体より7.9ポイント多い。一方、市が洞小学校区で30.3%と全体より7.8ポイント少ない。

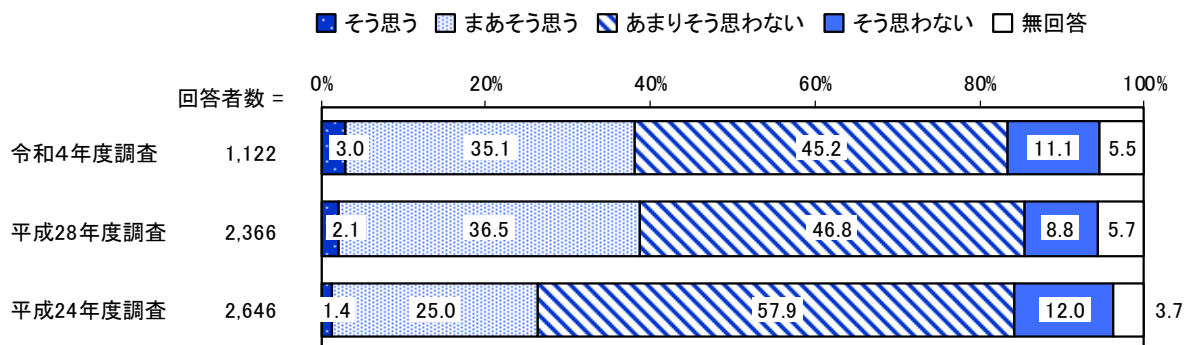
図6-5-6 市民の意見を聞く機会の充実（小学校区別）



【経年比較】

○市民の意見を聞く機会の充実について、過去の調査と比較すると、「そう思う」と「まあそう思う」の合計（38.1%）が前回調査（38.6%）と大きな変化はみられない。

図6-5-7 市民の意見を聞く機会の充実（経年比較）

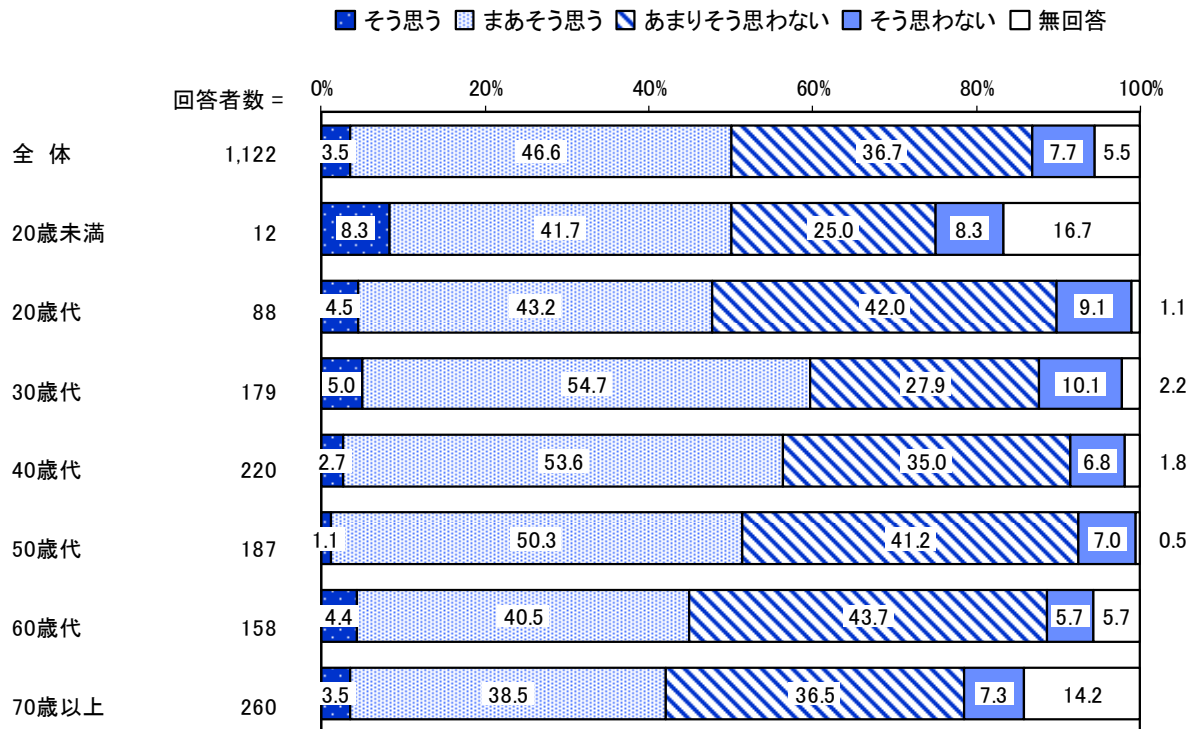


(3) 市政に関する情報提供が十分に行われている

【年齢別】

○市政に関する情報提供が十分に行われているかについて、年齢別でみると、30歳代で「そう思う」と「まあそう思う」の合計が59.7%、40歳代で56.3%、50歳代で51.4%と全体より多く、60歳代では44.9%、70歳以上で42.0%と全体より少なく半数以下となっている。

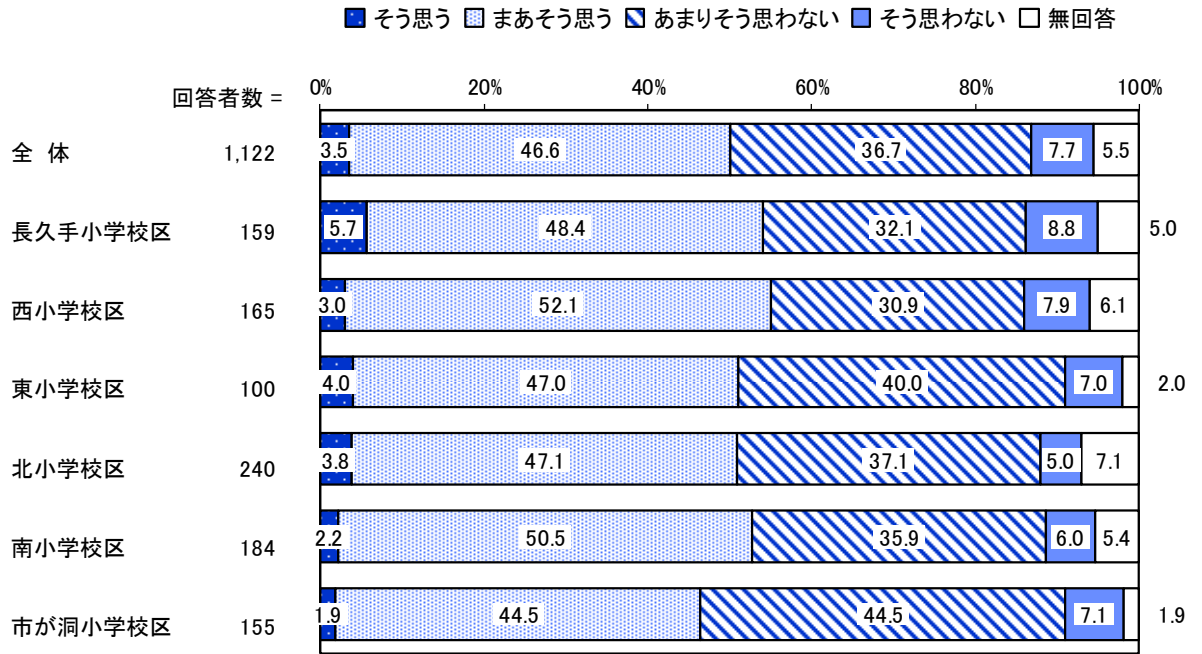
図6-5-8 市政に関する十分な情報提供（年齢別）



【小学校区別】

○市政に関する情報提供が十分行われているかについて、小学校区別でみると、西小学校区で「そう思う」と「まあそう思う」の合計が55.1%と全体より5.0ポイント多い。

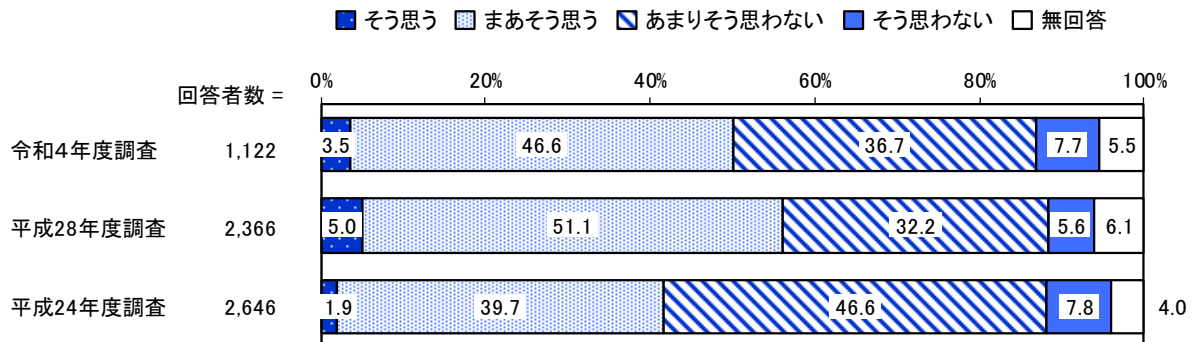
図6-5-9 市政に関する十分な情報提供（小学校区別）



【経年比較】

○市政に関する情報提供が十分行われているかについて、過去の調査と比較すると、「そう思う」と「まあそう思う」の合計（50.1%）が前回調査（56.1%）より6.0ポイント少なくなっている。

図6-5-10 市政に関する十分な情報提供（経年変化）

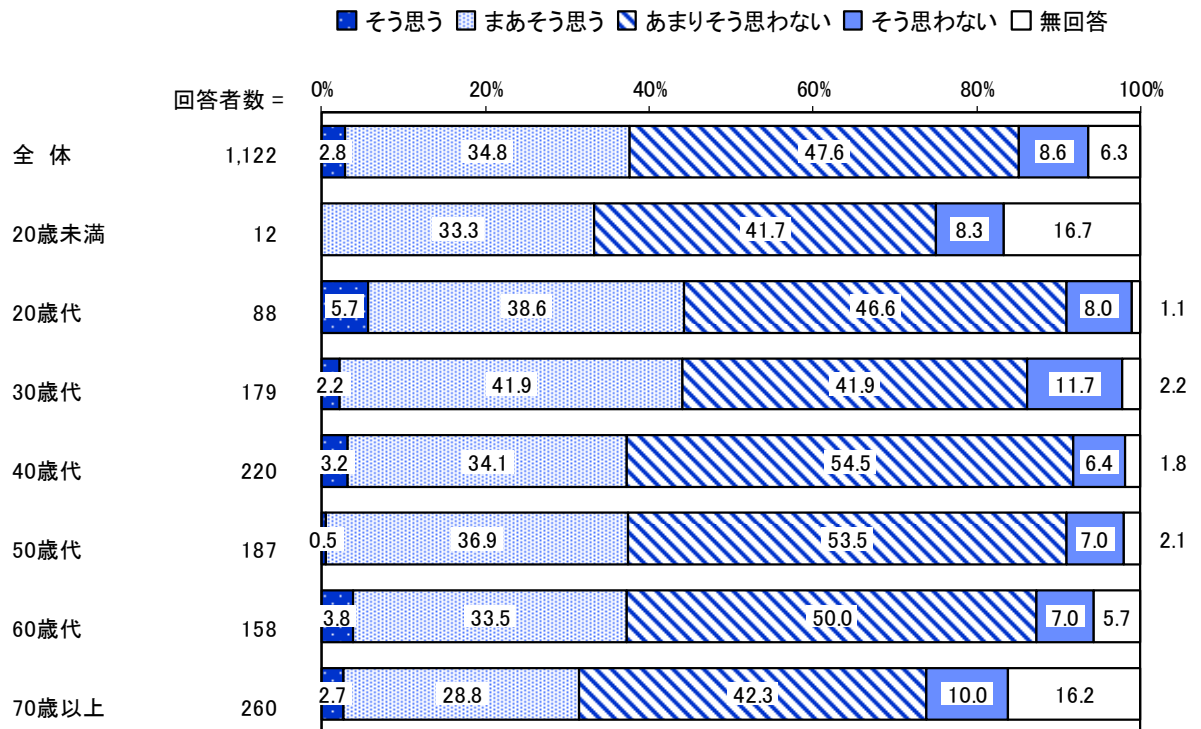


(4) 市民が市政に参画する機会が市は充実している

【年齢別】

○市民が市政に参画する機会が市は充実しているかについて、年齢別でみると、20歳代で「そう思う」と「まあそう思う」の合計が44.3%、30歳代で44.1%と全体より6ポイント以上多く、70歳以上では31.5%と全体より6.1ポイント少ない。

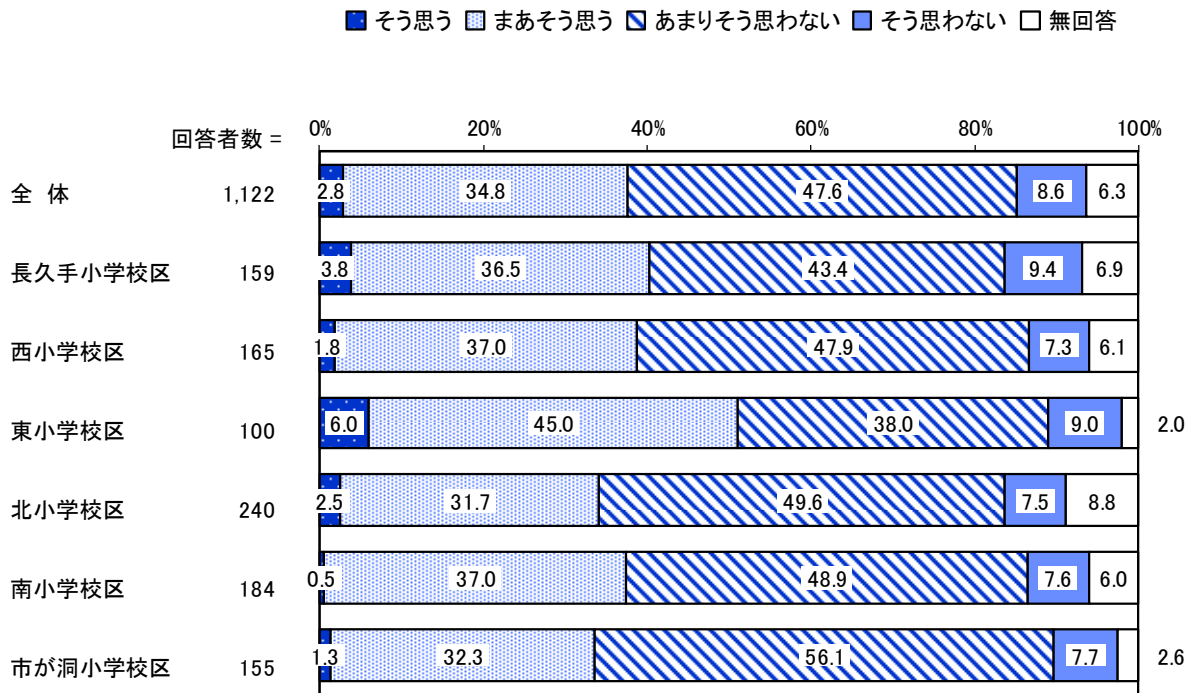
図6-5-11 市民が市政に参画する機会（年齢別）



【小学校区別】

- 市民が市政に参画する機会が市は充実しているかについて、小学校区別でみると、東小学校区で「そう思う」と「まあそう思う」の合計が51.0%と、全体より13.4ポイント多い。
- 市が洞小学校区では「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計が63.8%と、全体より7.6ポイント多い。

図6-5-12 市民が市政に参画する機会（小学校区別）

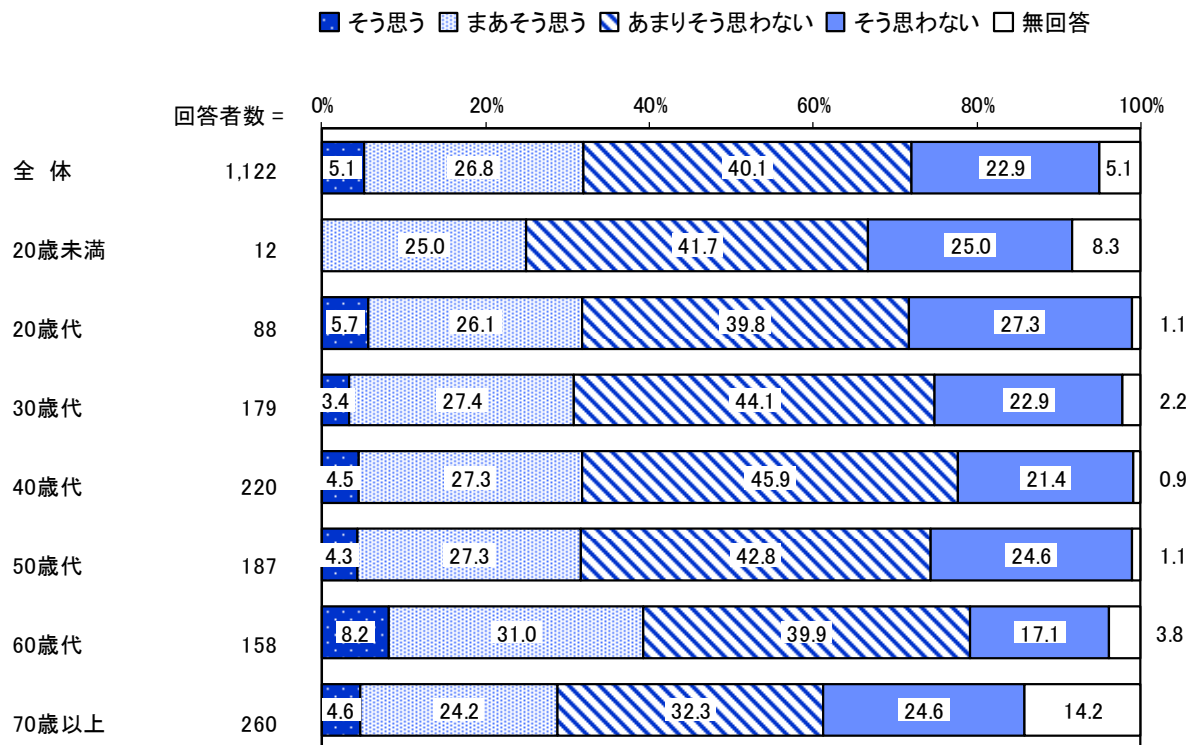


(5) 地域活動やボランティア活動、NPO 活動に参加したい

【年齢別】

○地域活動やボランティア活動、NPO 活動への参加意向について、年齢別でみると、60 歳代で「そう思う」と「まあそう思う」の合計が 39.2%と全体より 7.3 ポイント多く、20 歳未満で 25.0%と全体より 6.9 ポイント少ない。

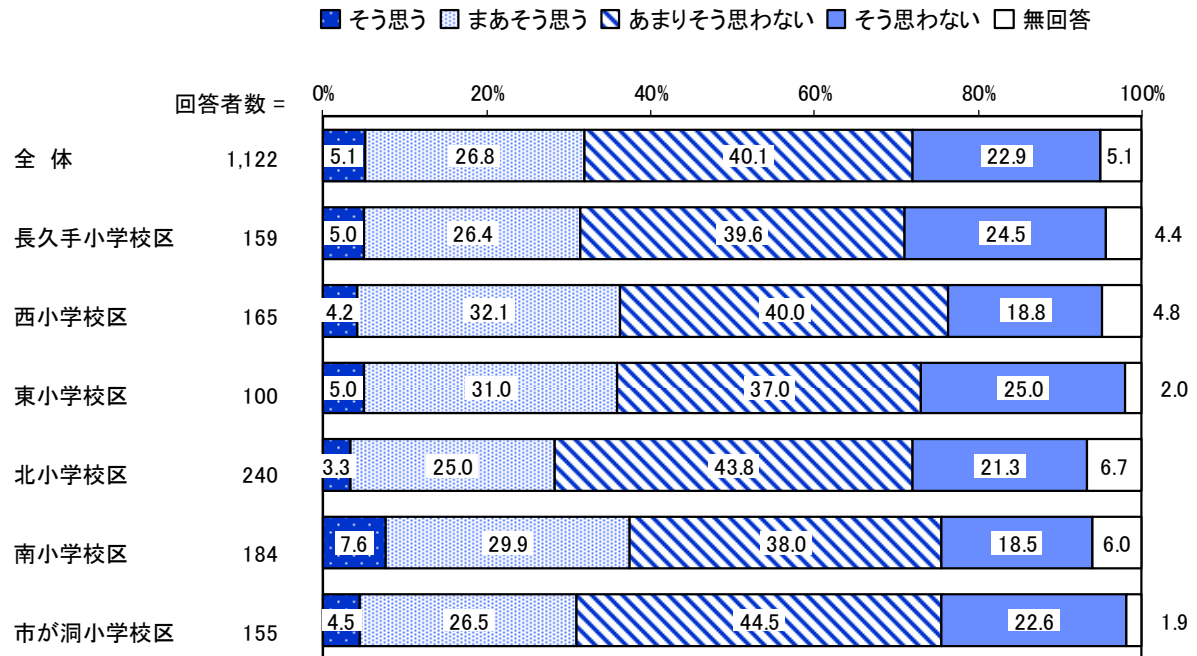
図 6-5-13 地域活動やボランティア活動、NPO 活動への参加意向 (年齢別)



【小学校区別】

○地域活動やボランティア活動、NPO 活動への参加意向について、小学校区別でみると、南小学校区で「そう思う」と「まあそう思う」の合計が 37.5%と全体より 5.6 ポイント多く、北小学校区で 28.3 ポイントと全体より 3.6 ポイント少ない。

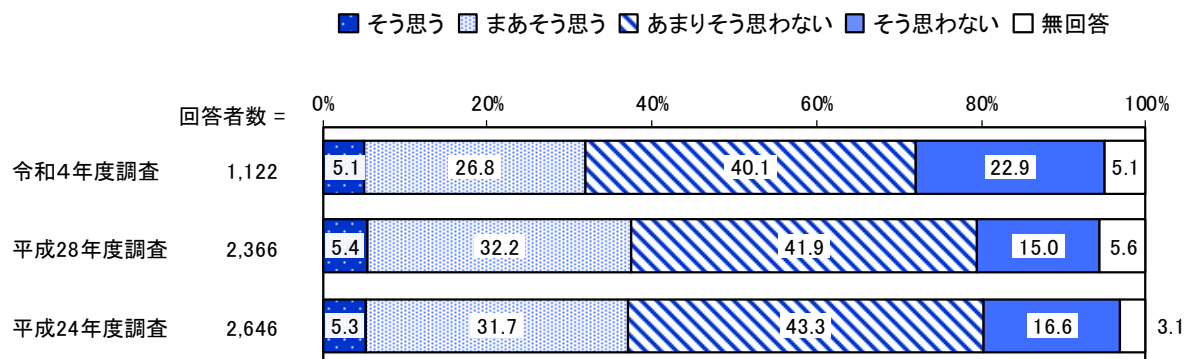
図 6-5-14 地域活動やボランティア活動、NPO 活動への参加意向（小学校区別）



【経年比較】

○地域活動やボランティア活動、NPO 活動への参加意向について、過去の調査と比較すると、「そう思う」と「まあそう思う」の合計（31.9%）は、前回調査（37.6%）より 5.7 ポイント少なくなっている。

図 6-5-15 地域活動やボランティア活動、NPO 活動への参加意向（経年変化）



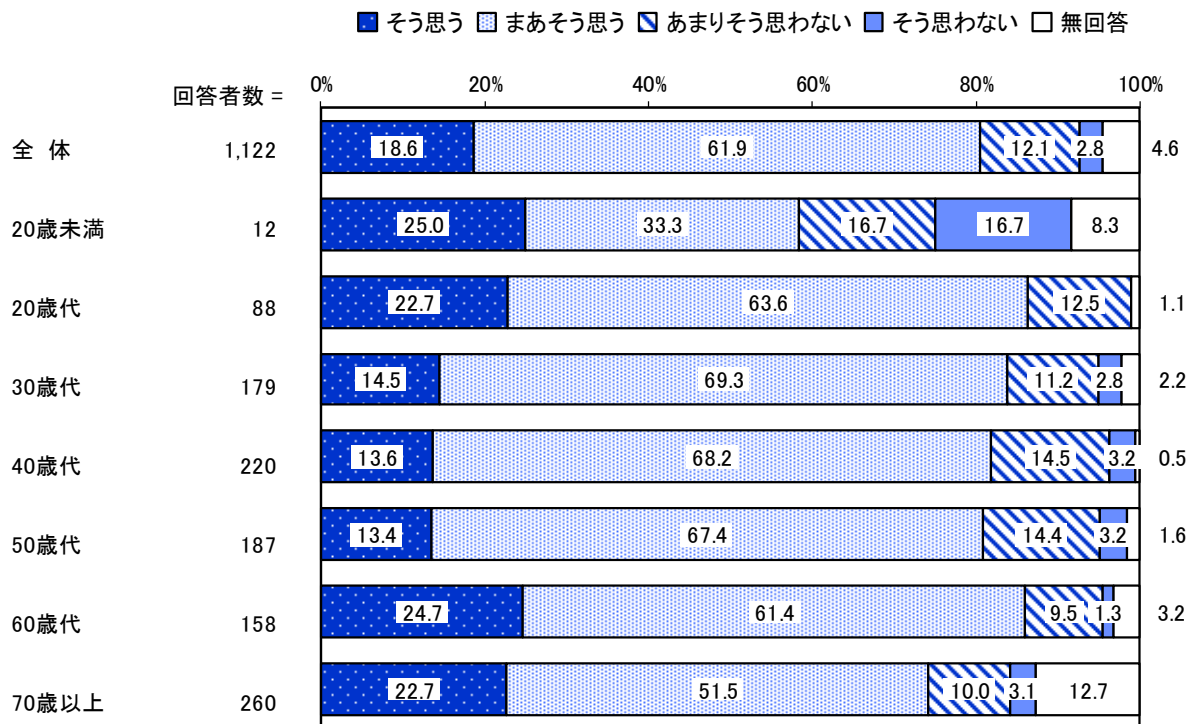
(6) これからのまちづくりには市民の参画や協働が必要

【年齢別】

○市民参画や地域協働の必要性について、年齢別でみると、20歳代から60歳代では「そう思う」と「まあそう思う」の合計が8割を超えている。

○20歳未満では「そう思う」と「まあそう思う」の合計が58.3%と、全体より22.2ポイント少ない。

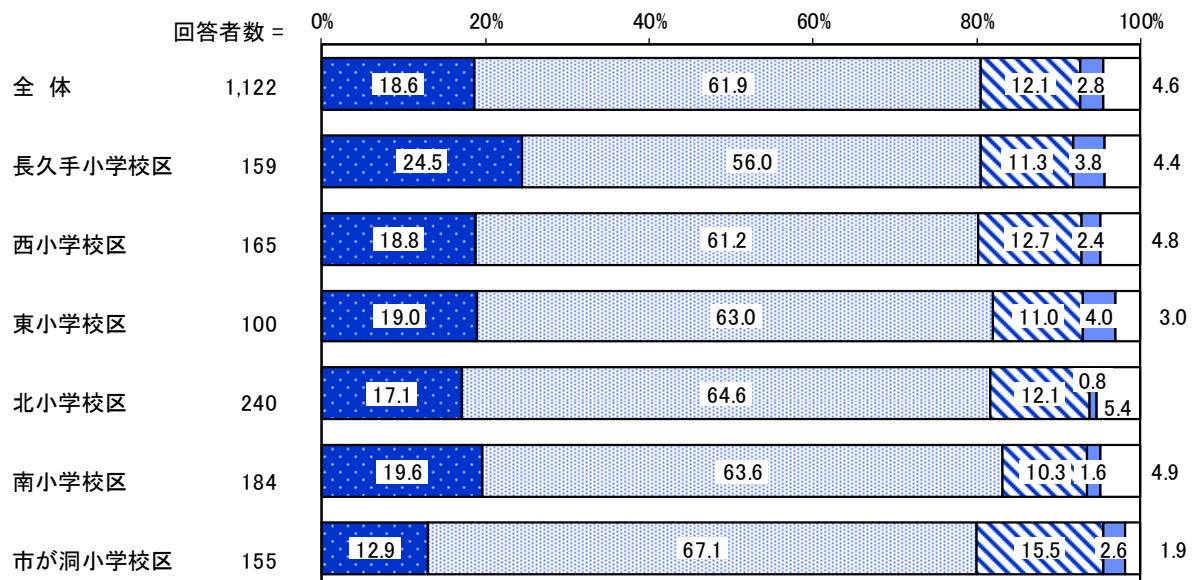
図6-5-16 市民参画や地域協働の必要性（年齢別）



【小学校区別】

○市民参画や地域協働の必要性について、小学校区別ではあまり大きな違いがみられない。

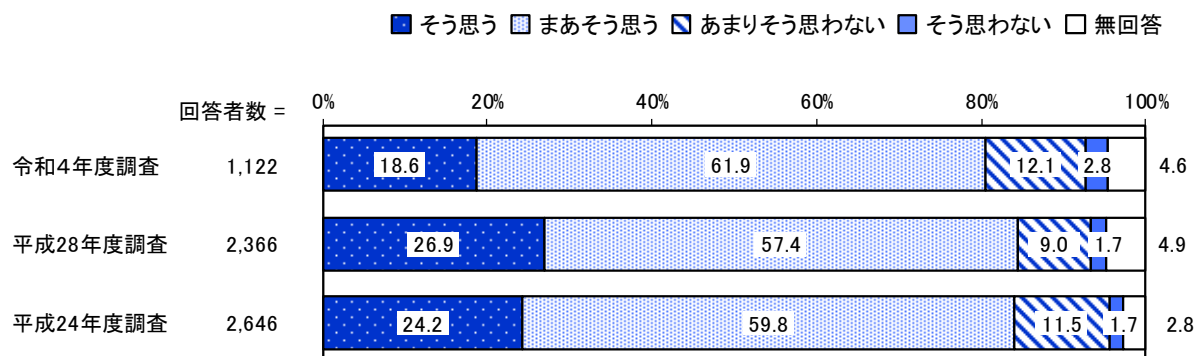
図6-5-17 市民参画や地域協働の必要性（小学校区別）



【経年比較】

○市民参画や地域協働の必要性について、過去の調査と比較すると、「そう思う」(18.6%)は、前回(26.9%)より8.3ポイント少なく、「そう思う」と「まあそう思う」の合計でも、令和4年度調査(80.5%)は平成28年度調査(84.3%)より3.8ポイント少ない。

図6-5-18 市民参画や地域協働の必要性(経年変化)

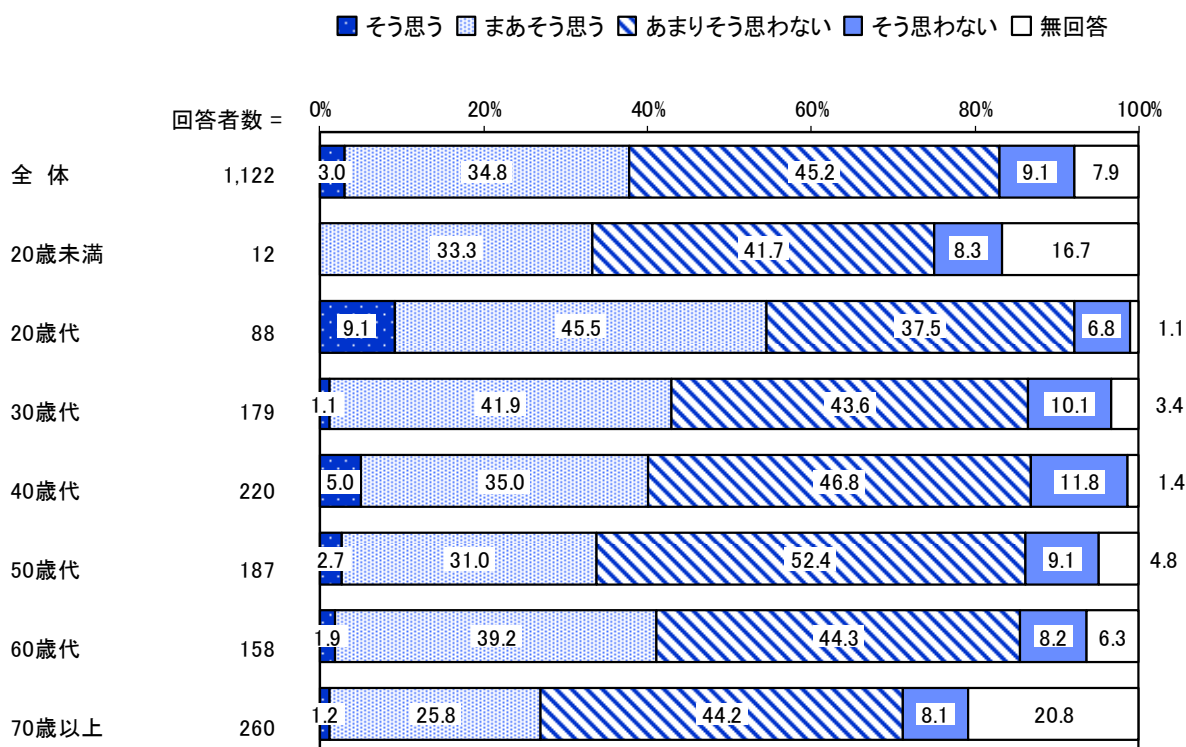


(7) 子どもがまちづくりに参画する機会が市は充実している

【年齢別】

○子どもがまちづくりに参画する機会が市は充実しているかについて、年齢別でみると、20歳代で「そう思う」と「まあそう思う」の合計が54.6%と全体より16.8ポイント多く、70歳以上で27.0%と全体より10.8ポイント少ない。

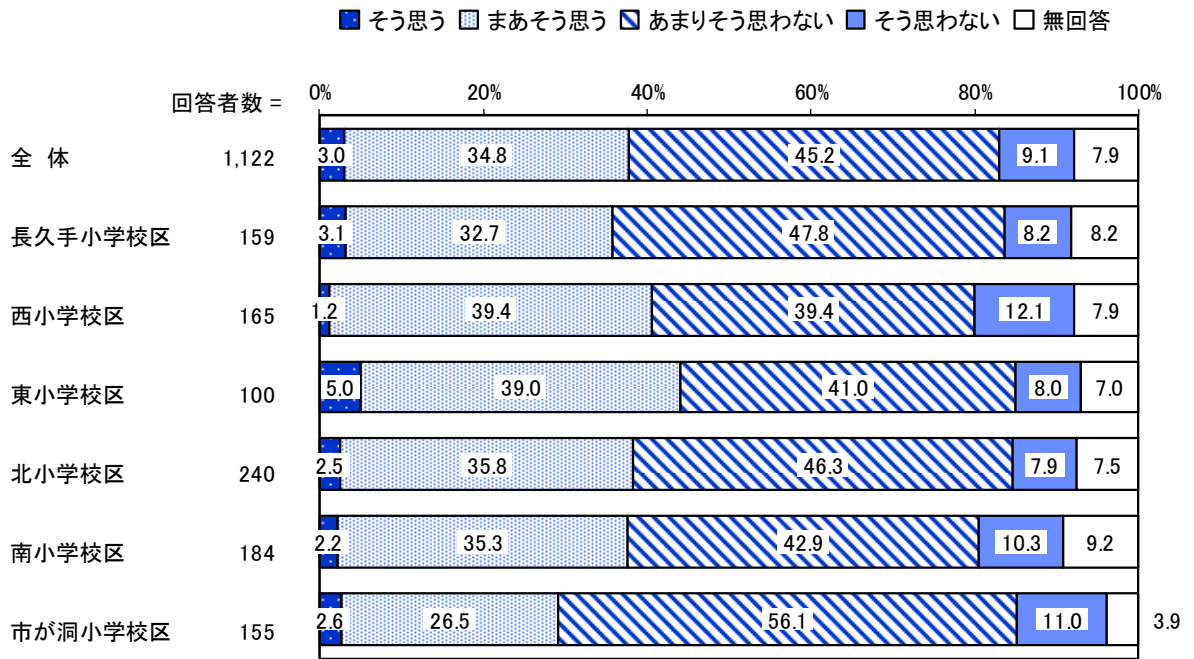
図6-5-19 子どもがまちづくりに参画する機会(年齢別)



【小学校区別】

○子どもがまちづくりに参画する機会が市は充実しているかについて、小学校区別で見ると、東小学校区で「そう思う」と「まあそう思う」の合計が44.0%と全体より6.2ポイント多く、市が洞小学校区では29.1%と全体より8.7ポイント少ない。

図6-5-20 子どもがまちづくりに参画する機会（小学校区別）



VII 長久手市のまちづくりについて

問 16 長久手市の市の将来像（市民主体のまち、つながりのあるまち）に向けた、長久手市独自の“まちづくりルール”を定めた「長久手市みんなで作るまち条例」について伺います。

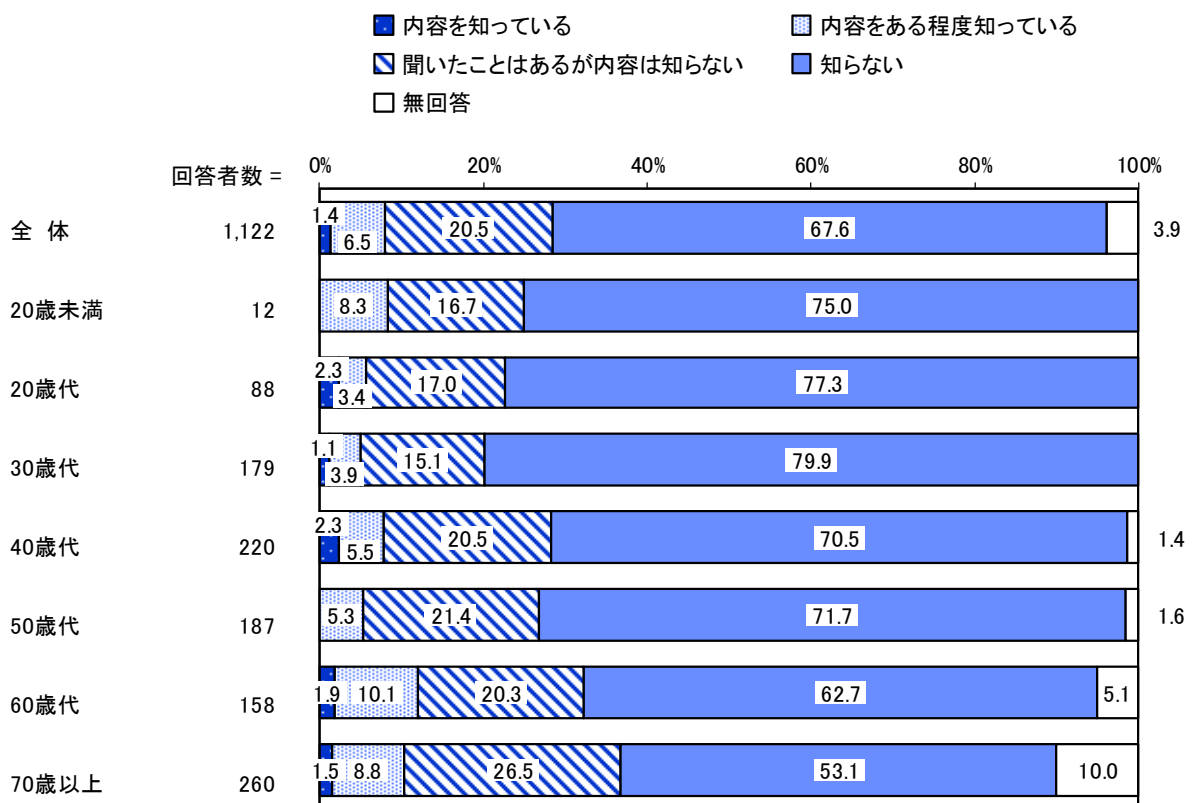
(1) 「長久手市みんなで作るまち条例」を知っていますか。

「長久手市みんなで作るまち条例」の認知度については、「知らない」が 67.6%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が 20.5%となっている。

【年齢別】

- 「長久手市みんなで作るまち条例」の認知度について、年齢別でみると、20歳未満から50歳代で「知らない」が全体より多く、7割を超えている。
- 「内容を知っている」「内容をある程度知っている」と「聞いたことはあるが内容は知らない」の合計では70歳以上が36.8%と全体より8.4ポイント多い。

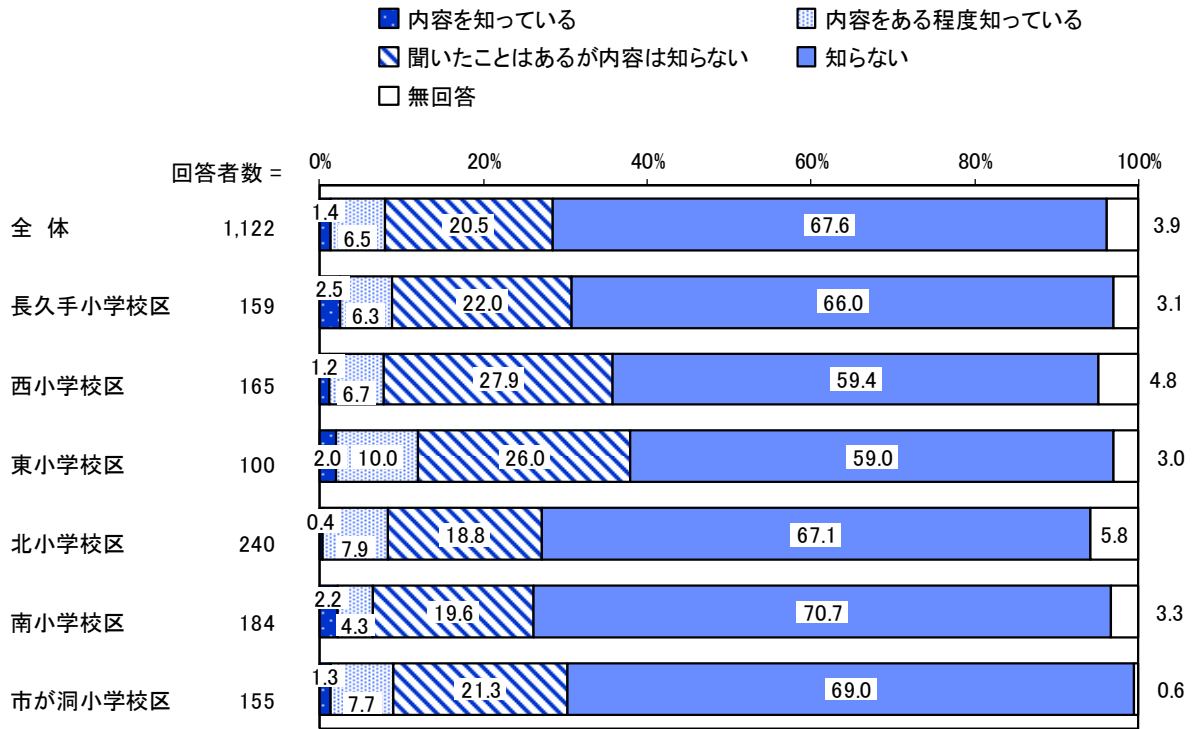
図 7-1-1 「長久手市みんなで作るまち条例」の認知度（年齢別）



【小学校区別】

○「長久手市みんなで作るまち条例」の認知度について、小学校区別で見ると、西小学校区で「知らない」が59.4%、東小学校区で59.0%と全体より8ポイント以上少ない。

図7-1-2 「長久手市みんなで作るまち条例」の認知度（小学校区別）



(2) 何を通じて知りましたか。【○はあてはまるものすべて】

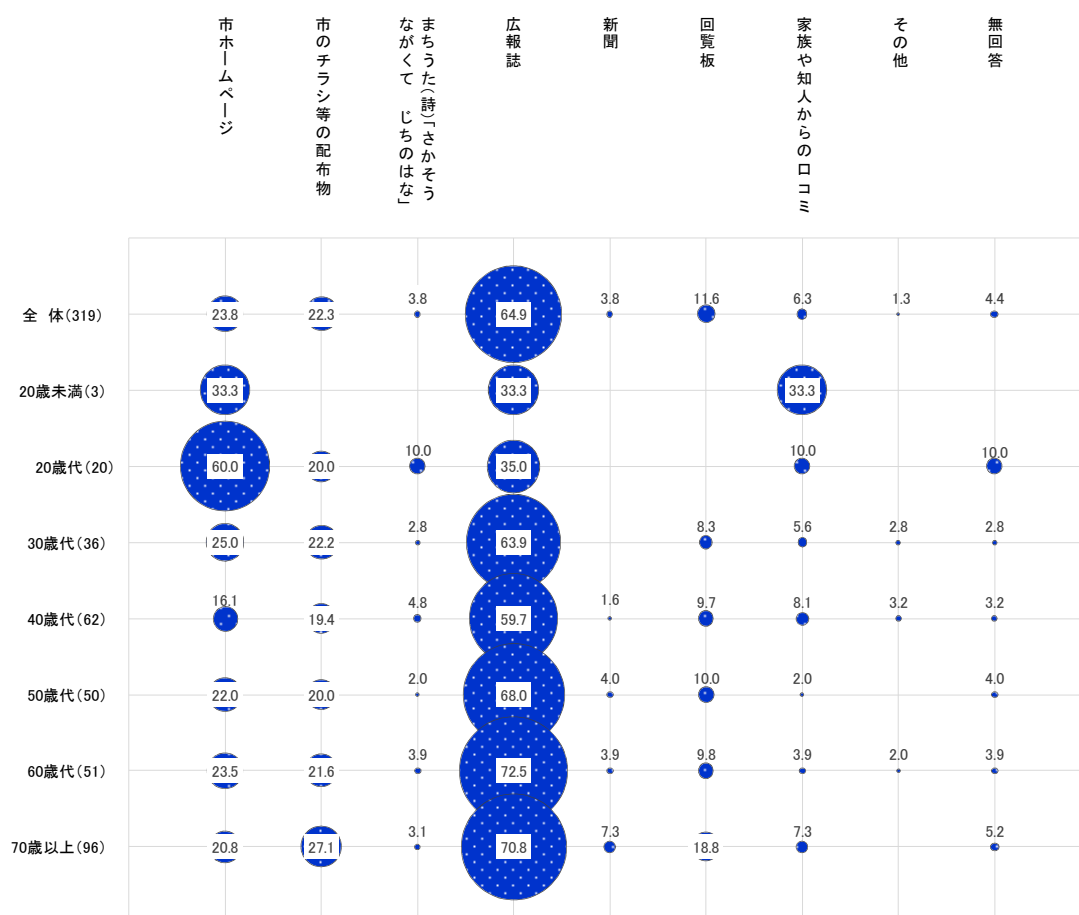
「長久手市みんなで作るまち条例」を「知っている」と答えた人が知ったきっかけについては、「広報誌」が64.9%となっている。

【年齢別】

○「長久手市みんなで作るまち条例」を「知っている」と答えた人が知ったきっかけについて年齢別でみると、「広報誌」は概ね年代が高くなるほど多くなっている。

○20歳代では「市ホームページ」が60.0%と全体より36.2ポイント多い。

図7-1-3 「長久手市みんなで作るまち条例」を知ったきっかけ（年齢別）



【小学校区別】

- 「長久手市みんなで作るまち条例」を「知っている」と答えた人が知ったきっかけについて小学校区別でみると、すべての小学校区で「広報誌」が最も多い。
- 「市のチラシ等の配布物」は長久手小学校区（28.6%）、西小学校区（30.5%）で全体より多く、それぞれ6.3ポイント、8.2ポイント多い。

図7-1-4 「長久手市みんなで作るまち条例」を知ったきっかけ（小学校区別）



問 17 市民、市民団体、事業者、行政などが、それぞれの地域で気軽に集い、語り、地域の様々な課題に対する取組みを行うための拠点である「地域共生ステーション」についてお伺いします。

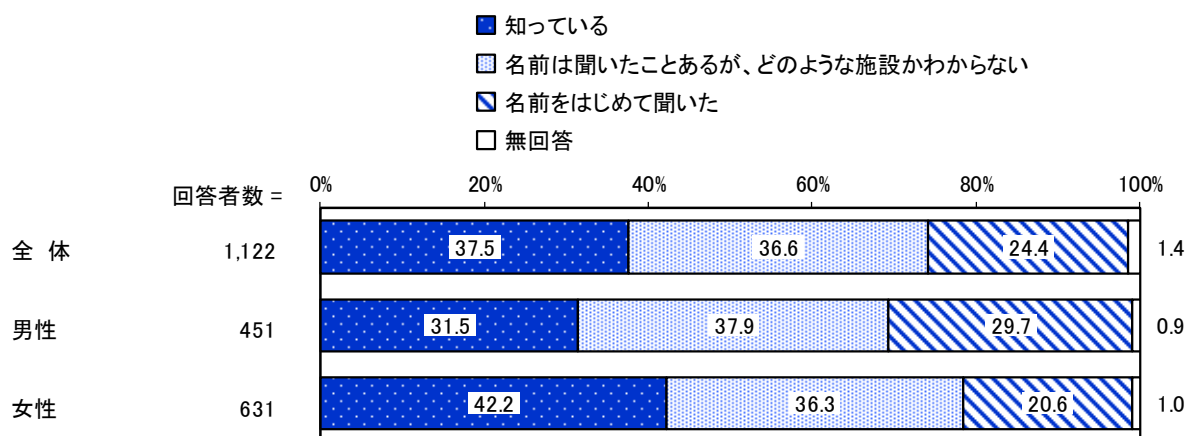
(1) あなたは、「地域共生ステーション」について知っていますか。【〇は1つ】

地域共生ステーションについて、「知っている」は37.5%、「名前は聞いたことがあるが、どのような施設かわからない」は36.6%、「名前をはじめて聞いた」は24.4%となっている。

【性別】

○性別でみると、「知っている」は男性で31.5%、女性で42.2%と、女性の方が10.7ポイント多い。

図 7-2-1 地域共生ステーションの認知度（性別）

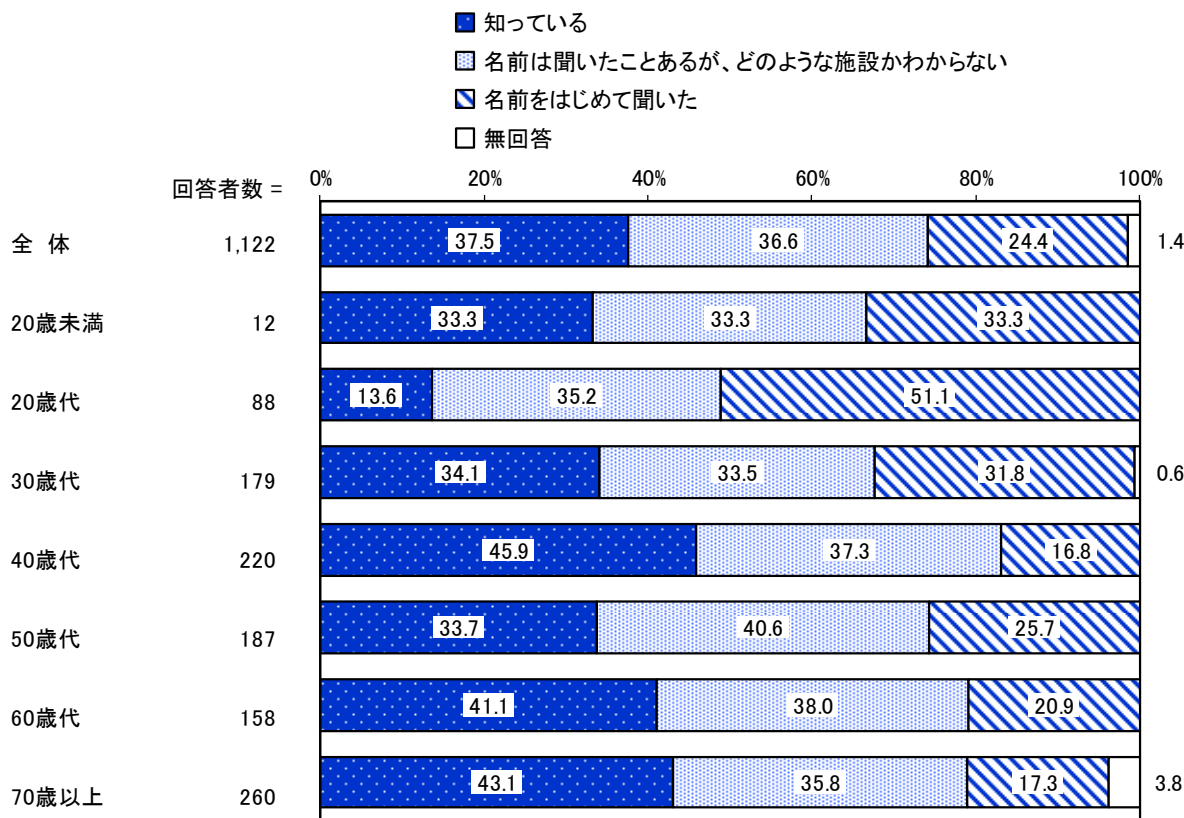


【年齢別】

○年齢別でみると、「知っている」は40歳代、60歳代、70歳以上でそれぞれ45.9%、41.1%、43.1%と4割を超えている。

○20歳代では「名前をはじめて聞いた」が51.1%と半数を占める。

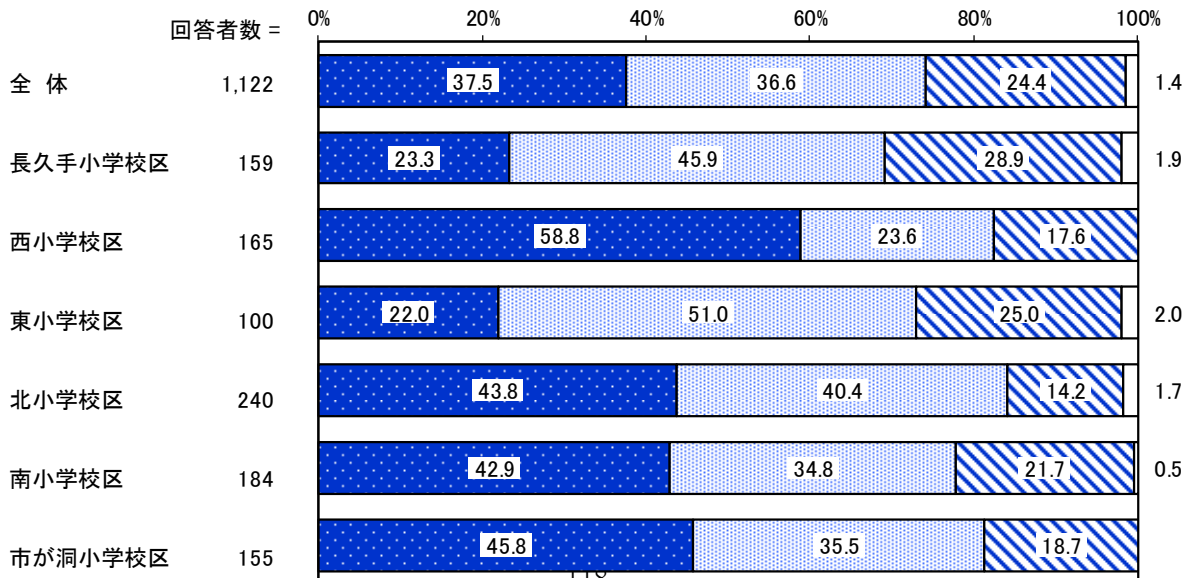
図7-2-2 地域共生ステーションの認知度（年齢別）



【小学校区別】

○小学校区別でみると、西小学校区で「知っている」が58.8%と全体より21.3ポイント多い。
○長久手小学校区と東小学校区では「知っている」はそれぞれ23.3%、22.0%と2割程度であり、「名前をはじめて聞いた」はそれぞれ28.9%、25.0%と2割を超えている。

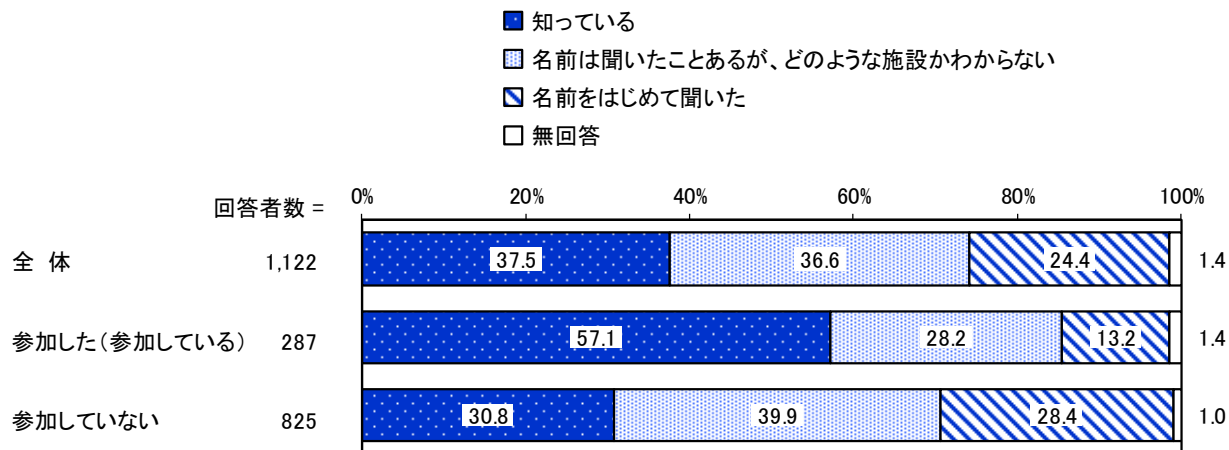
図7-2-3 地域共生ステーションの認知度（小学校区別）



【地域活動への参加状況別】

○地域活動への参加状況別でみると、参加した人では「知っている」が57.1%と、参加していない人（30.8%）と比べて多い。一方で、参加していない人では「名前をはじめて聞いた」が28.4%と約3割と、参加した人（13.2%）より多く、地域活動に参加した人の方が認知度が高くなっている。

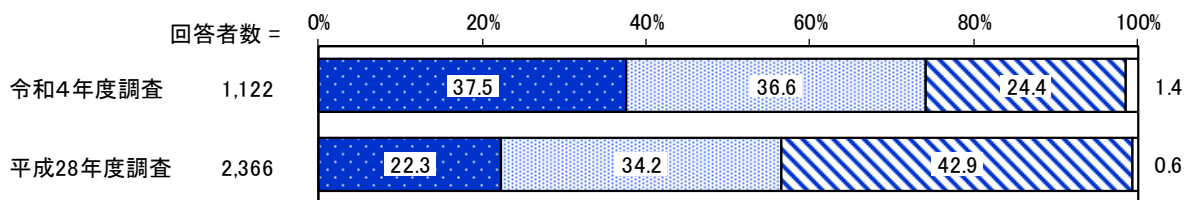
図7-2-4 地域共生ステーションの認知度（地域活動への参加状況別）



【経年比較】

○地域共生ステーションについて過去の調査と比較すると、「知っている」(37.5%)は平成28年度調査(22.3%)より15.2ポイント多くなっている。

図7-2-5 地域共生ステーションの認知度（経年変化）

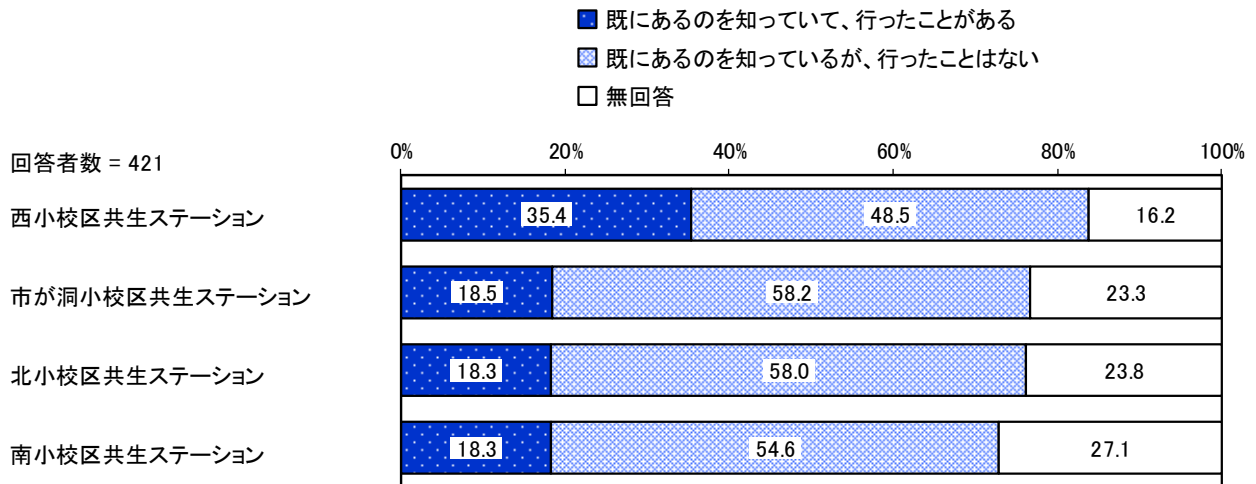


(2) 問 17 (1) で「知っている」と回答した方にお聞きします。

あなたは、「地域共生ステーション」についてどの程度知っていますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。【〇はあてはまるものすべて】

“西小校区共生ステーション”については「既にあるのを知っていて、行ったことがある」(35.4%)が3割を超えているが、“市が洞小校区共生ステーション”(18.5%)、“北小校区共生ステーション”(18.3%)、“南小校区共生ステーション”(18.3%)では2割未満となっている。

図 7-3-1 地域共生ステーションの認知状況



問 18 小学校区単位で地域の課題を解決するため、自治会のほか、地域に根ざしたこども会やシニアクラブ、企業、NPO、各種活動団体などをネットワーク化した組織「まちづくり協議会」についてお伺いします。

(1) あなたは、「まちづくり協議会」について知っていますか。【〇は1つ】

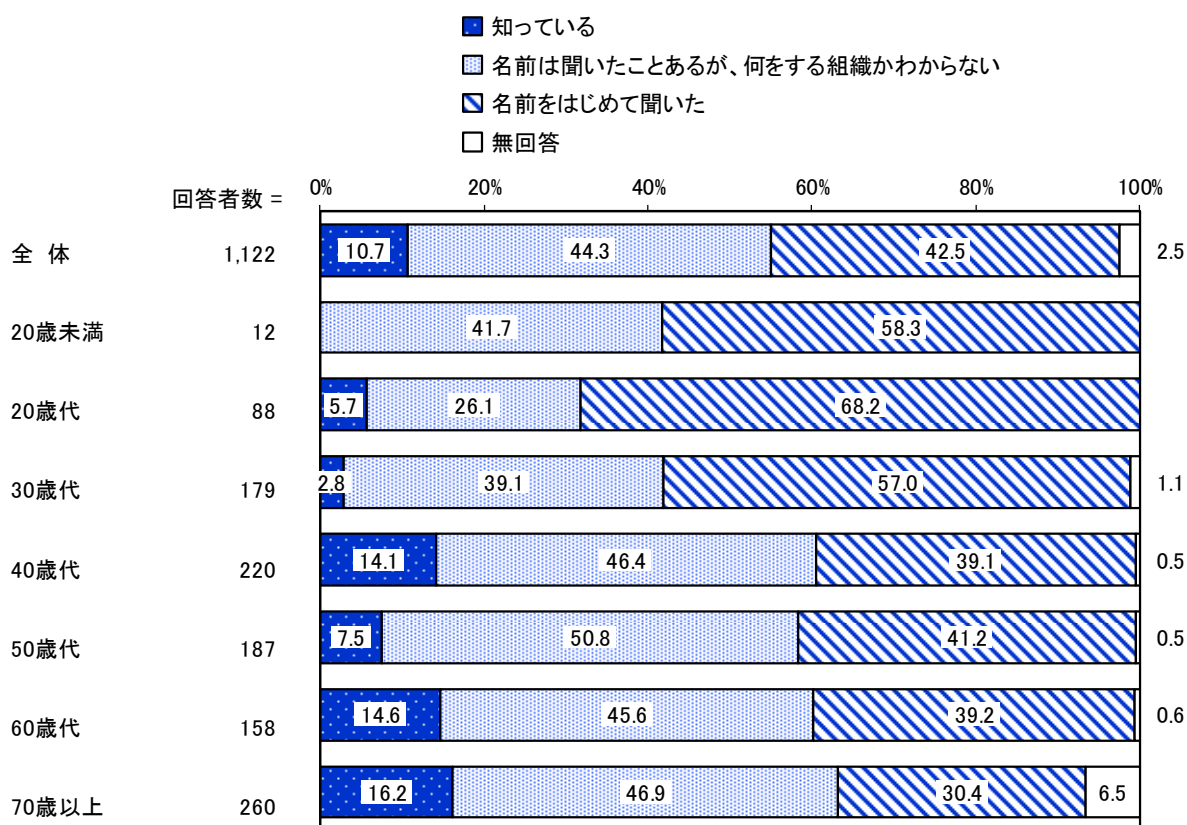
まちづくり協議会の認知度について、「知っている」は10.7%、「名前は聞いたことがあるが、何をする組織かわからない」は44.3%であり、「名前をはじめて聞いた」は42.5%となっている。

【年齢別】

○年齢別で見ると、おおよそ年齢が高くなるほど「知っている」と「名前は聞いたことがあるが、何をする組織かわからない」の合計が多い傾向にある。

○20歳代では「名前をはじめて聞いた」(68.2%)が約7割となっている。

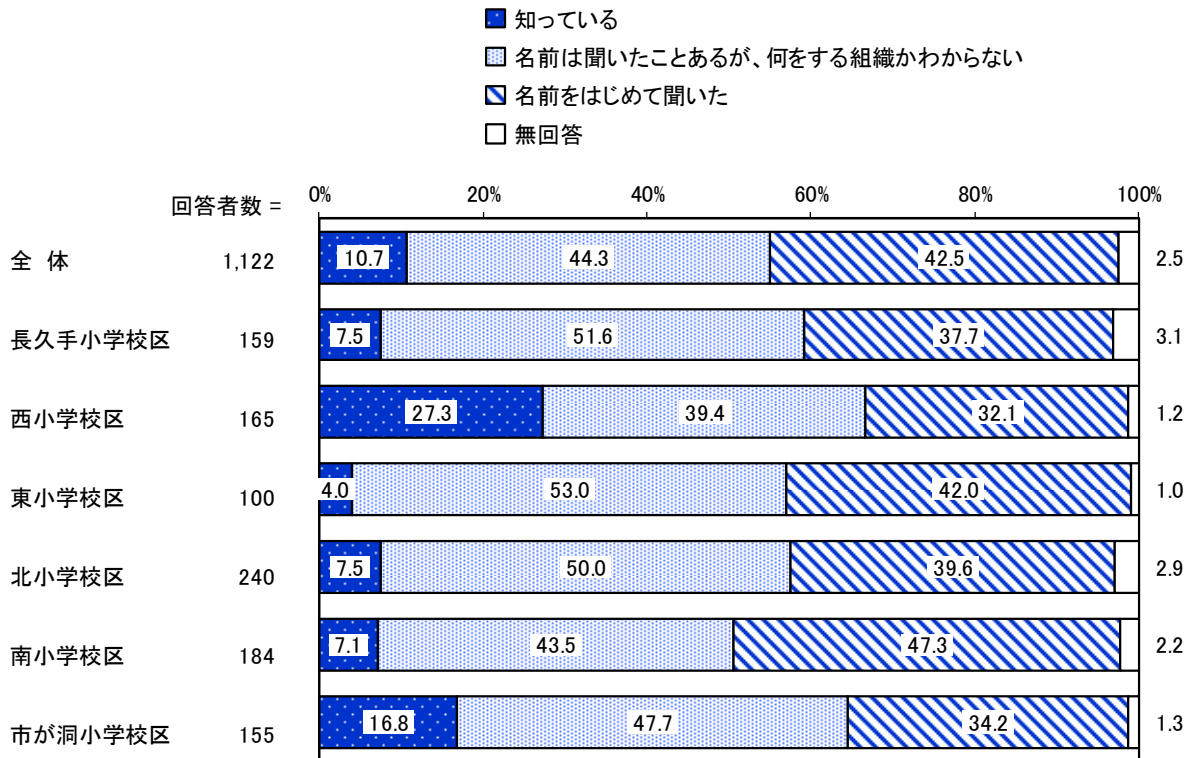
図7-4-1 まちづくり協議会の認知度(年齢別)



【小学校区別】

○小学校区別でみると、西小学校区で「知っている」が27.3%と全体より16.6ポイント多い。
 ○東小学校区では「知っている」は4.0%と全体より6.7ポイント少ない。

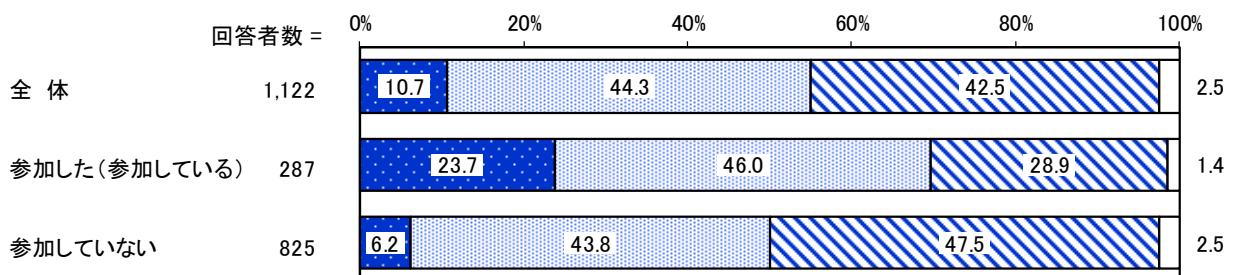
図7-4-2 まちづくり協議会の認知度（小学校区別）



【地域活動への参加状況別】

○地域活動への参加状況別でみると、参加した人では「知っている」が23.7%と、参加していない人（6.2%）と比べて多い。一方で、参加していない人では「名前をはじめて聞いた」が47.5%と半数近くと参加した人（28.9%）より多く、地域活動に参加した人の方が認知度が高くなっている。

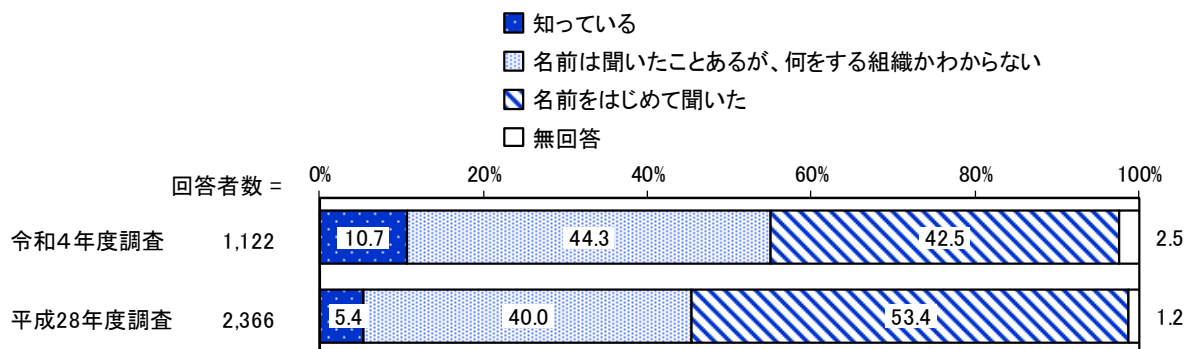
図7-4-3 まちづくり協議会の認知度（地域活動への参加状況別）



【経年比較】

○まちづくり協議会の認知度について過去の調査と比較すると、「知っている」(10.7%)は平成28年度調査より5.3ポイント多くなっている。

図7-4-4 まちづくり協議会の認知度(経年変化)



(2) 問18(1)で「知っている」と回答した方にお聞きします。

あなたは、「まちづくり協議会」についてどの程度知っていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。【〇はあてはまるものをすべて】

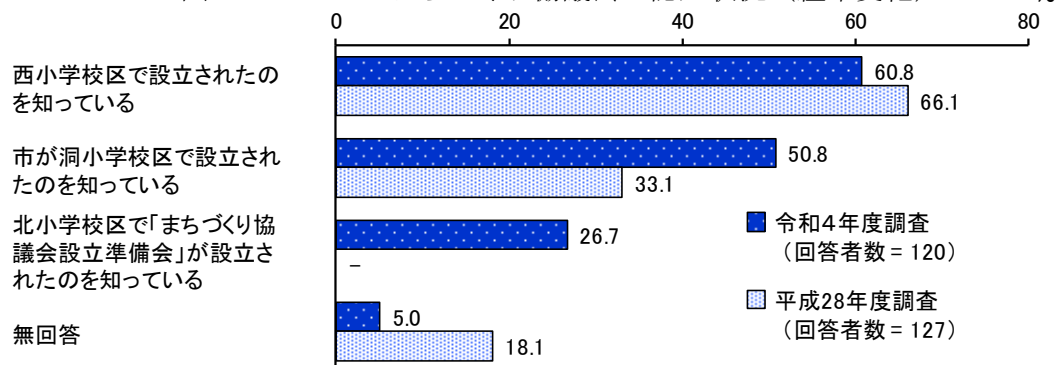
まちづくり協議会について「知っている」と答えた人の中で、「西小学校区で設立されたのを知っている」は60.8%、「市が洞小学校区で設立されたのを知っている」は50.8%、「北小学校区で「まちづくり協議会設立準備会」が設立されたのを知っている」は26.7%となっている。

【経年比較】

○過去の調査と比較すると、「市が洞小学校区で設立されたのを知っている」(50.8%)は平成28年度調査(33.1%)から17.7ポイント多くなっている。

○一方、「西小学校区で設立されたのを知っている」(60.8%)は平成28年度調査(66.1%)は5.3ポイント少なくなっている。

図7-5-1 まちづくり協議会の認知状況(経年変化)



※前回の選択肢では「西小学校区で「まちづくり協議会設立準備会」が立ち上がっているのを知っている」、「市が洞小学校区で「まちづくり協議会設立準備会」が立ち上がっているのを知っている」となっていた。

※前回の選択肢には「北小学校区で「まちづくり協議会設立準備会」が設立されたのを知っている」がなかった。

VIII 第6次総合計画について

問19 次の(1)～(24)の項目について、あなたはどの程度重要と思いますか。
また、どの程度進んでいると感じていますか。重要度と推進度を1～5の中から
1つずつ選んで下さい。

【重要度】

基本施策の重要度については、「重要である」が多かった項目は、「災害に強いまちである」(62.7%)が最も多く、次いで「安心して子育てできるまちである」(61.7%)、「地域の防犯力が高まっている」(59.0%)、「道路や上下水道などの基盤が整っている」(58.3%)、「地域の子どもたちがのびのびと育っている」(56.6%)の順になっている。

図8-1-1 施策ごとの重要度

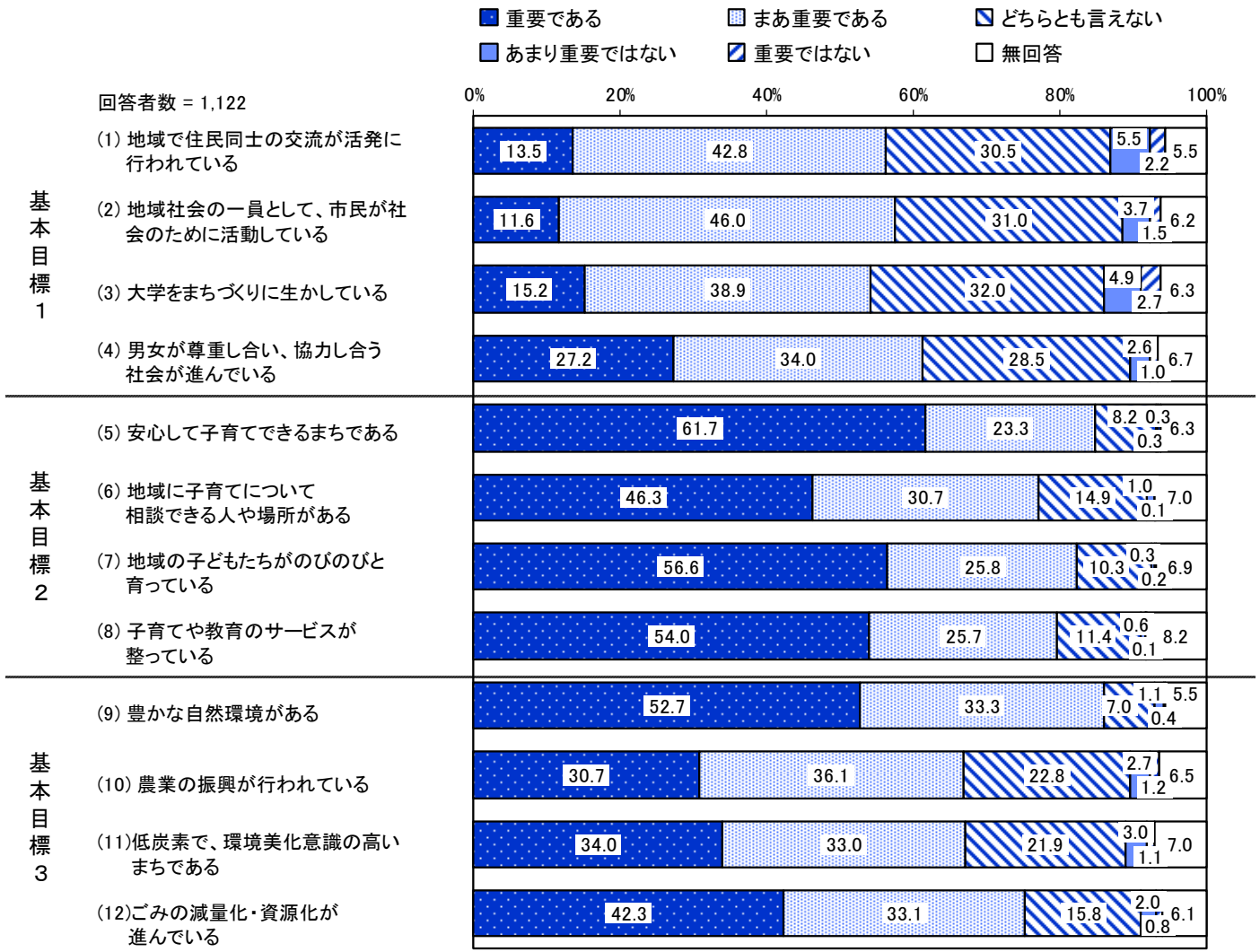
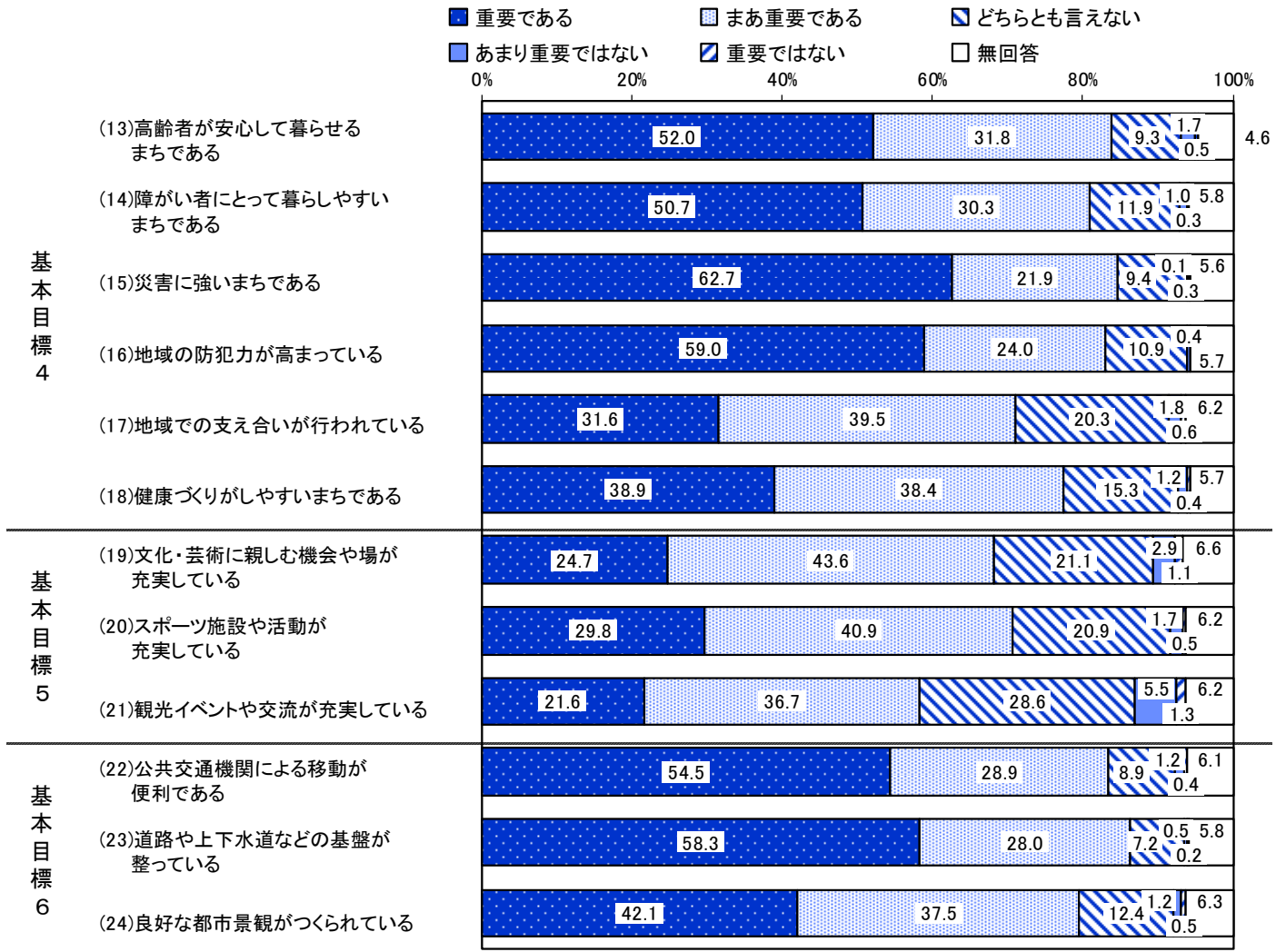


図 8-1-1 施策ごとの重要度 (つづき)



【推進度】

基本施策の推進度について、「進んでいる」が多かった項目は、“豊かな自然環境がある”が12.8%と最も多く、次いで“道路や上下水道などの基盤が整っている”（12.1%）、“安心して子育てできるまちである”（10.1%）、“良好な都市景観がつくられている”（9.3%）となっている。

また、「進んでいる」と「まあ進んでいる」の合計でみると、“豊かな自然環境がある”が53.0%と最も多く、次いで“安心して子育てできるまちである”（50.0%）、“道路や上下水道などの基盤が整っている”（48.3%）、“良好な都市景観がつくられている”（41.5%）、“地域の子どもたちがのびのびと育っている”（41.2%）となっている。

図8-1-2 施策ごとの推進度

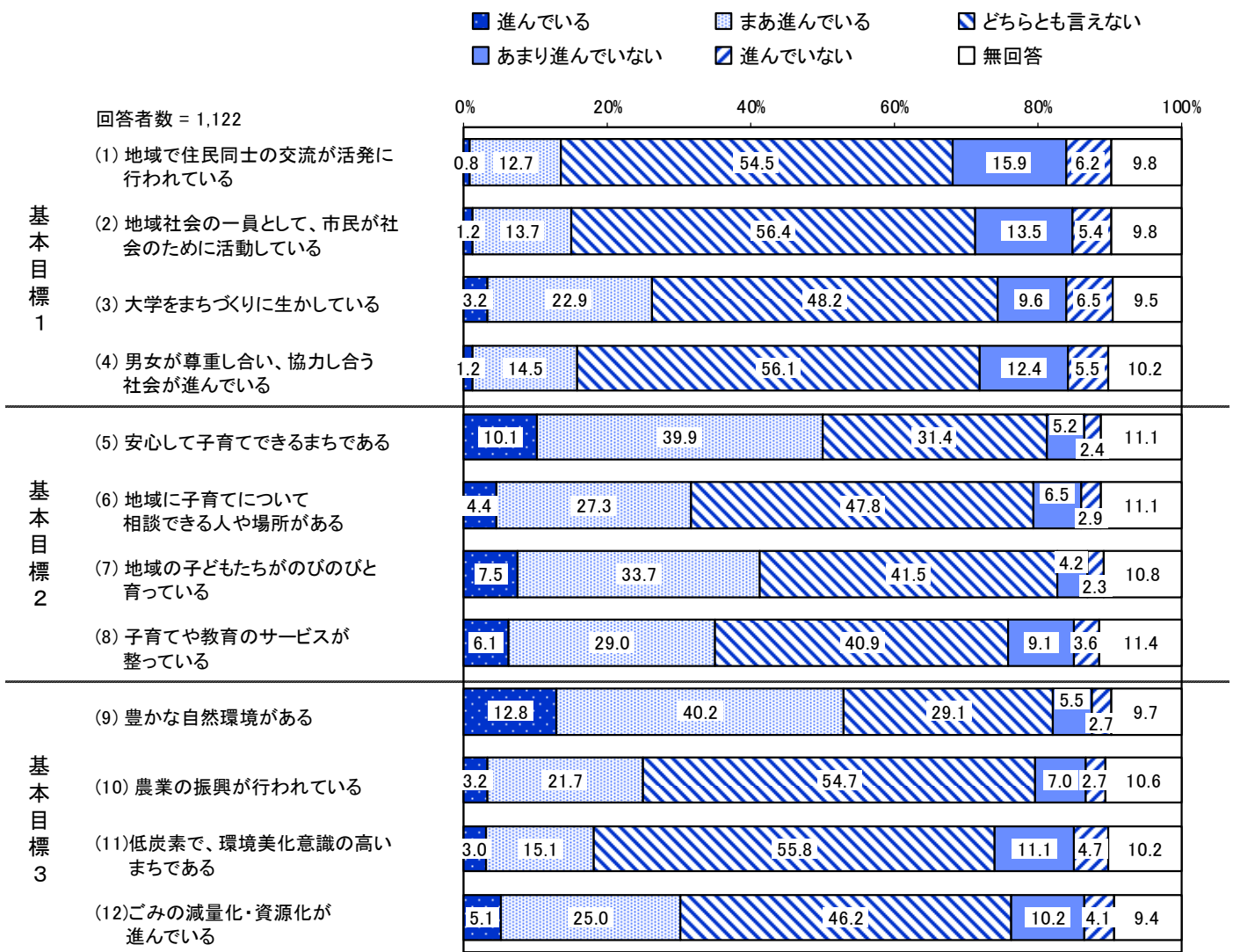
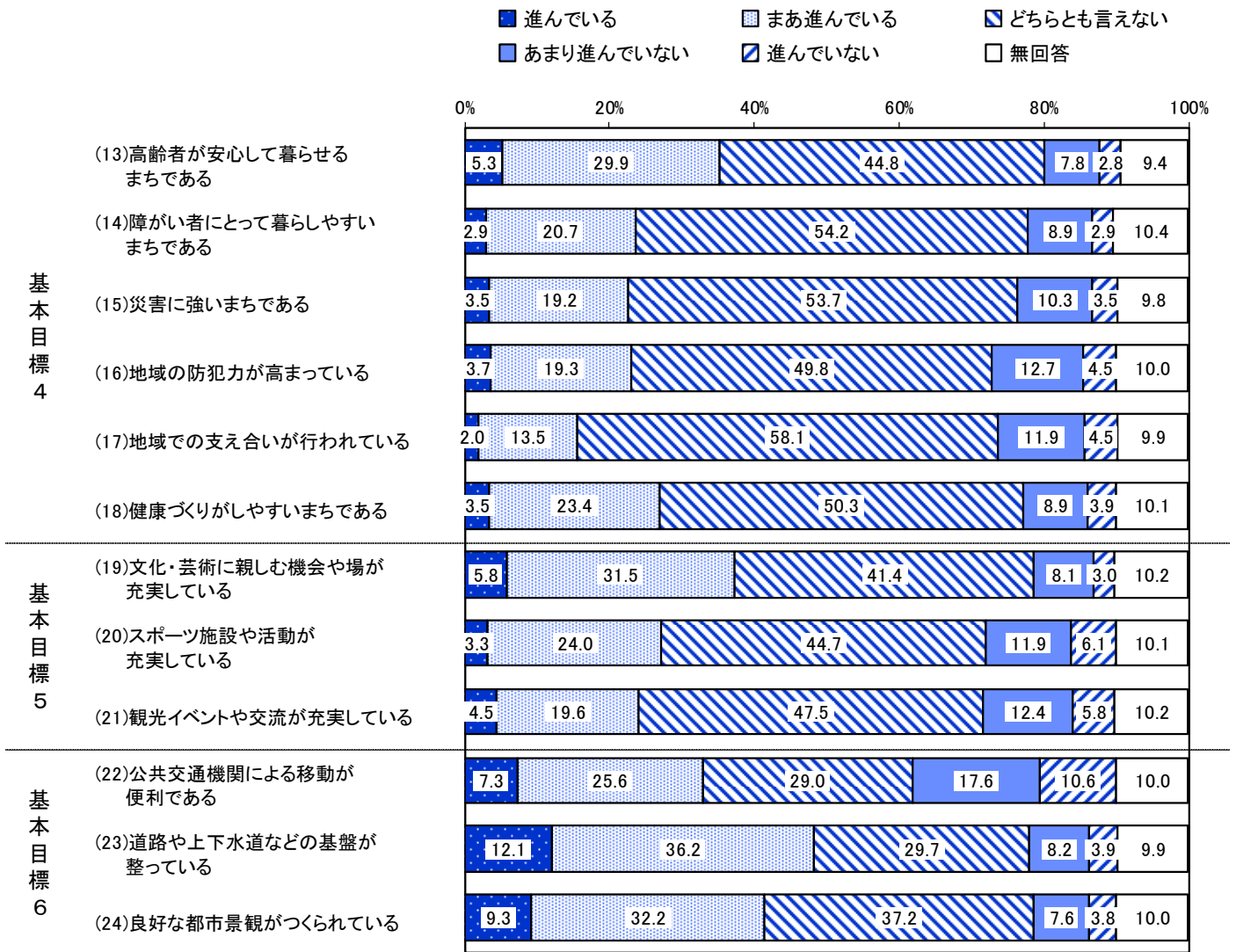


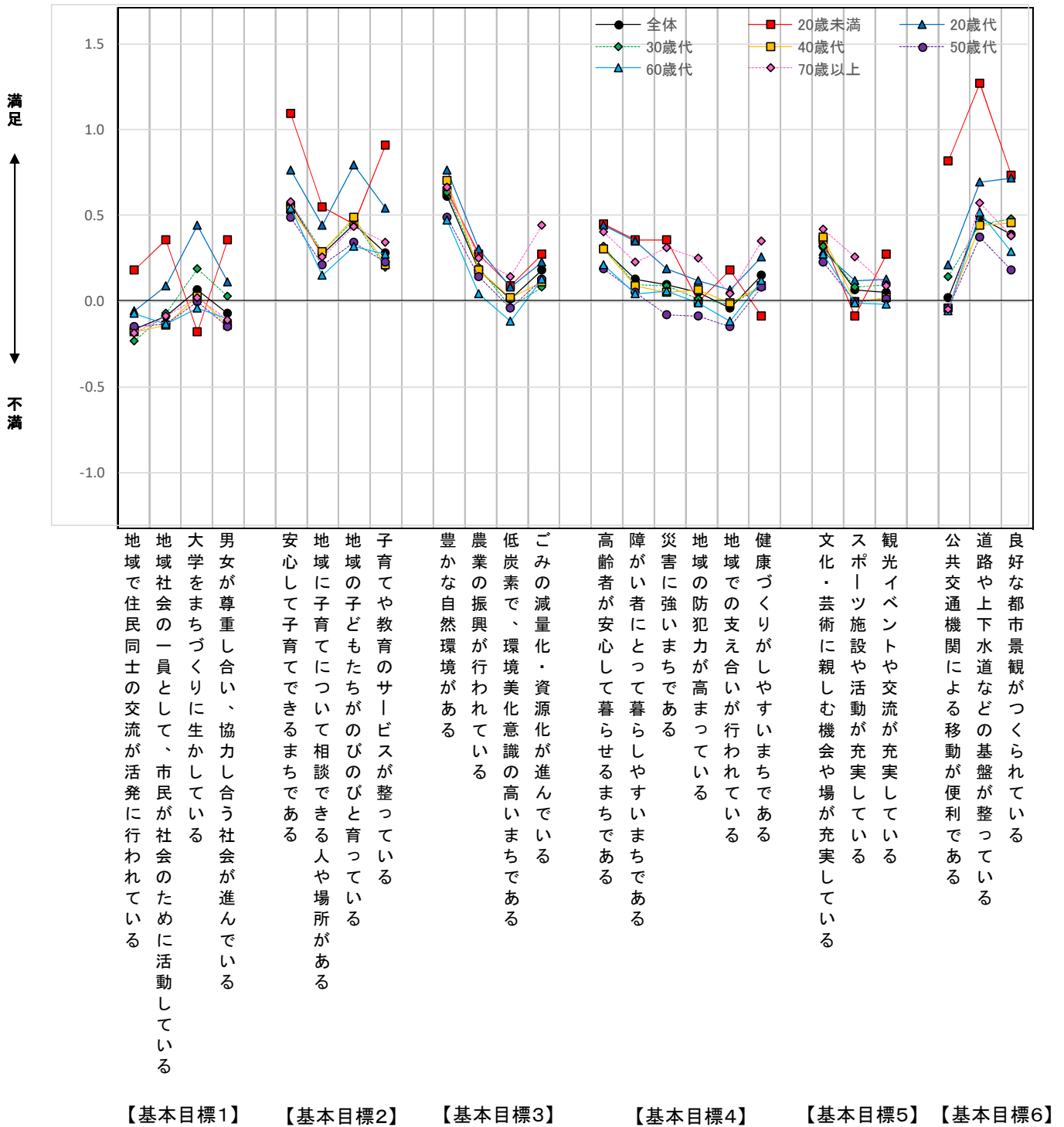
図 8-1-2 施策ごとの推進度 (つづき)



【年齢別】

○年齢別の推進度をそれぞれ比較すると、評点にばらつきがある項目で世代によって評価が分かれていることがわかる。

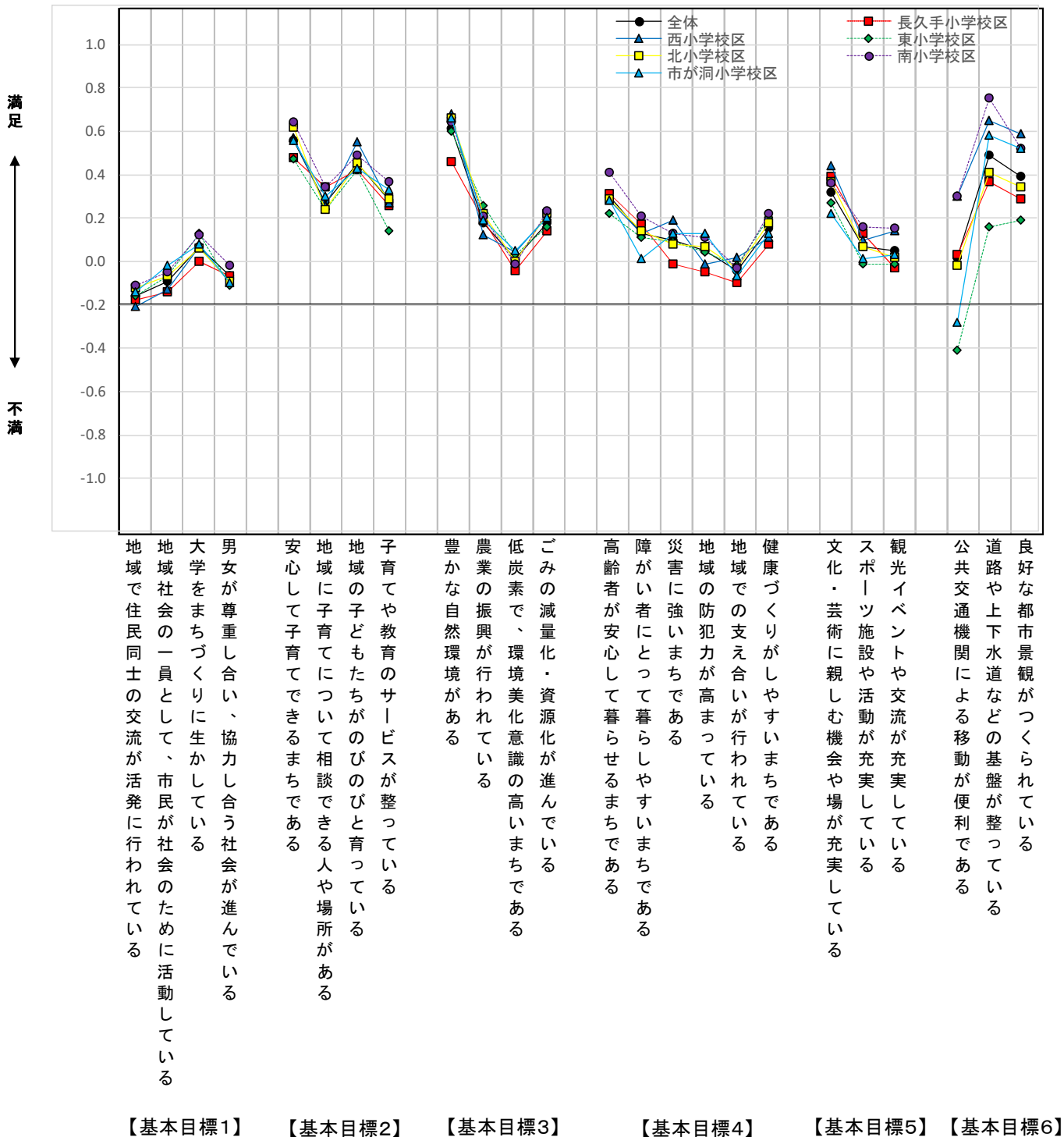
図8-1-3 施策ごとの推進度（年齢別）



【小学校区別】

○小学校区別の推進度をそれぞれ比較すると、評点にばらつきがある項目が居住小学校区によって評価が分かれていることがわかる。

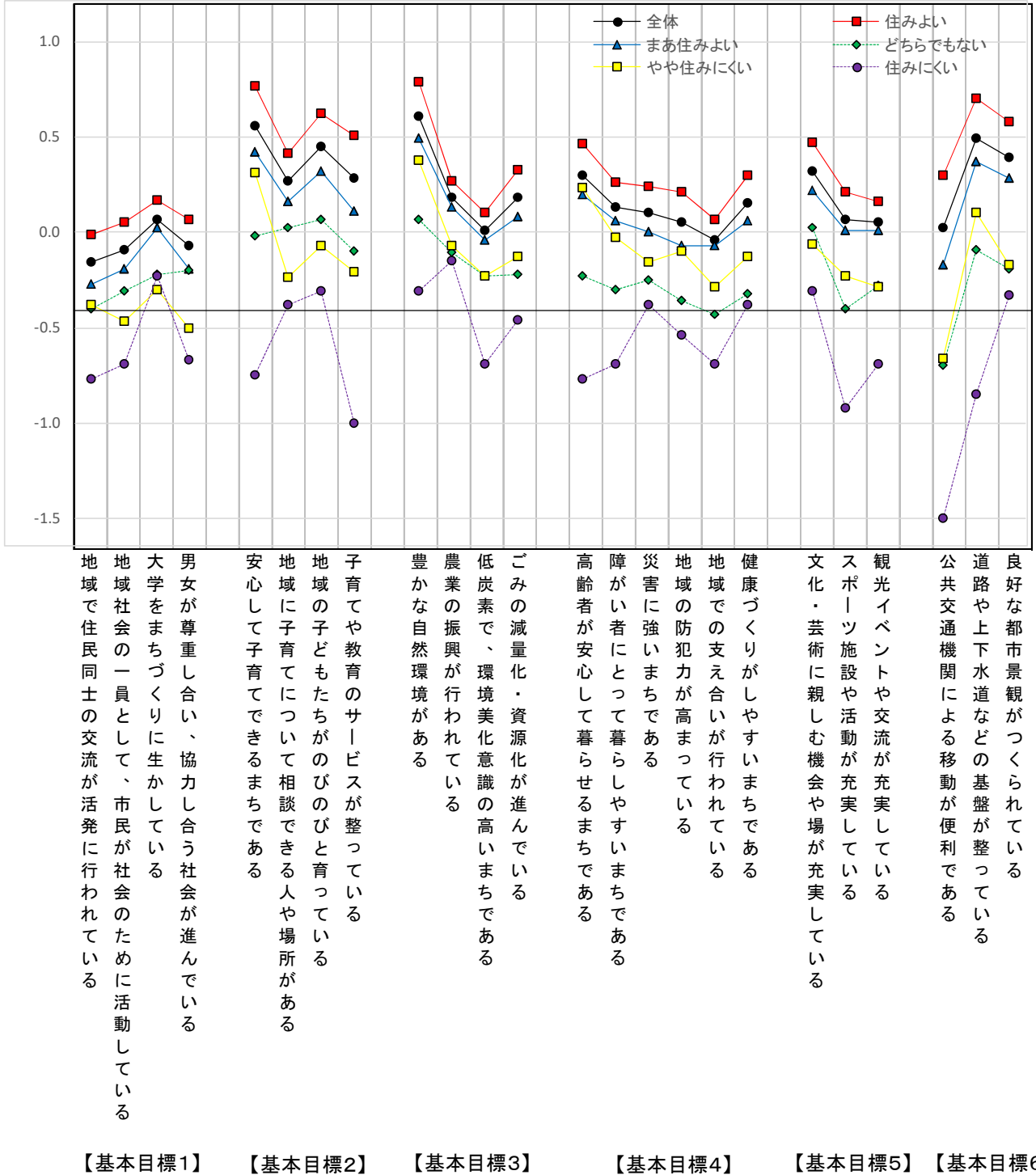
図8-1-4 施策ごとの推進度（小学校区別）



【住心地別】

○住心地別の推進度をそれぞれ比較すると、評点にばらつきがある項目が住心地の回答によって評価が分かれていることがわかる。

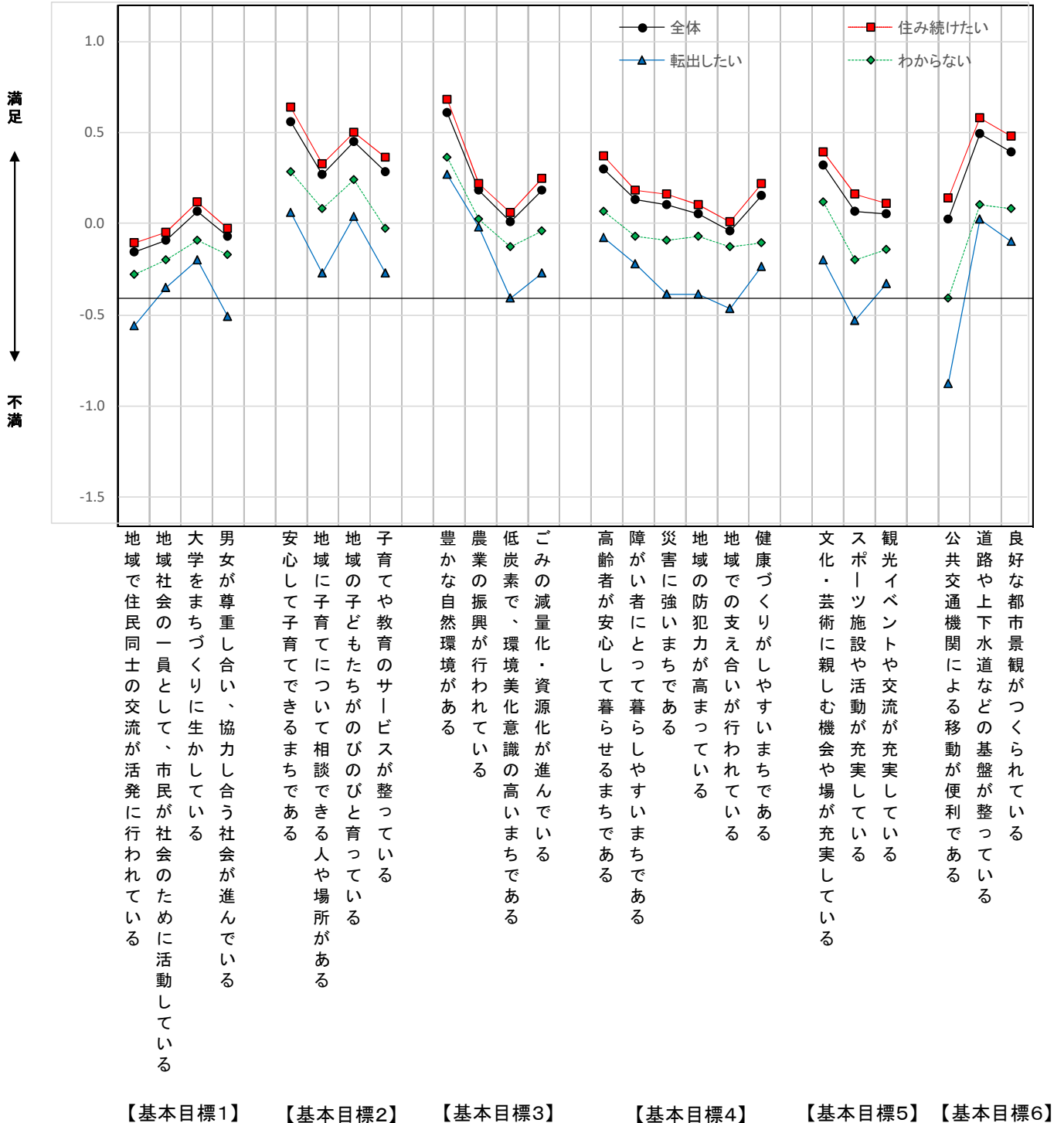
図8-1-5 施策ごとの推進度（住心地別）



【定住意向別】

○定住意向別の推進度をそれぞれ比較すると、評点にばらつきがある項目が定住意向によって評価が分かれていることがわかる。

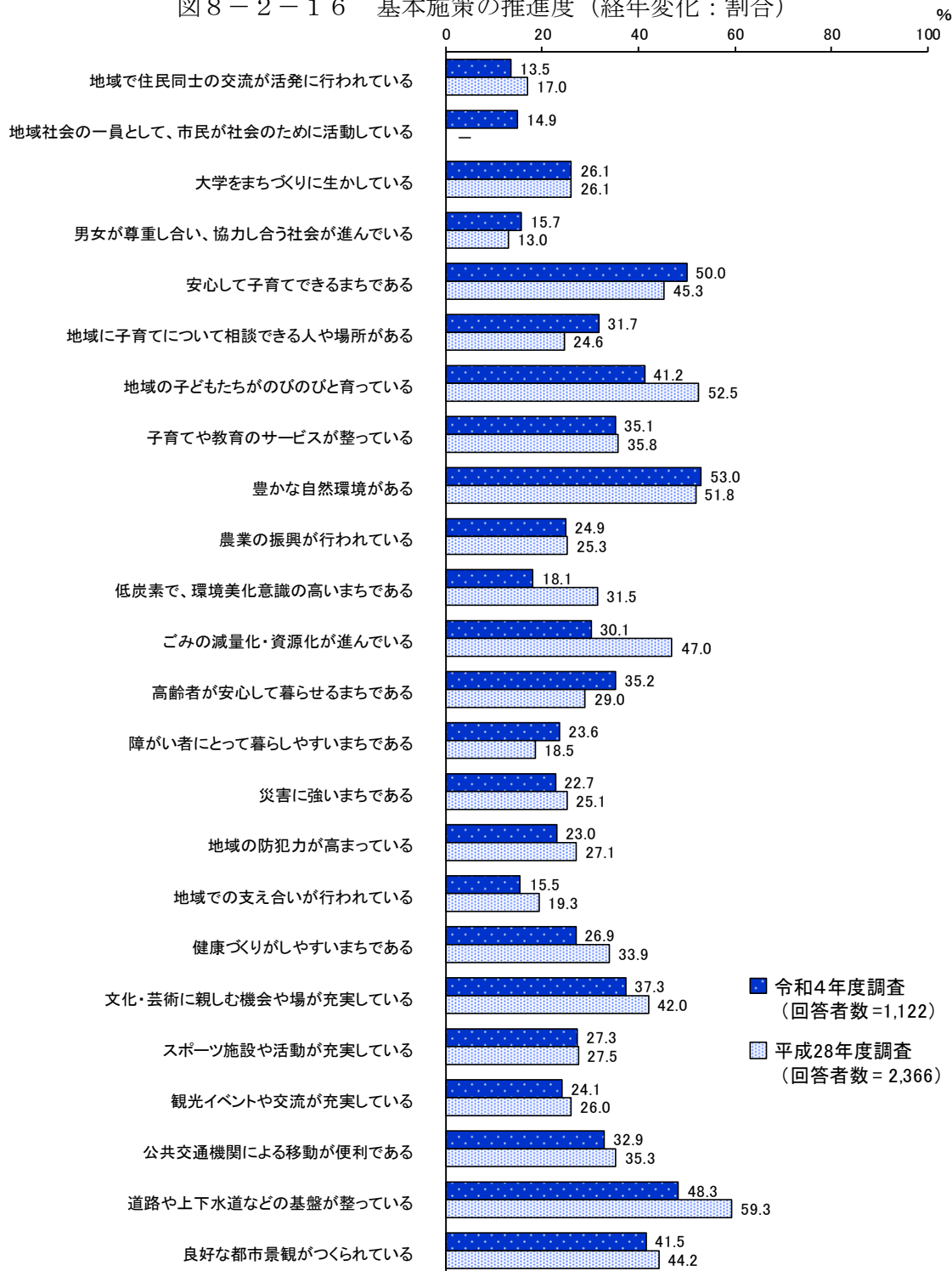
図8-1-6 施策ごとの推進度（定住意向別）



【経年比較】

○基本施策の推進度について、前回調査と比べると、「進んでいる」と「まあ進んでいる」を合わせた“進んでいる”の割合が「地域に子育てについて相談できる人や場所がある」「高齢者が安心して暮らせるまちである」「障がい者にとって暮らしやすいまちである」では5ポイント以上高くなっている。一方、「地域の子どもたちがのびのびと育っている」「低炭素で、環境美化意識の高いまちである」「ごみの減量化・資源化が進んでいる」「健康づくりがしやすいまちである」「道路や上下水道などの基盤が整っている」では5ポイント以上低くなっている。

図8-2-16 基本施策の推進度（経年変化：割合）

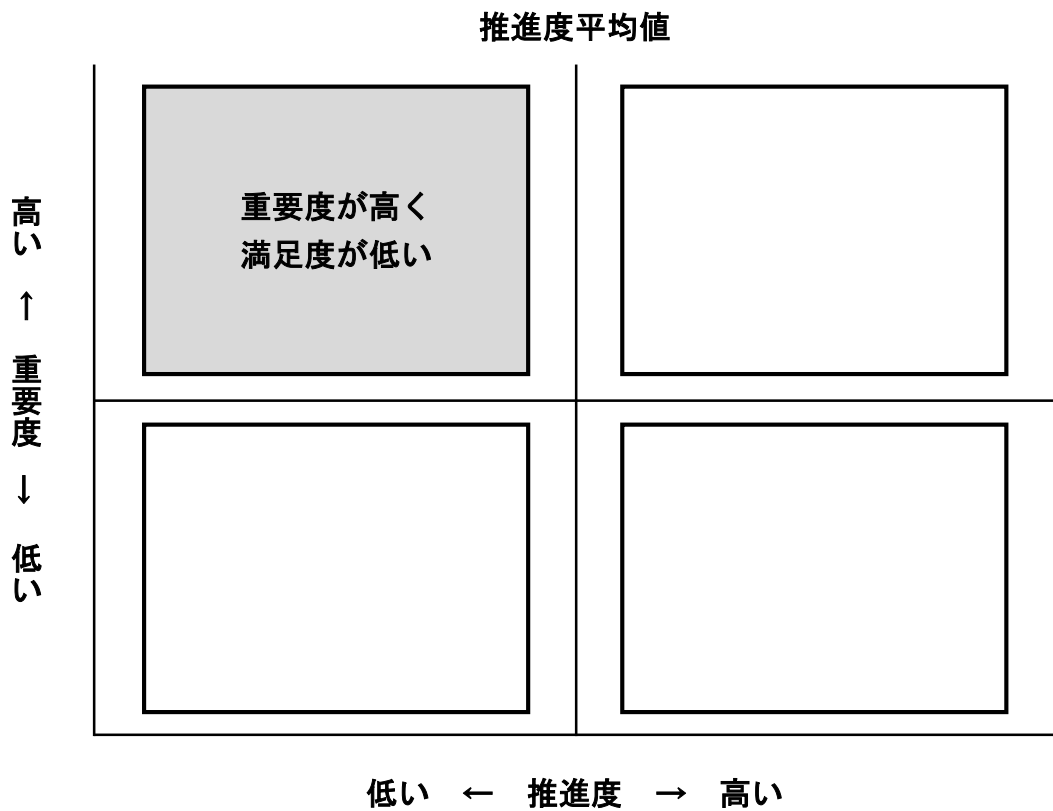


※「豊かな自然環境がある」「地域の子どもたちがのびのびと育っている」「子育てや教育のサービスが整っている」「地域に子育てについて相談できる人や場所がある」については、平成28年度がなく、幸せ実感アンケート調査項目と比較したが、設問及び回答選択肢などの表現は、一部異なっている。「地域社会の一員として、市民が社会のために活動している」については、回答方法が異なるため平成28年度調査は「—」とした。

【施策ごとの重要度・推進度の関係】

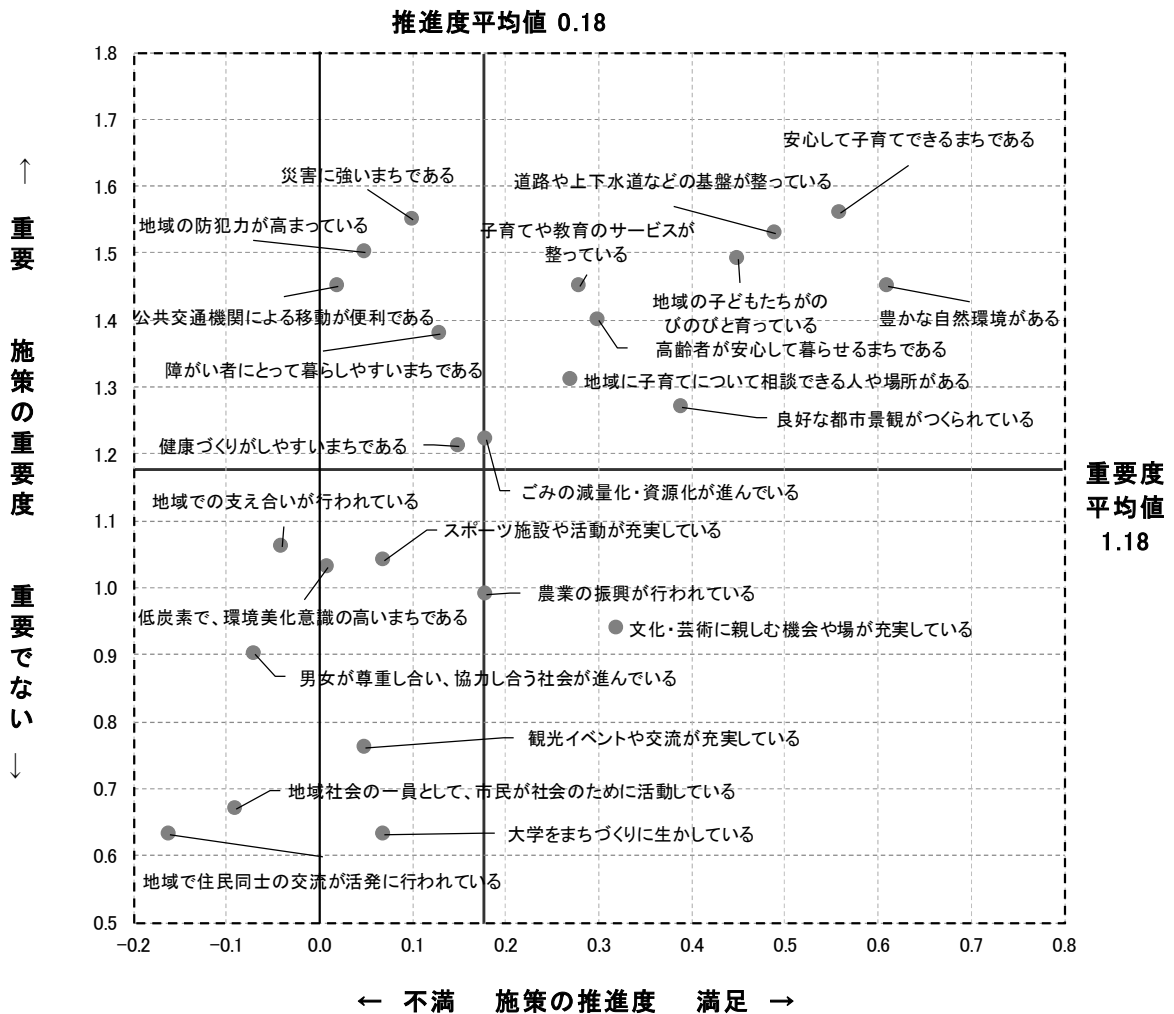
施策の重要度と推進度について、それぞれ「重要である」「進んでいる」を+2点、「まあ重要である」「まあ進んでいる」を+1点、「どちらとも言えない」を0点、「あまり重要でない」「あまり進んでいない」を-1点、「重要でない」「進んでいない」を-2点として集計し、推進度を横軸に、重要度を縦軸にそれぞれ設定して平面座標上に図示したものが図 5-3-1 である。施策の重要度と推進度それぞれの平均値で分割し、4つの領域に区分けした場合、重要度が高く推進度が低い領域は、最優先で改善が求められる項目であるといえる。

図 8-2-1 「施策の推進度と重要度」の模式図



施策の重要度が高く、推進度が低い項目は、“地域の防犯力が高まっている”、“災害に強いまちである”、“公共交通機関による移動が便利である”、“障がい者にとって暮らしやすいまちである”、“健康づくりがしやすいまちである”の5項目である。

図8-2-2 基本施策の重要度・推進度



【年齢別】

○年齢別で見ると、施策の重要度が高く、推進度が低い項目はそれぞれ以下のとおりとなっている。

図8-2-3 基本施策の重要度・推進度（20歳未満）

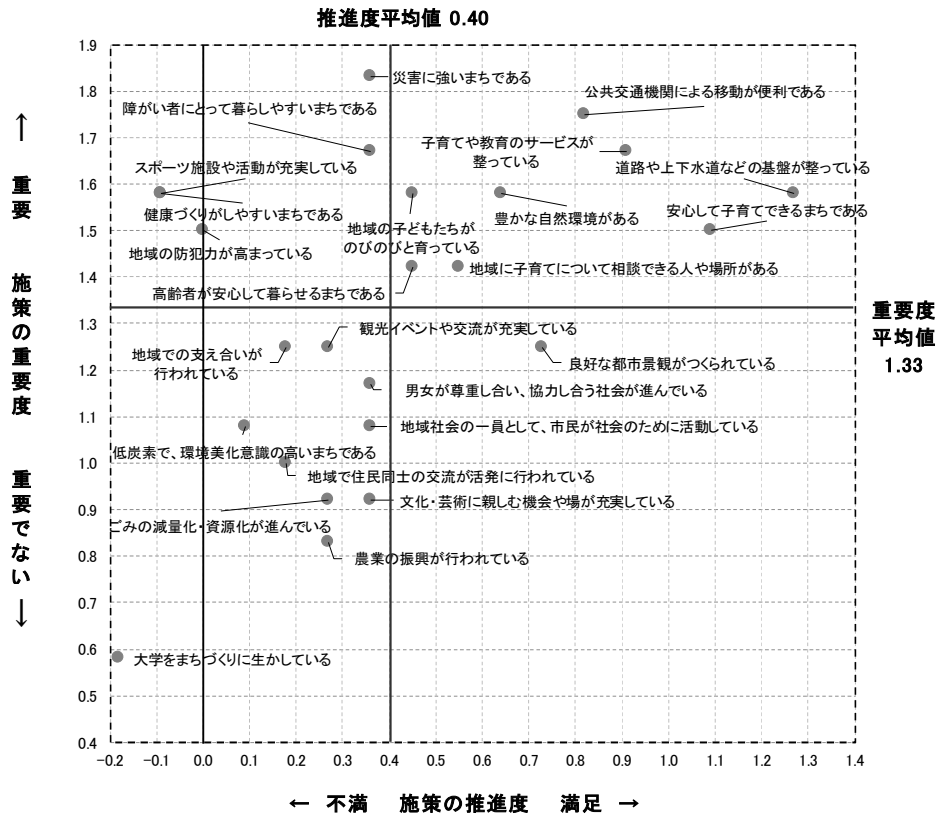


図8-2-4 基本施策の重要度・推進度（20歳代）

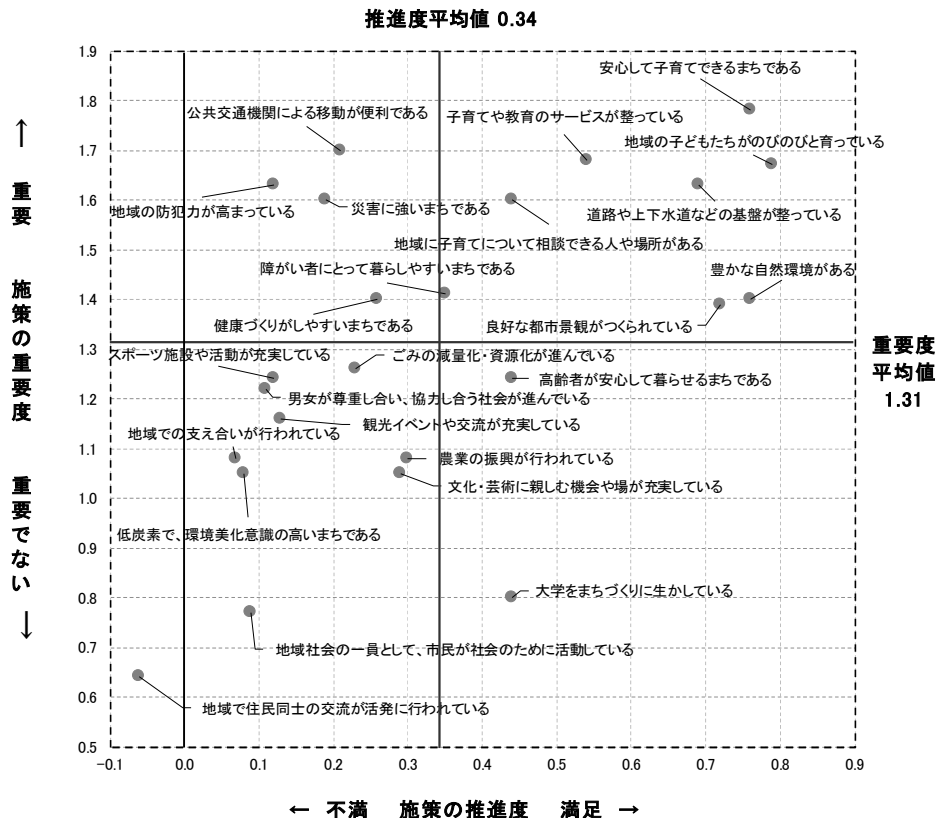


図 8-2-5 基本施策の重要度・推進度 (30 歳代)

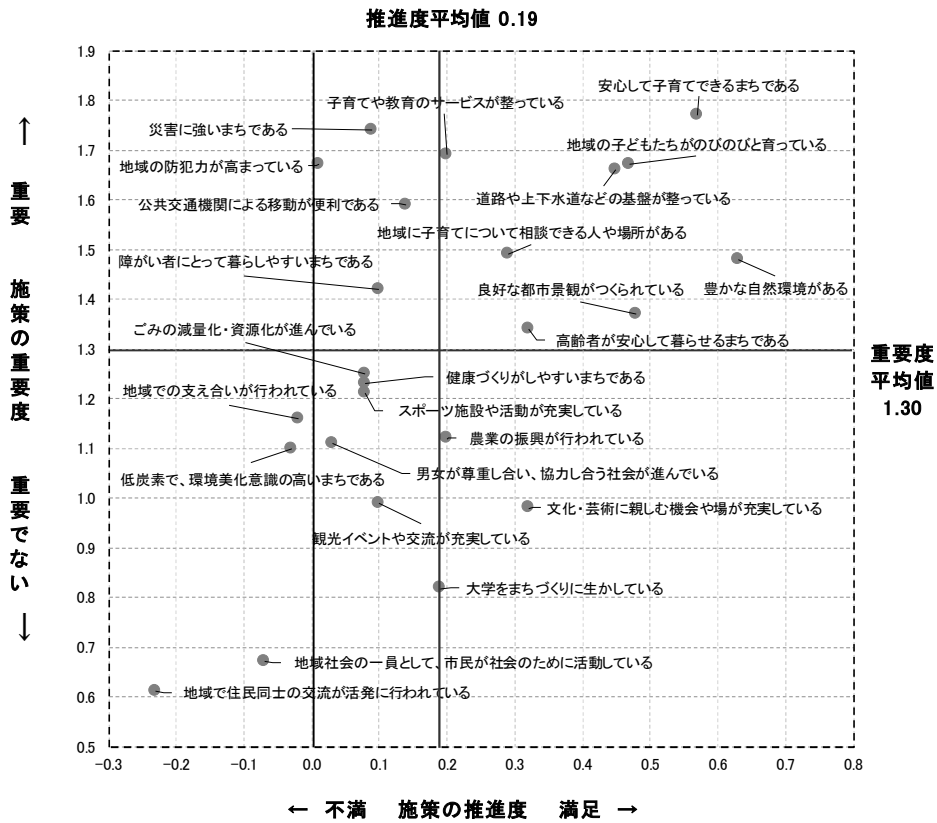


図 8-2-6 基本施策の重要度・推進度 (40 歳代)

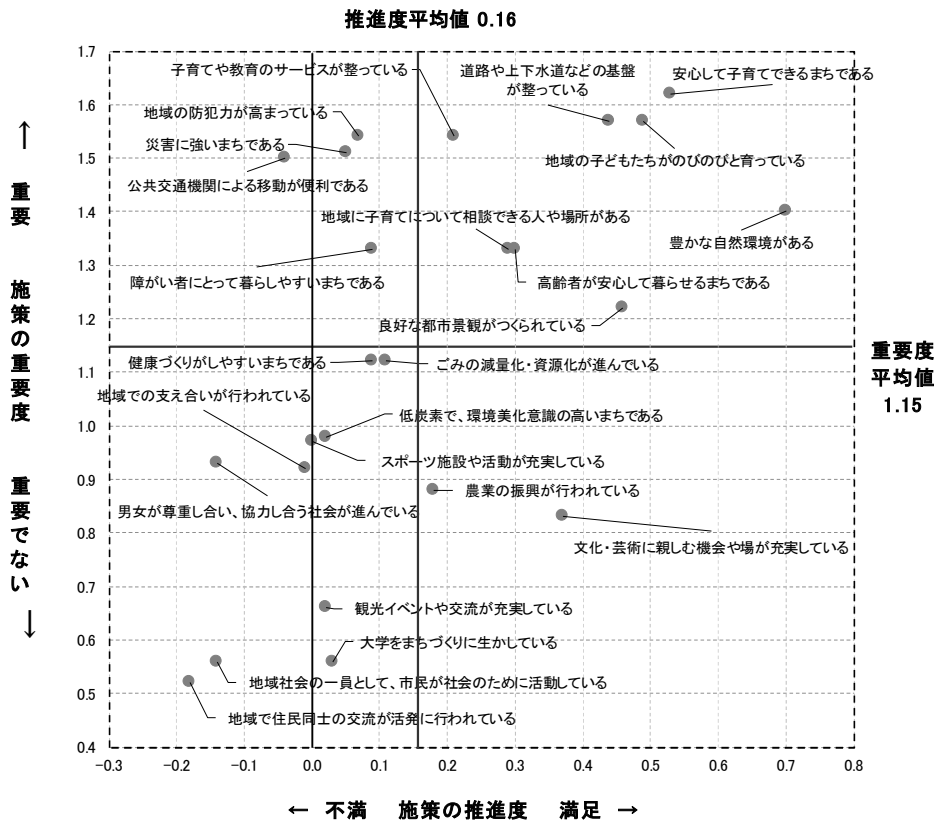


図 8-2-7 基本施策の重要度・推進度 (50 歳代)

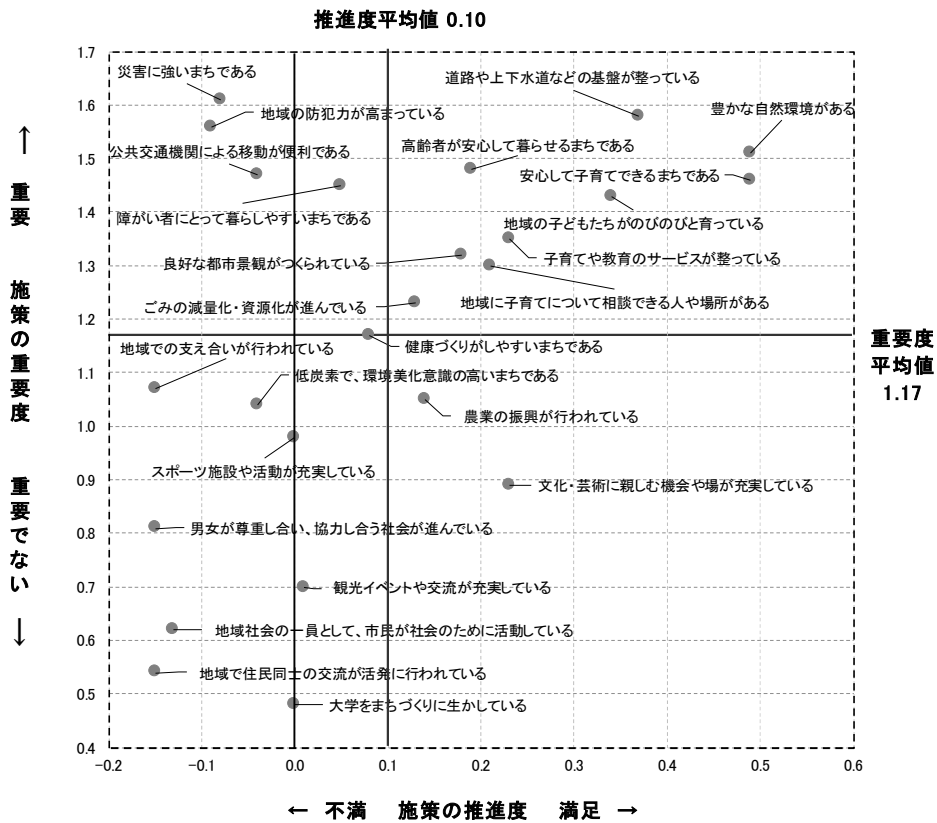


図 8-2-8 基本施策の重要度・推進度 (60 歳代)

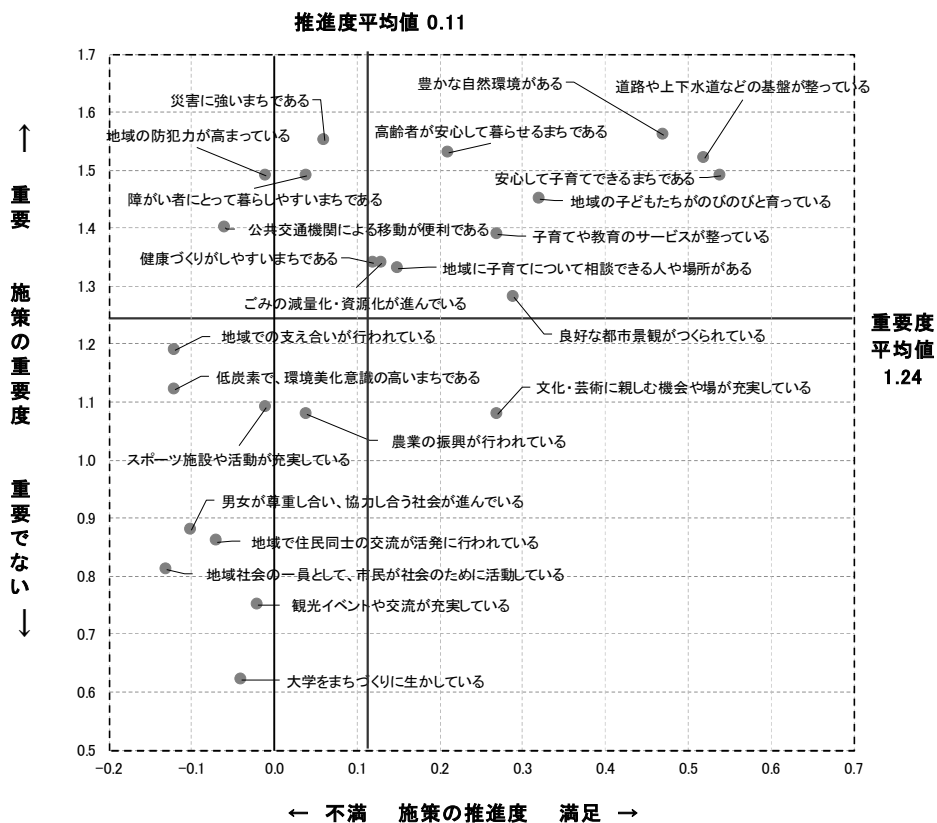
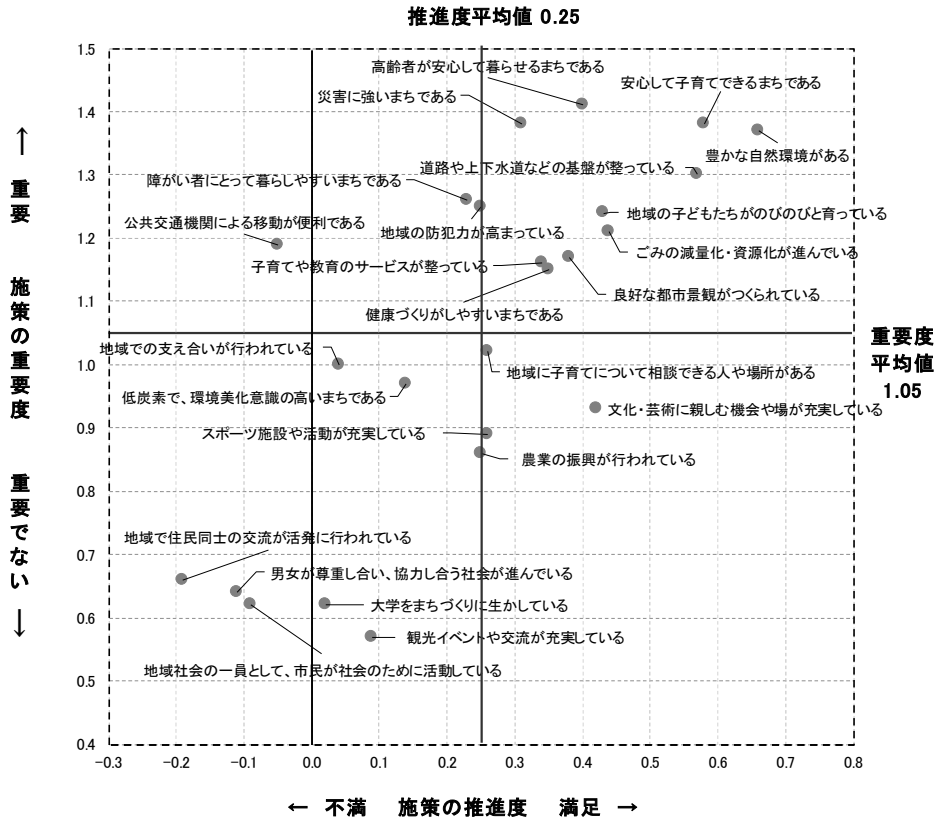


図8-2-9 基本施策の重要度・推進度（70歳以上）



【小学校区別】

○小学校区別でみると、施策の重要度が高く、推進度が低い項目はそれぞれ以下のとおりとなっている。

図8-2-10 基本施策の重要度・推進度（長久手小学校区）

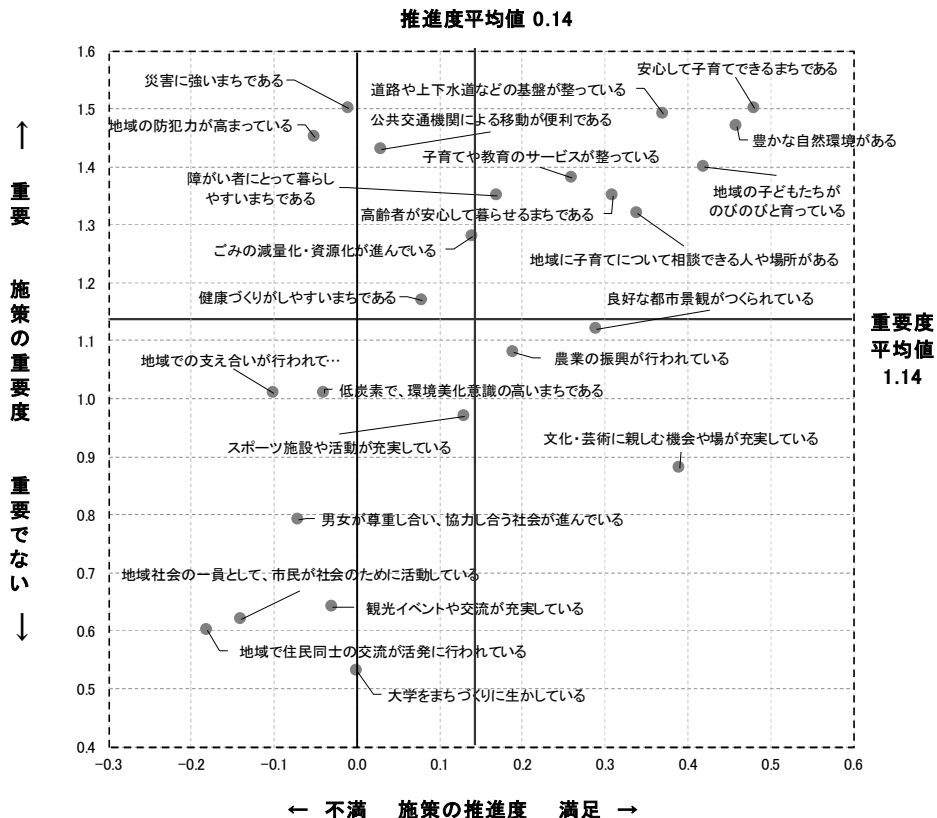


図8-2-11 基本施策の重要度・推進度（西小学校区）

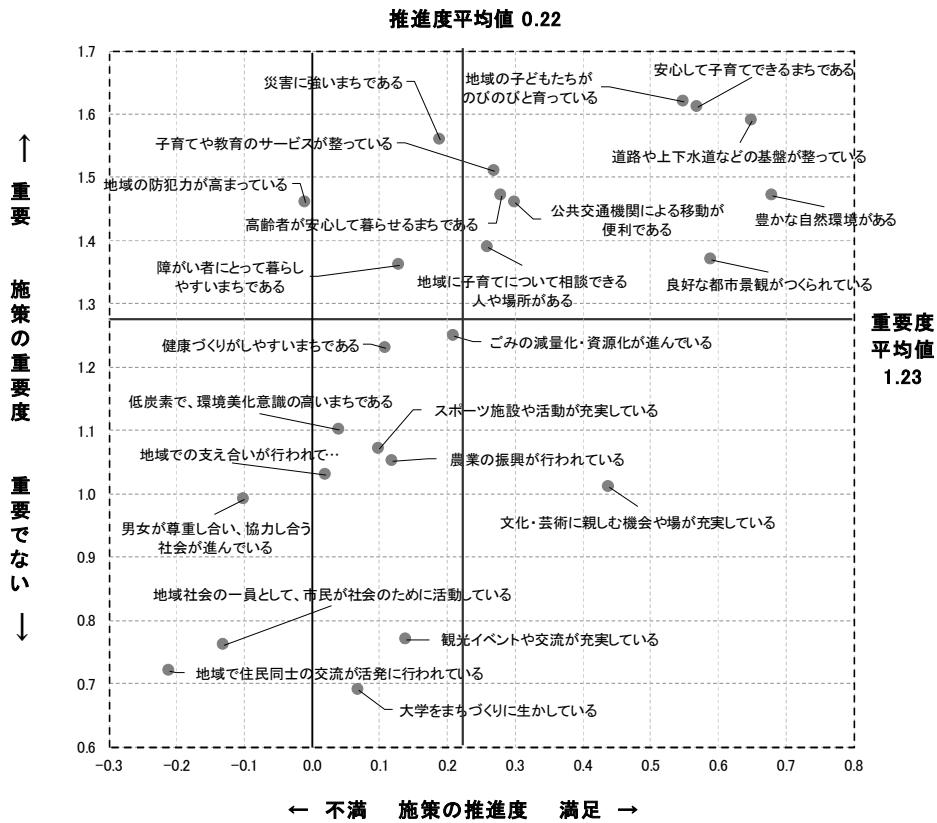


図8-2-12 基本施策の重要度・推進度（東小学校区）

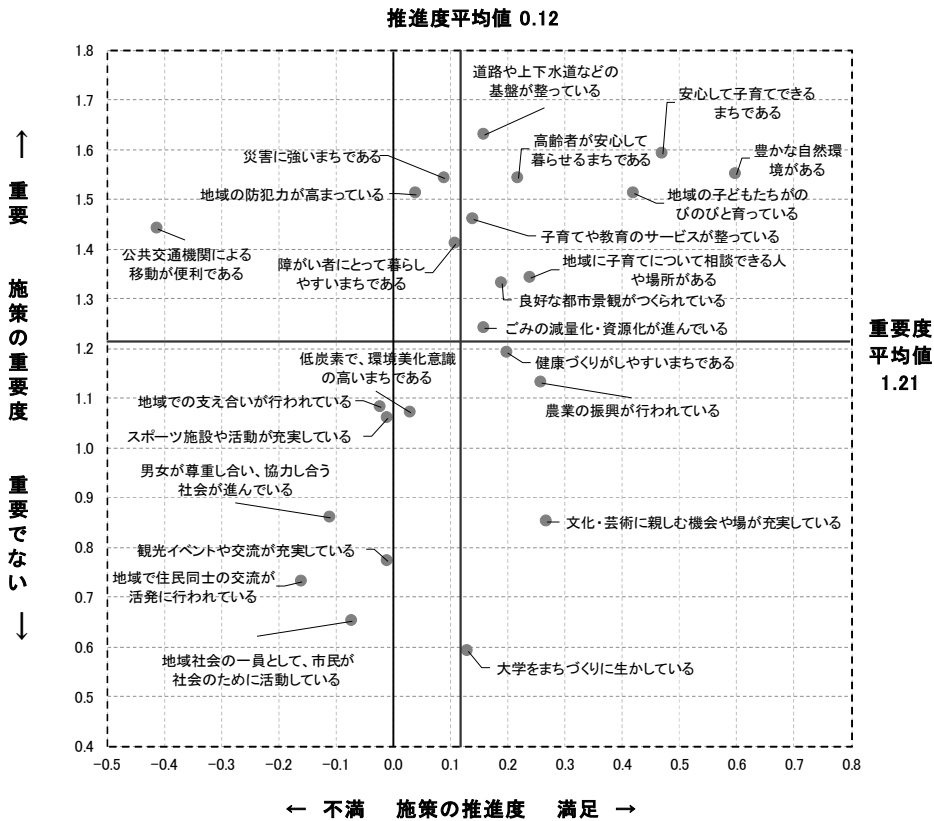


図8-2-13 基本施策の重要度・推進度（北小学校区）

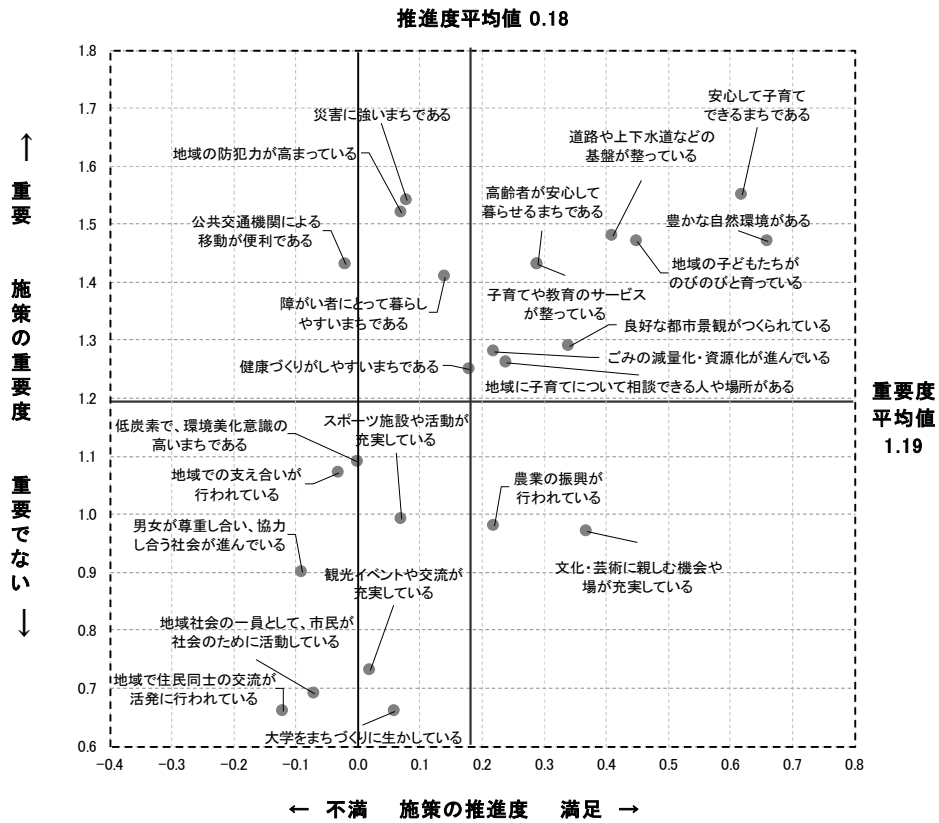


図8-2-14 基本施策の重要度・推進度（南小学校区）

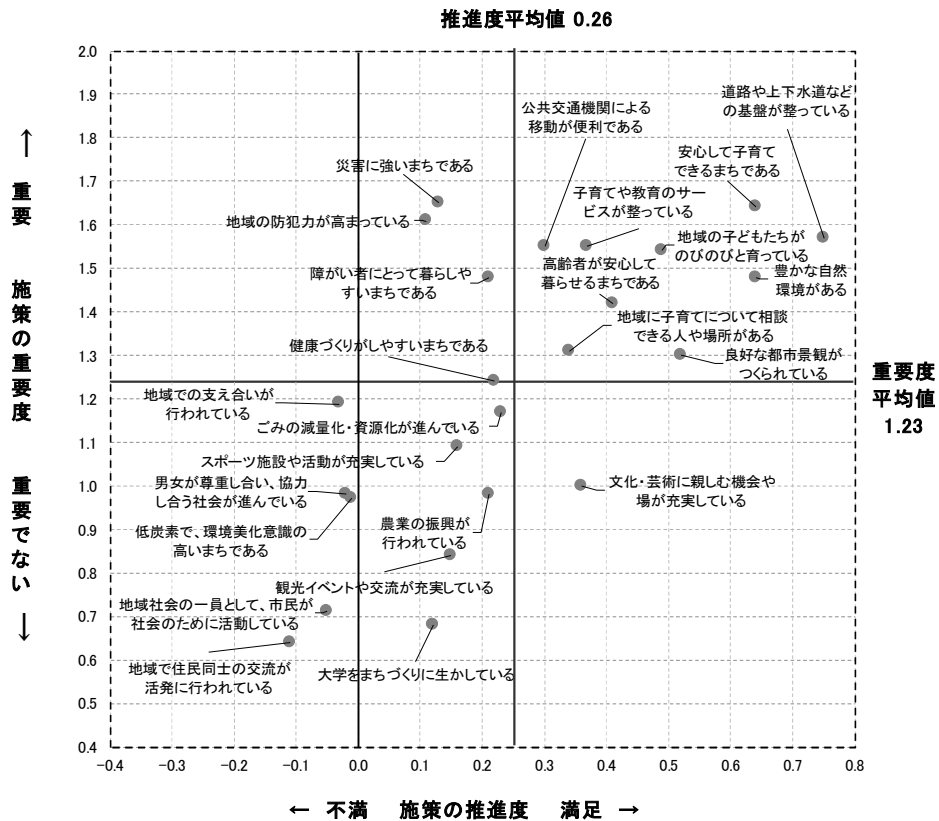
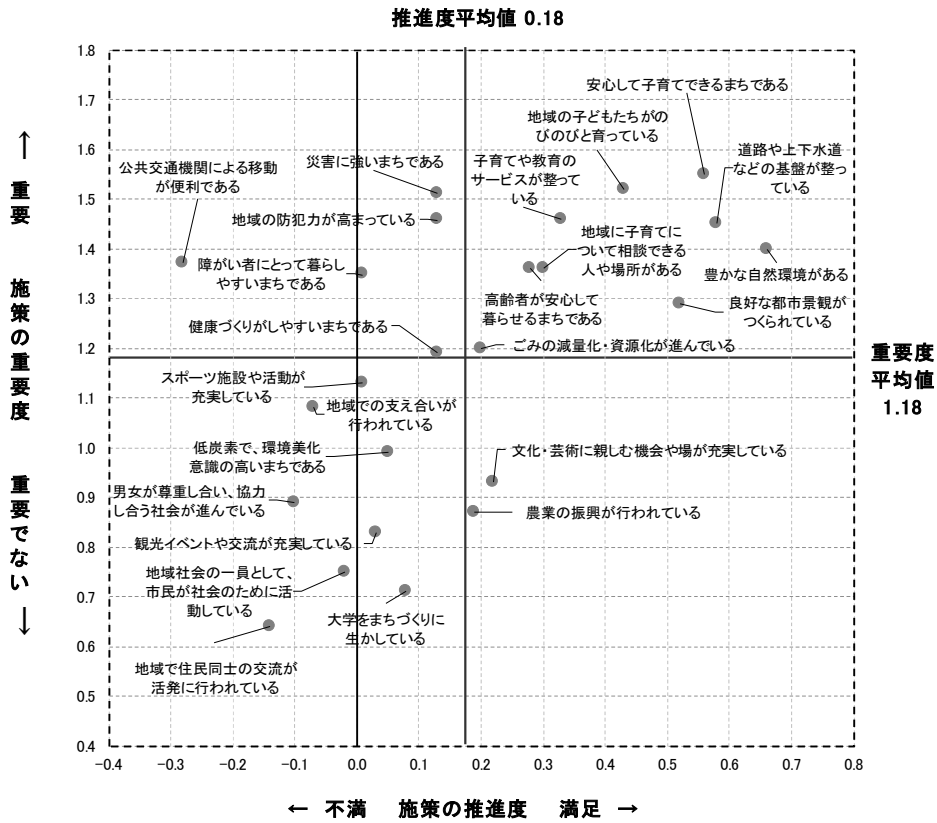


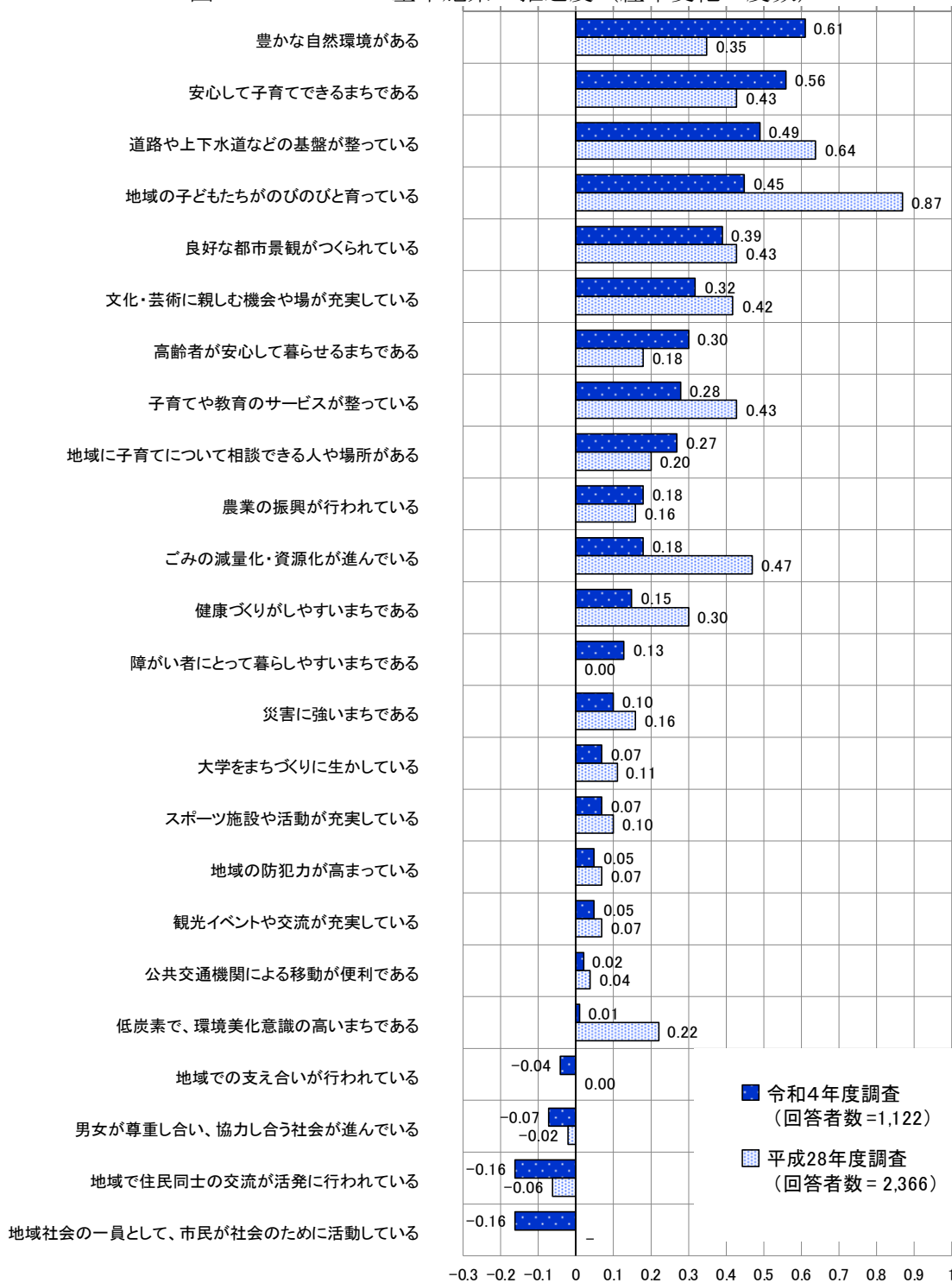
図8-2-15 基本施策の重要度・推進度（市が洞小学校区）



【経年比較】

○基本施策の推進度について、前回調査と比べると、ほとんどの施策において評価が低くなっている。特に、「ごみの減量化・資源化が進んでいる」では0.29ポイント低くなっている。また、「低炭素で、環境美化意識の高いまちである」、「道路や上下水道などの基盤が整っている」、「健康づくりがしやすいまちである」でも、0.15ポイント以上低くなっている。一方、「安心して子育てできるまちである」「高齢者が安心して暮らせるまちである」「障がい者にとって暮らしやすいまちである」は高くなっている。

図8-2-17 基本施策の推進度（経年変化：度数）



※「豊かな自然環境がある」「地域の子どもたちがのびのびと育っている」「子育てや教育のサービスが整っている」「地域に子育てについて相談できる人や場所がある」については、平成28年度ながくて幸せ実感アンケート調査項目と比較したが、設問及び回答選択肢などの表現は、一部異なっている。「地域社会の一員として、市民が社会のために活動している」については、回答方法が異なるため平成28年度調査は「-」としている。

Ⅸ 市政全般について

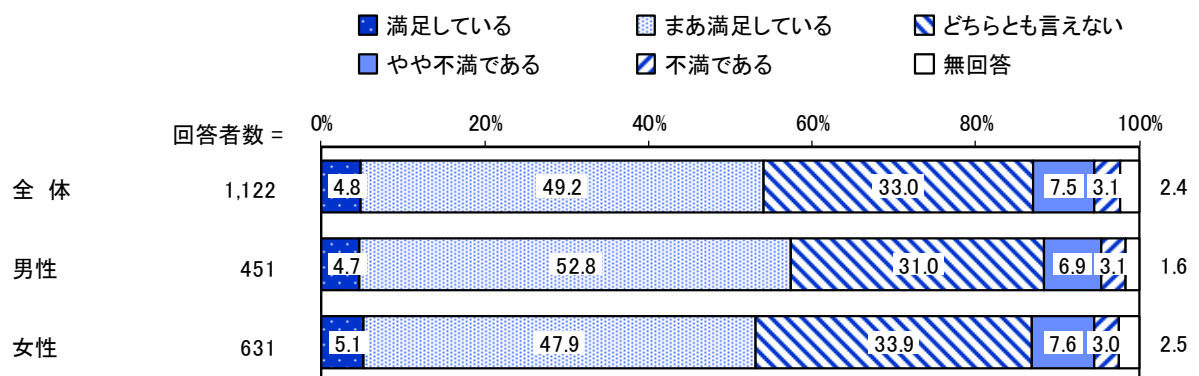
問 20 あなたは、市政全般についてどの程度満足していますか。【〇は1つ】

市政全般の満足度については、「まあ満足している」が49.2%と最も多い。「満足している」(4.8%)と「まあ満足している」(49.2%)を合わせて54.0%となっている。

【性別】

○性別でみると、大きな違いはみられない。

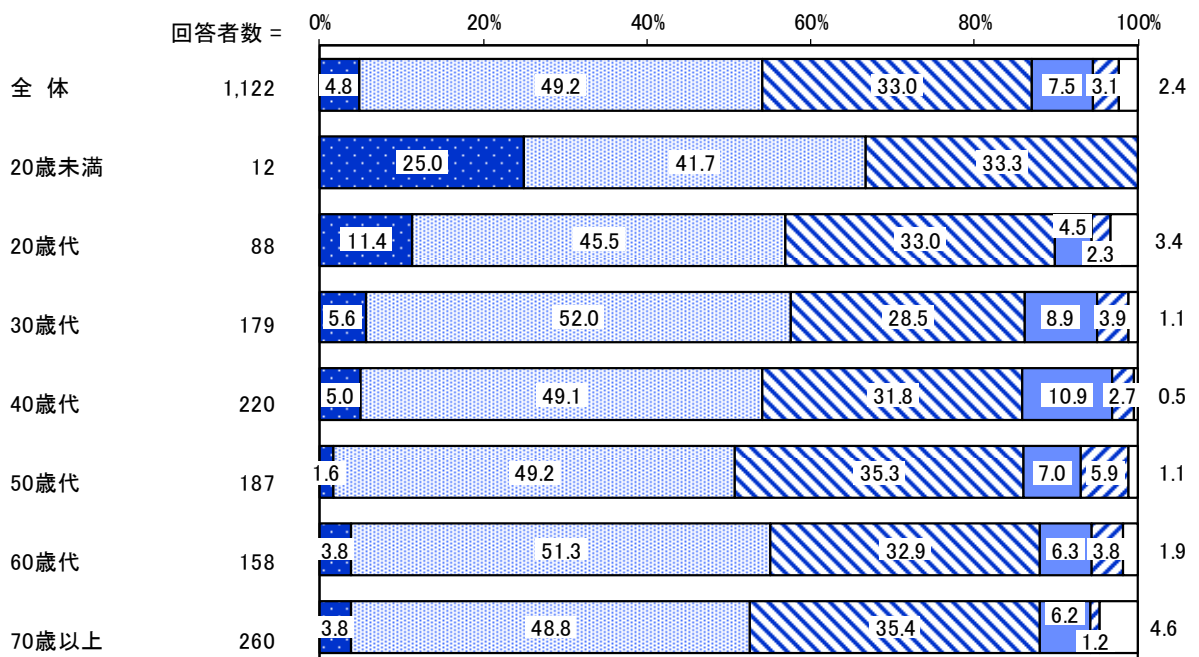
図 9-1-1 市政全般の満足度（性別）



【年齢別】

○年齢別でみると、「満足している」と「まあ満足している」の合計では、20歳未満で66.7%、20歳代で56.9%、30歳代で57.6%と全体より多くなっている。

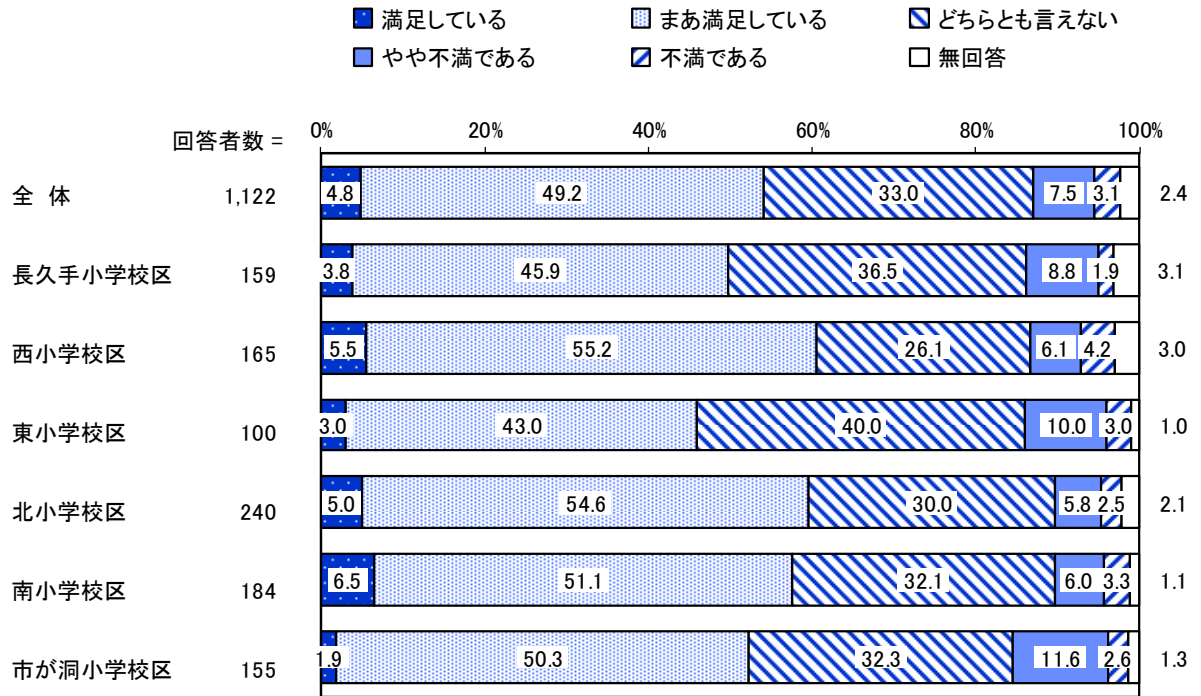
図 9-1-2 市政全般の満足度（年齢別）



【小学校区別】

○小学校区別で見ると、西小学校区では「満足している」と「まあ満足している」の合計が60.7%、北小学校区で59.6%と他の小学校区と全体より5ポイント以上多い一方、東小学校区で46.0%と全体より8.0ポイント少ない。

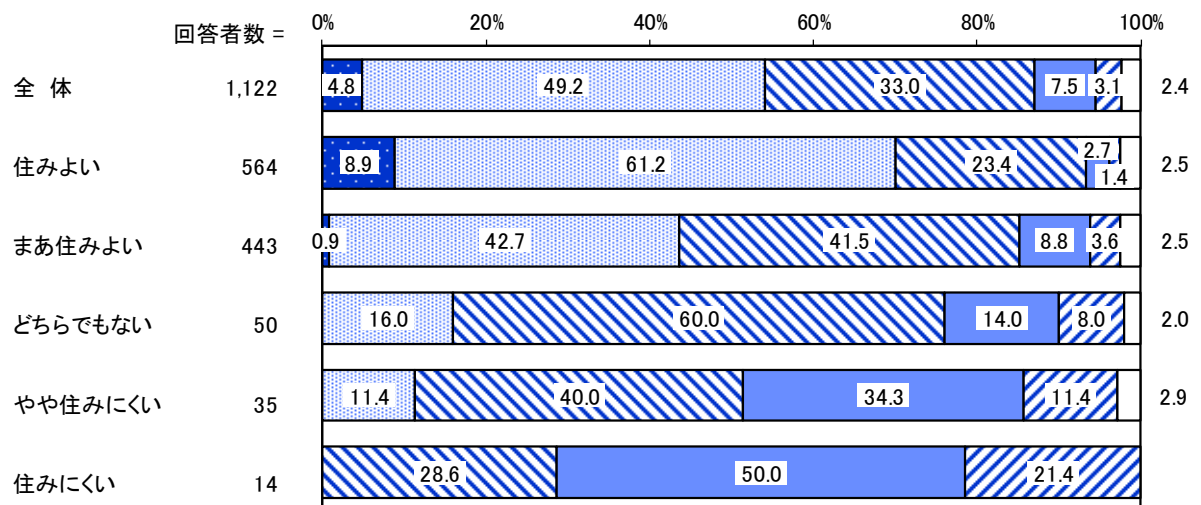
図9-1-3 市政全般の満足度（小学校区別）



【住み心地別】

○住み心地別で見ると、住み心地がよいと感じているほど、市政への満足度が高い傾向にある。

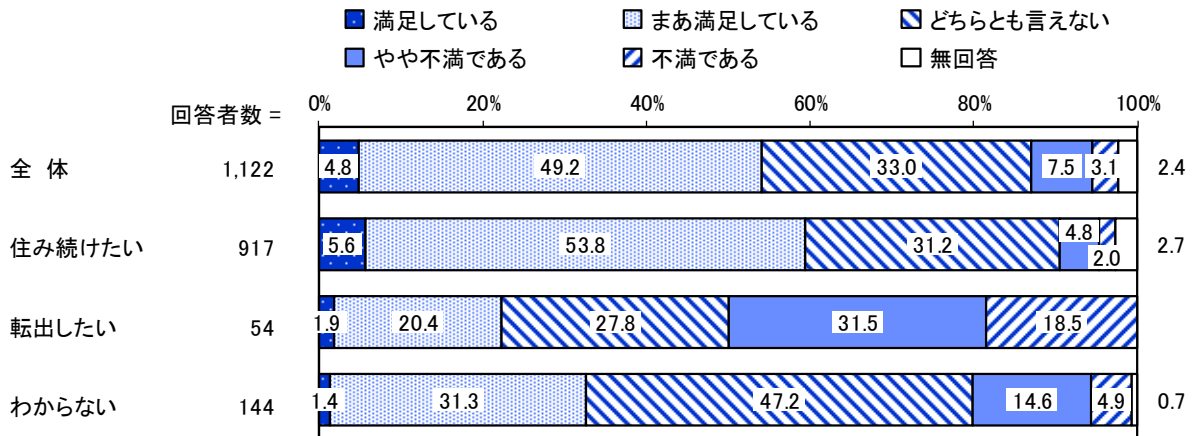
図9-1-4 市政全般の満足度（住み心地別）



【定住意向別】

○定住意向別【問2】で見ると、「住み続けたい」と思う人では「満足している」と「まあ満足している」の合計が59.4%で、「転出したい」と思う人（22.3%）より満足度が高い。

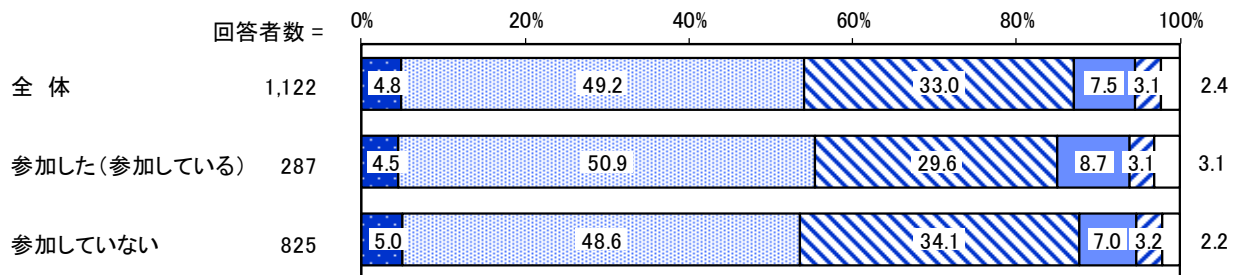
図9-1-5 市政全般の満足度（定住意向別）



【地域活動への参加状況別】

○地域活動への参加有無別で見ると、大きな違いはみられない。

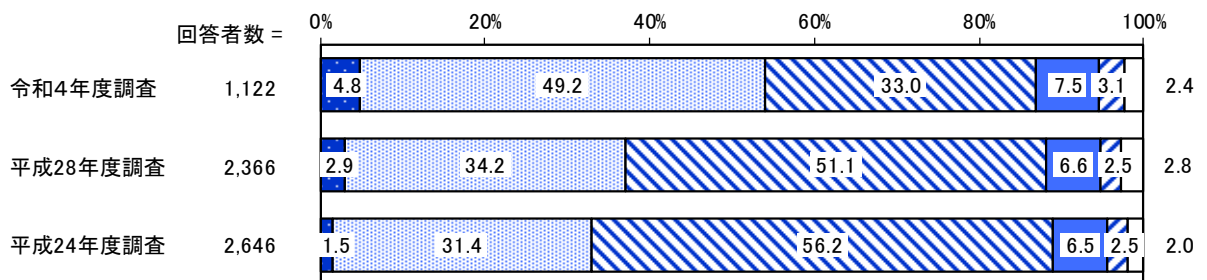
図9-1-6 市政全般の満足度（地域活動への参加状況別）



【経年比較】

○市政全般の満足度について過去の調査調査と比較すると、「満足している」と「まあ満足している」の合計（54.0%）は、前回（37.1%）より16.9ポイント多くなっている。

図9-1-7 市政全般の満足度（経年変化）



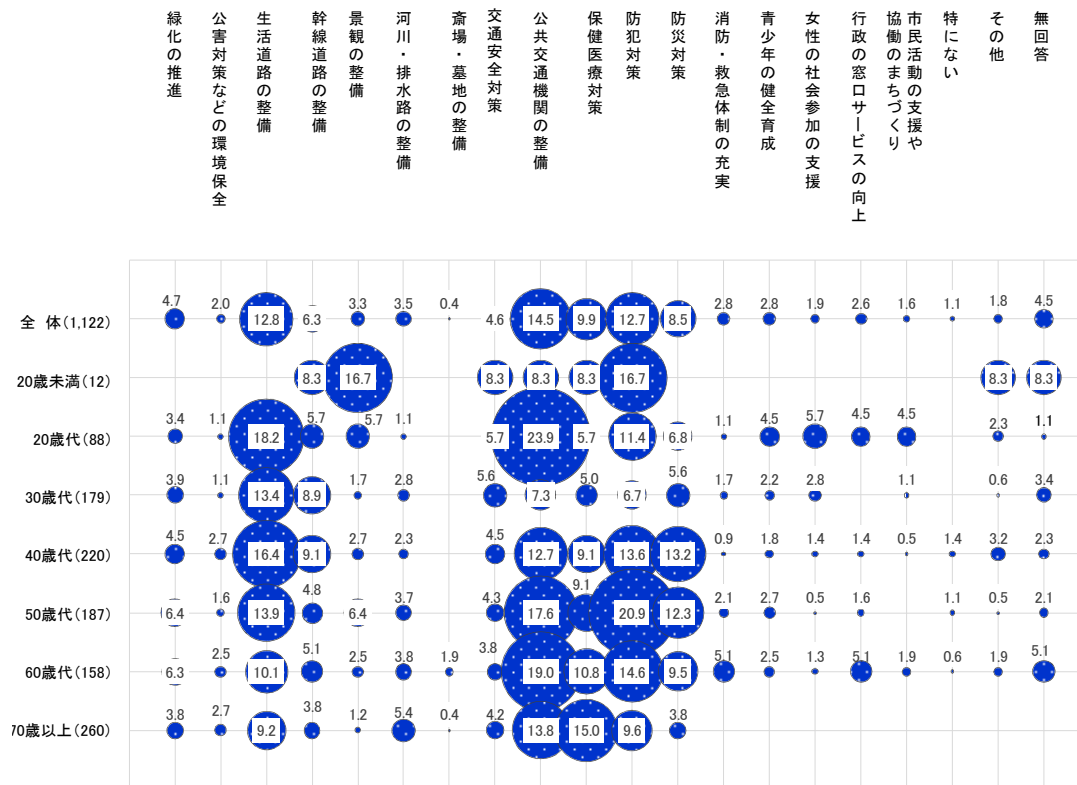
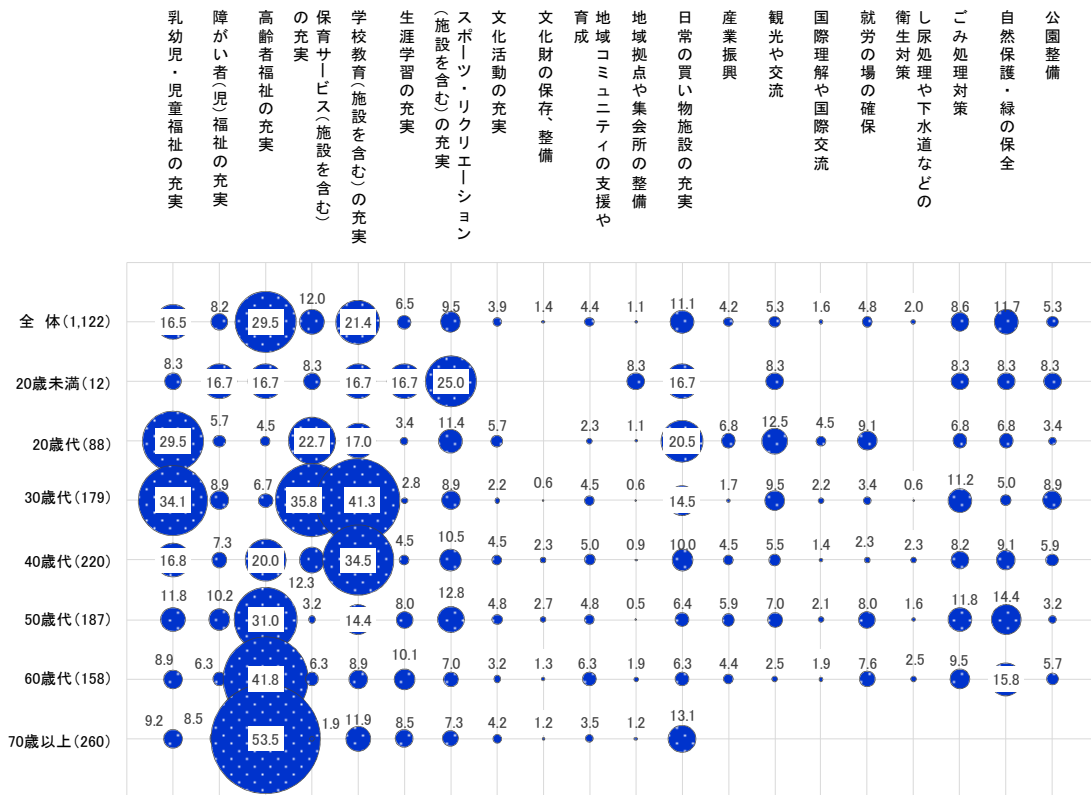
問 21 長久手市は、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中から選択してください。【〇は3つまで】

長久手市が今後、力を入れていくべき施策については、「高齢者福祉の充実」(29.5%)が最も多く、次いで「学校教育(施設を含む)の充実」(21.4%)、「乳幼児・児童福祉の充実」(16.5%)などとなっている。

【年齢別】

- 年齢別でみると、「高齢者福祉の充実」は、60歳代(41.8%)、70歳以上(53.5%)が多い。
- 「学校教育(施設を含む)の充実」は、30歳代(41.3%)が多い。
- 「乳幼児・児童福祉の充実」は、20歳代(29.5%)、30歳代(34.1%)が多い。
- 「公共交通機関の整備」は、20歳代(23.9%)が多い。
- 「保育サービス(施設を含む)の充実」は20歳代(22.7%)、30歳代(35.8%)が多い。
- 「スポーツ・レクリエーション(施設を含む)の充実」は20歳未満(25.0%)が多い。

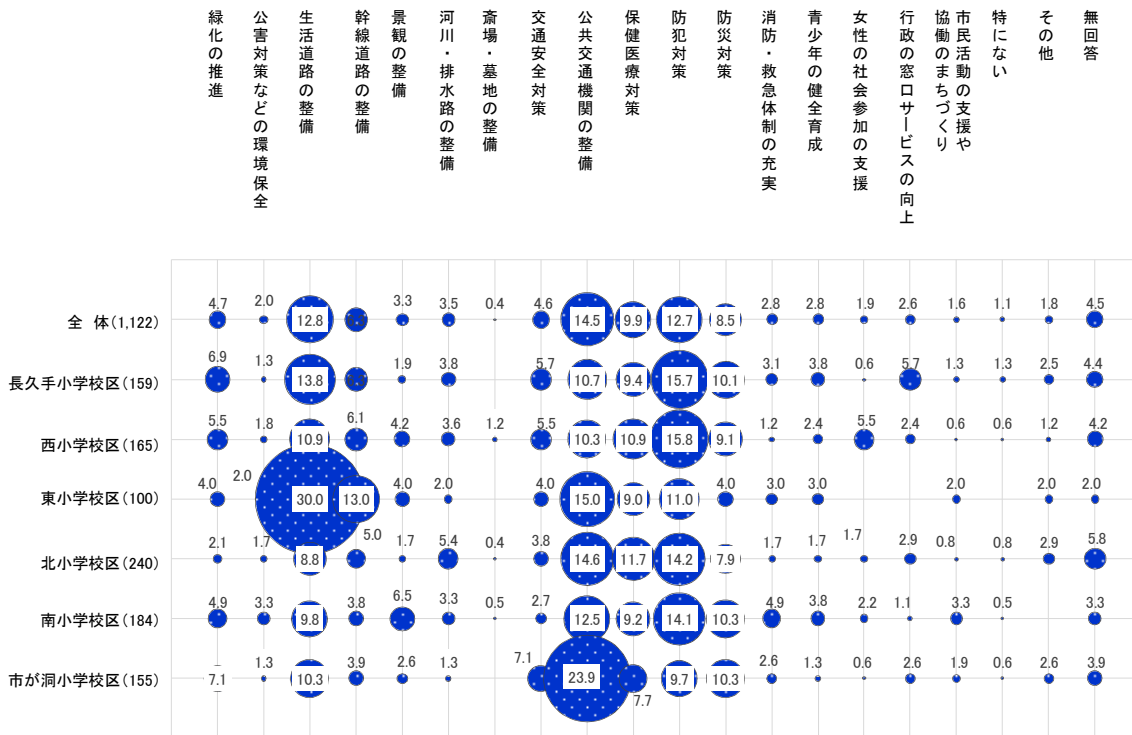
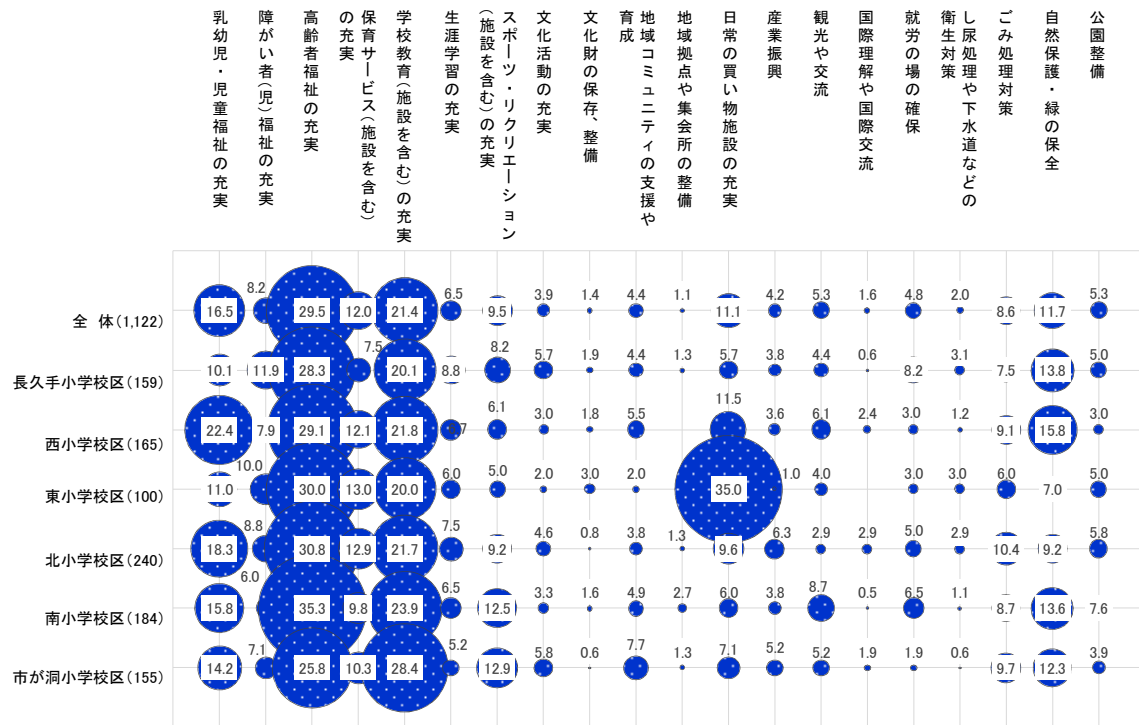
図9-2-1 今後力を入れるべき施策（年齢別）



【小学校区別】

- 小学校区別でみると、「公共交通機関の整備」は、市が洞小学校区（23.9%）が多い。
- 「乳幼児・児童福祉の充実」は、西小学校区（22.4%）が多い。
- 「日常の買い物施設の充実」は、東小学校区（35.0%）が多い。

図9-2-2 今後力を入れるべき施策（小学校区別）

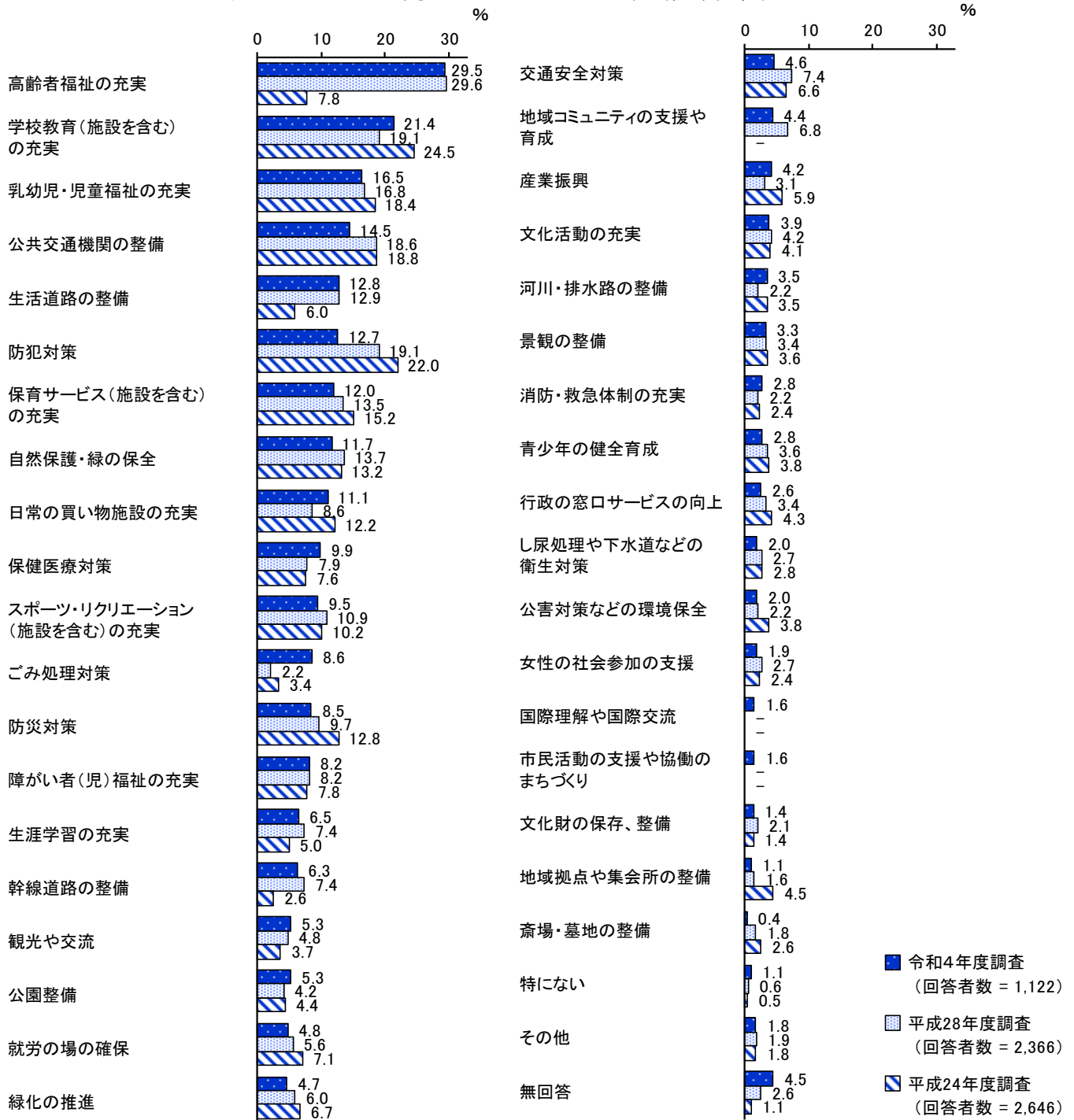


【経年比較】

○長久手市が今後、力を入れていくべき施策について過去の調査と比較すると、「ごみ処理対策」(8.6%)は平成28年度調査(2.2%)より6.4ポイント多くなっている。

○一方、「防犯対策」(12.7%)は平成28年度調査(19.1%)より6.4ポイント少なくなっている。

図9-2-3 今後力を入れるべき施策（経年変化）



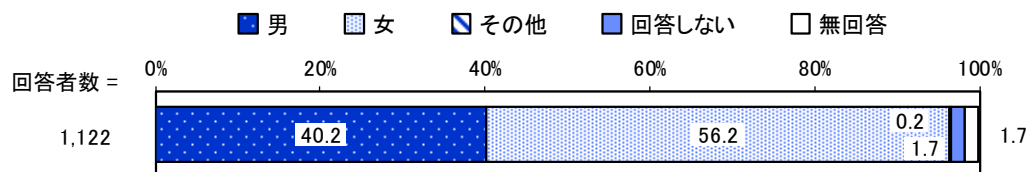
X 回答者の属性について

問 23 各質問にあなた自身が該当する項目を選んでください。

(1) あなたの性別は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

回答者の性別は、男性が 40.2%、女性が 56.2%となっている。

図 10-1 性別



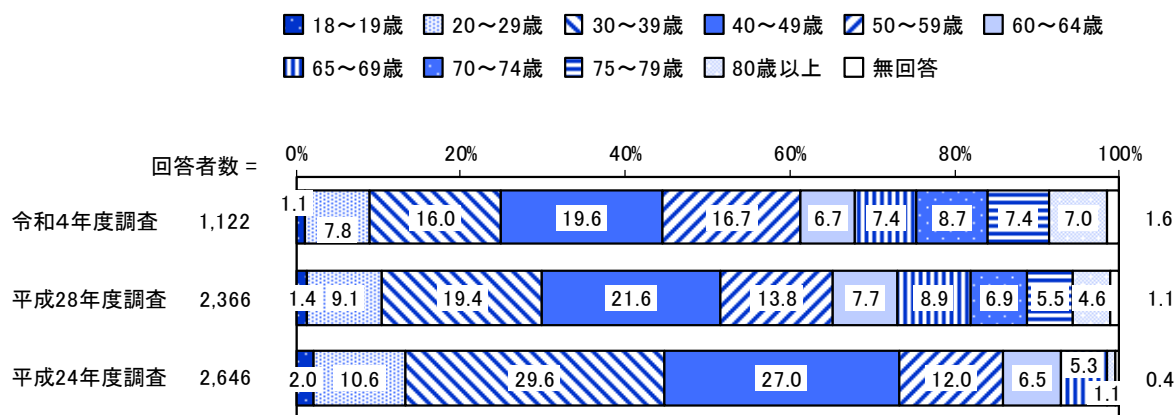
(2) あなたの年齢は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

回答者の年齢は、「40～49歳」が 19.6%と最も多く、次いで「50～59歳」(16.7%)となっている。

【経年比較】

○過去の調査と比較すると、平成 28 年度調査と大きな違いはみられない。

図 10-2 年齢 (経年変化)



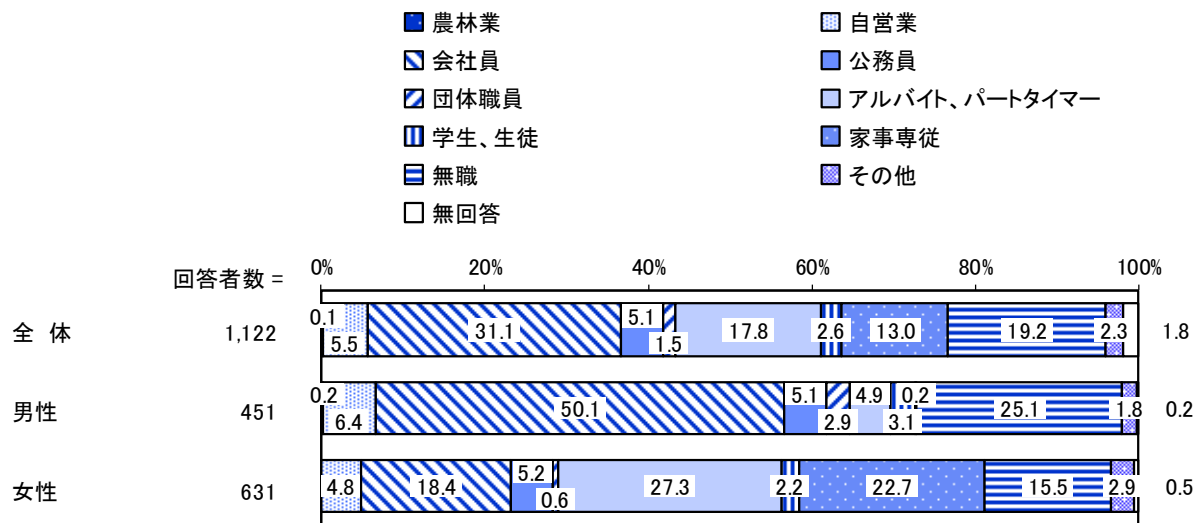
(3) あなたの職業は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

回答者の職業は、「会社員」が31.1%と最も多く、次いで「無職」(19.2%)、「アルバイト、パートタイマー」(17.8%)となっている。

【性別】

〇性別でみると、男性では「会社員」が50.1%と約半数を占めており、女性では「アルバイト、パートタイマー」が27.3%、「家事専従」が22.7%と2割を超えている。

図10-3 職業（性別）



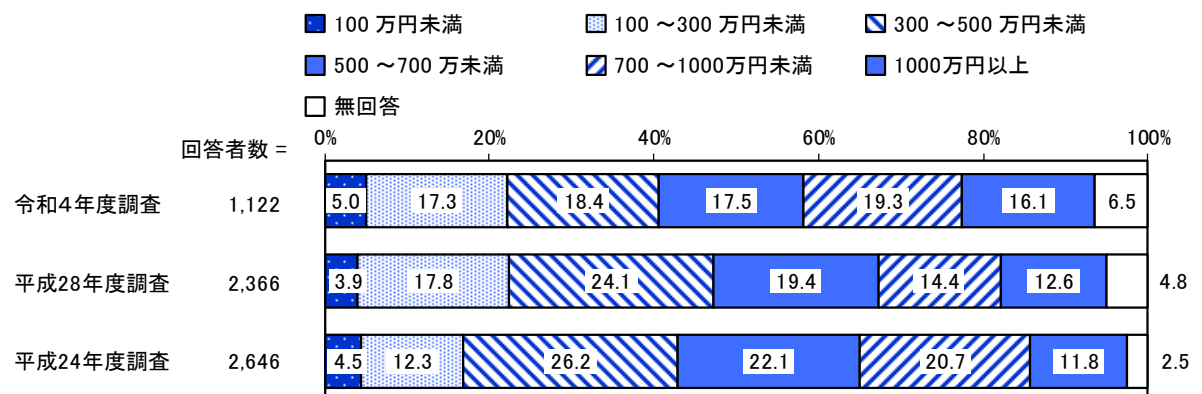
(4) あなたの家族全体の年収はどのくらいですか。【〇は1つ】

回答者の家庭全体の年収は、「700～1000万円未満」が19.3%と最も多く、次いで「300～500万円未満」(18.4%)、「500～700万未満」(17.5%)、「100～300万円未満」(17.3%)となっている。

【経年比較】

〇過去の調査と比較すると、「300～500万円未満」(18.4%)が平成28年度調査(24.1%)より5.7ポイント少なく、「700～1000万円未満」(19.3%)「1000万円以上」(16.1%)がそれぞれ4.9ポイント、3.5ポイント多く、年収が上がっているといえる。

図10-4 家庭全体の年収（経年変化）



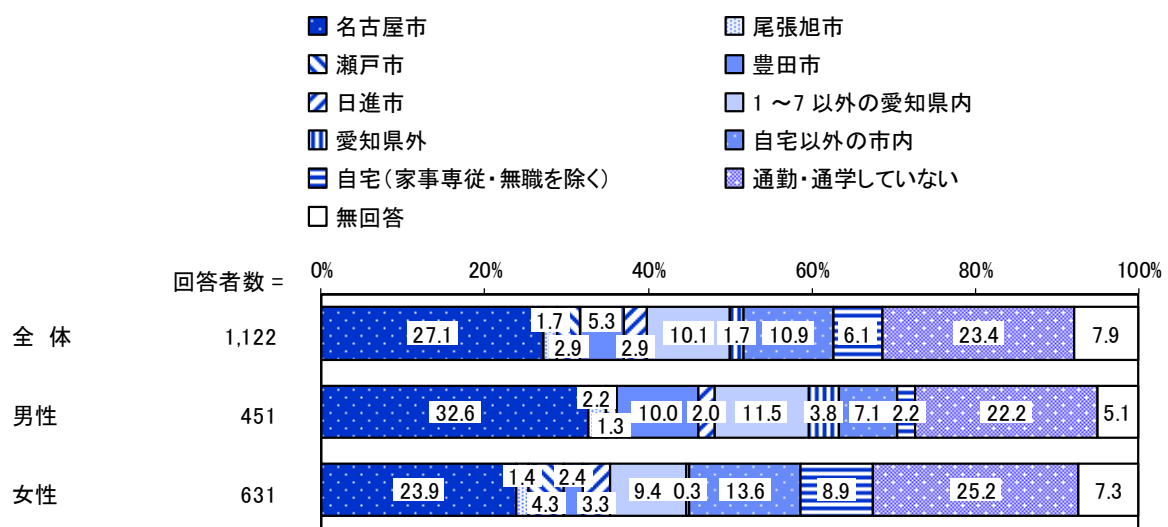
(5) あなたの通勤先・通学先は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

回答者の通勤先・通学先としては、「名古屋市」(27.1%)が最も多く、次いで「自宅以外の市内」(10.9%)、「それ以外の愛知県内」(10.1%)、「自宅(家事専従・無職を除く)」(6.1%)となっている。

【性別】

〇性別でみると、男性では「名古屋市」(32.6%)、「豊田市」(10.0%)が女性(23.9%、2.4%)よりも多く、女性では「自宅以外の市内」(13.6%)、「自宅(家事専従・無職を除く)」(8.9%)が男性(7.1%、2.2%)よりも多い。

図10-5 通勤先・通学先(性別)



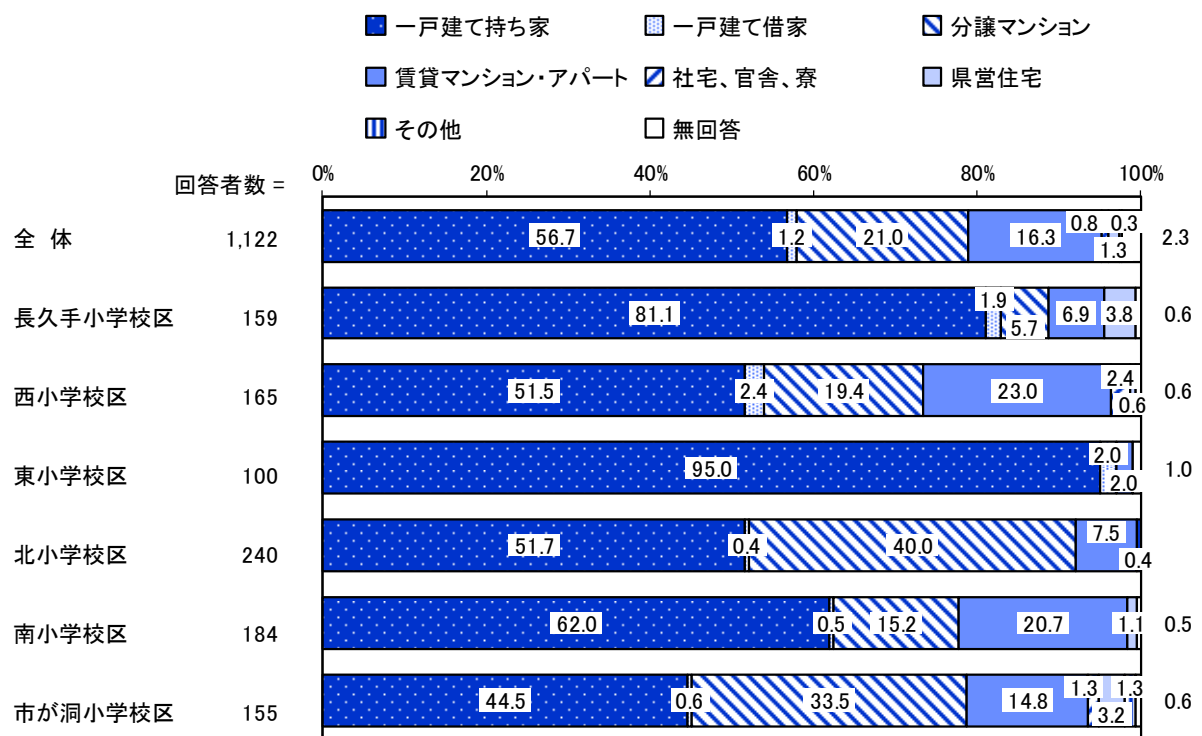
(6) あなたのお住まいは、次のうちどれですか。【〇は1つ】

回答者の住まいについて、「一戸建て持ち家」が56.7%と最も多く、次いで「分譲マンション」(21.0%)、「賃貸マンション・アパート」(16.3%)となっている。持ち家の回答を合わせると、全体で78.9%と8割弱となっている。

【小学校区別】

- 小学校区別でみると、東小学校区と長久手小学校区で、一戸建て持ち家がそれぞれ95.0%、81.1%と他の小学校区と比べて非常に多い。
- 北小学校区では、分譲マンション(40.0%)が他の小学校区と比べて多い。
- 西小学校区と南小学校区では、「賃貸マンション」がそれぞれ23.0%、20.7%と他の小学校区と比べて多い。

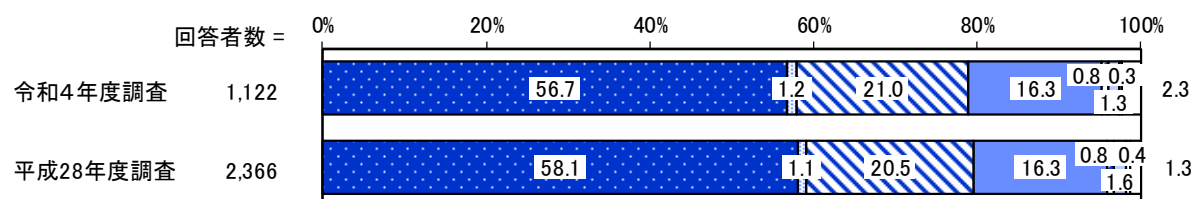
図10-6 住まいの形態 (小学校区別)



【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、平成28年度調査と大きな違いはみられない。

図10-7 住まいの形態 (経年変化)

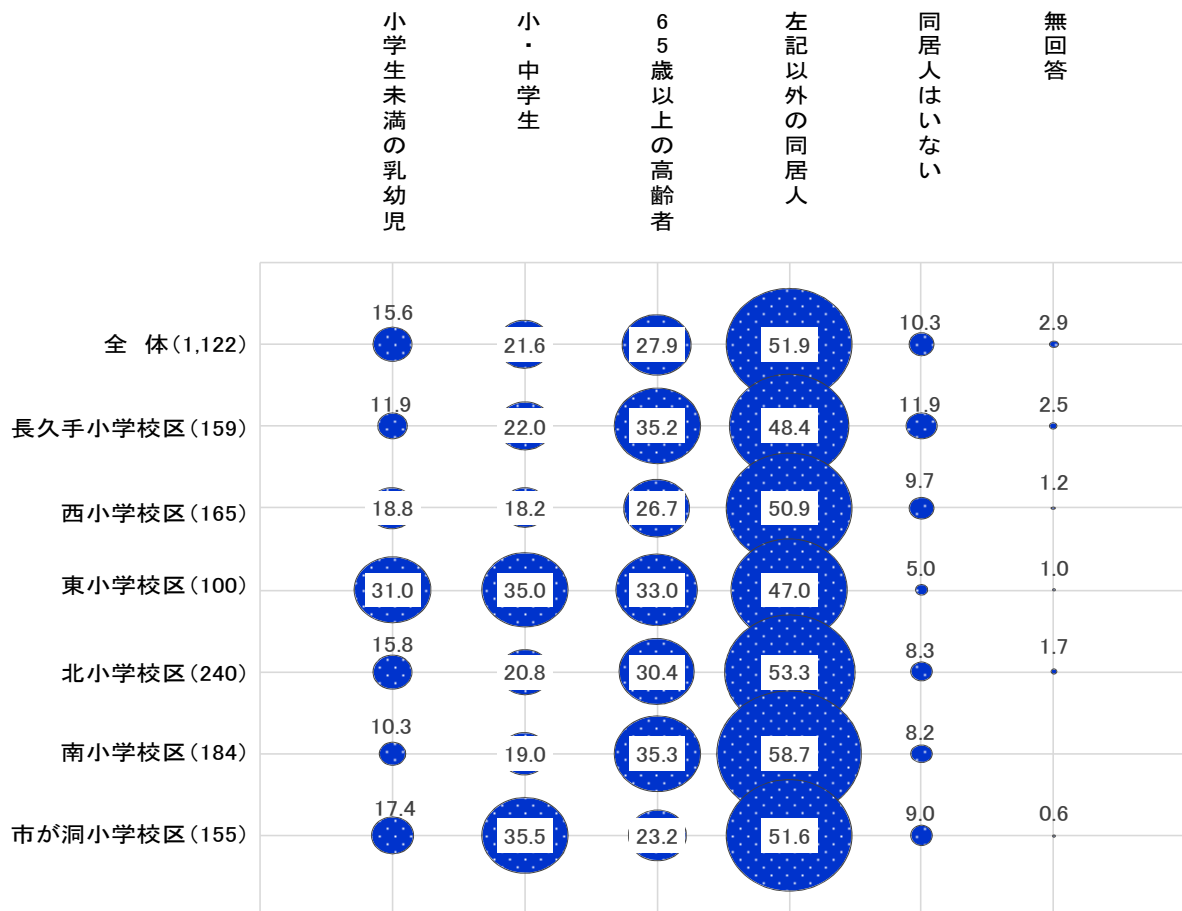


(7) あなたのお宅には、どのような方が同居していますか。次のうちあてはまるものをすべて選んでください。【○はあてはまるものすべて】

同居人の状況は、「左記（中学生以下の子ども及び高齢者）以外の同居人」が51.9%と最も多い。また、全回答者のうち2割程度で「小・中学生」（21.6%）、「65歳以上の高齢者」（27.9%）がいるほか、1割以上の世帯に「小学生未満の乳幼児」（15.6%）がいる。

【小学校区別】

図10-8 同居人の状況（小学校区別）



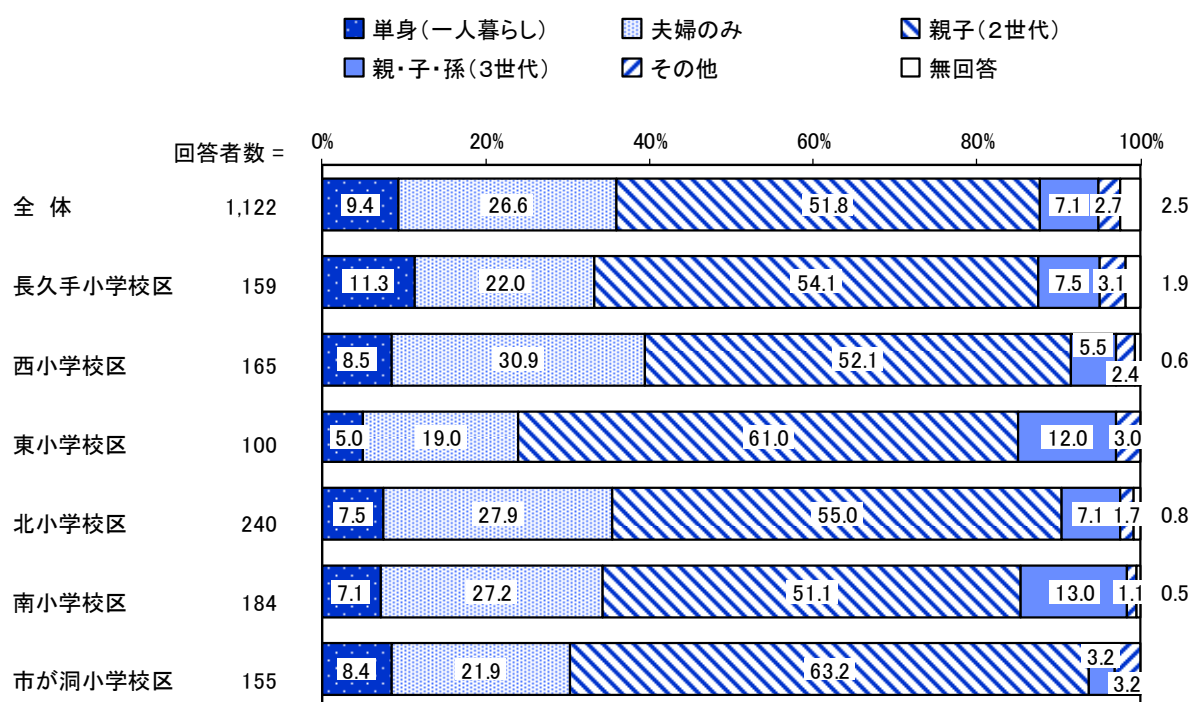
(8) あなたのご家族の形態は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

家族の形態としては、「親子（2世代）」が51.8%と最も多く、次いで「夫婦のみ」（26.6%）となっている。

【小学校区別】

- 小学校区別でみると、東小学校区、市が洞小学校区、で「親子（2世代）」（61.0%、63.2%）が多い。
- 南小学校区では、「親・子・孫（3世代）」（13.0%）が全体より多い。
- 西小学校区では、「夫婦のみ」（30.9%）が全体より多い。

図10-9 家族の形態（小学校区別）



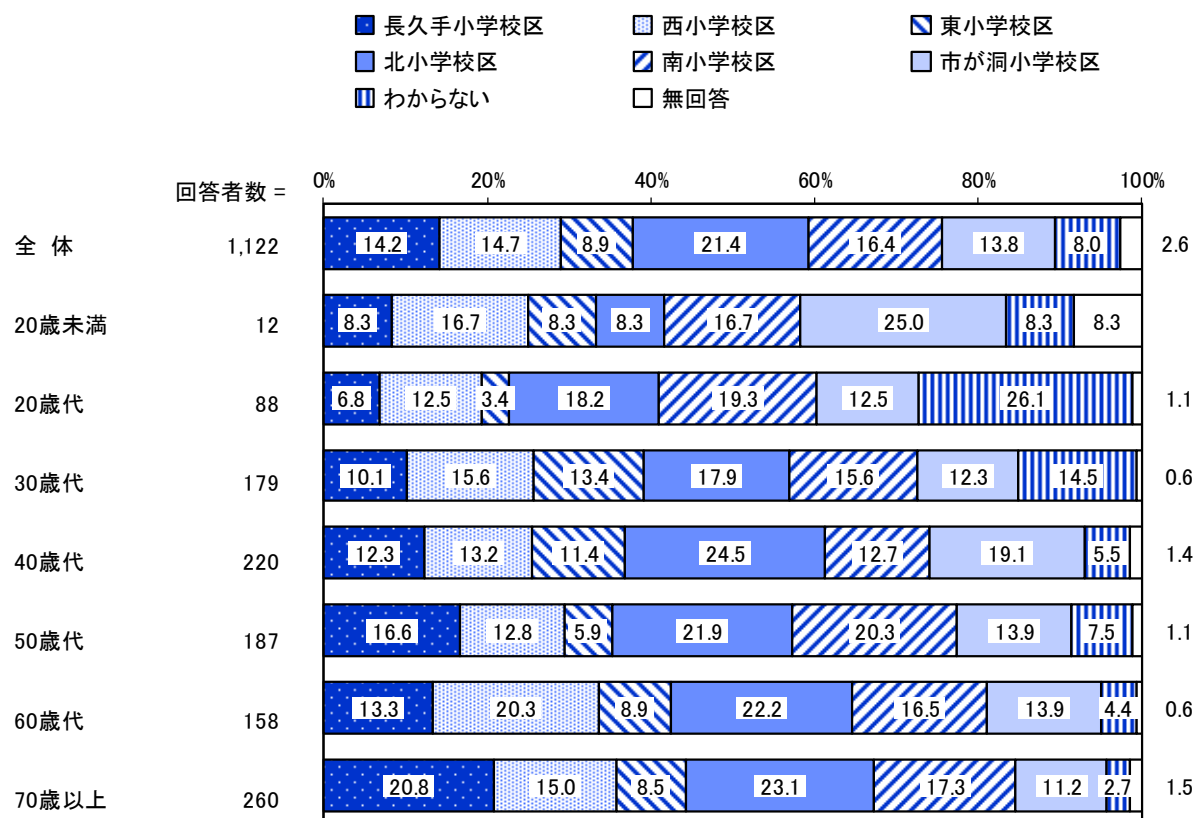
(9) あなたの小学校区はどこですか。【○は1】

回答者の居住小学校区は、「北小学校区」が21.4%と最も多く、次いで「南小学校区」(16.4%)、「西小学校区」(14.7%)、「長久手小学校区」(14.2%)となっている。

【年齢別】

○年齢別でみると、20歳未満では「市が洞小学校区」(25.0%)が最も多く、40歳代で「東小学校区」(13.4%)が多い。

図10-10 小学校区 (年齢別)



(10) あなたは、長久手市に居住して何年になりますか。【〇は1つ】

回答者の居住年数は、「30年以上」が28.4%と最も多く、次いで「10～19年」(23.5%)、「20～29年」(17.8%)となっており、10年未満は3割弱となっている。

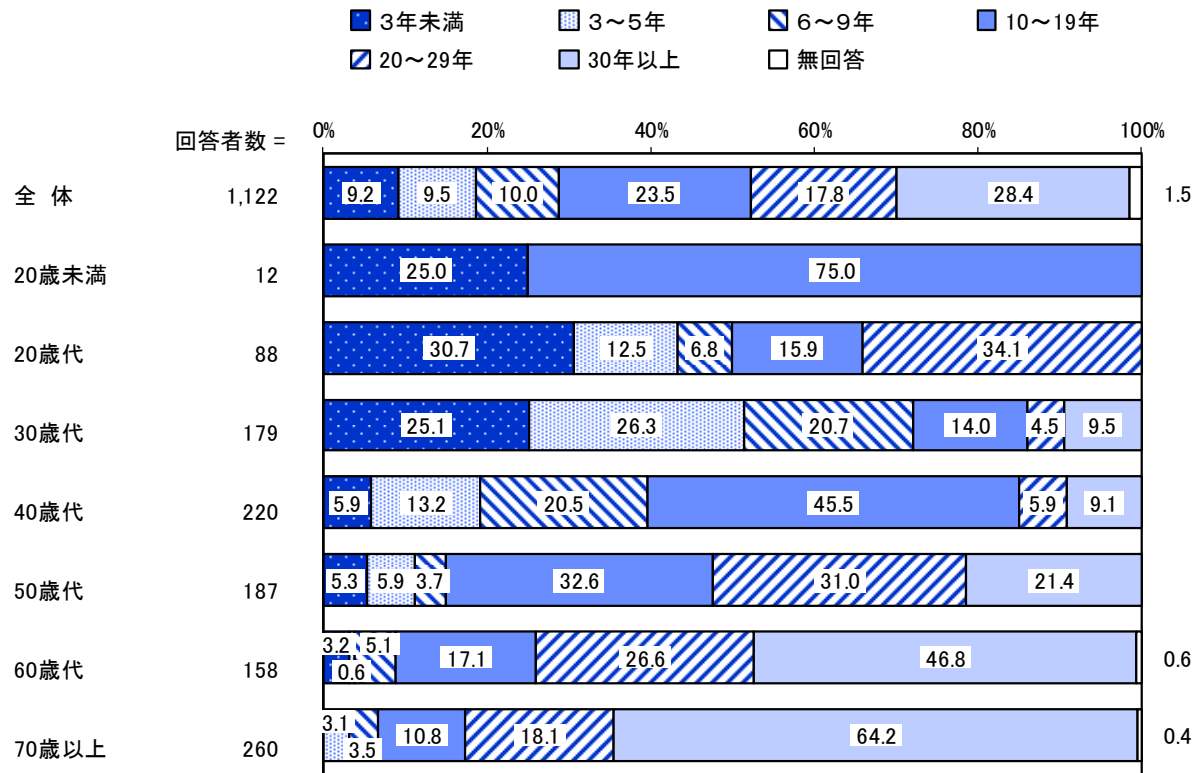
【年齢別】

○年齢別でみると、20歳代では、生まれてからずっと居住している人(20～29年)が34.1%と3割強で、「3年未満」(30.7%)が約3割となっている。

○30歳代では、「3年未満」(25.1%)、「3～5年」(26.3%)、「6～9年」(20.7%)を合わせて、7割強が10年未満となっている。

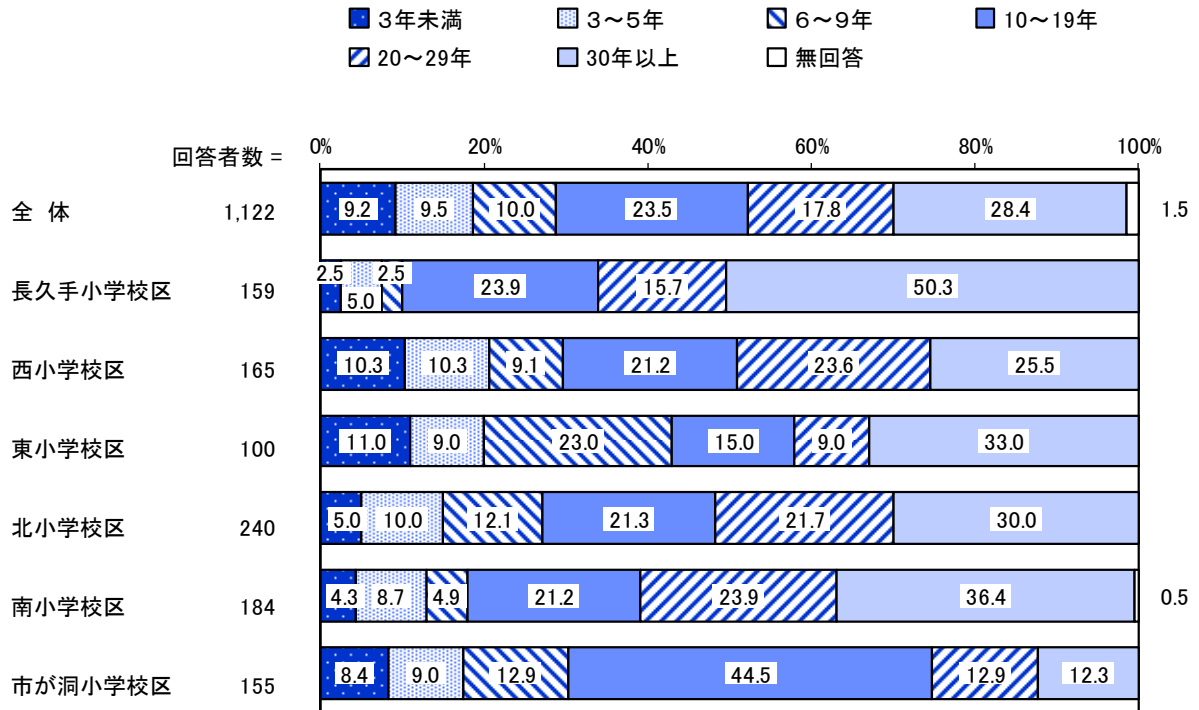
○40歳以上の世代については、年齢が上がるにつれ、居住年数が増えている。

図10-11 居住年数(年齢別)



【小学校区別】

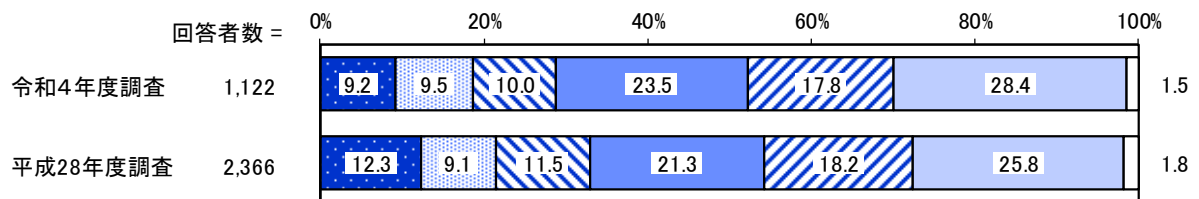
- 小学校区別でみると、長久手小学校区では「30年以上」が50.3%と他の小学校区より多い。
- 東小学校区では、10年未満（「3年未満」「3～5年」「6～9年」の合計）が43.0%と他の小学校区より多い。



【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、平成28年度調査と大きな違いはみられない。

図10-12 居住年数（経年変化）



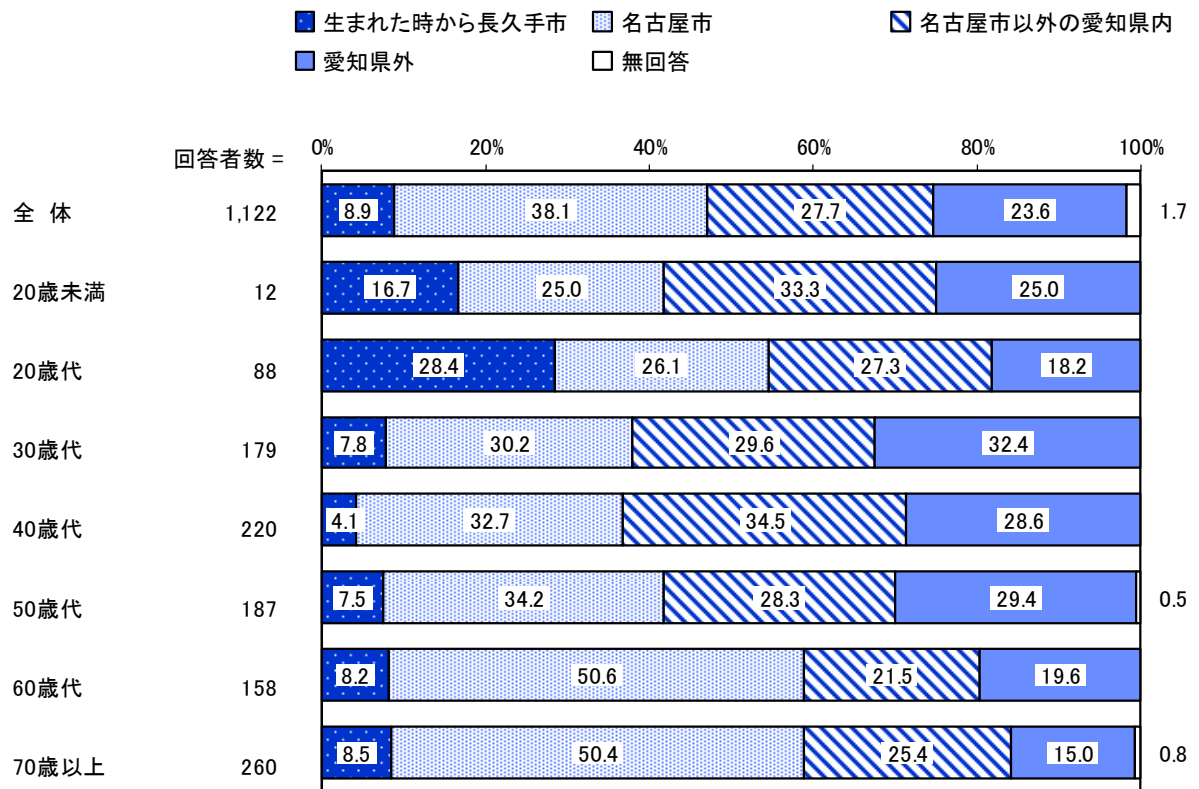
(11) あなたは、長久手市に住む以前はどこにお住まいでしたか。【○は1つ】

回答者の前住所は、「名古屋市」が38.1%と最も多く、次いで「名古屋市以外の愛知県内」(27.7%)となっている。一方、「生まれた時から長久手市」は8.9%となっている。

【年齢別】

- 年齢別で見ると、20歳代では、「生まれた時から長久手市」が28.4%と最も多い。
- 30歳代では、「愛知県外」(32.4%)が3割強と最も多い。
- 60歳代と70歳以上では、「名古屋市」がそれぞれ50.6%と50.4%と最も多く、「名古屋市以外の愛知県内」が2割以上、「愛知県外」が1割半ばとなっている。

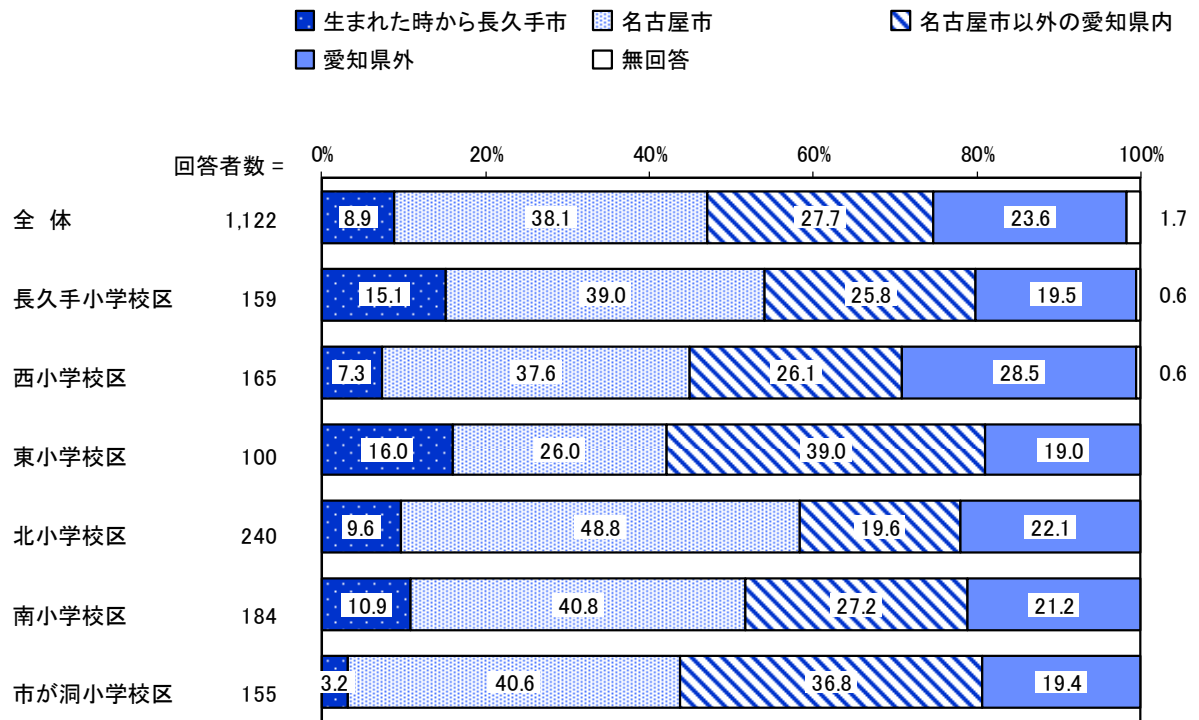
図10-13 以前の住所（年齢別）



【小学校区別】

- 小学校区別で見ると、北小学校区では「名古屋市」(48.8%)が約半数となっている。
- 東小学校区では、「名古屋市以外の愛知県内」(39.0%)が約4割と、他の小学校区より多い。

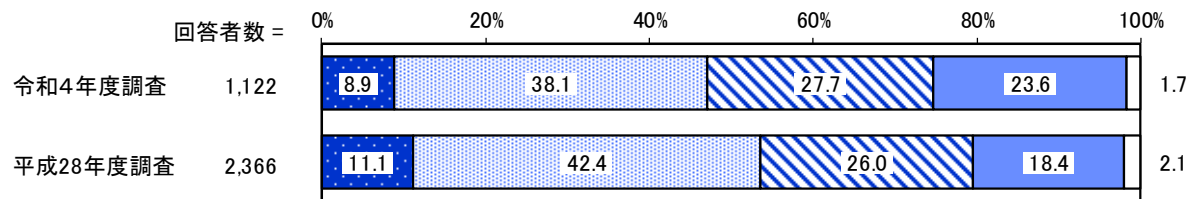
図10-14 以前の住所（小学校区別）



【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、「愛知県外」(23.6%)が平成28年度調査(18.4%)が5.2ポイント多くなっている。

図10-15 以前の住所（経年変化）



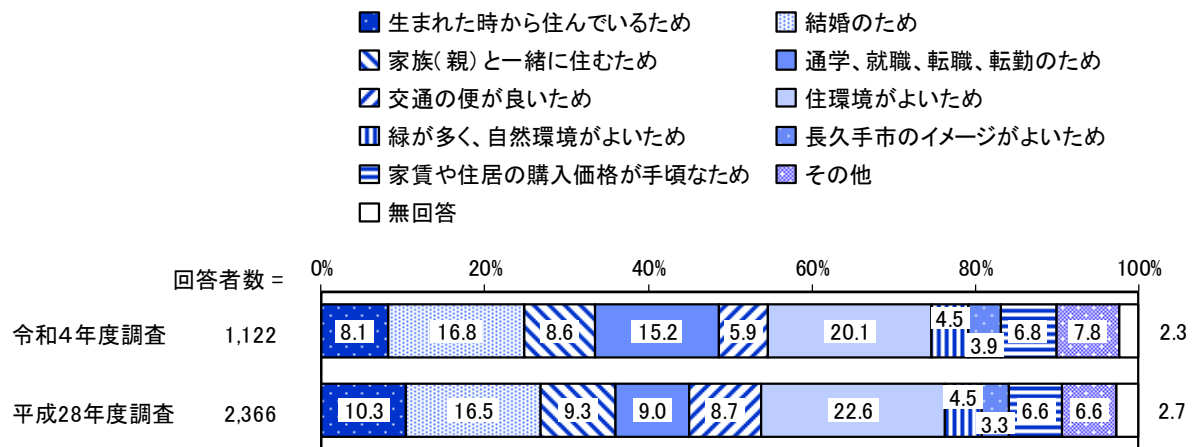
(12) あなたが長久手市に住んでいる理由は何ですか。【〇は1つ】

長久手市に住んでいる理由は、「住環境がよいため」が20.1%と最も多く、次いで「結婚のため」(16.8%)、「通学、就職、転職、転勤のため」(15.2%)、「家族(親)と一緒に住むため」(8.6%)、「生まれた時から住んでいるため」(8.1%)となっている。

【経年比較】

○過去の調査と比較すると、「通学、就職、転職、転勤のため」(15.2%)が平成28年度調査(9.0%)より6.2ポイント多くなっている。

図10-16 住んでいる理由(経年変化)



※前回調査の選択肢は「通学、就職、転職、転勤のため」が「就職、転職、転勤のため」、「交通の便が良かったため」が「通勤、通学の便が良かったため」となっていました。

(13) あなたは、次のア～クの生活行動について、主にどこで行動していますか。1～9の中から1つずつ選んでください。

すべての生活行動で「長久手市」が最も多く、特に“食料品や日用品の買い物”（88.6%）、“散歩や公園へのお出かけ（81.6%）”では8割以上となっている。

“映画、コンサート、演劇などの文化活動”では「名古屋市」（30.8%）が約3割となっている。

図10-17 生活行動の場所

単位：%

区分	回答者数 (件)	長久手市	名古屋市	尾張旭市	瀬戸市	豊田市
食料品や日用品の 買い物	1122	88.6	3.9	0.8	0.3	0.2
実用衣料品の買 い物	1122	64.7	22.7	0.6	0.2	0.3
電化製品や家具な どの大型商品の買 い物	1122	62.3	13.9	8.9	1.6	0.2
通院	1122	77.3	12.1	1.1	0.6	0.3
金融機関の利用	1122	66.2	26.3	0.3	0.7	0.4
スポーツ施設の利 用	1122	29.6	12.0	1.4	1.8	1.3
映画、コンサート、 演劇などの文化活 動	1122	45.4	30.8	0.1	-	-
散歩や公園へのお 出かけ	1122	81.6	3.0	0.8	0.1	0.1

区分	日進市	1～6 以外の県内	県外	行動して いない	無回 答
食料品や日用品の 買い物	2.0	0.3	0.1	0.5	3.4
実用衣料品の買 い物	2.8	1.2	1.7	2.3	3.5
電化製品や家具な どの大型商品の買 い物	5.2	1.0	0.8	3.1	3.0
通院	1.8	0.9	0.4	2.5	3.0
金融機関の利用	0.3	0.6	0.4	1.4	3.4
スポーツ施設の利 用	2.9	1.5	1.2	42.2	6.0
映画、コンサート、 演劇などの文化活 動	0.4	1.1	1.0	16.2	5.0
散歩や公園へのお 出かけ	0.6	1.3	1.0	8.3	3.2

ア 食料品や日用品の買い物

【年齢別】

○食料品や日用品の買い物について、年齢別でみると、大きな違いはみられない。

図10-18 食料品や日用品の買い物（年齢別）

単位：%

区分	回答者数 (件)	長久手市	名古屋市	尾張旭市	瀬戸市	豊田市	日進市	1、6以外の県内	県外	行動していない	無回答
全 体	1122	88.6	3.9	0.8	0.3	0.2	2.0	0.3	0.1	0.5	3.4
20歳未満	12	91.7	—	—	—	—	—	8.3	—	—	—
20歳代	88	96.6	3.4	—	—	—	—	—	—	—	—
30歳代	179	87.7	5.0	1.7	—	—	4.5	—	—	—	1.1
40歳代	220	89.5	2.7	1.8	0.9	0.9	1.8	—	—	0.5	1.8
50歳代	187	89.3	4.8	0.5	0.5	—	1.6	1.1	—	0.5	1.6
60歳代	158	89.9	3.8	—	—	—	1.3	—	0.6	—	4.4
70歳以上	260	86.5	3.8	0.4	—	—	1.9	—	—	1.5	5.8

【小学校区別】

○小学校区別では、大きな違いはみられない。

図10-19 食料品や日用品の買い物（小学校区別）

単位：%

区分	回答者数 (件)	長久手市	名古屋市	尾張旭市	瀬戸市	豊田市	日進市	156以外の県内	県外	行動していない	無回答
全 体	1122	88.6	3.9	0.8	0.3	0.2	2.0	0.3	0.1	0.5	3.4
長久手小学校区	159	91.8	2.5	0.6	0.6	—	—	—	—	1.3	3.1
西小学校区	165	87.9	4.2	1.8	—	—	1.8	—	0.6	0.6	3.0
東小学校区	100	88.0	2.0	—	2.0	1.0	4.0	—	—	—	3.0
北小学校区	240	85.4	6.7	1.3	—	—	2.1	0.8	—	0.8	2.9
南小学校区	184	95.7	0.5	—	—	—	2.2	—	—	—	1.6
市が洞小学校区	155	89.7	3.9	—	—	—	3.2	—	—	—	3.2

イ 実用衣料品の買い物

【年齢別】

○実用衣料品の買い物について、年齢別で見ると、20歳代では「長久手市」(53.4%)が全体より11.3ポイント少なく、「名古屋市」(35.2%)が全体より12.5ポイント多い。

○60歳代では、「長久手市」(72.2%)が全体より7.5ポイント多い。

図10-20 実用衣料品の買い物（年齢別）

単位：%

区分	回答者数 (件)	長久手市	名古屋市	尾張旭市	瀬戸市	豊田市	日進市	1～6以外の県内	県外	行動していない	無回答
全体	1122	64.7	22.7	0.6	0.2	0.3	2.8	1.2	1.7	2.3	3.5
20歳未満	12	66.7	16.7	—	—	—	—	8.3	—	8.3	—
20歳代	88	53.4	35.2	—	—	—	3.4	2.3	1.1	4.5	—
30歳代	179	59.2	25.1	—	0.6	—	5.6	1.7	2.8	4.5	0.6
40歳代	220	65.5	27.7	0.9	—	0.5	0.5	0.9	1.8	0.9	1.4
50歳代	187	66.8	21.4	0.5	—	—	3.2	0.5	2.7	2.7	2.1
60歳代	158	72.2	18.4	0.6	—	0.6	3.2	0.6	1.9	—	2.5
70歳以上	260	66.9	17.7	1.2	0.4	0.4	1.9	1.5	0.4	2.3	7.3

【小学校区別】

○小学校区別では、市が洞小学校区で「長久手市」(76.8%)が他の小学校区よりも多く、また全体より12.1ポイント多い一方、「名古屋市」(14.8%)が少ない。

○北小学校区では、「名古屋市」(32.1%)が他の小学校区よりも多い。

図10-21 実用衣料品の買い物(小学校区別)

単位：%

区分	回答者数 (件)	長久手市	名古屋市	尾張旭市	瀬戸市	豊田市	日進市	1～6以外の県内	県外	行動していない	無回答
全 体	1122	64.7	22.7	0.6	0.2	0.3	2.8	1.2	1.7	2.3	3.5
長久手小学校区	159	66.7	20.8	0.6	—	—	3.1	1.3	—	3.8	3.8
西小学校区	165	64.8	23.0	0.6	—	—	1.8	1.2	2.4	1.8	4.2
東小学校区	100	69.0	15.0	1.0	—	1.0	7.0	1.0	2.0	1.0	3.0
北小学校区	240	57.5	32.1	0.4	—	—	1.7	2.1	2.5	1.3	2.5
南小学校区	184	68.5	20.7	—	—	0.5	3.8	1.6	2.2	1.6	1.1
市が洞小学校区	155	76.8	14.8	—	—	—	3.2	—	0.6	1.3	3.2

ウ 電化製品や家具などの大型商品の買い物

【年齢別】

○電化製品や家具などの大型商品の買い物について、年齢別でみると、20歳代、30歳代、40歳代では「名古屋市」がそれぞれ19.3%、20.1%、18.6%と約2割となっている。

図10-22 電化製品や家具などの大型商品の買い物（年齢別）

単位：%

区分	回答者数 (件)	長久手市	名古屋市	尾張旭市	瀬戸市	豊田市	日進市	1～6以外の県内	県外	行動していない	無回答
全 体	1122	62.3	13.9	8.9	1.6	0.2	5.2	1.0	0.8	3.1	3.0
20歳未満	12	66.7	8.3	—	—	—	—	—	—	25.0	—
20歳代	88	58.0	19.3	5.7	3.4	1.1	5.7	1.1	—	5.7	—
30歳代	179	55.3	20.1	7.8	2.8	—	5.6	0.6	1.7	5.6	0.6
40歳代	220	63.2	18.6	6.4	0.9	0.5	5.5	2.3	0.9	1.4	0.5
50歳代	187	64.2	10.2	10.2	1.1	—	7.5	0.5	0.5	3.7	2.1
60歳代	158	68.4	10.8	11.4	1.9	—	3.2	0.6	—	0.6	3.2
70歳以上	260	64.2	8.8	11.2	1.2	—	4.2	0.8	1.2	2.3	6.2

【小学校区別】

○小学校区別では、南小学校区、市が洞小学校区で「長久手市」がそれぞれ76.1%、72.3%と7割を超えている。

○北小学校区では、「長久手市」が48.8%と全体より13.5ポイント少ない一方、「尾張旭市」が22.9%と全体より14.0ポイント多い。

図10-23 電化製品や家具などの大型商品の買い物（小学校区別）

単位：%

区分	回答者数 (件)	長久手市	名古屋市	尾張旭市	瀬戸市	豊田市	日進市	1～6以外の県内	県外	行動していない	無回答
全 体	1122	62.3	13.9	8.9	1.6	0.2	5.2	1.0	0.8	3.1	3.0
長久手小学校区	159	66.7	10.1	11.9	0.6	—	2.5	—	1.3	1.9	5.0
西小学校区	165	63.6	13.9	7.3	1.8	—	4.8	2.4	1.2	1.8	3.0
東小学校区	100	60.0	12.0	7.0	4.0	2.0	6.0	2.0	2.0	3.0	2.0
北小学校区	240	48.8	16.7	22.9	1.7	—	3.8	0.4	0.4	3.3	2.1
南小学校区	184	76.1	10.3	1.6	0.5	—	6.0	1.1	0.5	3.3	0.5
市が洞小学校区	155	72.3	11.0	—	1.9	—	9.0	—	0.6	3.2	1.9

エ 通院

【年齢別】

○通院について、年齢別で見ると、40歳代では「長久手市」が80.9%、70歳以上では83.8%と8割以上となっている。

図10-24 通院（年齢別）

単位：%

区分	回答者数 (件)	長久手市	名古屋市	尾張旭市	瀬戸市	豊田市	日進市	1、6以外の県内	県外	行動していない	無回答
全 体	1122	77.3	12.1	1.1	0.6	0.3	1.8	0.9	0.4	2.5	3.0
20歳未満	12	66.7	8.3	—	—	—	—	8.3	8.3	8.3	—
20歳代	88	73.9	14.8	—	1.1	—	—	1.1	—	9.1	—
30歳代	179	74.9	15.6	1.1	1.1	0.6	2.8	1.1	0.6	2.2	—
40歳代	220	80.9	12.3	0.9	—	0.9	0.9	1.4	—	2.3	0.5
50歳代	187	77.0	13.4	2.7	0.5	—	2.7	—	0.5	1.6	1.6
60歳代	158	70.9	15.8	1.3	1.3	—	3.8	0.6	—	2.5	3.8
70歳以上	260	83.8	5.8	0.4	0.4	—	0.8	0.4	0.8	1.2	6.5

【小学校区別】

○小学校区別では、長久手小学校区で「長久手市」が83.6%、東小学校区で87.0%と8割を超えている一方、「名古屋市」（それぞれ5.7%、6.0%）が他の小学校区より少ない。

図10-25 通院（小学校区別）

単位：%

区分	回答者数 (件)	長久手市	名古屋市	尾張旭市	瀬戸市	豊田市	日進市	1～6以外の県内	県外	行動していない	無回答
全 体	1122	77.3	12.1	1.1	0.6	0.3	1.8	0.9	0.4	2.5	3.0
長久手小学校区	159	83.6	5.7	0.6	1.9	—	0.6	1.3	—	1.3	5.0
西小学校区	165	73.3	18.8	—	0.6	—	—	—	0.6	2.4	4.2
東小学校区	100	87.0	6.0	1.0	2.0	1.0	3.0	—	—	—	—
北小学校区	240	75.0	16.3	1.7	—	—	0.4	0.4	0.4	3.3	2.5
南小学校区	184	79.9	9.2	0.5	0.5	0.5	3.8	1.6	—	3.8	—
市が洞小学校区	155	80.6	10.3	0.6	—	—	4.5	—	0.6	0.6	2.6

オ 金融機関の利用

【年齢別】

○金融機関の利用について、年齢別でみると、50歳代では「長久手市」が59.4%と全体より6.8ポイント少ない一方、「名古屋市」が33.7%と全体より7.4ポイント多い。

○70歳以上では「長久手市」が73.1%と他の小学校区よりも多い。

図10-26 金融機関の利用（年齢別）

単位：%

区分	回答者数 (件)	長久手市	名古屋市	尾張旭市	瀬戸市	市豊田	日進市	1～6以外の県内	県外	行動していない	無回答
全 体	1122	66.2	26.3	0.3	0.7	0.4	0.3	0.6	0.4	1.4	3.4
20歳未満	12	58.3	16.7	—	—	—	—	8.3	—	16.7	—
20歳代	88	63.6	28.4	1.1	2.3	1.1	—	1.1	—	2.3	—
30歳代	179	66.5	27.4	—	1.1	—	1.1	1.1	0.6	1.7	0.6
40歳代	220	66.8	25.5	0.9	0.5	0.9	—	0.5	1.4	1.8	1.8
50歳代	187	59.4	33.7	—	1.6	—	0.5	0.5	—	1.6	2.7
60歳代	158	65.8	28.5	—	—	0.6	—	—	0.6	0.6	3.8
70歳以上	260	73.1	20.4	—	—	—	—	0.4	—	0.4	5.8

【小学校区別】

○小学校区別で見ると、西小学校区、北小学校区で「長久手市」がともに 55.8%と全体より 10.4 ポイント少なく、「名古屋市」(35.8%、40.0%) が全体より多い。

○長久手小学校区、東小学校区では「長久手市」(77.4%、85.0%) が全体より 11 ポイント以上多い。

図 10-27 金融機関の利用（小学校区別）

単位：%

区分	回答者数 (件)	長久手市	名古屋市	尾張旭市	瀬戸市	豊田市	日進市	1～6 以外の県内	県外	行動していない	無回答
全 体	1122	66.2	26.3	0.3	0.7	0.4	0.3	0.6	0.4	1.4	3.4
長久手小学校区	159	77.4	15.7	0.6	0.6	—	0.6	—	—	1.9	3.1
西小学校区	165	55.8	35.8	—	0.6	—	—	0.6	1.8	1.8	3.6
東小学校区	100	85.0	11.0	—	2.0	1.0	—	—	—	—	1.0
北小学校区	240	55.8	40.0	—	0.4	0.4	—	0.4	0.4	0.4	2.1
南小学校区	184	74.5	20.1	—	—	0.5	0.5	1.1	—	0.5	2.7
市が洞小学校区	155	72.3	22.6	—	0.6	—	0.6	—	—	1.3	2.6

カ スポーツ施設の利用

【年齢別】

○スポーツ施設の利用について、年齢別で見ると、20歳代で「長久手市」が20.5%、30歳代で26.3%、50歳代で24.1%と全体より少ない。

図10-28 スポーツ施設の利用（年齢別）

単位：%

区分	回答者数 (件)	長久手市	名古屋市	尾張旭市	瀬戸市	豊田市	日進市	1～6以外の 県内	県外	行動していない	無回答
全 体	1122	29.6	12.0	1.4	1.8	1.3	2.9	1.5	1.2	42.2	6.0
20歳未満	12	33.3	16.7	—	—	—	—	8.3	—	41.7	—
20歳代	88	20.5	15.9	1.1	—	2.3	2.3	1.1	—	56.8	—
30歳代	179	26.3	15.6	1.1	0.6	1.7	6.1	2.2	—	45.8	0.6
40歳代	220	32.7	15.0	1.8	1.8	2.7	4.5	2.7	1.8	35.5	1.4
50歳代	187	24.1	12.3	0.5	2.1	1.1	1.6	2.1	1.6	49.2	5.3
60歳代	158	31.6	12.0	2.5	3.2	—	1.9	—	1.9	43.7	3.2
70歳以上	260	34.6	5.8	1.5	2.3	0.8	1.2	0.4	1.5	37.3	14.6

【小学校区別】

- 小学校区別で見ると、市が洞小学校区で「長久手市」が 36.8%と全体より 7.2 ポイント多い。
- 北小学校区では「長久手市」(24.6%) が全体より 5.0 ポイント少なく、「名古屋市」(19.2%) が全体より 7.2 ポイント多い。

図 10-29 スポーツ施設の利用（小学校区別）

単位：%

区分	回答者数 (件)	長久手市	名古屋市	尾張旭市	瀬戸市	豊田市	日進市	1～6 以外の県内	県外	行動していない	無回答
全 体	1122	29.6	12.0	1.4	1.8	1.3	2.9	1.5	1.2	42.2	6.0
長久手小学校区	159	32.1	6.3	1.3	1.9	0.6	3.1	1.3	0.6	45.3	7.5
西小学校区	165	27.9	13.3	1.2	1.2	0.6	0.6	1.8	1.8	45.5	6.1
東小学校区	100	32.0	5.0	1.0	3.0	5.0	6.0	3.0	—	42.0	3.0
北小学校区	240	24.6	19.2	2.5	1.7	1.3	2.1	1.3	0.8	42.1	4.6
南小学校区	184	34.2	8.2	1.6	2.7	1.1	4.3	1.6	1.6	39.7	4.9
市が洞小学校区	155	36.8	13.5	1.3	1.9	1.3	3.9	0.6	0.6	37.4	2.6

キ 映画、コンサート、演劇などの文化活動

【年齢別】

○映画、コンサート、演劇などの文化活動について、年齢別で見ると、20歳代、30歳代、40歳代で「長久手市」(51.1%、54.2%、56.4%)が半数超となっている。

図10-30 映画、コンサート、演劇などの文化活動(年齢別)

単位：%

区分	回答者数 (件)	長久手市	名古屋市	尾張旭市	瀬戸市	豊田市	日進市	1～6 以外の 県内	県外	行動して いない	無回答
全 体	1122	45.4	30.8	0.1	—	—	0.4	1.1	1.0	16.2	5.0
20歳未満	12	41.7	25.0	—	—	—	—	8.3	8.3	16.7	—
20歳代	88	51.1	35.2	—	—	—	1.1	1.1	4.5	6.8	—
30歳代	179	54.2	33.0	—	—	—	0.6	0.6	—	11.7	—
40歳代	220	56.4	28.2	—	—	—	—	1.4	—	13.6	0.5
50歳代	187	42.2	38.5	—	—	—	1.1	1.1	0.5	14.4	2.1
60歳代	158	39.2	35.4	—	—	—	0.6	—	1.9	19.0	3.8
70歳以上	260	35.4	23.1	0.4	—	—	—	1.5	0.8	25.4	13.5

【小学校区別】

○小学校区別で見ると、西小学校区で「長久手市」(33.9%)が全体より11.5ポイント少なく、「名古屋市」(38.8%)が全体より8.0ポイント多い。

○東小学校区では、「長久手市」(65.0%)が全体より19.6ポイント多く、「名古屋市」(20.0%)が全体より10.8ポイント少ない。

図10-31 映画、コンサート、演劇などの文化活動(小学校区別)

単位：%

区分	回答者数 (件)	長久手市	名古屋市	尾張旭市	瀬戸市	豊田市	日進市	1～6以外の県内	県外	行動していない	無回答
全 体	1122	45.4	30.8	0.1	—	—	0.4	1.1	1.0	16.2	5.0
長久手小学校区	159	47.8	24.5	—	—	—	—	1.3	1.9	18.2	6.3
西小学校区	165	33.9	38.8	—	—	—	1.2	1.2	0.6	18.8	5.5
東小学校区	100	65.0	20.0	—	—	—	—	—	—	14.0	1.0
北小学校区	240	45.4	32.9	—	—	—	—	0.4	0.8	16.7	3.8
南小学校区	184	44.6	32.6	0.5	—	—	1.1	1.6	0.5	15.2	3.8
市が洞小学校区	155	48.4	33.5	—	—	—	0.6	0.6	—	14.8	1.9

ク 散歩や公園へのお出かけ

【年齢別】

○散歩や公園へのお出かけについて、年齢別でみると、20歳未満で「長久手市」が83.3%、30歳代で88.3%、40歳代で86.4%、70歳以上で82.7%と全体よりも多い。

図10-32 散歩や公園へのお出かけ（年齢別）

単位：%

区分	回答者数 (件)	長久手市	名古屋市	尾張旭市	瀬戸市	豊田市	日進市	1～6以外の県内	県外	行動していない	無回答
全 体	1122	81.6	3.0	0.8	0.1	0.1	0.6	1.3	1.0	8.3	3.2
20歳未満	12	83.3	8.3	—	—	—	—	—	—	8.3	—
20歳代	88	77.3	4.5	—	—	—	—	—	—	18.2	—
30歳代	179	88.3	2.8	1.1	—	0.6	0.6	1.1	1.1	3.9	0.6
40歳代	220	86.4	2.3	0.9	—	—	1.4	1.4	—	6.8	0.9
50歳代	187	74.3	4.8	—	0.5	—	0.5	2.7	3.2	12.3	1.6
60歳代	158	79.1	0.6	1.9	—	—	0.6	1.9	1.9	9.5	4.4
70歳以上	260	82.7	3.1	0.8	—	—	0.4	0.8	—	6.2	6.2

【小学校区別】

○小学校区別でみると、大きな違いはみられない。

図10-33 散歩や公園へのお出かけ（小学校区別）

単位：%

区分	回答者数 (件)	長久手市	名古屋市	尾張旭市	瀬戸市	豊田市	日進市	1～6以外の県内	県外	行動していない	無回答
全 体	1122	81.6	3.0	0.8	0.1	0.1	0.6	1.3	1.0	8.3	3.2
長久手小学校区	159	84.3	1.9	1.3	—	—	—	—	0.6	6.3	5.7
西小学校区	165	83.0	3.0	—	—	—	—	1.8	1.2	7.9	3.0
東小学校区	100	84.0	3.0	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	—	7.0	—
北小学校区	240	79.2	4.2	0.4	—	—	0.4	3.3	0.8	9.2	2.5
南小学校区	184	84.8	3.3	0.5	—	—	0.5	1.1	0.5	7.1	2.2
市が洞小学校区	155	86.5	1.3	0.6	—	—	1.3	—	1.3	7.7	1.3

XI 市政全般について（自由意見）

問 22 長久手市のまちづくりについてご意見がありましたら、自由にご記入ください。

長久手市のまちづくりについて、回答者のお考えを自由記述方式でたずねたところ、延べ 362 件のご意見をいただきました。なお、1 人で複数の分野にわたりご意見を記入している場合、それぞれの分野（基本施策）に分類しても文脈が損なわれないものは分類し、文脈が損なわれると判断したご意見については、最も多く記述している分野のご意見としました。

第 6 次総合計画の施策体系に合わせて分類した件数を下記に示します。また次ページ以降、第 6 次総合計画の施策体系に合わせ、基本施策に関する主なご意見を抜粋してご紹介します。

1 「やってみたい」でつながるまち	15
11 地域協働	2
12 地域自治	8
13 大学連携	3
14 生涯学習	2
15 青少年健全育成	0
16 男女共同参画社会	0
17 商工業	13
2 子どもが元気に育つまち	42
21 子育て支援	33
22 学校教育	9
3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物	49
31 環境保全	14
32 ごみ対策・リサイクル	13
33 公害対策	4
34 緑化の推進	6
35 自然環境保全	11
36 河川	0
37 農業（田園バレー）	0
319 その他	1
4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち	47
41 防災	2
42 防犯	9
43 交通安全	11
44 障がい者福祉	2
45 地域福祉	3
46 生活支援	0
47 高齢者福祉	5
48 消防・救急	0
49 地域医療	6
410 保健衛生	3

411 健康推進	5
412 食育	1
5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪	9
51 文化・芸術	0
52 スポーツ	9
53 国際交流	0
54 観光交流	2
6 あえて歩いてみたくなるまち	134
61 公共交通	24
62 道路	48
63 市街地整備	31
64 住宅・宅地	3
65 公園整備	1
66 上水道	0
67 下水道	0
68 駐車場・駐輪場	4
69 都市景観	8
610 墓園	0
7 市民から信頼される市政の運営	36
71 広報・公聴	5
72 行政運営	15
73 人事管理（窓口サービス含む）	4
74 財政運営	8
719 その他	4
60 アンケートについて	3
70 市政運営全般に関する意見	19
80 市政運営以外に関する意見	8
全意見致	362

1 「やってみたい」でつながるまち

1 地域協働（意見数：2）

市民交流などに参加したらポイント制にして、市から表彰制度するなどすれば良いと思う。（男性、60～64歳、市が洞小学校区）

2 地域自治（意見数：8）

各自治会ごとに自由に集まり、話し合える場所がほしい。（女性、75～79歳、南小学校区）

4 生涯学習（意見数：2）

図書館をもっと充実したものにしてほしい。学びは人生を充実させると思う。（女性、40～49歳、市が洞小学校区）

7 商工業（意見数：13）

商業地として成長して住民の“誇り”が出る。名古屋市へのショッピングが不用になるほど発展して来た。“イケヤ”など……。大型店の誘地としての“長久手”が光る！新しいライフスタイルが“提供する地”になり、ありがたい！（男性、70～74歳、南小学校区）

2 子どもが元気に育つまち

1 子育て支援（意見数：33）

子どもが生まれる予定なので、保育サービスの充実は積極的に行って欲しいです。自分は特に市政に興味はなかったですが、これらの意見が反映されるのであれば参加をしたいです。ぜひよろしく願います。（男性、30～39歳、西小学校区）

西小学区は働く父母が増え、学童保育が定員を大幅に超えて行われている。安心して父母が働くことができ、子どもたちも充実した放課後時間を過ごせるよう、保育施設の増設や公園の整備、地域活動との連携などに目を向けていただきたいです。（女性、40～49歳、西小学校区）

2 学校教育（意見数：9）

長久手市は、若い世代が多い街なので、学校教育を充実していくべきだと思う。昔のように一面竹林だったころとは違い子どもの数が、一部の地域では、たいへん増えている。しかし、学校教育は、校庭に校舎を建設し、運動場がせまくなって運動量の確保が難しかったり（健康促進にならない）、1学級の児童数が多く、1人1人にきめ細やかな指導ができていないと思う。子どもの教育に力を入れて、未来の長久手市が、今後も発展していくようにした方が良いと思う。（男性、30～39歳、北小学校区）

3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

1 環境保全（意見数：14）

20年前は道路にも公園にも緑が多くあり、商業施設も交通施設も整いつつあり、とても自然と共同したい町であったが、名前や有名な施設にとられるあまり、緑（自然）がどんどんこわされ、温暖化が進んでいるように思う。便利にすることも必要だと思うがしすぎてしまうのもどうか？と思う。（女性、50～59歳、南小学校区）

長久手市は緑が多くて散歩していて気持ちが良い。今後も緑化は続けていってほしい。（男性、40～49歳、西小学校区）

2 ごみ対策・リサイクル（意見数：13）

毎週月曜の作田一丁目のゴミ収集が15時位になっている。以前は昼頃までに出来ていた。ゴミを長い時間置いてあるのは、環境、衛生面で問題がある。善処して欲しい。（男性、70～74歳、西小学校区）

ゴミの回収がおそすぎます。16時とかに回収するときもあり、なのでカラスがゴミをあらし、近くにカラスが大量にやってきて公園にカラスがたくさん入ってきてしまい、朝からずっとうるさいし、せつかくの公園なのに子供が遊べません。（女性、30～39歳、西小学校区）

3 公害対策（意見数：4）

野焼き、農薬、除草剤、肥料散布の時間規制が現在あるのであれば、厳しく指導して頂きたい。洗濯物への匂いの付着が不快。身体に害のない薬を散布しているかと思いますが、不快に感じる。（女性、40～49歳、東小学校区）

4 緑化の推進（意見数：6）

緑が多く景観が良い。（女性、40～49歳、南小学校区）

5 自然環境保全（意見数：11）

東部地域については、今のまま緑多き地区のままで自然を残してほしいと思います。一度自然が破壊されれば、二度ともとは戻らない。（男性、70～74歳、長久手小学校区）

4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

1 防災（意見数：2）

いつも防災訓練アラートが聞こえません。有事の際、不安です。どこの地域でも聞こえるように対策してほしいです。

（女性，40～49歳，市が洞小学校区）

2 防犯（意見数：9）

長久手市は長年住みよいまちとして知られていて、私も生まれてからずっと長久手市に住んでいますが不自由は特になく暮らせています。しかし、最近不審者の情報が多い気がして、長久手市は子どもがたくさんいて増えてもいるので少し不安になりました。

（女性，20～29歳，南小学校区）

3 交通安全（意見数：11）

万博公園にジブリパークが出来、さらにI K E A等で渋滞がひどくなる。道路の渋滞緩和の方法を提案して欲しい。※クリザンテームヒルズ長久手在住の為。・I K E Aの交差点の信号の見方が住民の方以外は理解できていない人が多いので、分かりやすく変えて欲しい（表示方法）看板だけでは伝わっておらず、事故になってもおかしい場面に何度もでくわしている。よろしくお願いします。（女性，30～39歳，東小学校区）

4 障がい者福祉（意見数：2）

障害者が安心して生活していけるような施設を充実させてほしい。・高齢者が学習をしたり、運動をしたりすることができる施設を充実させて欲しい。・イメージが先行して人気がある街と言われているが、生活していく中で、本当に安心して一生暮らしやすい街なのか疑問です。（男性，50～59歳，北小学校区）

5 地域福祉（意見数：3）

我が家は今のところ若い方の世帯ですが、通学の見守りボランティアさんや市の安心メール等のおかげで、子供たちを安心して外に出すことができます。（女性，40～49歳，市が洞小学校区）

7 高齢者福祉（意見数：5）

環境と便利さのバランスがとれていて、住みやすいと思います。現在は若い世帯が多いですが、10年後20年後を考えると、高齢者福祉は今よりもっと重要になっていくのかなと感じます。（女性，40～49歳，市が洞小学校区）

9 地域医療（意見数：6）

コロナ予防接種時の職員の方々の対応が今回とてもスムーズに案内して下さり感動致しました。有難うございました。（女性，70～74歳，市が洞小学校区）

10 保健衛生（意見数：3）

先日がん検診をして頂きました。前回と比べて案内（のフォロー）が充実していて、的確・確実・素早く検診を終える事が出来ました。ありがとうございます。

11 健康推進（意見数：5）

（意見）・今後高齢者が増加するので、健康増進活動や、医療関係の充実が望まれます。
（男性，65～69歳，北小学校区）

12 食育（意見数：1）

子ども食堂などの充実。（女性，40～49歳，市が洞小学校区）

5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪

2 スポーツ（意見数：9）

緑がある町で大変良いと思います。スポーツジムが小規模で設備も古いため、安価に使用できることはうれしいですが、新しい機材やスペースを設けて欲しい。スポーツジムは老若男女集まるので、新しい交流が生まれやすいと思います（特に若い人が集まるので）。（男性，30～39歳，西小学校区）

4 観光交流（意見数：2）

ジブリパーク、リニモ、ござらっせなどイベント施設を活性化し、みんなが来たくなる魅力ある市となってほしい。
人口増やイベント施設で道路が混む傾向にあり改善してほしい。（男性，40～49歳，西小学校区）

6 あえて歩いてみたくなるまち

1 公共交通（意見数：24）

車でしか行けないところが多くて不便だと感じます。もう少し公共交通機関を増やしてほしいです。（女性，20～29歳，わからない）

高齢者が車を手放すことになった時、足となる交通手段がなく、困っているという話をよく聞きます。Nバスの活用も難しいし、住む場所によっては大変不便になっているので、何かいい方法を考えていただけたらと思います。長久手市は新旧融合の市です。その特色を十分に生かしながら、どこに住んでも住みやすい環境を作っていくことが大切と思っています。（女性，65～69歳，東小学校区）

2 道路（意見数：48）

ジブリパークの近くに住んでいますが、今のままでは毎日の様に道が混み、とても困るのが目に見えています。今の準備では足りないと思います。（女性，30～39歳，東小学校区）

東小学校エリアの道路整備を早くして下さい。つねに土日は渋滞になります。市役所（ミニストップ信号が長いので）で止まって前へ進めません。改善して下さい。（回答しない，40～49歳，東小学校区）

3 市街地整備（意見数：31）

交通量が増え過ぎている割に、道路、歩道、自転車専用道路の整備が進んでいない。・外灯が暗過ぎる。少ない。→最近、治安が悪化している。（女性，40～49歳）

子供が多く、全体的に若く未来のあるまちだと思います。川や田畑などの自然があり、街路樹も整っていてきれいで明るいと感じます。高層マンションも増えていますが、出来るだけ広い空を残してほしいと感じています。また、新たな住宅街ができるのはよいことですが、20年後に若い人が戻ってこれるよう、交通インフラの維持、社会サービスの継続をがんばってほしいと思います。20年、30年経って空き家だらけになるのはさびしいので。（女性，30～39歳，わからない）

4 住宅・宅地（意見数：3）

町がコンパクトで、小さくまとまっており、不便はあまりない。緑、自然が今の所多いが、やや住宅が増えてきたので、ある程度緑化を守ってほしい。（家だらけで町がせまくなるのはいやだ）。（男性，65～69歳，西小学校区）

5 公園整備（意見数：1）

公園の整備が整っている。（杵ヶ池公園のシルバーさんのお手入れなど）（女性，40～49歳，南小学校区）

8 駐車場・駐輪場（意見数：4）

マンション内の駐車場がなく土地が足りないので、市で借りられる駐車場を確保してほしい。（女性，50～59歳，わからない）

9 都市景観（意見数：8）

特に最近街のメインとなる空き地に景観を損なう店舗ばかりできています。借地なので余り言えませんが何でこんな場所に何て思う店舗ができています。せっかくジブリが来るのに他の街並みに比べまとまりがない通りだねーって知り合いにも言われました。残念です。出来てしまった事は諦めるしかありませんが絶対に考えて行くべきだと思います。（男性，50～59歳，南小学校区）

7 市民から信頼される市政の運営

1 広報・公聴（意見数：5）

市政運営（町づくりなど）についてもっと広報紙に掲載してほしい。広報紙の内容が細かすぎる。市民にとって関心かつ必要な事項を選択して広報してほしい。（男性，80歳以上，東小学校区）

2 行政運営（意見数：15）

地域によってずいぶんと行政の不公平等差を感じている。・市民参加をうたっているが、ごく一部のみの参加でどんどん進んでいると感ずる。参加したくても出来ない人が多くある。長期的展望と今、問題点を早急解決にむけて考えてほしい。（女性，70～74歳，長久手小学校区）

せっかくジブリパークが市内にできるので、市の観光の目玉として管轄にとらわれず、活用すべき。例えば、Nバスを「Necoバス」にするなど、高額な著作権を払ってでも、話題性のあるものに投資しなければ、地元行政として怠慢としか言わざるを得ない。（女性，50～59歳，南小学校区）

3 人事管理（窓口サービス含む）（意見数：4）

市役所に行くと、受付の人、窓口の人がきちんとあいさつをしてくれ、2Fに行くとデスクワークの人やすれちがった職員の人もあいさつをしてくれます。最初に引っこしてきた時に感心しました。対応もいつも丁寧で、区画整理課の方や乳幼児の保健センターの方も、市民によりそってくれている様に思います。また市の広報も分かりやすく、議会誌も市政が何をしているか分かりやすい。長久手市に住んで良かったと思います。（女性，30～39歳，東小学校区）

4 財政運営（意見数：8）

長久手市は、魅力ある素敵な市なのに、財政が乏しいが為に、公共施設が充実していないなどの難があります。財政を豊かにする方法を考えたほうがよい。（女性，40～49歳，北小学校区）

XII 資料

アンケート調査票

長久手市 市民意識調査 ご協力をお願い

日ごろから、市政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本調査においては、市民の方が生活のなかで感じていることや長久手市のまちづくりのこと、平成31年3月に策定しました「ながくて未来図（第6次総合計画）」に関することについてお伺いし、今後の行政運営に活かしてまいります。

また、本調査では市内にお住まいの満18歳以上の方の中から、無作為に選んだ3,000人の方に協力をお願いするものです。

本調査の趣旨をご理解いただき、皆さまの率直なご意見をお聞かせくださいますようお願いをお願い申し上げます。

なお、結果の集計や分析は統計的に処理いたしますので、個人の回答内容が公表されるなど、ご迷惑をおかけすることは決してありません。

令和4年7月

長久手市長 吉田 一平

ご記入のお願い

●ご記入の際に

必ず封筒の宛名のご本人がご回答ください。

（記入等が難しい場合は、ご家族の方などが代筆しご回答いただいても結構です。）

●回答方法

○調査票の返送について

同封の返送用封筒に入れて、ポストへ入れてください。（切手は不要です）

○WEB回答について

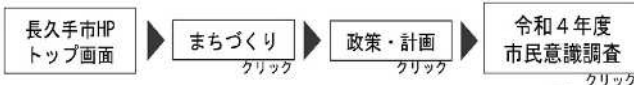
インターネットを利用してパソコンやスマートフォン等からも回答できます。

スマートフォンによる回答

QRコードより入力可能



パソコンによる回答



「令和4年度 市民意識調査 回答ページ」をクリックいただき、「アンケート回答ページ」で入力可能

入力する際は、IDを入力してください。

【ID：●●●●●●】

●回答期限

令和4年8月10日（水）まで

●調査についての問い合わせ

長久手市 市長公室 企画政策課 担当：安井、橋本、鈴木

電話：0561-56-0600（直通）

Eメール：seisaku@nagakute.aichi.jp



あなたの考えやあなたが感じていることについてお尋ねします。

長久手市の住み心地について

問1 あなたは、長久手市を住みよいまちだと思いますか。【〇は1つ】

- | | |
|------------|------------|
| 1. 住みよい | 4. やや住みにくい |
| 2. まあ住みよい | 5. 住みにくい |
| 3. どちらでもない | |

問2 あなたは、今後も長久手市に住み続けたいですか。【〇は1つ】

- | | | |
|-----------|----------|---------------|
| 1. 住み続けたい | 2. 転出したい | 3. わからない →問3へ |
|-----------|----------|---------------|

「住み続けたい」と思う理由は何ですか。次の中から選んでください。【〇は3つまで】

1. 緑や田園が多く自然環境がよい
2. 交通の便がよい
3. 近所付き合いがあり人間関係がよい
4. 住み慣れていて愛着がある
5. 公共施設が整っている
6. 道路など整備されている
7. 教育環境がよい
8. 子育ての環境がよい
9. 買物に便利
10. 親類が近くにいる
11. 住宅事情がよい
12. 公園や遊び場が整備されている
13. 上下水道・ごみ収集など生活基盤が整っている
14. 交通事故や犯罪が少なく安全である
15. 医療・福祉サービスが充実している
16. まちに将来性や魅力がある
17. 通勤や通学に便利
18. その他()

「転出したい」と思う理由は何ですか。次の中から選んでください。【〇は3つまで】

1. 緑や田園が少なく自然環境がよくない
2. 交通の便がよくない
3. 近所付き合いが少なく人間関係がよくない
4. まちに愛着が持てない
5. 公共施設が整っていない
6. 道路などが整備されていない
7. 教育環境がよくない
8. 子育ての環境がよくない
9. 買物が不便
10. 親類が近くにいない
11. 住宅事情がよくない
12. 公園や遊び場が整備されていない
13. 上下水道・ごみ収集など生活基盤が整っていない
14. 交通事故や犯罪が多く安全でない
15. 医療・福祉サービスが充実していない
16. まちに将来性や魅力がない
17. 通勤や通学に不便
18. その他()

あなたの幸せ感について

問3 あなたは現在幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。あてはまる数字(点数)を選んでください。



また、その点数を選んだ理由がある方は、自由にご記入ください。
 なお、特に理由がない方は、問4にお進みください。

問4 次の8つの分野の中からあなたにとって「特に大事だと思う分野」を3つまで選んでください。
 なお、「特に大事だと思う分野はない」という場合には、「9」をお選びください。【0は3つまで】

分野	内容
1. 健康	健康な生活習慣、運動・ストレス発散の場、保健医療など
2. 子育て・教育	地域の子育て環境、家庭教育など
3. 環境	自然環境・景観、ごみ出し、環境に配慮した生活など
4. つながり	地域活動や行事、近所付き合い、居場所や相談相手など
5. 防災・防犯	地域防災、家庭防災、地域の治安、安全安心への取組など
6. 福祉	地域福祉、介護、高齢者・障がい者福祉など
7. 文化・生涯学習	歴史伝統・芸術文化の土壌、生涯学習環境など
8. 生活インフラ	生活の利便性や安全性、就業確保、インターネットなど
9. 特になし	

あなたの暮らしや地域の環境について

問5 次の(1)から(14)までの各質問の回答を選んで○をつけてください。【○はそれぞれ1つ】

(1) 日ごろから笑顔で心豊かな生活ができていますか。

1. できている	2. まあ できている	3. どちらとも いけない	4. あまり できていない	5. できて いない
----------	----------------	------------------	------------------	---------------

(2) 体を動かしたり運動したりと健康的な暮らしができていますか。

1. できている	2. まあ できている	3. どちらとも いけない	4. あまり できていない	5. できて いない
----------	----------------	------------------	------------------	---------------

(3) 困ったときに頼りになる(悩みを相談したり助けてと言ったりできる)知人・友人はいますか。お住まいの地域、市内、市外それぞれについてお答えください。

①お住まいの地域

1. いる	2. まあいる	3. どちらとも いけない	4. あまり いない	5. いない
-------	---------	------------------	---------------	--------

②市内

1. いる	2. まあいる	3. どちらとも いけない	4. あまり いない	5. いない
-------	---------	------------------	---------------	--------

③市外

1. いる	2. まあいる	3. どちらとも いけない	4. あまり いない	5. いない
-------	---------	------------------	---------------	--------

(4) 地域で困った人への助け合いはできていますか。

1. できている	2. まあできて いる	3. どちらとも いけない	4. あまり できていない	5. できて いない
----------	----------------	------------------	------------------	---------------

(5) 日常的にあいさつをしていますか。

1. している	2. まあ している	3. どちらとも いけない	4. あまり していない	5. していない
---------	---------------	------------------	-----------------	----------

(6) 日常的に近所づきあいをしていますか。

1. している	2. まあ している	3. どちらとも いけない	4. あまりして いない	5. していない
---------	---------------	------------------	-----------------	----------



(6) についてあなたは、隣近所と普段どのようなつきあい方をしていますか。

1. 困ったときに相談したり、 親しくつきあっている	2. 会えば世間話や 立ち話をする	3. 会えば挨拶をする
-------------------------------	----------------------	-------------

(7) あなたは、隣近所とのつきあい方についてどのような思いがありますか。

- | | | | |
|--|--------------------------------|---|--|
| 1. 地域での支え合い
や助け合いなど、
つきあいを大切
にしたい | 2. 顔見知りではあり
たいが、ほどほど
がよい | 3. 他につながりが
あれば、近所づき
あいはなくても
よい | 4. わずらわしいの
で、互いに干渉し
あわず生活した
い |
|--|--------------------------------|---|--|

(8) あなたは、近所づきあいや地域とのつながりに満足していますか。

- | | | | | |
|---------------|-----------------|------------------|-------------------|----------|
| 1. 満足して
いる | 2. まあ満足
している | 3. どちらとも
いえない | 4. あまり満足
していない | 5. 不満である |
|---------------|-----------------|------------------|-------------------|----------|

(9) 地域であなたに「たつせ」がありますか。

※「たつせがある」…「立つ瀬がない」の対義語で「誰もが地域で役割を担い、活躍し、必要とされ、生きがいを持って楽しく過ごすことができる」ことを表した長久手市の造語

- | | | | | |
|-------|---------|------------------|----------|-------|
| 1. ある | 2. まあある | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりない | 5. ない |
|-------|---------|------------------|----------|-------|

(10) 自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化、行事等）がありますか。

- | | | | | |
|-------|---------|------------------|----------|-------|
| 1. ある | 2. まあある | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりない | 5. ない |
|-------|---------|------------------|----------|-------|

(11) 地域の子どもとあなたとのコミュニケーションは十分とれていますか。

- | | | | | |
|----------|----------------|------------------|------------------|---------------|
| 1. とれている | 2. まあとれて
いる | 3. どちらとも
いえない | 4. あまり
とれていない | 5. とれて
いない |
|----------|----------------|------------------|------------------|---------------|

(12) お住まいの地域には、自宅以外の居場所（集える場所、行きつけのお店など）がありますか。

- | | | | | |
|-------|---------|------------------|----------|-------|
| 1. ある | 2. まあある | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりない | 5. ない |
|-------|---------|------------------|----------|-------|

(13) お住まいの地域で災害に備えた話し合いや防災訓練に参加していますか。

- | | | | | | |
|-----------|-------------|--------------|---------------|------------|-----------------|
| 1. 参加している | 2. まあ参加している | 3. どちらともいえない | 4. あまり参加していない | 5. 参加していない | 6. やっていることを知らない |
|-----------|-------------|--------------|---------------|------------|-----------------|

(14) あなたは過去3年間でお住まいの地域の地域活動（清掃活動、通学の見守り、地域の祭、防災訓練、防犯パトロール等、地域が主体で行う活動）に参加したことはありますか？

- | | | | | |
|---------------|-----------------|------------------|-------------------|----------------|
| 1. 参加して
いる | 2. まあ参加
している | 3. どちらとも
いえない | 4. あまり参加
していない | 5. 参加して
いない |
|---------------|-----------------|------------------|-------------------|----------------|

新型コロナウイルス感染症の影響による意識変化について

新型コロナウイルス感染症の影響により行動制限が伴うなか、大きく生活環境が変化し、新たな気付きや生活を見直すきっかけになった方もいらっしゃると思います。

今後、新型コロナウイルス感染症が収束した際は、行動制限を伴わない生活に戻ると思われますが、新型コロナウイルス感染症流行をきっかけにご自身の生活意識の変化があったのかについて伺います。

問10 ご自身の「活動」や「場所への外出」などに対して新型コロナウイルス感染症流行前と新型コロナウイルス感染症収束後を比べてどのような意識の変化があると思いますか。(1)から(5)までの各質問の回答を選んで○をつけてください。【○はそれぞれ1つ】

(1) 友人や知人と交際・会食

- | | | |
|-------------|------------|----------------------|
| 1. 増えると思う | 3. 変わらない | 5. 減ると思う |
| 2. やや増えると思う | 4. やや減ると思う | 6. この行動を行って
いなかった |

(2) 公園での活動（遊びや散歩）

- | | | |
|-------------|------------|----------------------|
| 1. 増えると思う | 3. 変わらない | 5. 減ると思う |
| 2. やや増えると思う | 4. やや減ると思う | 6. この行動を行って
いなかった |

(3) 公共施設（文化の家、福祉の家、地域共生ステーション、図書館等）の利用

- | | | |
|-------------|------------|----------------------|
| 1. 増えると思う | 3. 変わらない | 5. 減ると思う |
| 2. やや増えると思う | 4. やや減ると思う | 6. この行動を行って
いなかった |

(4) ボランティア・社会参加

- | | | |
|--------------------|------------------|---------------------|
| 1. 必要性を感じるようになった | 3. 変わらない | 5. 必要性を感じなくなった |
| 2. やや必要性を感じるようになった | 4. やや必要性を感じなくなった | 6. この行動を行って
なかった |

(5) 近所づきあい

- | | | |
|--------------------|------------------|---------------------|
| 1. 必要性を感じるようになった | 3. 変わらない | 5. 必要性を感じなくなった |
| 2. やや必要性を感じるようになった | 4. やや必要性を感じなくなった | 6. この行動を行って
なかった |

(5) について、その番号を選んだ理由があれば自由にご記入ください。
なお、特に理由がない方は、問11にお進みください。

長久手市の市政運営についてお尋ねします。

市民参加について

問11 あなたは、市政にどの程度関心がありますか。【〇は1つ】

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. ある程度関心がある | 4. まったく関心がない |

問12 あなたは、長久手市の情報をどのように得ていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

【〇はあてはまるものすべて】

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 市ホームページ | 7. 広報誌 |
| 2. 安心メール | 8. ぎかいたいむ |
| 3. きずなネット | 9. 新聞 |
| 4. LINE 公式アカウント | 10. 回覧板 |
| 5. インターネット () | 11. 家族や知人からの口コミ |
| 6. ケーブルテレビ | 12. その他 () |

問13 長久手市からの情報提供について、これから情報配信を充実してほしいものはどれですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。【〇はあてはまるものすべて】

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 市ホームページ | 7. 広報誌 |
| 2. 安心メール | 8. ぎかいたいむ |
| 3. きずなネット | 9. 新聞 |
| 4. LINE 公式アカウント | 10. 回覧板 |
| 5. インターネット () | 11. 家族や知人からの口コミ |
| 6. ケーブルテレビ | 12. その他 () |

問14 あなたが、市の行う事業（講演会、イベント、計画策定のためのワークショップ等）に参加するには、どのようなことが決め手となりますか。特に重要だと思うものを次の中から選んでください。

【〇は2つまで】

- | |
|---|
| 1. 広報紙、HP に情報が掲載されている |
| 2. ツイッター (Twitter) やフェイスブック (Facebook) などの SNS* (ソーシャル・ネットワーク・サービス) に情報が掲載されている |
| 3. 事業自体に魅力がある |
| 4. チラシが魅力的である |
| 5. 参加すると、報奨やポイント、記念品がもらえる |
| 6. 家族や知人からの口コミがある |
| 7. 市職員から直接声がけがある |
| 8. その他 () |
- *SNS: インターネットのネットワークを通じて、人と人をつなぎコミュニケーションが図れるように設計された会員制サービス

問17 市民、市民団体、事業者、行政などが、それぞれの地域で気軽に集い、語り、地域の様々な課題に対する取組みを行うための拠点である「地域共生ステーション」についてお伺いします。

(1) あなたは、「地域共生ステーション」について知っていますか。
【〇は1つ】

- | |
|------------------------------|
| 1. 知っている |
| 2. 名前は聞いたことあるが、どのような施設かわからない |
| 3. 名前をはじめて聞いた |

(2) 問17(1)で「1 知っている」と回答した方にお聞きします。あなたは、「地域共生ステーション」についてどの程度知っていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。
【〇はあてはまるものすべて】

・西小校区共生ステーション

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 既にあるのを知っていて、行ったことがある | 2. 既にあるのを知っているが、行ったことはない |
|-------------------------|--------------------------|

・市が洞小校区共生ステーション

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 既にあるのを知っていて、行ったことがある | 2. 既にあるのを知っているが、行ったことはない |
|-------------------------|--------------------------|

・北小校区共生ステーション

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 既にあるのを知っていて、行ったことがある | 2. 既にあるのを知っているが、行ったことはない |
|-------------------------|--------------------------|

・南小校区共生ステーション

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 既にあるのを知っていて、行ったことがある | 2. 既にあるのを知っているが、行ったことはない |
|-------------------------|--------------------------|

問18 小学校区単位で地域の課題を解決するため、自治会のほか、地域に根ざしたこども会やシニアクラブ、企業、NPO、各種活動団体などをネットワーク化した組織「まちづくり協議会」についてお伺いします。

(1) あなたは、「まちづくり協議会」について知っていますか。【〇は1つ】

- | |
|-----------------------------|
| 1. 知っている |
| 2. 名前は聞いたことあるが、何をやる組織かわからない |
| 3. 名前をはじめて聞いた |

(2) 問18(1)で「1 知っている」と回答した方にお聞きします。あなたは、「まちづくり協議会」についてどの程度知っていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。
【〇はあてはまるものすべて】

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 西小学校区で設立されたのを知っている |
| 2. 市が洞小学校区で設立されたのを知っている |
| 3. 北小学校区で「まちづくり協議会設立準備会」が設立されたのを知っている |

第6次総合計画について

長久手市では、平成31年3月に「ながくて未来図（第6次長久手市総合計画）」を策定し、「幸せが実感できる 共生のまち 長久手～そして、物語が生まれる～」を将来像にし、7つの基本目標を立てまちづくりに取り組んでいます。

問19 次の(1)～(24)の項目について、あなたはどの程度重要とご思いますか。また、どの程度進んでいると感じていますか。重要度と推進度を1～5の中から1つずつ選んで下さい。

質問項目	重要度					推進度				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	重要である	まあ重要である	どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない	進んでいる	まあ進んでいる	どちらとも言えない	あまり進んでいない	進んでいない
基本目標1 「やってみたい」でつながるまち										
(1) 地域で住民同士の交流が活発に行われている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 地域社会の一員として、市民が社会のために活動している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 大学をまちづくりに生かしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 男女が尊重し合い、協力し合う社会が進んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標2 子どもが元気に育つまち										
(5) 安心して子育てできるまちである	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6) 地域に子育てについて相談できる人や場所がある	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7) 地域の子どもたちがのびのびと育っている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8) 子育てや教育のサービスが整っている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物										
(9) 豊かな自然環境がある	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10) 農業の振興が行われている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11) 低炭素で、環境美化意識の高いまちである	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) ごみの減量化・資源化が進んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

質問項目	回答項目	重要度					推進度				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
		重要である	まあ重要である	どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない	進んでいる	まあ進んでいる	どちらとも言えない	あまり進んでいない	進んでいない
基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち											
(13) 高齢者が安心して暮らせるまちである	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(14) 障がい者にとって暮らしやすいまちである	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(15) 災害に強いまちである	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(16) 地域の防犯力が高まっている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(17) 地域での支え合いが行われている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(18) 健康づくりがしやすいまちである	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪											
(19) 文化・芸術に親しむ機会や場が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(20) スポーツ施設や活動が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(21) 観光イベントや交流が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち											
(22) 公共交通機関による移動が便利である	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(23) 道路や上下水道などの基盤が整っている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(24) 良好な都市景観がつけられている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
基本目標7 市民から信頼される市政の運営											
※上記6つの目標を効率的に推進するためのあり方を示したものであるため、項目はありません。											

市政全般について

問20 あなたは、市政全般についてどの程度満足していますか。

【〇は1つ】

1. 満足している
2. まあ満足している
3. どちらとも言えない
4. やや不満である
5. 不満である

あなたご自身についてお尋ねします。

問23 各質問にあなた自身が該当する項目を選んでください。

(1) あなたの性別は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

- | | | | |
|------|------|--------|----------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 | 4. 回答しない |
|------|------|--------|----------|

(2) あなたの年齢は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 6. 60～64歳 |
| 2. 20～29歳 | 7. 65～69歳 |
| 3. 30～39歳 | 8. 70～74歳 |
| 4. 40～49歳 | 9. 75～79歳 |
| 5. 50～59歳 | 10. 80歳以上 |

(3) あなたの職業は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

- | | |
|---------|------------------|
| 1. 農林業 | 6. アルバイト、パートタイマー |
| 2. 自営業 | 7. 学生、生徒 |
| 3. 会社員 | 8. 家事専従 |
| 4. 公務員 | 9. 無職 |
| 5. 団体職員 | 10. その他() |

(4) あなたの家庭全体の年収はどのくらいですか。【〇は1つ】

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 100万円未満 | 4. 500～700万未満 |
| 2. 100～300万円未満 | 5. 700～1000万円未満 |
| 3. 300～500万円未満 | 6. 1000万円以上 |

(5) あなたの通勤先・通学先は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

- | | |
|---------|-------------------|
| 1. 名古屋市 | 6. 1～7以外の愛知県内 |
| 2. 尾張旭市 | 7. 愛知県外 |
| 3. 瀬戸市 | 8. 自宅以外の市内 |
| 4. 豊田市 | 9. 自宅(家事専従・無職を除く) |
| 5. 日進市 | 10. 通勤・通学していない |

(6) あなたのお住まいは、次のうちどれですか。【〇は1つ】

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 一戸建て持ち家 | 5. 社宅、官舎、寮 |
| 2. 一戸建て借家 | 6. 県営住宅 |
| 3. 分譲マンション | 7. その他() |
| 4. 賃貸マンション・アパート | |

(7) あなたのお宅には、どのような方が同居していますか。次のうちあてはまるものをすべて選んでください。【〇はあてはまるものすべて】

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 小学生未満の乳幼児 | 4. 1～3以外の同居人 |
| 2. 小・中学生 | 5. 同居人はいない |
| 3. 65歳以上の高齢者 | |

(8) あなたのご家族の形態は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| 1. 単身（一人暮らし） | 4. 親・子・孫（3世代） |
| 2. 夫婦のみ | 5. その他（ ） |
| 3. 親子（2世代） | |

(9) あなたの小学校区はどこですか。【〇は1つ】

- | | |
|------------|----------------------------------|
| 1. 長久手小学校区 | 5. 南小学校区 |
| 2. 西小学校区 | 6. 市が洞小学校区 |
| 3. 東小学校区 | 7. わからない |
| 4. 北小学校区 | （お住まいの町名： ） |

(10) あなたは、長久手市に居住して何年になりますか。【〇は1つ】

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 3年未満 | 4. 10～19年 |
| 2. 3～5年 | 5. 20～29年 |
| 3. 6～9年 | 6. 30年以上 |

(11) あなたは、長久手市に住む以前はどこにお住まいでしたか。

【〇は1つ】

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 生まれた時から長久手市 | 3. 名古屋市以外の愛知県内 |
| 2. 名古屋市 | 4. 愛知県外 |

(12) あなたが長久手市に住んでいる理由は何ですか。【〇は1つ】

- | | |
|-------------------|---------------------------------|
| 1. 生まれた時から住んでいるため | 6. 住環境がよいため |
| 2. 結婚のため | 7. 緑が多く、自然環境がよいため |
| 3. 家族(親)と一緒に住むため | 8. 長久手市のイメージがよいため |
| 4. 通学、就職、転職、転勤のため | 9. 家賃や住居の購入価格が手頃なため |
| 5. 交通の便がよいため | 10. その他（ ） |

(13) あなたは、次のア～クの生活行動について、主にどこで行動していますか。1～9の中から1つずつ選んでください。

質問項目	回答項目								
	1 長久手市	2 名古屋 市	3 尾張旭 市	4 瀬戸市	5 豊田 市	6 日進 市	7 1～6 以外の 県内	8 県外	9 行動 してい ない
ア 食料品や日用品の買い物	1	2	3	4	5	6	7	8	9
イ 実用衣料品の買い物	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ウ 電化製品や家具などの大型商品の買い物	1	2	3	4	5	6	7	8	9
エ 通院	1	2	3	4	5	6	7	8	9
オ 金融機関の利用	1	2	3	4	5	6	7	8	9
カ スポーツ施設の利用	1	2	3	4	5	6	7	8	9
キ 映画、コンサート、演劇などの文化活動	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ク 散歩や公園へのお出かけ	1	2	3	4	5	6	7	8	9



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
この調査票を同封の返送用封筒に入れて、**令和4年8月10日(水)までに**
ポストへ入れるかWEBで回答してください。

ご協力ありがとうございました。